

裾花川扇状地遺跡群

御 所 遺 跡

——長野駅周辺第二土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書——

2013・3

長野市教育委員会

裾花川扇状地遺跡群

御 所 遺 跡

——長野駅周辺第二土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書——

2013・3

長野市教育委員会

序

遺跡や遺物などの埋蔵文化財は、「土地に刻まれた歴史」ともいわれるように、郷土の成り立ちと文化を理解するうえで欠くことのできない貴重な遺産です。肥沃な善光寺平の中央部に位置する長野市においては、その歴史の積み重ねを物語るように、現時点で1,000箇所を超える数多くの遺跡が周知されていますが、各種の開発事業に伴っては、現状での保存が困難となる場合もあることから、事前に発掘調査を実施して調査報告書を作成し、記録として後世に伝えていく措置を講じているところです。

ここに長野市の埋蔵文化財第132集として刊行いたします本書は、長野駅周辺第二土地区画整理事業に伴って平成6年から7年にかけて実施した御所遺跡の発掘調査に関する報告書です。調査地は旧長野鉄道学園の跡地であり、隣接地には中世居館跡と目される御所八幡宮（天満宮）が位置し、源頼朝が善光寺参詣の折に宿舎として利用したとの伝承も残されているなど、古い来歴を有した一帯に位置しております。調査の実施以来、二十年近くを経ての報告となりましたが、地域史解明の一助として多くの皆様にこの調査成果をご活用いただければ、まことに幸いに存じます。

最後になりましたが、埋蔵文化財保護に対する深いご理解とご協力を賜りました事業関係者各位及び、発掘作業に際して多大なご尽力をいただきました地元の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成25年3月

長野市教育委員会
教育長 堀内 征治

例 言

- 1 本書は、長野市が施行する長野駅周辺第二土地区画整理事業を起因とし、記録保存を目的として平成6年度及び7年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
- 2 発掘調査は、起因となった土地区画整理事業を主管する長野市都市開発部市街地整備局（現駅周辺整備局）と、埋蔵文化財保護を主管する教育委員会埋蔵文化財センターとが協議調整し、発掘調査に関する直接の業務は埋蔵文化財センターが担当した。
- 3 発掘調査の所在地は、旧長野鉄道学園敷地（大字栗田字西番場219ほか）である。中世城館として周知される「中御所居館跡」を含む扇状地内の微高地が遺跡範囲となることから、居館跡中心部の字名を冠して遺跡名を「御所遺跡」と命名したものである。
- 4 発掘調査における年度別の調査地区、調査面積及び調査期間は次のとおりである。なお、報告書作成へ向けての本格的な整理作業は平成19年度から着手した。

年度	略記号	調査地区	調査面積	調査期間	
平成6年	GOS	旧鉄道学園敷地東側	上層（中世）	2,250㎡	7月18日～11月22日
			下層（古墳～平安）	1,130㎡	
平成7年	GOS II	旧鉄道学園敷地西側	上層（中世）	980㎡	6月5日～7月28日

- 5 本書での資料提示の要領は次のとおりとした。
 - ・概要について、Ⅲ章で地区毎に遺構・遺物の概要等を記述し、全体図を掲載した。
 - ・遺構について、Ⅳ章で個別に記述し、一覧表、実測図及び写真を掲載した。
 - ・遺物について、Ⅴ章で個別に記述し、一覧表、観察表、実測図及び写真を掲載した。
- 6 本書の遺構測量図に示した座標は、平面直角座標系の第Ⅷ系座標値（旧日本測地系）に基づく。
- 7 本書の執筆分担は、Ⅴ章を塚原由実が、その他を青木和明が担当した。
- 8 出土遺物及び調査に係る諸記録は、長野市教育委員会（埋蔵文化財センター担当）で保管している。

目次

例言・目次

I 調査経過	
1 調査の契機	1
2 調査の経過	2
3 調査の体制	3
II 遺跡と環境	5
III 調査概要	
1 土層堆積と遺構検出面	8
2 平成6年度・上層遺構の調査	9
3 平成6年度・下層遺構の調査	9
4 平成7年度・上層遺構の調査	10
[調査区全体図]	
IV 遺構	
1 平成6年度・検出遺構	
(1) 竪穴住居	12
(2) 溝	14
(3) 土坑・小穴	14
(4) その他の遺構	14
2 平成7年度・検出遺構	
(1) 溝	14
(2) 土坑・小穴	15
(3) その他の遺構	15
[遺構一覧表] [遺構全体図]	
[下層遺構図] [遺構写真]	
V 遺物	
1 平成6年度・検出遺物	
(1) 土器	38
(2) その他の遺物	44
(3) 10号住居出土の甑について	46
[遺物一覧表] [遺物観察表]	
[遺物実測図] [遺物写真]	

2 平成7年度・検出遺物	
(1) 土器	130
(2) その他の遺物	131
[遺物一覧表] [遺物観察表]	
[遺物実測図] [遺物写真]	

抄録

挿図目次

図1 発掘調査地と字名	1
図2 遺跡の立地と遺跡群	6
図3 遺跡周辺の地形と遺跡範囲	7
図4 調査区全体図	11
図5～8 上層遺構全体図	21～24
図9 下層遺構全体図	25
図10～14 下層遺構実測図	26～30
図15・16 長野県内出土の甑 集成図	50・51
図17～51 平成6年度調査 遺物実測図	52～86
図52 平成7年度調査 遺物実測図	132

表目次

表1 平成6年度調査 遺構一覧表	16～20
表2 平成7年度調査 遺構一覧表	20
表3 平成6年度調査 遺物一覧表	103～106
表4 平成6年度調査 土器観察表	106～126
表5 平成6年度調査 その他遺物一覧表	126～129
表6 平成7年度調査 遺物一覧表	131
表7 平成7年度調査 土器観察表	131
表8 平成7年度調査 その他遺物一覧表	132

I 調査経過

1 調査の契機

長野駅東口の再開発計画については昭和60年代から計画調査が進められ、平成4年に施行者を長野市とする長野駅周辺第二土地区画整理事業（施行面積58.2ha）が都市計画決定され、平成5年度から工事着手された。事業計画地は周知の埋蔵文化財包蔵地「裾花川扇状地遺跡群」範囲内に位置することから、事業を主管する長野市都市開発部市街地整備局（現、駅周辺整備局）の依頼に基づき、市教育委員会埋蔵文化財センターにおいても試掘確認調査を開始し、事業施行範囲全域に係る埋蔵文化財保護措置を策定した。一方、工事においては平成7年度に第1回仮換地指定が予定される中、住宅移転先となる旧長野鉄道学園敷地に関する造成工事が平成6年度に着工される計画となったため、試掘調査結果及び埋蔵文化財保護策に従って、同敷地約4,000㎡に関して記録保存のための発掘調査を実施する運びとなった。

平成6年6月17日付けで市街地整備局から土木工事等のための埋蔵文化財発掘の通知（文化財保護法第57条の3第1項）が文化庁宛に提出されるとともに、埋蔵文化財センター宛に発掘調査が依頼された。埋蔵文化財センターでは、6月18日付けで埋蔵文化財発掘調査の通知（文化財保護法第98条の2第1項）を文化庁宛に提出し、7月18日から敷地東側の約3,000㎡を対象とした発掘調査を開始するに至った。

平成7年度に関しては、埋蔵文化財センターが3月24日付けで埋蔵文化財発掘調査の通知（文化財保護法第98条の2第1項）を文化庁宛に提出、市街地整備局が4月17日付けで埋蔵文化財発掘の通知（文化財保護法第57条の3第1項）を提出し、6月5日から敷地西側の約1,000㎡を対象とした発掘調査を開始するに至った。

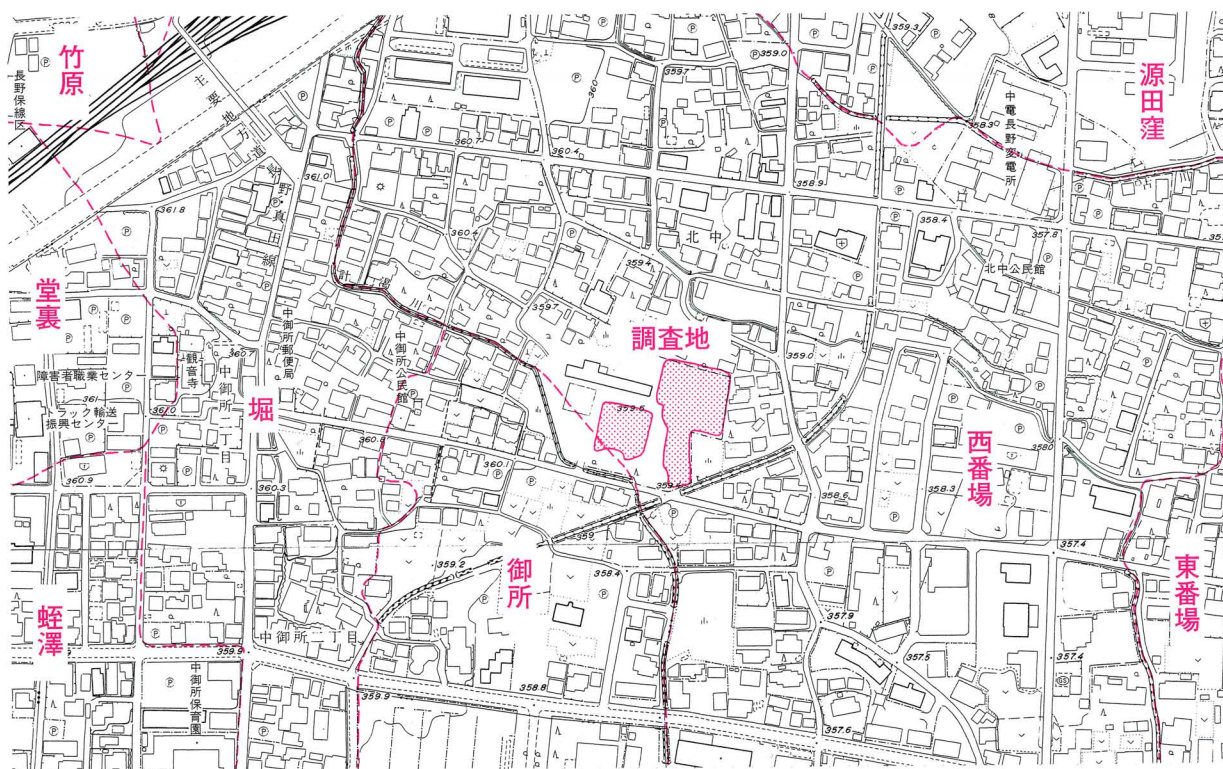


図1 発掘調査地と字名（平成元年測量・平成7年修正図、1：5000）

2 調査の経過

【平成6年度】

7月18日、調査開始。機器材を搬入、重機により上層（平安～中世遺構検出面）の表土除去に着手する。

翌19日に作業員が集合、遺構の検出作業に着手、以降調査区の北側から南側に向かって、順次調査を継続する。なお、7月22日から8月16日の間、日中気温が35℃を超える猛暑が続き、作業が遅滞する。（測量：7月27日、8月3・29日）上層の調査終了後、重機による表土除去を追加し、下層（古墳～平安遺構検出面）での遺構検出作業に着手、以降調査区の東側から西側に向かって、順次調査を継続する。なお、調査途上の10月2日には、地元の栗田（北中）区の住民を対象とした現地説明会を開催し、約50名の参加者を得る。（測量：9月26日、10月25日、11月14日）11月17日から機器材の撤収を開始し、22日までに埋め戻しを含めてすべての現地作業を完了する。

【平成7年度】

6月5日、調査開始。機器材を搬入、重機により上層（中世遺構検出面）の表土除去に着手する。15日に作業員が集合、19日から本格的な遺構検出作業に着手、以降調査区の北側から南側に向かって、順次調査を継続する。なお、7月3日から22日にかけては、断続的な降雨に悩まされ、調査区が一時水没状態となるなど作業が遅滞する。（測量：7月18日）7月21日から機器材の撤収を開始し、28日までに埋め戻しを含めてすべての現地作業を完了する。



平成6年度 表土の除去（北西から）



平成6年度 上層遺構の検出（北西から）



平成6年度 上層遺構の検出（南から）



平成6年度 下層遺構の検出（西から）



平成6年度 下層遺構の検出（西から）

3 調査の体制

【平成6・7年度】

調査主体者	長野市教育委員会	教育長	滝澤忠男
調査機関	長野市埋蔵文化財センター	所長	荒井和雄 (H6) 丸田修三 (H7)
		主 幹 (兼所長補佐)	鈴木貞男 (H6)
		所長補佐 (兼庶務係長)	山中武徳 (H6) 小林重夫 (H7)
		所長補佐 (兼調査係長)	矢口忠良
		庶務係 事務員	青木厚子
		調査係 主 査	青木和明
		主 事	千野 浩 飯島哲也
		〃	風間栄一 小林和子
		専門主事	太田重成 (H6) 清水武
		専門員	笠井敦子 (H6) 田村直也 (H6)
		〃	山田美弥子 寺島孝典 西沢真弓 田中(小野)由美子
		〃	永井洋一 (H7) 堀内健次 (H7) 藤田隆之 (H7)

発掘調査員 青木善子 勝田智紀 宮川和也 矢口栄子

調査作業員 市川とよ子 伊藤裕子 岩井仁美 勝田千亜紀 金子紅実子 北沢修 北村宣之 北村幸恵
倉石光将 神頭幸雄 小島静江 小林紀代美 小林三郎 小林真樹 佐々木慶子 佐藤ひで子
高橋薫 高島政子 寺島理恵 西尾千枝 西沢安三 宮島静美 美谷島昇 宮原千治
宮原孝子 向山純子 矢口哲平 山崎洋子 山室やすい 横川甚三 脇坂智子

整理作業員 池田見樹 岡沢治子 小泉ひろ美 徳成奈於子 武藤信子

遺構測量業務委託 株式会社写真測図研究所

報告書データ作成委託 三和印刷株式会社



平成7年度 上層遺構の検出 (北から)



平成7年度 上層遺構の検出 (西から)

【平成19～24年度】

調査主体者	長野市教育委員会	教育長	立岩陸秀（～H21.12）	堀内征治（H21.12～）			
調査機関	文化財課	課長	雨宮一雄（～H20）	金井隆子（H21～）	山口明（H23～）		
	埋蔵文化財センター	所長	青木和明				
	庶務担当	係長	宮沢和雄（～H20）	北村嘉孝（H21～23）	河口英明（H24～）		
		職員	吉村久江（～H20）			大竹千春（H21～）	
	調査担当	係長	千野浩（～H22）			飯島哲也（H23～）	
		主査	風間栄一（H19）			小林和子	
		主事	宿野隆史（～H20）			塚原秀之（H20～）	
		専門員	遠藤恵実子			木村夏奈（H20～22）	小池勝典（H19）
		〃	佐々木麻由子（H19）			柴田洋孝（～H20）	
		〃	高田亜紀子（H22～）			田中暁穂（H23～）	
		〃	塚原由実（H20～22）			長瀬出（H19）	西澤尚紘（H20・21）
		〃	平林大樹（H22～）			向山純子（～H20）	柳生俊樹（H22～）
		〃	山岸千晃（H19）			山野井智子（～H23）	山本賢治（H21～）
調査員	青木善子	池田寛子	多羅沢美恵子	鳥羽徳子	中殿章子	武藤信子	矢口栄子
整理作業員	倉島敬子	小泉ひろ美	清水さゆり	関崎文子	富田景子	西尾千枝	待井かおる
	三好明子	村松正子					

報告書データ編集業務委託 三和印刷株式会社



平成7年度 上層遺構の検出（西から）



平成7年度 上層遺構の検出（西から）



平成7年度 上層遺構の検出（西から）



平成7年度 上層遺構の検出（西から）

Ⅱ 遺跡と環境

遺跡の立地と遺跡群

遺跡が所在する栗田（北中）地区（旧上水内郡栗田村）及び中御所地区（旧上水内郡中御所村）は、明治22年に近隣4村とともに合併して芹田村となり、さらに大正12年に長野市に編入合併したものである。明治21年に長野駅が開業して以来、駅東口の住宅・商工業地帯として徐々に開発が進行することにより、水田と桑畑が広がる田園地帯から長野市街地南域へと変貌を遂げ、今日の景観が形成された。

その地形は、長野盆地北部域にあって裾花川により形成された扇状地にほぼ重なるもので、扇状地内の微低地を利用した用水路（堰）の発達が特徴的な景観となっている。用水路は、西から北東方向に向かって漆田川、宮川、計湯川、前堰、古川、南俣大堰、南八幡川、北八幡川と呼ばれ、裾花川が刻々と流路を変更した痕跡を示すものと理解される。このような網目状に旧流路が入り組む扇状地内にあるのは、尾根状または島状に残された微高地を選択して集落遺跡が営まれており、それら一連の地理環境を共有した多くの遺跡は「裾花川扇状地遺跡群」として包括されることとなる。御所遺跡及び中御所居館跡は、この裾花川扇状地遺跡群内にあって宮川、計湯川及び前堰によって囲まれた島状微高地の範囲に位置するものである。

遺跡群内の発掘調査状況

裾花川扇状地遺跡群においては、堆積活動が比較的活発なことから遺跡が深く埋没している状況があり、また市街化も進行していることから、遺跡の分布状況が把握されるようになったのは比較的最近のことであり、土地区画整理事業を始めとする大規模開発に伴う発掘調査の成果によるところが大きい。ただし、当該調査において確認されるとおり、遺構面まで2m以上の土砂の堆積があることを考え合わせれば、未知の遺跡が埋没地形の中に存在している可能性は高く、その全容が明らかとなるまでには至っていない。

- 1 芹田東沖遺跡 大字若里字東沖ほか、平成5～7・20年度調査、長野市教委2011『芹田東沖遺跡』
古墳後期～平安時代堅穴住居51軒、掘立柱建物14棟などを確認
- 2 芹田小学校遺跡 大字稲葉字上千田沖ほか、昭和61年度調査、長野市教委1987『芹田小学校遺跡』
平安時代堅穴住居2軒などを確認
- 3 中御所居館跡・御所遺跡 大字中御所字御所ほか、平成6・7・14・16年度～調査中、本書
古墳後期～平安時代堅穴住居70軒以上、中世城館（主郭・土塁・堀・外縁）・掘立柱建物などを確認
- 4 栗田城跡・東番場遺跡 大字栗田字東番場、昭和62・平成元・5・6年度調査、長野市教委1988『東番場遺跡』・1991『栗田城跡ほか』・1994『栗田城跡（2）』・1995『栗田城跡（3）』
古墳後期～平安時代堅穴住居、中世城館（主郭・堀・外縁）・堅穴・掘立柱建物などを確認
- 5 八幡田沖遺跡 大字稲葉字八幡田沖、平成5年度調査、長野市教委1995『八幡田沖遺跡』
弥生後期溝、古墳時代前期～後期堅穴住居18軒、奈良～平安時代堅穴住居7軒などを確認
- 6 中沢城館跡・西方遺跡 大字高田字西方、平成6～8・10・11年度調査、長野市教委1998『西方遺跡・中沢城館跡』・2004『西方遺跡（2）』
古墳前期堅穴住居4軒、古墳後期堅穴住居1軒、平安時代堅穴住居15軒、中世城館（堀）などを確認
- 7 南向塚古墳 大字高田字南向、未調査、長野市2003『長野市誌』第12巻資料編
長野盆地平地部では唯一の前方後円墳と目されるが、埋葬施設や出土遺物については不明

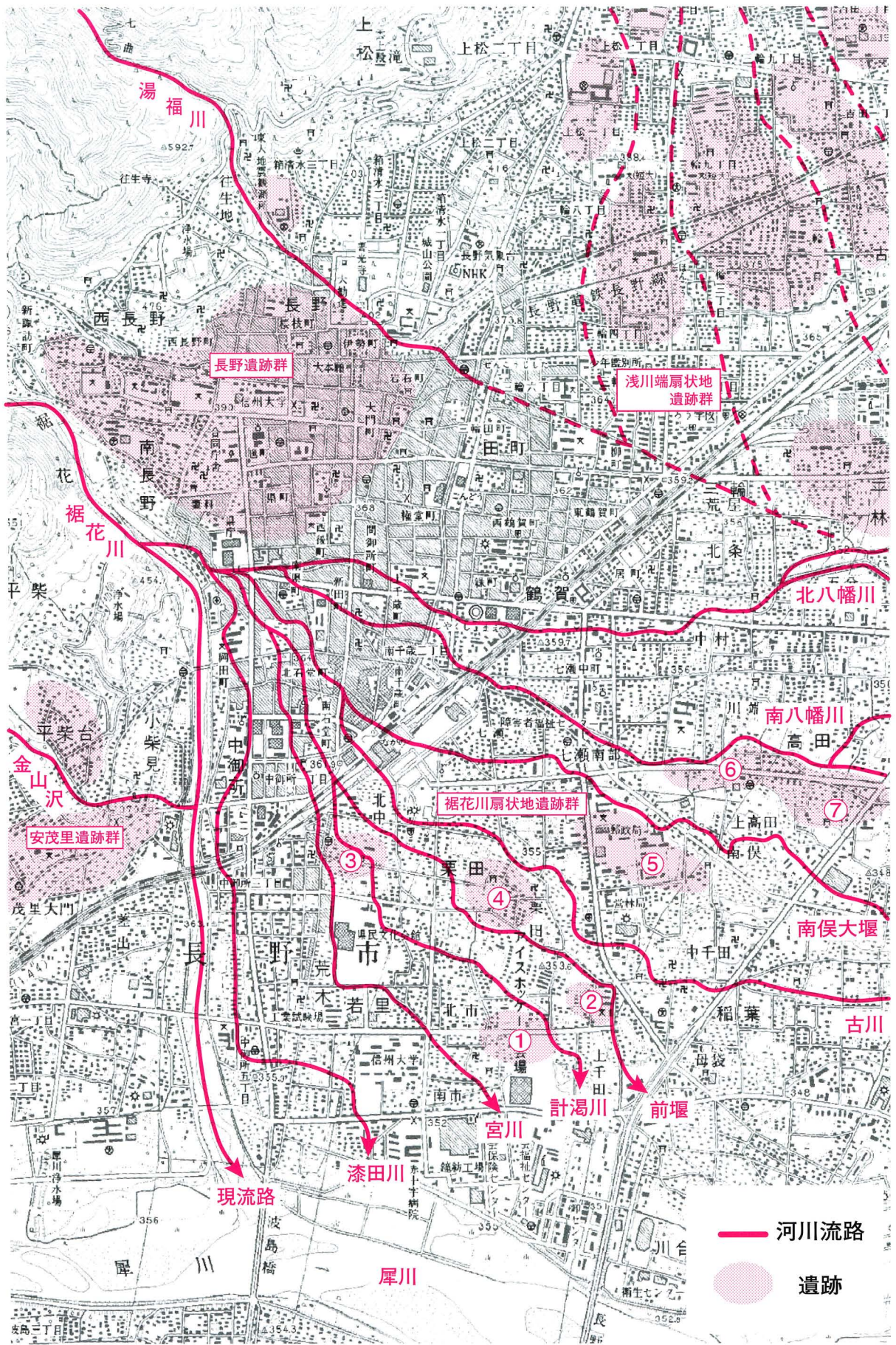


図2 遺跡の立地と遺跡群 (1 : 25000)

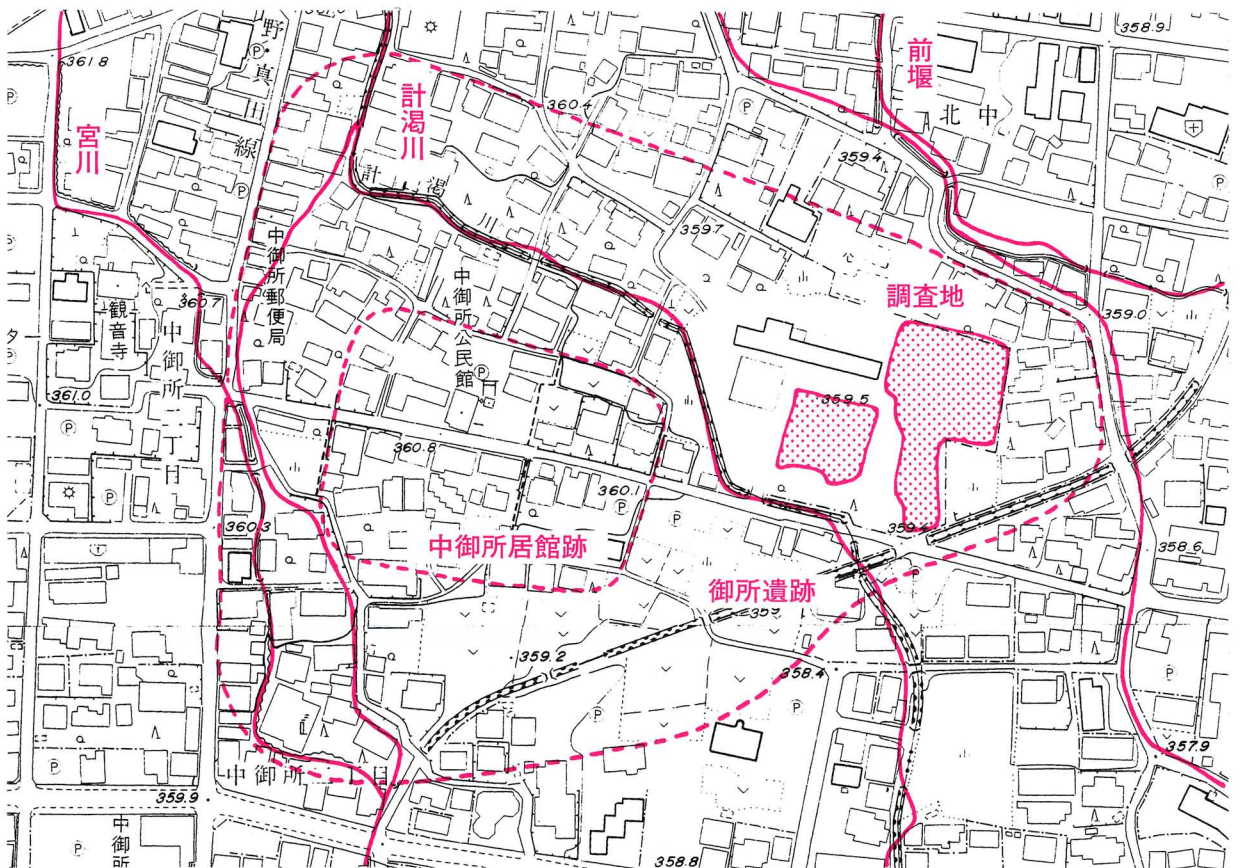
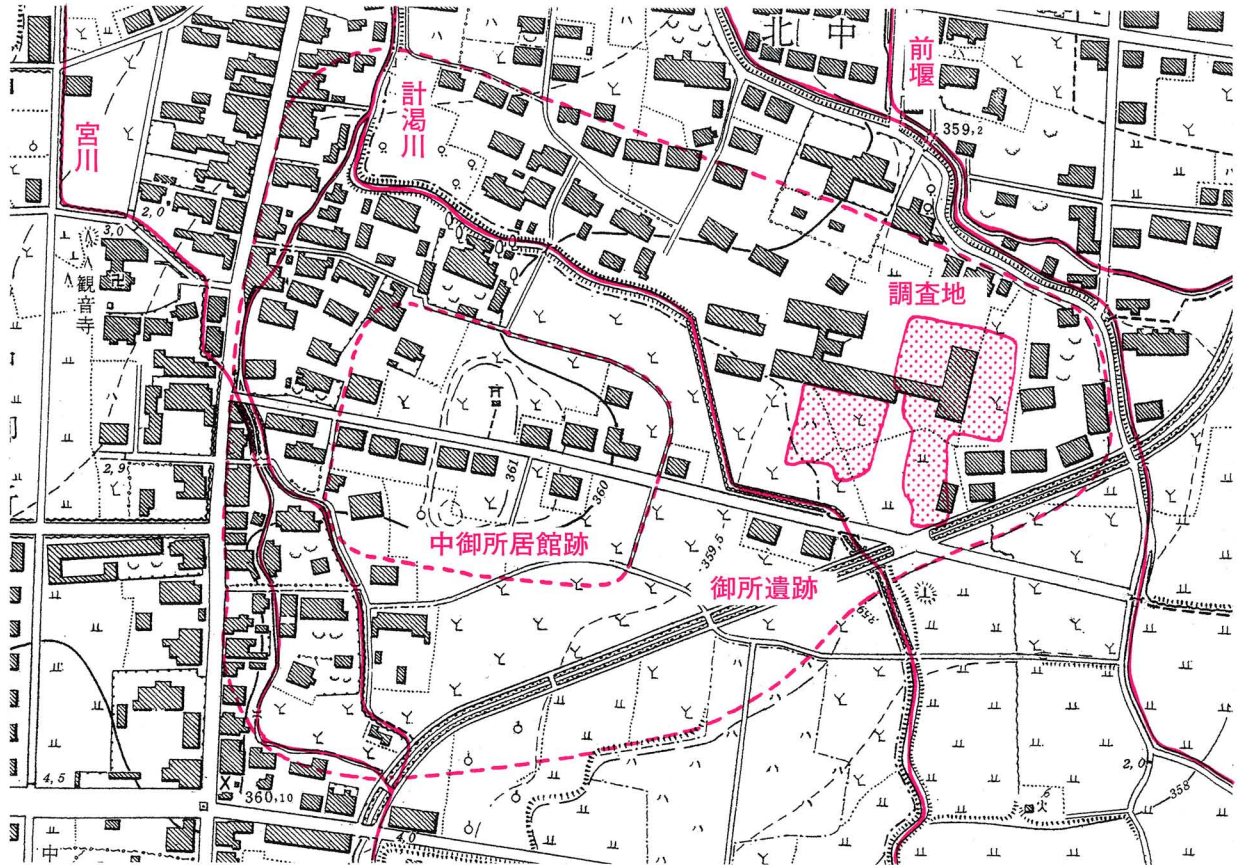


図3 遺跡周辺の地形と遺跡範囲 (1:3000)

上段—大正14年測量・昭和27年修正図 下段—平成元年測量・平成7年修正図

Ⅲ 調査概要

1 土層堆積と遺構検出面

造成工事予定地は、旧国鉄が設置した教育施設「長野鉄道学園」の跡地であり、調査時の平成6年段階には旧建物は既に撤去され、その後に建設された「JR東日本長野社員寮」の建物を除いては空地の状態にあった。

鉄道学園敷地造成時の盛土によって地形は改変され、建物等の撤去に伴って攪乱を受けている状況もあるが、旧来は計渴川沿いに発達した水田域であり、標準的な土層堆積状態は概ね次のとおり把握された。

- 第1層：地 表～ 表土層
(鉄道学園敷地の盛土整地層)
- 第2層：0.5m～ 灰褐色粘土・シルト互層
(旧水田耕作層、中世遺物を包含)
- 第3層：1.5m～ 黒褐色シルト質粘土層
(平安時代～中世遺物包含層)
- 第4層：1.7m～ 黄褐色細砂～砂質シルト層
(氾濫堆積層)
- 第5層：2.0m～ 黒褐色シルト質粘土層
(古墳時代～平安時代遺物包含層)
- 第6層：2.3m～ 黄褐色砂質シルト層
(基盤層、下部は砂層へと漸移)

土壌は、裾花川扇状地を形成する一連の堆積物で構成され、急激な氾濫堆積を示す第4層を挟んで二層の遺物包含層が存在している。上層（第3層）は平安時代中期から中世にかけての遺物包含層、下層（第5層）は古墳時代後期から平安時代中期にかけての遺物包含層であり、出土土器の年代観から判断して、上下を隔っている氾濫堆積層（第4層）の形成は平安時代中期の西暦10世紀代であろうと推測されるものである。

平成6年度調査においては、まず第4層上面を検出面として上層遺構の検出確認を行い、次いで第6層上面を検出面として下層遺構の検出確認を行った。下層検出面までの深さが2mを超えている状況に鑑み、平成7年度調査においては、上層遺構のみを記録保存の対象とし、



平成6年度 上層調査（西から俯瞰、以下同）



平成6年度 下層調査（序盤）



平成6年度 下層調査（中盤）



平成6年度 下層調査（終盤）

下層遺構の検出確認は行わない方針とした。

各年度の検出遺構・遺物の概要は、表1・2にまとめたとおりであり、確認された遺構の総体は、古墳時代後期から平安時代にかけての竪穴住居74軒、溝22本、土坑48基などである（図4）。なかでも下層においては遺構の分布密度が極めて高く、調査した約千㎡の面積の中で70軒を数える竪穴住居の存在が確認されるなど、遺構の重複が極めて著しい状況にある。このことから、遺構検出確認における誤認や、遺物取り上げにおける混同などの錯誤が多く存在しているので、注意を要する。次に、年度及び検出面毎に、調査概要をまとめる。

2 平成6年度・上層遺構の調査

平成6年度調査は造成工事予定地東半部分を対象とし、上層遺構検出における調査面積は2,250㎡を測る。検出遺構は平安時代中期以降の所産であり、竪穴住居4軒、溝10本、土坑36基と、不整形の浅い掘り込みによる性格不明遺構4基（以下「不明遺構」という。）及び小穴の分布が確認される。検出遺物は平安時代中期遺物が主体であり、出土した土器の重量は99.7kgを計る。

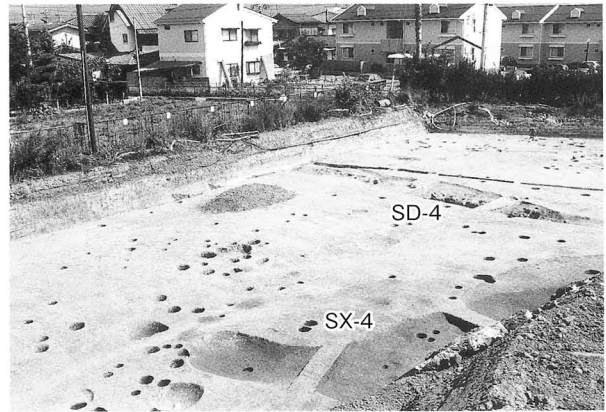
竪穴住居と土坑は調査対象地の北側に集中し、不明遺構と小穴は南側に集中してみられる。また、不明遺構と小穴は平成7年度調査対象地へと分布が連続する。

なお、上層遺構は総じて遺構覆土が不鮮明のため検出作業が難航した例が多く、位置及び平面形の確認においての誤認が多く含まれているものと思われる。

3 平成6年度・下層遺構の調査

平成6年度調査での下層遺構検出は、造成工事予定地の北東部分を対象とし、調査面積は1,130㎡を測る。

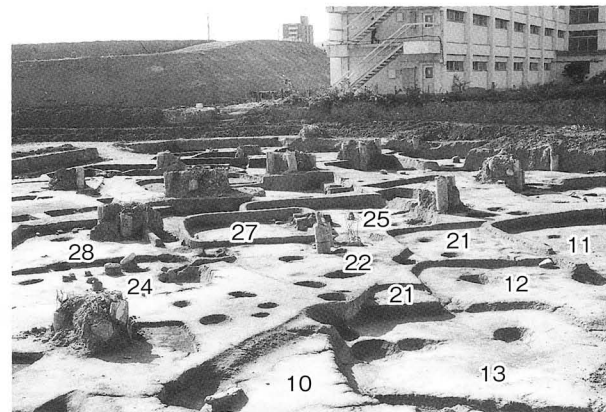
検出遺構は古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居70軒、溝5本、土坑6基等であり、激しく重複しながら密集状態で検出されている。調査面積を竪穴住居数で除して計算すると16㎡に1軒の割合で竪穴住居が分布しており、市内調査例において最も濃密な遺構分布状態を示す例として特筆される。検出遺物も多量であり、出土し



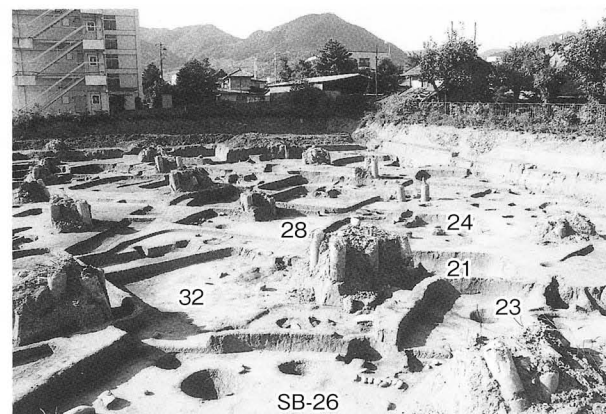
平成6年度 上層調査（南側の小穴群、北西から）



平成6年度 上層調査（北側の住居・土坑、東から）



平成6年度 下層調査（北東から）



平成6年度 下層調査（南東から）

た土器の総重量819.6kgを計り、土製品・石製品・金属製品の出土内容も豊富である。

70軒を数える竪穴住居は所属年代別に、古墳、奈良、平安の3時代に括られ、古墳時代に属するものが38軒、奈良時代が13軒、平安時代が19軒となる。奈良・平安時代と比較して、古墳時代は軒数が多く重複も著しい。竪穴住居以外の遺構として、若干数の溝、土坑、不明遺構、小穴が検出されているが、さらに多くの未確認遺構が存在していることを考慮すべきである。また、調査対象地の北東隅においては「遺物集中区」と命名した古墳時代土器の集中出土地点があり、掘り込みが確認されず不明確であるが、完形に近い出土土器が多く含まれ、滑石製模造品(白玉15点)もこれに伴う状況から、祭祀等の特殊な空間利用痕跡を示すものとして注意される。

なお、竪穴住居の重複に加えて未確認遺構が多数存在し、さらに建物基礎杭による攪乱も及んでいる状況下においては、遺構・遺物の誤認・混同は免れず、提示する資料に多くの錯誤が含まれている可能性は高い。

4 平成7年度・上層遺構の調査

平成7年度調査は造成工事予定地西南部分を対象とし、調査面積は980㎡を測る。検出遺構は平安時代中期から中世にかけての所産であり、溝6本、土坑6基、不明遺構3基と、小穴群が確認されている。検出遺物は中世遺物が主体となり、出土した土器の総重量は15.2kg、中世陶磁器(山茶碗・青磁)を僅かに含んでいる。

調査範囲を斜めに横断する溝(SD-3)から東側には、小穴群が不明遺構とともに集中的に分布し、さらに東へ広がって平成6年度調査上層遺構へと連続している。調査地西側の「中御所居館跡」外縁部における居住域施設に該当する可能性が考えられよう。また、調査対象地南西隅においては鉄道学園敷地造成時の流路変更による計渴川旧流路が確認され、さらに、それと重複して中近世に遡る流路跡と思われる溝(SD-1・2)が確認された点は注目される。調査地周辺に限定して理解すれば、用水路「計渴川」は、中世居館の外郭を画する位置に意図的に開削されていると理解すべきことが示唆される。



平成6年度 下層調査(西から俯瞰)



平成6年度 下層調査(西から俯瞰)



平成7年度 上層調査(北から俯瞰)



平成7年度 上層調査(南西から)



図4 調査区全体図 (1 : 600)

IV 遺構

調査において検出確認した遺構は、調査年度毎に、遺構種別の一連の番号を付し、各遺構の概要（所属時期、形態・施設・規模等検出状況、出土遺物）を一覧表に集約した（表1・2）。

遺構測量図に関しては、調査区全体図（1:600）、上・下層遺構全体図（1:250）及び下層遺構実測図（1:100）を掲載した。また、遺構写真については、調査年度・遺構種別に集成して図版とした。

なお、図及び写真においては、遺構名を次の記号によって表記している。

竪穴住居：S B 溝：S D 土坑：S K 不明遺構：S X

1 平成6年度・検出遺構

(1) 竪穴住居

上層検出面で4軒、下層検出面で70軒、合計74軒を検出している。上層検出住居は平安時代中期以降の所産、下層検出住居は古墳時代後期から平安時代中期までの所産となっている。時代別の内訳としては、古墳時代が38軒、奈良時代が13軒、平安時代が24軒である。

形態の変遷

下層検出遺構については重複が著しいため、全形が確認できる例は少数にとどまるが、規模、主軸方位、柱穴の有無、カマドの敷設位置などによる住居形態の属性から、時代毎の特徴と傾向を抽出することができる。

古墳時代に属する竪穴住居は、一辺7m前後の大形住居（20・26号）も存在するが、一辺5m前後（16・23・25・41・50・54・64・67号）又は4m前後（13・24・29・33・37・42・52・60号）の規模による方形竪穴が一般的となる。主軸は南北方位から西に40度ほど傾いて設定され、4本の柱穴を配することが通例と考えられる。柱穴内に柱痕跡を残す例も散見される。カマドは北壁に位置し、壁から袖をのばすように造り付け、袖の両先端部には焚口の天井部（梁石）を支えるための石材が据え置かれる例（23・24・26・29・31・54号）が多く、梁石が遺存している例（24・31・54号）も確認される。また、石材に代えて長胴甕を据え置いた例（60号）や、焚口の床面に礫を敷き並べた例（26号）、も存在する。

奈良時代に属する竪穴住居は、一辺5m前後で柱穴を配した住居（9・15・46号）と、一辺4m以下で柱穴を有さない住居（36・55・66・68・70・73号）の二者に分かれる。前者は古墳時代的、後者は平安時代的な規格に連なるものとなる。また、一辺3m以下の小形住居（63号）も存在している。主軸は古墳時代住居と共通の方位を示すが、南北方位に近づく例（73号）もある。カマドは北壁に位置し、古墳時代と同様に壁に造り付けて住居内に構築する例（9・15・46・68号）が残る一方、壁を掘り込んで壁外に張り出すように構築する例（36・63・66・73号）が出現する。また、カマド本体が壁外に張り出す構造から壁面に焚口が設けられ、梁石を支えるための石材は壁面に据え置かれる（36・68・73号）。

平安時代に属する竪穴住居は、一辺4m前後の住居（8・32・40号）とそれより一回り小さい一辺3m前後の住居（27・58・59・69号）が一般的であり、いずれも柱穴を有さない。一方、柱穴を有した長辺6～7mの大形長方形住居（34・35）も存在しているが、後述のとおり一般住居とは機能・用途を異にした例である可能性が指摘できる。主軸は南北方位を示すもの（32・34・44・59・69号）と西に傾くもの（8・17・27・40・68号）の二者が認められる。カマドの位置は、北壁に設置するもの（27・32・35・40・59・69号）が多いが、東壁（44・58

号)や西壁(5号)も存在し、時代の新しい上層検出遺構では北西隅に設置する例(1号)もある。カマドの構造は奈良時代に引き続いて壁外に張り出すように構築される例(5・32・35・59・68・69号)に加え、石材を組み合わせて壁面に構築される例(1・27・40号)も出現し、次第に堅牢な構造をとる傾向が認められる。

特異な竪穴住居

平安時代の大型住居である34号住居は、長辺7.4m、短辺5.8mの長方形を呈し、床面は平坦かつ強く叩き締められ、柱穴が配されている。カマド施設は確認されていないが、床面の南東隅でカマド構築材の可能性をもつ集石が検出されていることから、撤去された状態を示している可能性もある。出土遺物のうち実測土器をみると、偏重した様相が認められ、土師器杯類が突出して多く、煮沸用の甕類が皆無となっている。また、覆土中には炭化物と焼土塊が多数混入しており、埋没の過程においても特殊な状況があったと認められよう。なお、上層遺構として確認した3号溝は、当該住居北壁部分の覆土上層を誤認したものである。したがって、3号溝出土遺物は34号住居出土遺物と見なされることとなる。

奈良時代の小形住居である63号住居は、方形の掘り込みにより堅緻な床面を形成し、北壁にカマドを敷設するなど竪穴住居として要件を満たしているが、その規模においては一辺2.5mに満たない極小の床面積であり、類例を知らない。寝食を伴う生活の場としての居住施設というよりは、カマド部屋など限定された用途に供された施設である可能性が高い。

複数のカマドを有する竪穴住居

多数検出された竪穴住居のなかで、痕跡も含めて複数のカマドを敷設している住居が散見される。

平安時代の27号住居では、北壁西よりに位置するカマドに隣接して旧カマドと思われる燃焼室の一部が遺存する。奈良時代の47号住居も、北壁西よりに位置するカマドに隣接して旧カマドと思われる煙道が遺存する。奈良時代45号住居では、煙道2本が北壁において0.6m間隔で並列し、西側の煙道が旧カマドの痕跡を示すと考えられる。古墳時代56・60号住居では、2基のカマド及び煙道が北壁において1.2～1.5m間隔で並列している。56号住居は西側のカマドの遺存状況が良好であり、東側が旧カマドとなる可能性が指摘できる。60号住居では東側カマドの遺存状況が良好であり、西側カマドは燃焼室底面を残して除去された状態にある。

56・60号住居に関しては二箇所のカマドの位置関係・間隔を考慮すれば、並存関係にあったと考えることも可能であるが、いずれの例もカマドを同時に使用したものではなく、何らかの理由による付け替えを示す例と理解することが妥当となろう。カマド付け替えの動機としては、煙道が詰まるなど使用不能となったことによる必要性や、住居の拡張等によって位置を変更する必要性が想定できるが、どちらの場合も、長期にわたる竪穴住居使用の結果による修繕の痕跡を示していると理解することが可能である。

出土遺物が混同している竪穴住居

当調査では竪穴住居が著しく重複することに加えて未確認遺構も多数存在すると想定されることから、遺物の混同が免れない状況となっている。なかでも、次に掲げる竪穴住居に関してはそれが甚だしいと考えられるので、注意を要する。

10号住居は平安時代住居であるが、床下遺物として取り上げた土器(SB10-3・4)は奈良時代の所産であり、下部に未確認の別遺構が存在しているものと考えられる。

42号住居は形態から古墳時代住居と判断されるが、同期所産の土器とともに平安時代所産の土器も相当数含まれており、未確認の平安時代遺構が重複存在しているものと考えられる。

48号住居からは古墳時代中期相当の高杯4個体が出土しているが、住居に敷設されたカマドが壁外に張り出す形式であることから同期に遡るはずはなく、出土した高杯は未確認の別遺構に伴うものと考えられる。

(2) 溝

上層検出面で10本、下層検出面で5本、合計15本を検出している。上層検出溝は平安時代中期以降の所産、下層検出溝は古墳時代から平安時代中期までの所産である。

上層検出面の西側で検出された7号溝は、出土遺物は僅少であるが平安時代中期の所産と判断される。規模は幅員2m前後を測る大形で、南北方向から東にやや傾いた方位で直線的に開削されている。2m隔てた東隣には4・5号溝が断続的ではあるが並行配置され、一連の溝施設として理解することができる。南側で検出された8・9号溝は、東西方向に走る溝であり、同じく平安時代中期の所産と判断されるものである。8号溝からは奈良時代遺物が相当量出土しているが、下層遺物の混入と考えることが妥当である。中央付近で検出された11号溝は、平成7年度調査区に連続する東西方向の溝で、黄褐色細砂を覆土としており、近世以降の農耕に伴う水路の痕跡と推定される。

(3) 土坑・小穴

発掘調査で検出される大小の穴に関しては、大きさの観点から、人間が入れる大きさのものを「土坑」、それ以下の小さなものを「小穴（ピット）」と呼ぶ場合がある。また、用途の観点から、「土坑」と呼ぶ際には墓あるいはゴミ穴等を意識し、「小穴」と呼ぶ際には柱穴や杭痕を意識する場合もある。実際にはその区分に明確な基準は設けられておらず、曖昧といわざるを得ない。当調査においても、両者を使い分けているが、区分した根拠は特段にはない。

上層検出面には比較的多数の土坑が分布し、その数は36基以上を数え、調査区の北側に集中する。出土遺物から所属時期が判明する例から平安時代中後期の所産と考えられるが、一部には中世にまで降るものも含まれると推定される。調査区の南側には、土坑に加えていくつかの小穴群が観察される。規則的な配列を確認することはできないが、掘立柱建物に伴う柱穴あるいはそれに付属する塀・柵等の工作物の痕跡を示すものと理解される。出土遺物から所属年代を特定することは困難であるが、平安時代中期以降中世にかけて継続的に形成されたものと想定される。

下層検出面においては、6基以上の土坑が検出されているが、重なり合う竪穴住居の合間で確認し得たものであり、未確認のものがそれを上回ることは確実であろう。なお、下層検出面の調査区中央南よりには径1m～50cmの土坑・小穴が集中分布する。配列がやや不規則ではあるが、掘立柱建物の存在を思わせる。

(4) その他の遺構

大形ではあるが不整形で掘り込みも浅く床面やカマド等の施設も判然としない遺構を不明遺構（SX）とし、上層検出面で4基、下層検出面で1基を検出している。上層検出面の1・2号遺構及び下層検出面の5号遺構は平安時代の所産であるが、上層検出面の3・4号遺構は位置関係から見て小穴群との連関が予想され、平成7年度調査区とあわせて中世居館跡の外郭部を構成する居住関係遺構として位置づけられる可能性がある。

2 平成7年度・検出遺構

(1) 溝

大小6本の溝が検出されているが、6号溝は記録不備により位置不詳となっている。

調査区の南西隅に位置する1号溝及び2号溝は、鉄道学園敷地造成に伴って埋め立てられた近代の計湯川旧流

路に重複し、ともに計舘川の旧流路を示すものと理解される。出土遺物から、1号溝は中世段階、2号溝は近世段階に機能した流路と考えられる。1号溝の検出範囲は僅かであり、2号溝も南縁が不明であるが、幅員は5m前後、深さは1.5mを超える掘り込みと推定され、近代計舘川とほぼ同じ河道の規模と考えられる。

調査区を北西から南東にかけて斜めに横断する3号溝は、鉄分等を沈着した砂礫質の覆土により、同じく水路として機能したものと考えられる。中世遺物を包含することから、中世段階の計舘川との関連した施設となる可能性が示唆され、また、当該溝を境として東側に土坑、小穴群及び不明遺構といった居住関係遺構が分布している状況も注意される。

調査区の北側においては東西方向に走る4号溝と南北方向に走る5号溝が位置する。幅員は1.2～0.5mと小規模で、出土遺物から平安時代後期の所産と判断される。両溝と重複して直線的に東西に走る溝が存在し、平成6年度調査区へと連続しているが、近世以降の農耕に伴った水路の痕跡と理解される。

(2) 土坑・小穴

3号溝と4号溝とに挟まれた調査区の東側において濃密な分布が認められる。

土坑は6基以上を数え、1号土坑からは平安時代後期から中世の所産となる土器がまとまって出土しており、大方は同時期に属するものと推定される。これら土坑とともに形成される小穴群は、規則的な配列は未確認であるものの、掘立柱建物に伴う柱穴あるいはそれに付属する塀・柵等の工作物の痕跡を示すものと理解され、中世城館跡の外郭部を構成する居住関係遺構となる可能性が指摘できる。

(3) その他の遺構

大形ではあるが不整形で掘り込みも浅く床面やカマド等の施設も判然としない遺構を不明遺構(SX)と呼び、3基を検出している。

1号遺構は深さ5cm前後の浅い掘り込みながら、平面形は5×3.5mの長方形に近い。底面は土間状に堅く平坦であり、竪穴住居に近い形態を観察することができる。出土遺物から平安後期から中世にかけての所産と判断される。2号遺構は平面形が判然としないが、深さ5cm前後の浅い掘り込みにより、底面は軟弱である。底面の中央部には径50cm内外の焼土塊が形成されており、カマドに類する施設が設置された痕跡とも考えられる。また、西隣にも深さ10cm程度の不整形な掘り込みが存在し、底面の一部に焼土及び炭化物の堆積が観察される。青磁等の出土遺物があり、所属年代は中世段階と判断される。3号遺構は1号遺構の南側に隣接し、深さ5cm弱の浅い掘り込みで長辺6mの不整形を呈する。西隅には径50cm内外の焼土塊が形成されるとともに、炭化物を多量に混合した堆積範囲が観察され、カマド的な施設が付設されていた可能性が示唆される。出土遺物は僅少であるが、平安後期から中世の所産と判断して誤りない。

2・3号遺構で観察された焼土塊や炭化物の堆積を、日常生活における煮炊き等の痕跡として理解するなら、これら不明遺構が竪穴住居類似の居住施設であった可能性が高まる。また、分布を同じくする小穴群も含めて、中世居館跡の外郭部を構成する居住関係遺構として位置づけることにも、無理は生じないと思われる。

表1 平成6年度調査 遺構一覧表

遺構名	記号	地区	時代 (期)	遺 構		出 土 土 器			その他出土遺物	遺物注記 (整理No.)	
				形態・施設・規模	備考	重量 (g)	実測	特記	土・石・金属製品他		
1号住居	SB-1	上層	平安	方形(3.8×3.4m)	北西隅カマド		3,040	5		鉄塊・鉄滓	SB1-1～4
2号住居	SB-2	上層	平安	方形 (3.3×3.4m)			6,050	12		鉄滓・骨片	SB2-1～3
3号住居	SB-3	上層	平安	方形 (3.6×?m)			2,860	9	鏡書		SB3
4号住居	SB-4	上層	平安	方形 (?×3.7m)			900	1		鉄片	SB4
5号住居	SB-5	下層	平安	?	西壁カマド	カマドのみ 検出	2,120	8			SB5-1・2
6号住居	SB-6	下層	平安	方形 (4.8×?m)		SB-8・9に重 複	2,690	11			SB6
7号住居	SB-7	下層	平安	方形 (?m)		SB-16・17に 重複	1,640	2			SB7-1・2
8号住居	SB-8	下層	平安	方形 (4.0×?m)		SB-12・13に 重複 SB-6が重複	9,510	23			SB8-1～4
9号住居	SB-9	下層	奈良	方形 (4.3×4.3m)	北壁カマド 柱穴	SB-11・12に 重複 SB-6が重複	8,930	7		鉄滓	SB9-1～5
10号住居	SB-10	下層	平安	?		SB-13・14と 重複	11,440	25	甌・獣脚	鉄滓	SB10-1～5
11号住居	SB-11	下層	古墳 ?	方形 (?m)	柱穴	SB-9・12が重 複	540	0			SB11
12号住居	SB-12	下層	古墳 ?	方形 (?m)	北壁カマド 柱穴	SB-11 に重 複 SB-8・13が重 複	690	0			SB12-1・2
13号住居	SB-13	下層	古墳	方形 (?×4.1m)	柱穴	SB-12に重複 SB-8・14が重 複	8,630	3		鉄滓・管玉・紡錘車・ミ ニチュア	SB13-1～3
14号住居	SB-14	下層	平安 ?	?		SB-13に重複	2,630	0		白玉・紡錘車	SB14
15号住居	SB-15	下層	奈良	方形 (5.4×4.7m)	北壁カマド 柱穴	SB-19・20に 重複	22,670	16		骨片・ミニチュア・蔽石・ 炭化物・編物石	SB15-1～7・No1 ～4
16号住居	SB-16	下層	古墳	方形 (5.5×5.0m)	北壁カマド 柱穴	SB-18に重複 SB-7・17が重 複	20,660	14		勾玉・ミニチュア・土玉・ 骨片	SB16-1～4
17号住居	SB-17	下層	平安	方形 (3.2×?m)		SB-16に重複 SB-7が重複	3,780	3			SB17-1・2
18号住居	SB-18	下層	古墳 ?	方形 (5.4×?m)	柱穴	SB-19に重複 SB-16が重複	0	0			
19号住居	SB-19	下層	古墳	?		SB-15・18・ 20が重複	1,480	1			SB19
20号住居	SB-20	下層	古墳	方形 (7.2×6.4m)	北壁カマド 柱穴	SB-19に重複 SB-15・62が 重複	61,270	57		円板・ミニチュア・管玉・ 白玉・土玉・鉄片・種子・ 石皿	SB20-1～7・No1
21号住居	SB-21	下層	古墳	方形 (?m)	柱穴	SB-11・12・ 22が重複	3,590	3			SB21-1～3
22号住居	SB-22	下層	古墳	方形 (?×4.4m)	柱穴	SB-21・28に 重複 SB-25・27が 重複	7,220	11		円板・鉄滓・骨片	SB22-1・2・No1 ～4
23号住居	SB-23	下層	古墳	方形 (5.1×?m)	北壁カマド 柱穴	SB-29・31に 重複 SB-26が重複	14,000	8		土玉・砥石・支脚・鉄滓・ 骨片	SB23-1～6・No1
24号住居	SB-24	下層	古墳	方形 (4.3×4.2m)	北壁カマド 柱穴	SB-28に重複	10,770	11		ミニチュア・円板?	SB24-1～4・No1
25号住居	SB-25	下層	古墳	方形 (4.9×4.4m)	北壁カマド 柱穴	SB-22・30に 重複 SB-27が重複	13,560	11		鉄片・ミニチュア・羽口?	SB25-1～3
26号住居	SB-26	下層	古墳	方形 (6.8×?m)	北壁カマド 柱穴	SB-23・31に 重複 SX-5が重複	36,520	18	獣脚?	白玉・ミニチュア・土板・ 土玉・骨片	SB26-1～8

遺構名	記号	地区	時代(期)	遺構		出土土器			その他出土遺物	遺物注記(整理No.)
				形態・施設・規模	備考	重量(g)	実測	特記	土・石・金属製品他	
27号住居	SB-27	下層	平安	方形(3.3×3.3m) 北壁カマド	SB-22・25・30に重複	10,690	8	墨書	土板・剥片・鉄片・鉄滓	SB27-1～5
28号住居	SB-28	下層	古墳	方形(?m) 柱穴	SB-22・24・30が重複	6,130	5		土玉	SB28
29号住居	SB-29	下層	古墳	方形(4.1×3.8m) 北壁カマド 柱穴	SB-23・31・32が重複	29,900	45		ミニチュア・土板・剥片・骨片	SB29-1～6
30号住居	SB-30	下層	古墳	方形(4.7×4.4m) 北壁カマド	SB-28・74に重複 SB-25・27が重複	5,210	2		ミニチュア・円板・骨片	SB30-1～5
31号住居	SB-31	下層	古墳	方形(?m) 北壁カマド	SB-29・32に重複 SB-23・26が重複	22,700	10		土板・土玉?・白玉・管玉・剥片・鉄片	SB31-1～4・No1～5
32号住居	SB-32	下層	平安	方形(4.7×4.4m) 北壁カマド	SB-29・33に重複 SB-34が重複	7,830	7		土玉・金薄板・刀子・玉石・紡錘車	SB32-1～4
33号住居	SB-33	下層	古墳	方形(4.2×?m) 北壁カマド 柱穴	SB-32・39が重複	2,400	4			SB33-1～3・No1・2
34号住居	SB-34	下層	平安	方形(5.8×7.4m) 柱穴 集石	SB-32・38・39・46・50・56に重複	22,890	77	鼎	砥石・軽石・鉄盤・鉄滓・鹿角片・骨片・炭化物	SB34-1～4・No1・2
35号住居	SB-35	下層	平安	方形(6.0×4.6m) 北壁カマド 柱穴	SB-26・30・38・42に重複	11,980	9	墨書	土玉・紡錘車・勾玉・垂飾?・剥片・骨片・鉄片	SB35-1～4
36号住居	SB-36	下層	奈良	方形(4.0×4.0m) 北壁カマド	SB-37・41に重複	13,405	4		玉石・鉄滓	SB36-1～4
37号住居	SB-37	下層	古墳	方形(4.5×4.5m) 柱穴	SB-61に重複 SB36・41が重複	4,250	1		ミニチュア・鉄片・骨片	SB37-1・2
38号住居	SB-38	下層	古墳	方形(?m)	SB-53に重複 SB-34が重複	3,470	7		円板・軽石	SB38-1・2・No1～7
39号住居	SB-39	下層	平安?	方形(?m)	SB-33に重複 SB-32・34が重複	540	0			SB39
40号住居	SB-40	下層	平安	方形(4.4×4.4m) 北壁カマド	SB-45・47・48に重複	13,640	11	四耳壺	鉄滓	SB40-1～5・No1・2
41号住居	SB-41	下層	古墳	方形(5.4×5.7m) 北壁カマド	SB-37に重複 SB-36が重複	4,220	1		砥石・骨片	SB41-1～3
42号住居	SB-42	下層	古墳	方形(4.3×?m) 柱穴	SB-35・50が重複	14,100	15		鏡・鉄片・支脚?・骨片・人歯	SB42-1～3
43号住居	SB-43	下層	古墳	方形(?×5.0m)	SB-71に重複	6,980	2			SB43-1・2
44号住居	SB-44	下層	平安	方形(?m) 東壁カマド	SB-64に重複	3,600	3			SB44-1・2・No1・2
45号住居	SB-45	下層	奈良	方形(?m) 北壁2カマド 柱穴	SB-51に重複 SB-40・47が重複	5,230	6		ミニチュア・炭化物	SB45-1・3・No1・2
46号住居	SB-46	下層	奈良	方形(?×4.6m) 北壁カマド 柱穴	SB-52・56に重複 SB-34が重複	12,750	4		土玉・骨片	SB46-1～6
47号住居	SB-47	下層	奈良	方形(?m) 北壁2カマド	SB-45・49に重複 SB-40が重複	8,110	7			SB47-1～3・No1
48号住居	SB-48	下層	古墳?	? 北壁カマド	SB-47に重複 SB-40が重複	1,570	4			SB48-No1
49号住居	SB-49	下層	奈良	方形(?m)	SB-47が重複	5,260	7			SB49-1・No1～3
50号住居	SB-50	下層	古墳	方形(?×5.6m) 柱穴	SB-42・53に重複 SB-34・35が重複	24,930	8		刀子・鏡・剥片・玉石・炭化物	SB50-1～3
51号住居	SB-51	下層	古墳	方形(?m)	SB-45・53・54に重複	3,080	3			SB51-1・2

遺構名	記号	地区	時代 (期)	遺 構		出 土 土 器			その他出土遺物 土・石・金属製品他	遺物注記 (整理No.)
				形態・施設・規模	備考	重量 (g)	実測	特記		
52号住居	SB-52	下層	古墳	方形 (3.8×?m) 柱穴	SB-46・50が 重複	1,720	2		円板	SB52
53号住居	SB-53	下層	平安 ?	方形 (?×4.9m)	SB-50が重複	6,010	2		紡錘車・炭化物	SB53-1～3
54号住居	SB-54	下層	古墳	方形 (5.1×5.7m) 北壁カマド 柱穴	SB-51に重複 SB-55・63が 重複	16,990	16		白玉・骨片・鉄片	SB54-1～7・No1 ～8
55号住居	SB-55	下層	奈良	方形 (?×3.8m)	SB-54に重複 SB-58が重複	19,930	7		紡錘車・土玉・ミニチュア・ 石皿	SB55-1～4・No1
56号住居	SB-56	下層	古墳 ?	方形 (?m) 北壁2カマド	SB-57に重複 SB-34・46が 重複	2,550	0			SB56-1～3
57号住居	SB-57	下層	平安 ?	方形 (4.6×?m)	SB56が重複	300	3			SB57
58号住居	SB-58	下層	平安	方形 (3.0×2.9m) 東壁カマド	SB-55に重複	11,720	9		土玉	SB58-1～3・No1
59号住居	SB-59	下層	平安	方形 (3.6×3.6m) 北壁カマド	SB-65～67 に重複	14,830	9	墨書	紡錘車・管玉・白玉・軽 石製品・剥片	SB59-1～5
60号住居	SB-60	下層	古墳	方形 (4.5×4.1m) 北壁2カマド 柱穴	SB-61に重複 SB-65・68が 重複	17,550	9		魚骨・骨片	SB60-1～7
61号住居	SB-61	下層	古墳	? 北壁カマド	SB-37・65が 重複	1,840	1		骨片	SB61-1・2
62号住居	SB-62	下層	古墳	方形 (6.0×?m) 柱穴	SB-20に重複	11,090	4		骨片・土製品?	SB62-1～4
63号住居	SB-63	下層	奈良	方形 (2.4×2.3m) 北壁カマド	SB-54に重複	2,950	4		鉄片	SB63-1～3
64号住居	SB-64	下層	古墳	方形 (?×5.2m) 北壁ピット 柱穴	SB-64が重複	31,770	30		砥石・紡錘車・骨片	SB64-1～4・No1 ～4
65号住居	SB-65	下層	古墳	方形 (?m) 東壁カマド	SB-60に重複 SB-59・67が 重複	3,060	2		土板	SB65-1～3
66号住居	SB-66	下層	奈良	方形 (3.4×2.5m) 北壁カマド	SB-67・70に 重複 SB-59が重複	6,070	4		玉石	SB66-1～4
67号住居	SB-67	下層	古墳	方形 (?×5.2m) 北壁カマド 柱穴	SB-65に重複 SB-59・66が 重複	6,430	2		骨片	SB67-1～4
68号住居	SB-68	下層	奈良	方形 (4.1×3.4m) 北壁カマド	SB-60・72に 重複 SB-69が重複	12,600	3		白玉・鉄紡錘車・鉄片	SB68-1～5・No1
69号住居	SB-69	下層	平安	方形 (3.3×3.3m) 北・東壁カマド	SB-68・71・ 72に重複	6,400	1		土玉	SB69-1～4
70号住居	SB-70	下層	奈良 ?	方形 (2.9×3.4m) 焼土	SB-66が重複	770	0		土玉	SB70
71号住居	SB-71	下層	古墳	? 北壁カマド	SB-72に重複 SB-43・73が 重複	4,210	2		土玉・骨片	SB71-1・2
72号住居	SB-72	下層	古墳 ?	方形 (?m) 北壁カマド 柱穴	SB-68・69・ 71・73が重複	9,890	0		玉石・歯牙	SB72-1～3
73号住居	SB-73	下層	奈良	方形 (3.8×?m) 北壁カマド	SB-71・72に 重複	9,700	6			SB73-1～3
74号住居	SB-74	下層	古墳 ?	? 北壁カマド	SB-25・30・ 41が重複	0	0			
1号溝	SD-1	上層	平安	幅～4.0m	堅穴住居?	8,900	16		石皿・玉石・炭化物	SD1-1～3
2号溝	SD-2	上層	平安	幅～1.3m	SX-1に重複	12,690	28		羽口・石皿・敲石・鏡・炭 化物	SD2-1～5
(3号溝)	(SD-3)	上層	平安		SB-34の一部 を誤認した もの	8,230	6	緑釉片	砥石・鉄滓・炭化物	SD3
4号溝	SD-4	上層		幅～0.5m	SD-5に連続	80	0			SD4

遺構名	記号	地区	時代 (期)	遺 構		出 土 土 器			その他出土遺物 土・石・金属製品他	遺物注記 (整理No.)
				形態・施設・規模	備考	重量 (g)	実測	特記		
5号溝	SD-5	上層	平安	幅～1.1m	SD-4に連続	1,480	1		剥片	SD5
6号溝	SD-6	上層	平安	幅～1.3m		4,920	13		炭化物	SD6
7号溝	SD-7	上層	奈良～ 平安	幅～2.2m		1,550	1			SD7
8号溝	SD-8	上層	奈良～ 平安	幅～0.5m		16,760	7		砥石・石皿・鉄片	SD8
9号溝	SD-9	上層	平安	幅～2.2m		300	2			SD9
10号溝	SD-10	上層	平安	幅～1.7m		2,280	3		鉄片	SD10
11号溝	SD-11	上層	近世～ ?	幅～0.7m	H7調査区に 連続	230	0			SD11
12号溝	SD-12	下層		幅～0.4m		570	0			SD12
13号溝	SD-13	下層		幅～1.1m	L字形	230	0			SD13
14号溝	SD-14	下層		幅～0.8m	SD-15と交差	2,730	0		鉄片	SD14
15号溝	SD-15	下層	古墳	幅～1.3m		1,060	1		ミニチュア・石皿	SD15
16号溝	SD-16	下層	古墳	幅～0.6m	SD-14と交差	2,120	1			SD16
1号土坑	SK-1	上層		楕円形 (長径2.3m)		120	0			SK1
2号土坑	SK-2	上層		円形 (径1.3m)		70	0			SK2
3号土坑	SK-3	上層	平安	円形 (径1.2m)		480	1			SK3
4号土坑	SK-4	上層		円形 (径2.3m)		160	0			SK4
5号土坑	SK-5	上層		楕円形? (長径2.5m)		150	0			SK5
6号土坑	SK-6	上層		楕円形 (短径1.0m)		1,740	0			SK6
7号土坑	SK-7	上層		長方形 (1.5×?m)		200	0			SK7
8号土坑	SK-8	上層	平安	楕円形 (長径1.2m)		810	4			SK8
9号土坑	SK-9	上層	平安	楕円形 (長径1.3m)		300	2			SK9
10号土坑	SK-10	上層		円形 (径1.7m)		400	0			SK10
11号土坑	SK-11	上層		楕円形 (長径1.7m)		130	0			SK11
12号土坑	SK-12	上層	平安	円形 (径0.5m)		150	1			SK12
13号土坑	SK-13	上層		楕円形 (長径0.7m)		230	0			SK13
14号土坑	SK-14	上層		楕円形 (長径1.2m)		140	0			SK14
15号土坑	SK-15	上層	平安	楕円形 (長径2.3m)		4,420	5		鉄塊	SK15
16号土坑	SK-16	上層	平安	楕円形 (長径1.1m)		80	1			SK16
17号土坑	SK-17	上層	平安	楕円形 (長径1.4m)		120	1			SK17
18号土坑	SK-18	上層	平安	楕円形 (長径1.2m)		1,900	1		骨片	SK18
19号土坑	SK-19	上層		楕円形 (長径1.9m)		110	0			SK19
20号土坑	SK-20	上層		楕円形 (長径1.4m)		210	0			SK20
21号土坑	SK-21	上層		楕円形 (長径1.9m)		250	0		銭	SK21
22号土坑	SK-22	上層		楕円形 (短径2.0m)		70	0			SK22
23号土坑	SK-23	上層		楕円形 (長径2.8m)		240	0			SK23
24号土坑	SK-24	上層		円形 (径1.4m)		110	0			SK24
25号土坑	SK-25	上層		不整形 (長4.3m)		1,470	0			SK25
26号土坑	SK-26	上層	平安	長方形 (2.5×1.9m)		670	1			SK26
27号土坑	SK-27	上層		円形 (径0.9m)		290	0		鉄片	SK27
28号土坑	SK-28	上層	平安	楕円形 (長径1.3m)		1,160	1			SK28
29号土坑	SK-29	上層		円形 (径1.6m)		280	0			SK29
30号土坑	SK-30	上層	平安	楕円形 (長径2.0m)		1,020	5			SK30
31号土坑	SK-31	上層		楕円形 (長径1.5m)		110	0			SK31
32号土坑	SK-32	上層		楕円形 (長径2.4m)		170	0			SK32
33号土坑	SK-33	上層	平安	楕円形 (長径4.5m)		2,350	19			SK33
34号土坑	SK-34	上層	平安	円形 (径1.0m)		260	1			SK34
35号土坑	SK-35	上層		円形 (径1.3m)		0	0			
36号土坑	SK-36	上層		長方形 (1.8×1.2m)		170	0		砥石	SK36
37号土坑	SK-37	下層		円形 (径1.4m)		2,120	0			SK37

遺構名	記号	地区	時代(期)	遺 構		出 土 土 器			その他出土遺物 土・石・金属製品他	遺物注記 (整理No.)
				形態・施設・規模	備考	重量 (g)	実測	特記		
38号土坑	SK-38	下層	平安	楕円形 (長径1.4m)		920	3			SK38
39号土坑	SK-39	下層	古墳	楕円形 (長径2.6m)		5,500	3			SK39
40号土坑	SK-40	下層		楕円形 (長径1.0m)		990	0			SK40
41号土坑	SK-41	下層	平安	長方形 (1.8×1.2m)		1,100	1	青磁片?		SK41
42号土坑	SK-42	下層	奈良	方形 (1.7×1.6m)		5,090	6			SK42-1・No1・2
1号不明遺構	SX-1	上層	平安	楕円形?	SD-2が重複	1,550	1		敲石・石皿	SX1-1・2
2号不明遺構	SX-2	上層	平安	不整形 (辺3m前後の浅い掘込)		2,440	1			SX2-1・2
3号不明遺構	SX-3	上層		不整形 (辺8m前後の浅い掘込)		590	0		鉄滓	SX3
4号不明遺構	SX-4	上層		不整形 (辺5m前後の浅い掘込)		260	0			SX4
5号不明遺構	SX-5	下層	平安	不整形 (辺7m前後の浅い掘込)	SB-23・26が重複	2,660	1		砥石	SX5
上層小穴	ピット	上層	平安～中世	小穴No1～51		1,780	2		鉄滓・炭化物	Pi-1～51
下層小穴	ピット	下層	古墳～平安	小穴No52～106		4,540	2		砥石・鉄片・鉄滓・骨製品	Pi-52～106・Pi群-1～3
遺物集中区		下層	古墳	調査区北東隅SK-37に隣接		16,940	22	提瓶	白玉	Po集・Po集-No1・2
上層検出面	検出面	上層	平安～中世			2,300	7	緑釉片		検出-1・2
下層検出面	検出面	下層	古墳～平安			80,010	20		ミニチュア・土玉・紡錘車・勾玉・砥石・鉄滓・炭化物・種子	検出-3～8
採集遺物		下層	古墳～平安			5,450	3		銭・鉄滓	採集
合 計						919,345	819			

表2 平成7年度調査 遺構一覧表

遺構名	記号	検出面	時代(期)	遺 構		出 土 土 器			その他出土遺物 土・石・金属製品他	遺物注記 (整理No.)
				形態・施設・規模	備考	重量 (g)	実測	特記		
1号溝	SD-1	上層	中世		中世段階の計湯川流路?	4,070	4	内耳		SD1
2号溝	SD-2	上層			近世段階の計湯川流路	1,980			クルミ核・木片	SD2-1～2
3号溝	SD-3	上層	中世	幅～2.5m		3,240	1	山茶碗	骨片	SD3
4号溝	SD-4	上層		幅～1.2m	SK-2・SX-2と重複	795				SD4
5号溝	SD-5	上層	平安	幅～0.6m	SD-4と重複	380	1		硯?	SD5
6号溝	SD-6	上層	平安	幅～2.8m	位置不詳	140	1			SD6
1号土坑	SK-1	上層	平安～中世	楕円形 (長径2.4m)		810	7			SK1
2号土坑	SK-2	上層		長方形 (4.0×1.5m)	SD-4と重複	260			鉄片	SK2
3号土坑	SK-3	上層		長方形 (1.4×1.2m)		10				SK3
4号土坑	SK-4	上層		円形? (径2.0m)		70			鉄片	SK4
5号土坑	SK-5	上層		楕円形 (長径3.3m)		10				SK5
6号土坑	SK-6	上層		楕円形 (長径1.3m)						SK6
1号不明遺構	SX-1	上層	平安～中世	不整形 (6.8×4.8m)		1,030	4		鹿角片・鉄片	SX1
2号不明遺構	SX-2	上層	平安～中世	不整形 (長辺5.7m)	SD-4と重複	610	2	青磁		SX2
3号不明遺構	SX-3	上層		不整形 (6.2×5.8m)		450			鉄片	SX2
検出面		上層				1,360			鉄滓・剥片	検出
合 計						15,215	20			



図5 上層遺構全体図① (1:250)

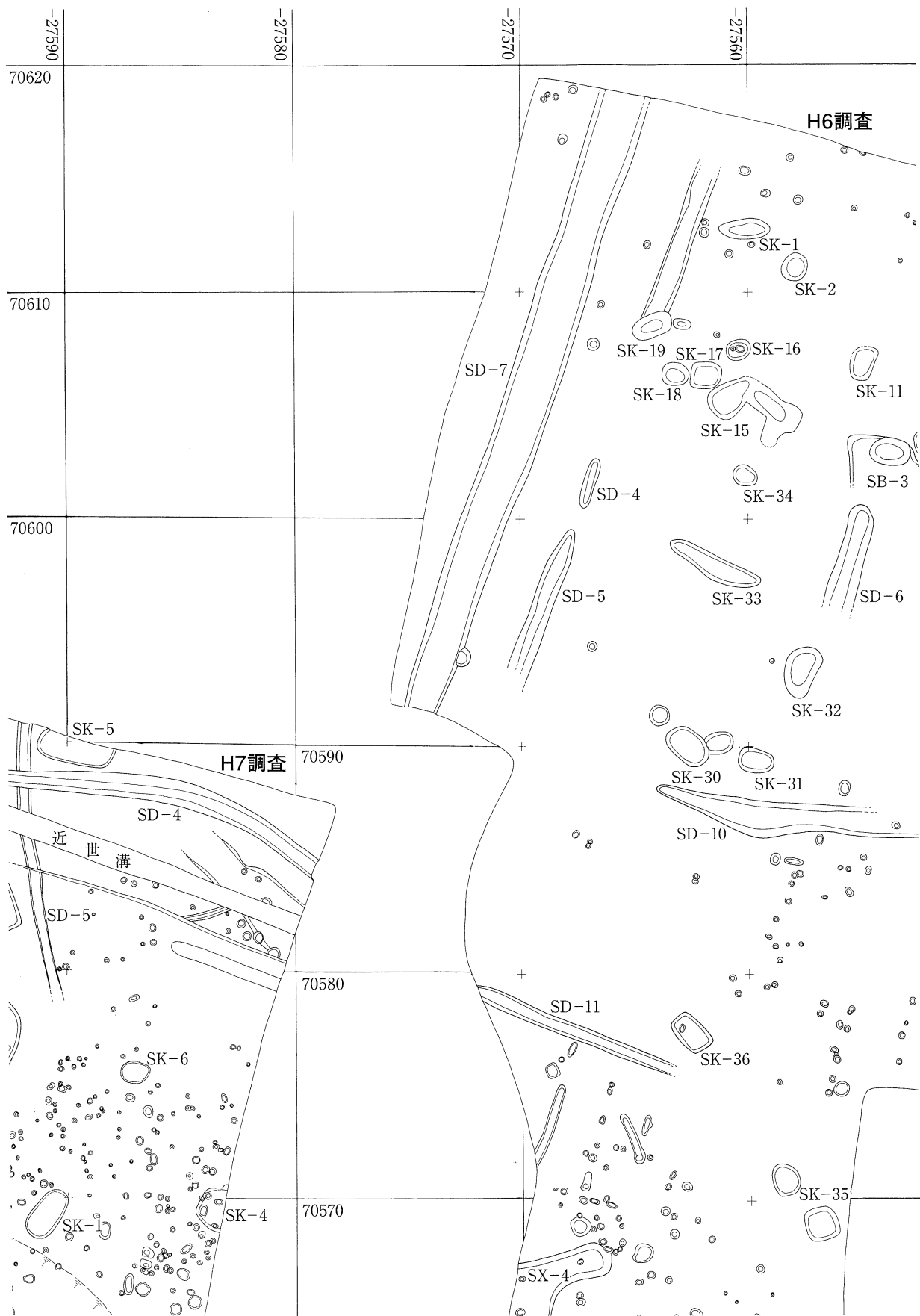


図6 上層遺構全体図② (1 : 250)



図7 上層遺構全体図③ (1:250)



図8 上層遺構全体図④ (1:250)

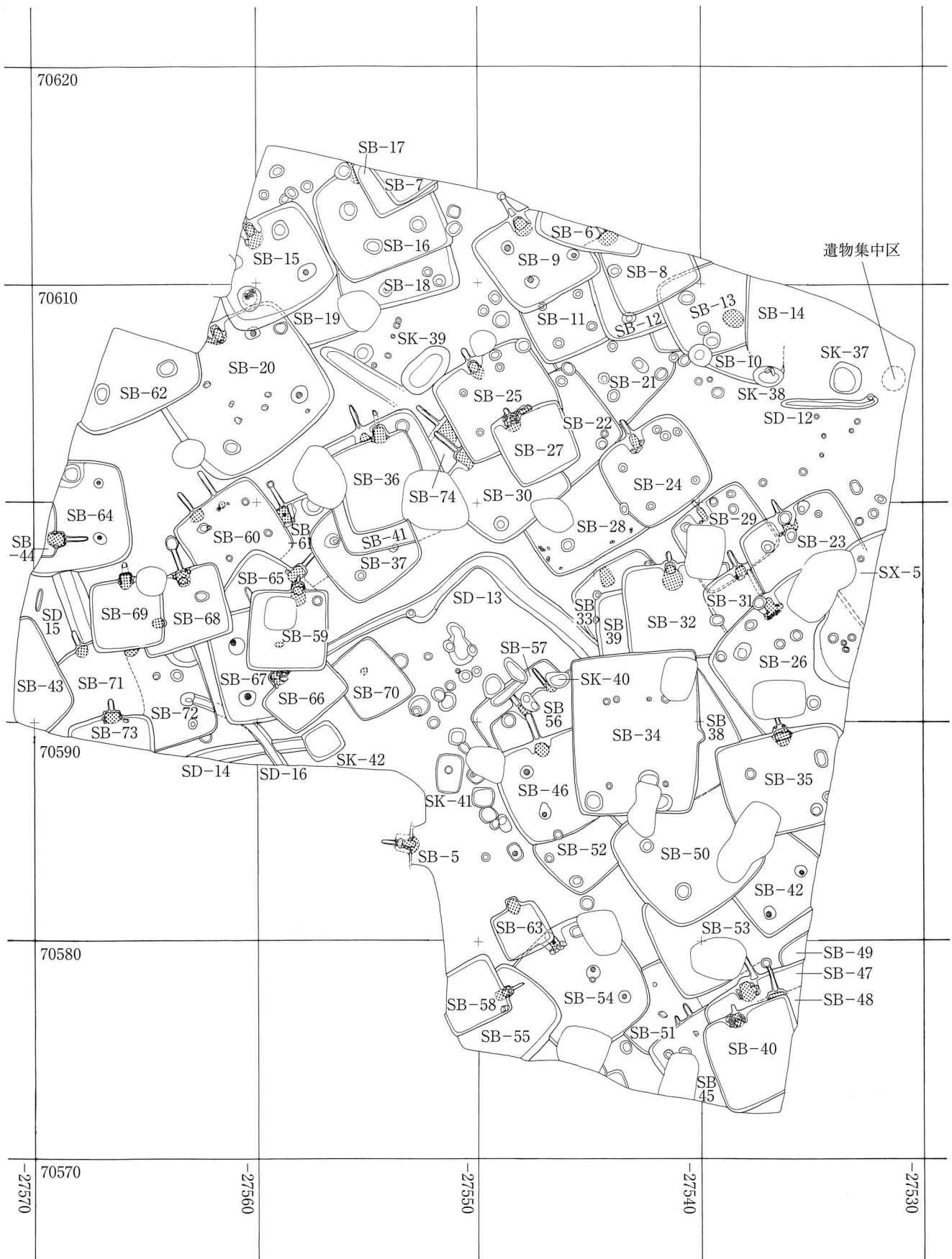


图9 下層遺構全体图 (1 : 250)

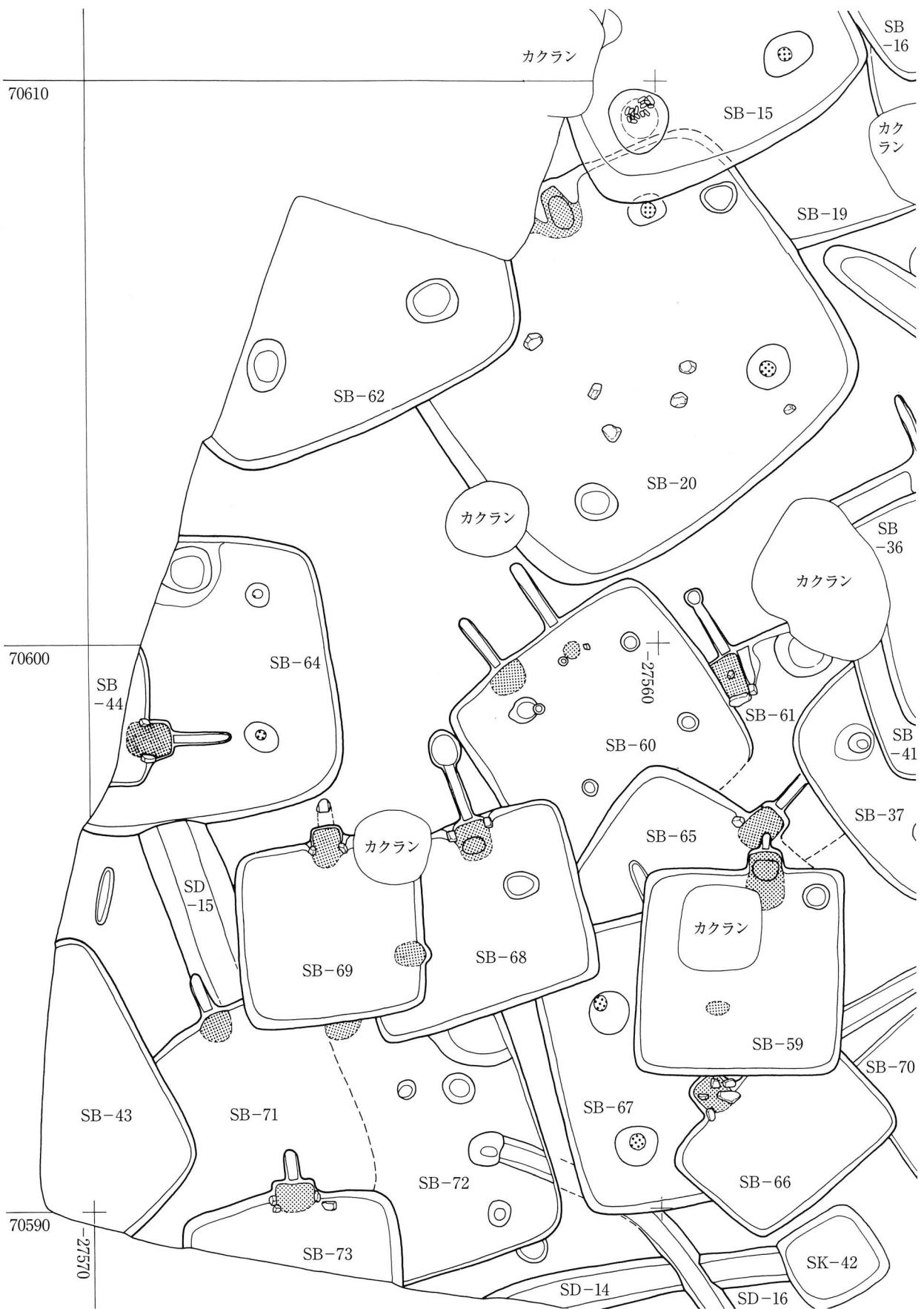


図10 下層遺構実測図① (1 : 100)

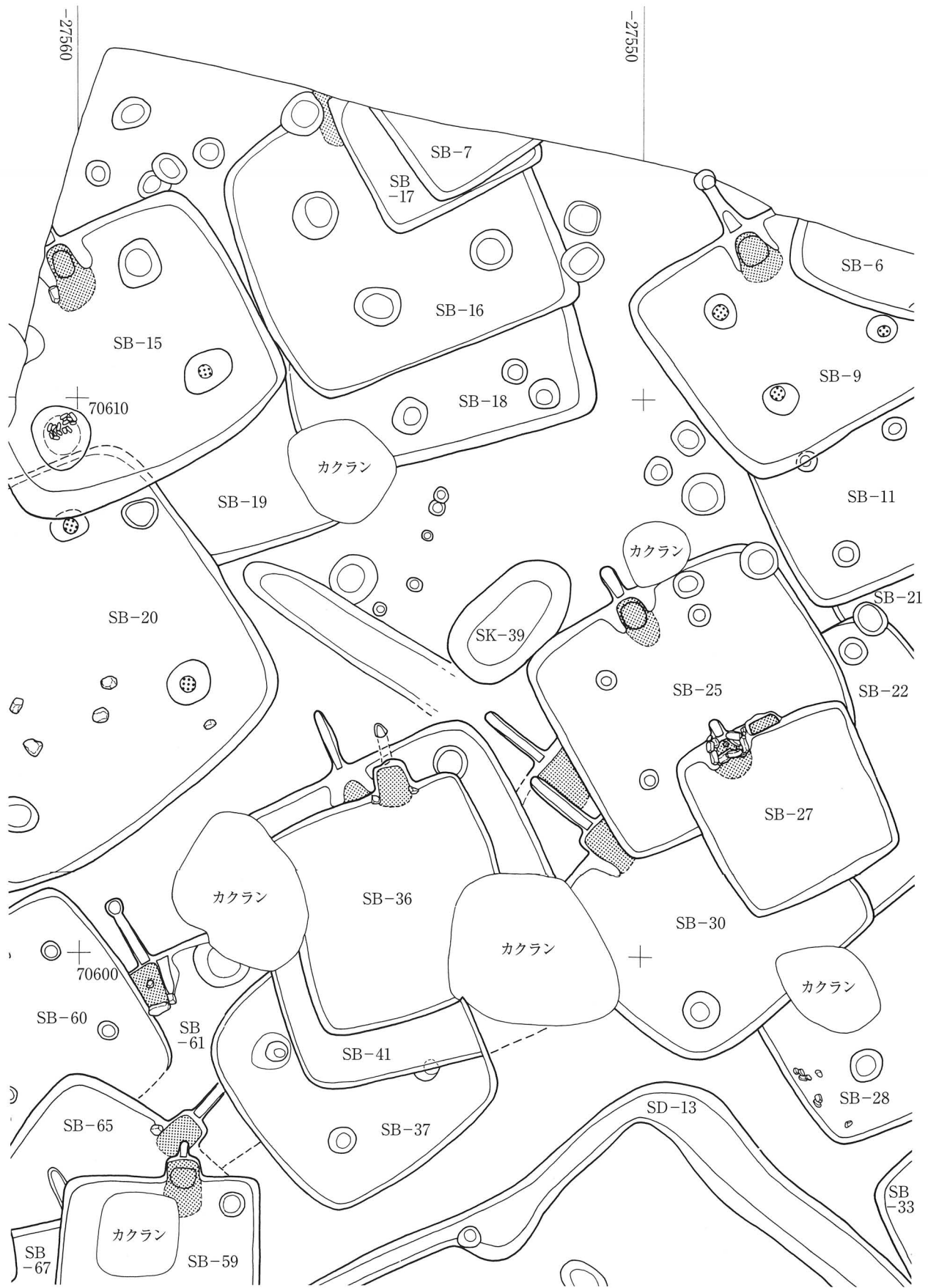


図11 下層遺構実測図② (1 : 100)

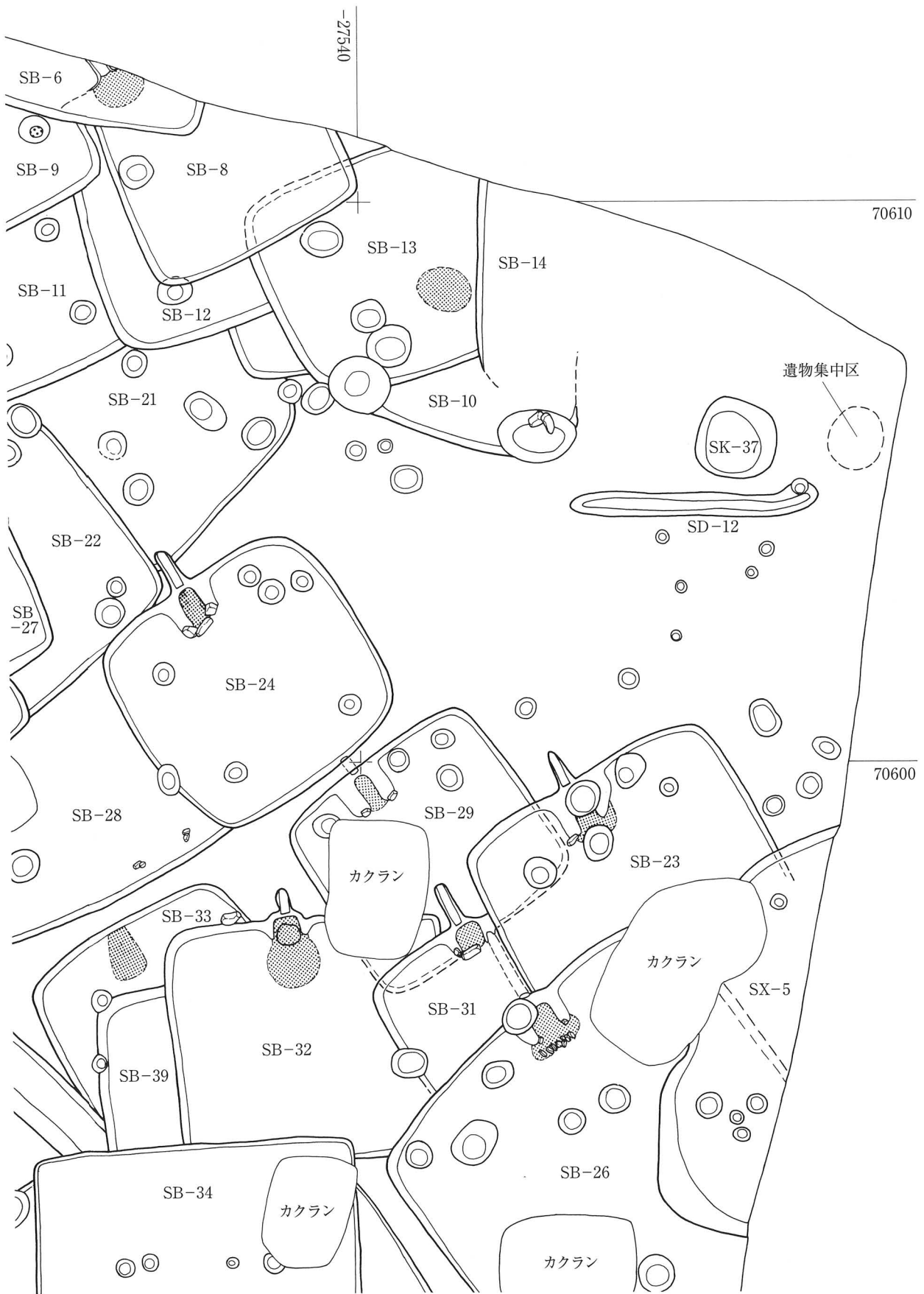


図12 下層遺構実測図③ (1 : 100)

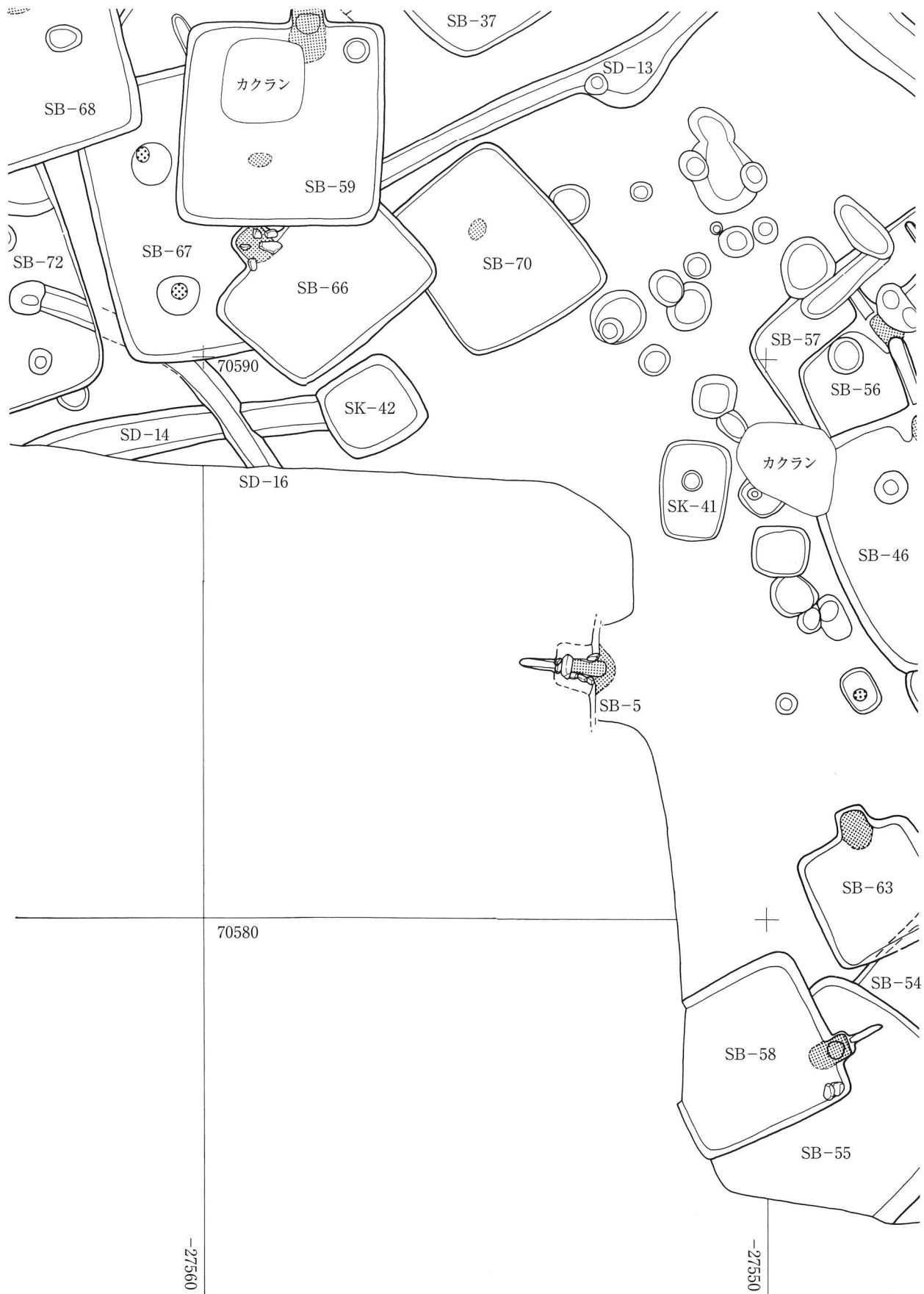


図13 下層遺構実測図④ (1 : 100)

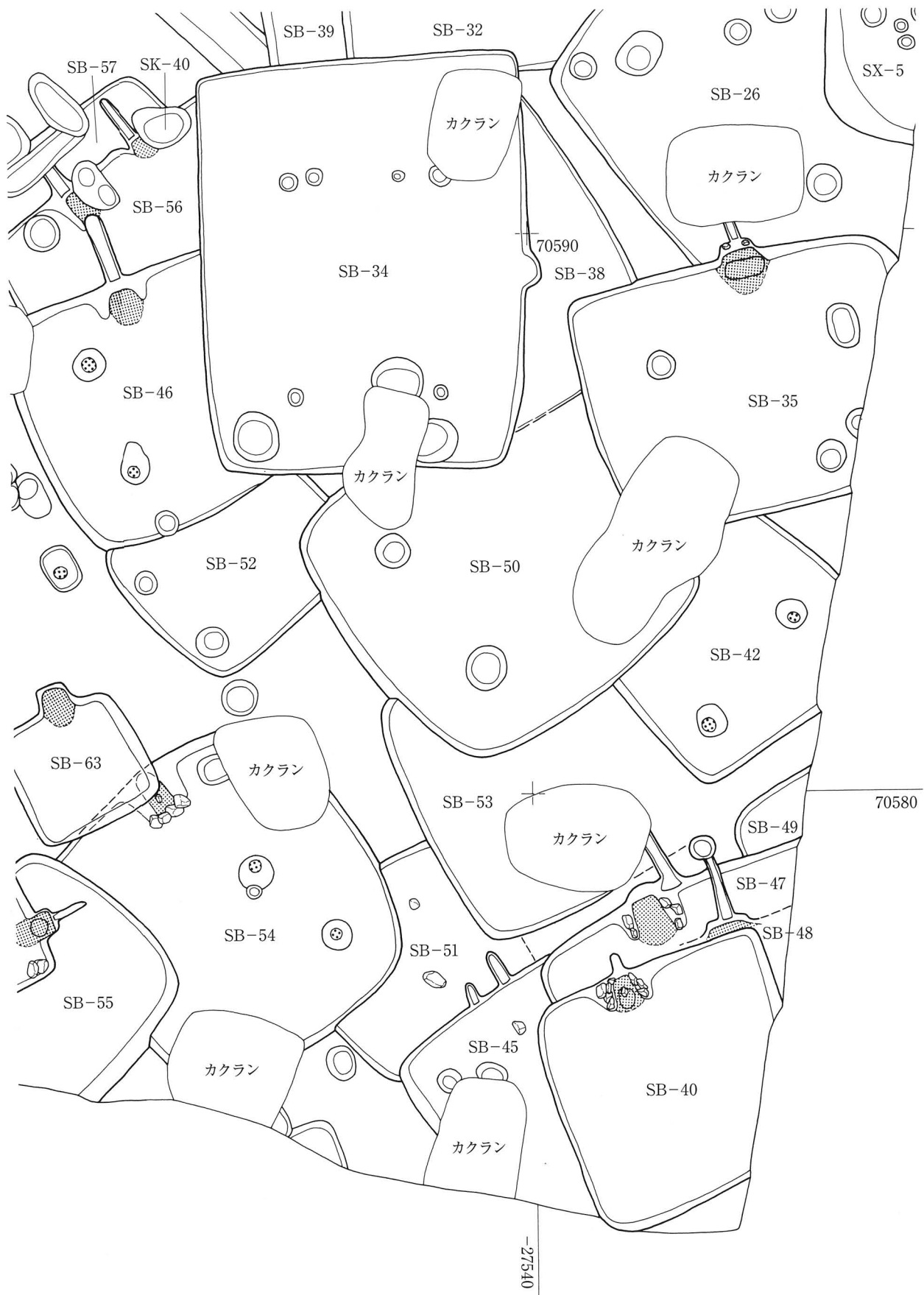


図14 下層遺構実測図⑤ (1 : 100)



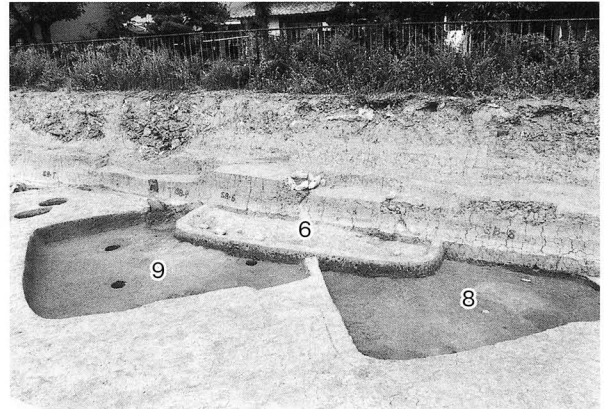
SB-1 (北から)



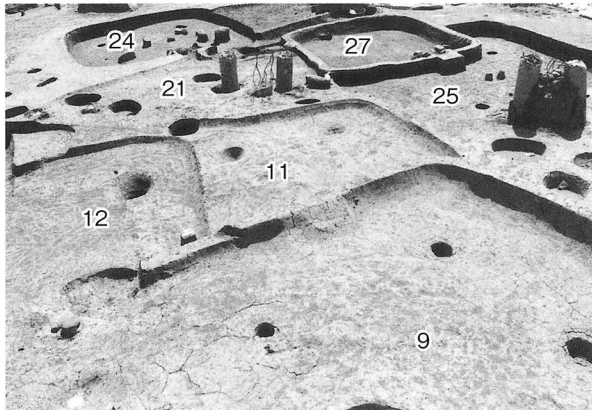
SB-2 (西から)



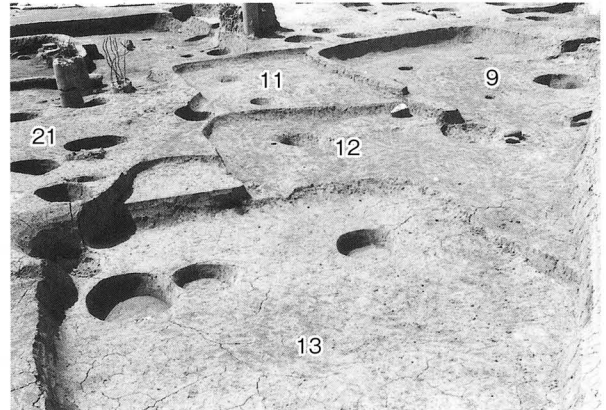
SB-5 (東から)



SB-6・8・9 (南から)



SB-9・11・12・21・24・25・27 (北西から)



SB-9・11～13・21 (北東から)

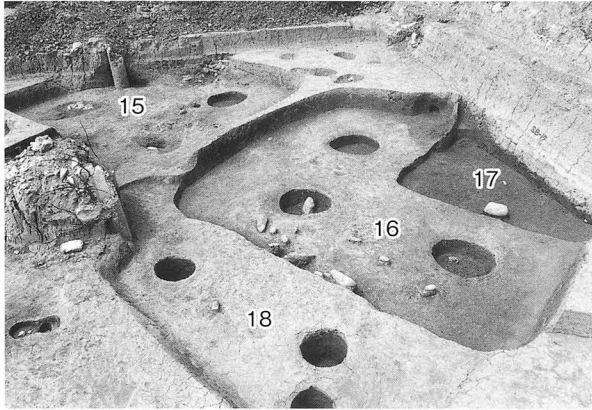


SB-15 (南から)

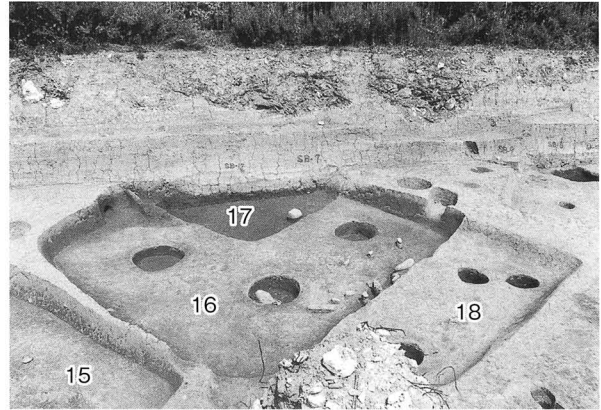


SB-15カマド (南から)

遺構写真② (平成6年度調査)



SB-15～18 (南東から)



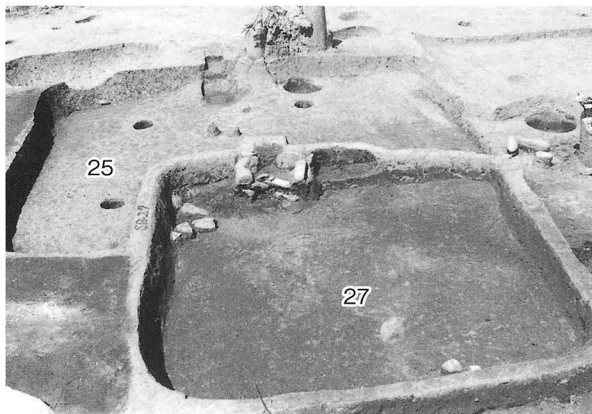
SB-15～18 (北東から)



SB-19・20 (北東から)



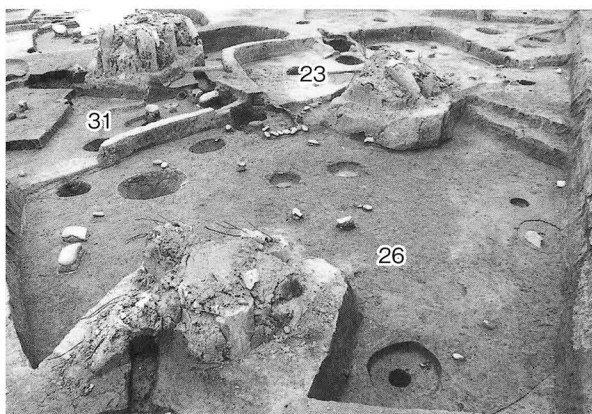
SB-24 (南東から)



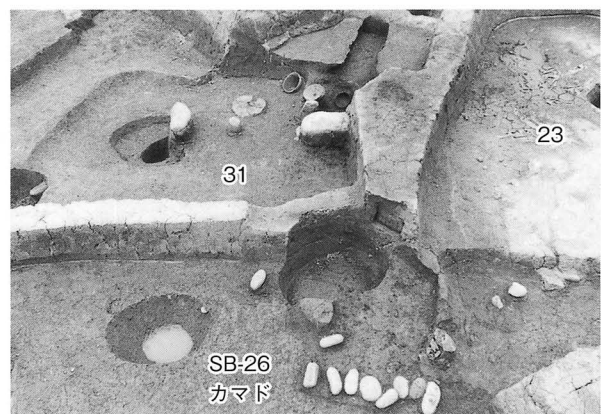
SB-25・27 (南東から)



SB-27カマド (南から)



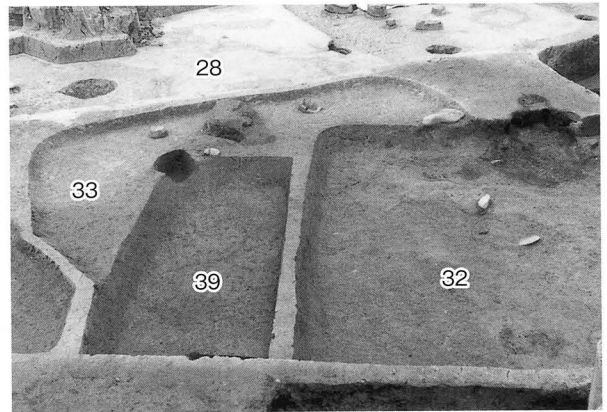
SB-23・26・31 (南から)



SB-26カマド (南東から)



SB-29 (南東から)



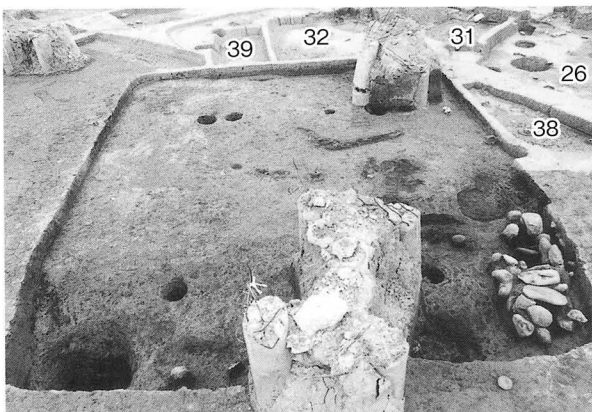
SB-28・32・33・39 (南から)



SB-28・31～33・39 (南東から)



SB-31カマド (南から)



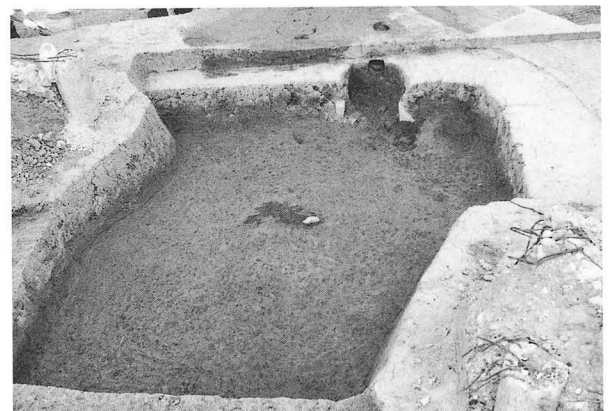
SB-34 (南から)



SB-34集石 (北西から)

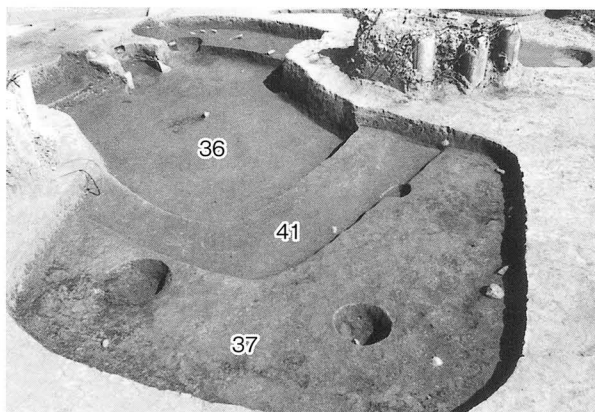


SB-35 (南から)

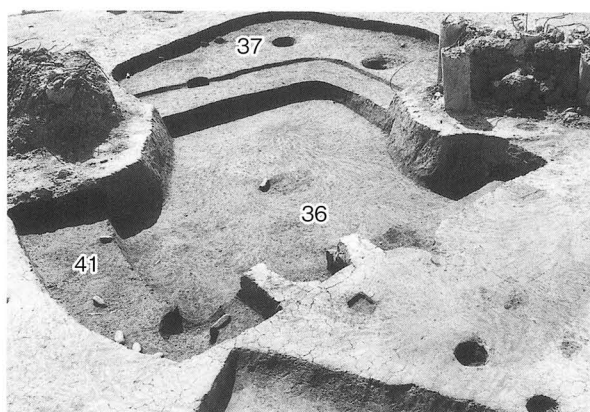


SB-36 (南から)

遺構写真④ (平成6年度調査)



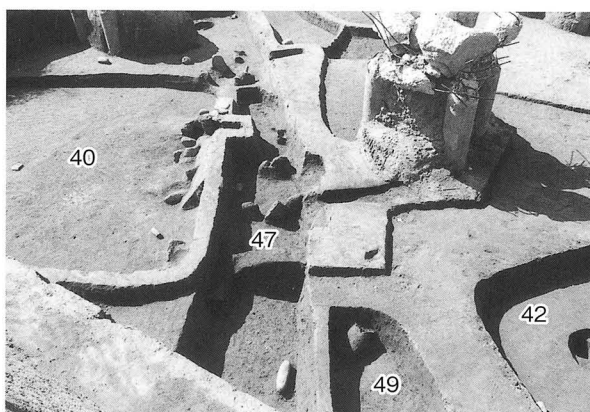
SB-36・37・41 (南西から)



SB-36・37・41 (北から)



SB-40・45・47 (南東から)



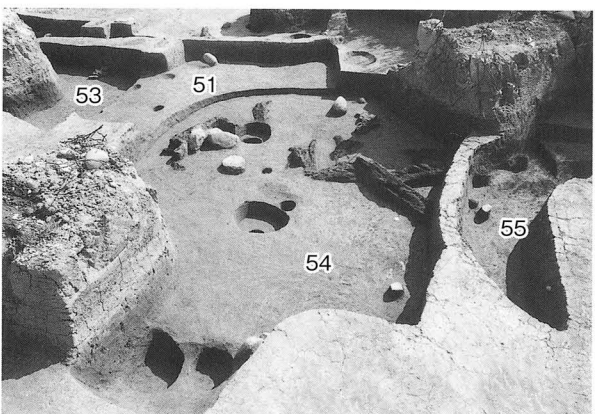
SB-40・47・49 (北東から)



SB-44 (西から)



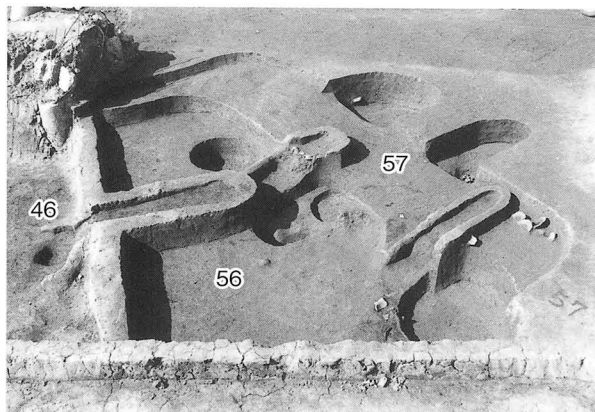
SB-46・52 (南東から)



SB-51・53～55 (北西から)



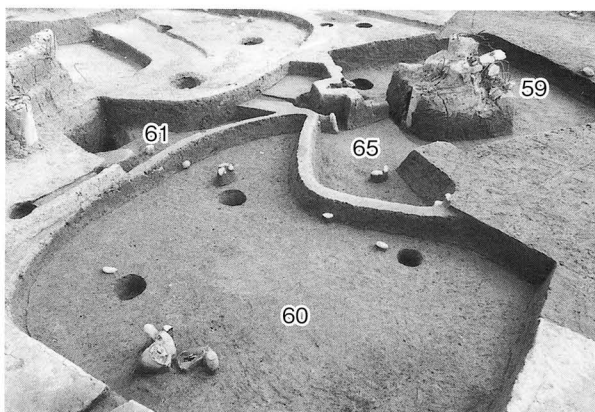
SB-54カマド (南東から)



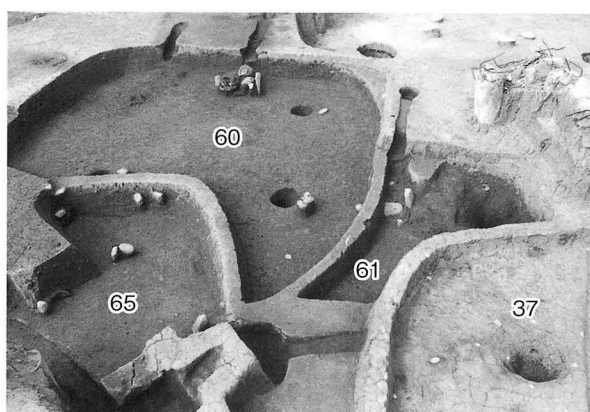
SB-46・56・57 (南東から)



SB-59～61・65 (南から)



SB-59・60・61・65 (西から)



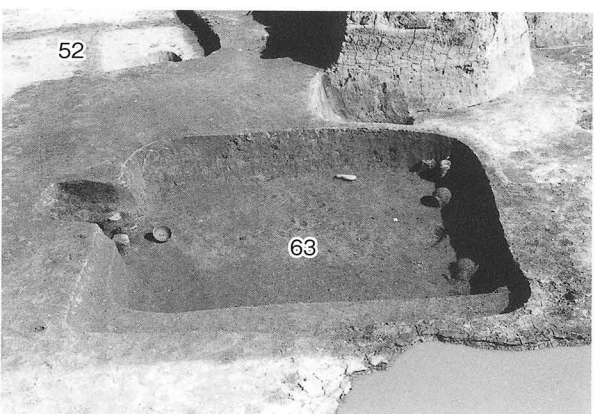
SB-60・61・65 (南東から)



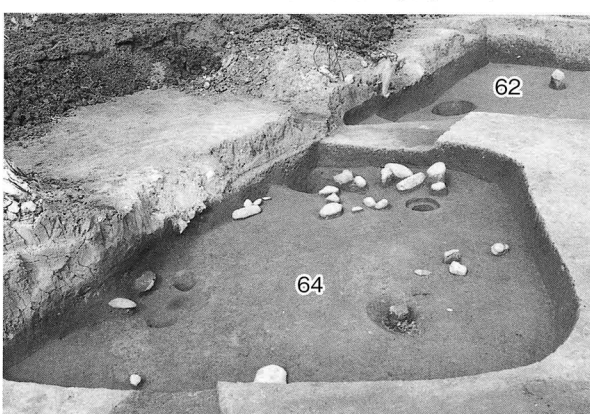
SB-60カマド (南東から)



SB-60東側カマド遺物除去後 (南東から)

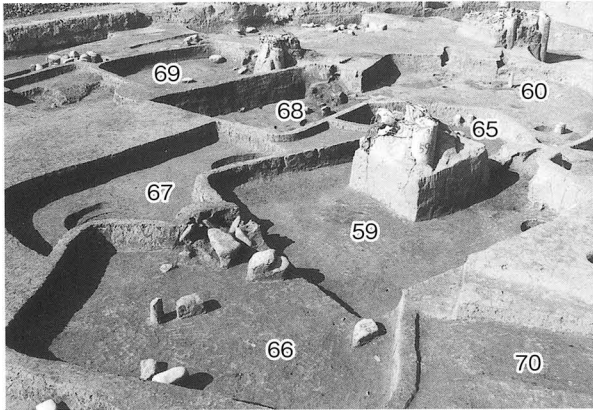


SB-63 (南西から)



SB-64 (南から)

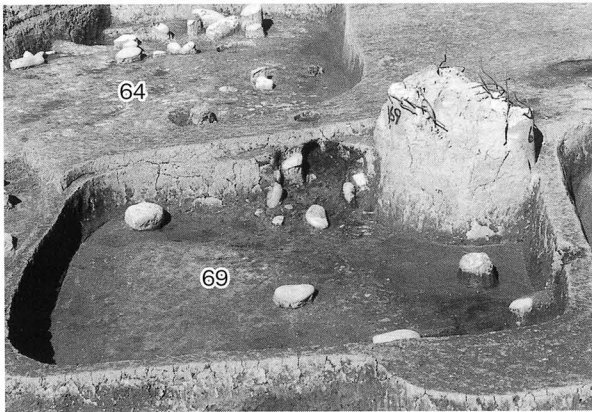
遺構写真⑥ (平成6年度調査)



SB-59・60・66～70 (南東から)



SB-68カマド (南から)



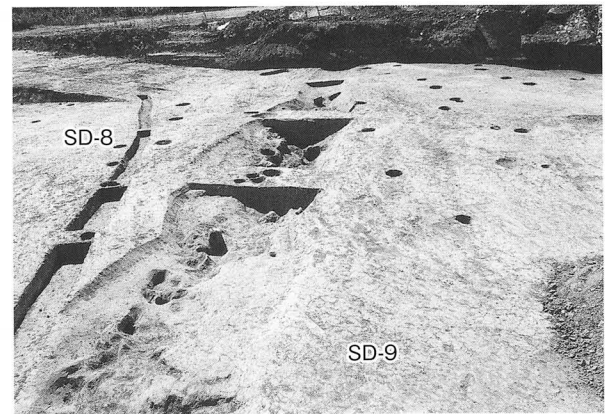
SB-69 (南から)



SB-73カマド (南から)



SD-8・9 (南東から)



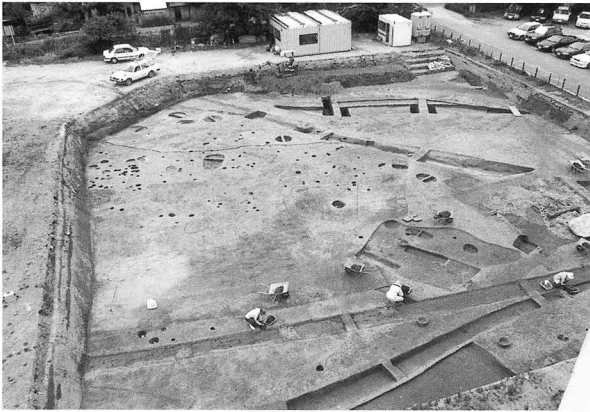
SD-8・9 (東から)



SX-3 (南から)



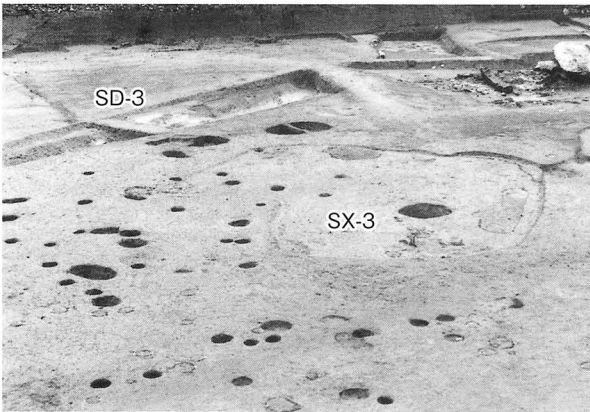
下層遺構検出面・遺物集中区 (東から)



全景 (北から俯瞰)



SD-2・3、SX-3 (南東から)



SD-3、SX-3 (東から)



SD-4 (東から)



SK-1・4、小穴群 (南から)



SK-1・4、小穴群 (東から)



SD-2 堆積土層断面 (西から)



SD-3 堆積土層断面 (東から)

V 遺物

1 平成6年度・検出遺物

全遺構、遺構外より出土した遺物を整理し、種類ごとに抽出、図化を行い一連の番号を付した。図化及び写真撮影したものに関してはその詳細を観察表に記す。以下、種類ごとに詳細を述べる。

(1) 土器

全遺構、遺構外から出土した土器の総重量は919,345g（およそ920kg）に及ぶ。このうち、実測対象として各部位いずれかの径が概ね2分の1以上遺存する個体を抽出し、819点を図化した。その上で器種ごとに、形態と遺存の程度、寸法に応じて分類を行い、詳細を土器観察表にまとめた。なお、表中では、図面上認められる遺存部位を「全形」「口縁部」「底部」のように表記し、これに対する遺存の程度を「1/1」「2/3」「1/2」などとした。

当遺跡では古墳時代後期から平安時代後葉までの竪穴住居を中心とした遺構が検出されており、出土した遺物もこれに伴うものである。

以下、時代ごとに詳細を述べる。

ア 古墳時代中期後葉

当遺跡における最も古相の遺物が48号住居（図34）から出土している。他遺構との切り合いによりカマドのみが残存する遺構であるが、該期に相当する高坏が4点出土している。いずれも屈折脚の高坏だが、脚部の膨らみが目立たない円錐形になる。また、坏部の稜と脚部の屈折も緩やかになり、5世紀後葉の所産と考えられる。

イ 古墳時代後期

2次面で検出した遺構の内、多くが該期の所産と考えられる。須恵器模倣の土師器が増加する5世紀末から、新しい系譜の須恵器が登場する直前の段階までを前葉・中葉・後葉・末葉の4時期に区分した。食膳具と煮炊具、貯蔵具の形態変化に着目し、器種ごとの概要と特徴的な事象を述べる。

(ア) 器種別の形態変化

[須恵器坏蓋] 573（64号住居）は口径が大きく、器高の低い偏平な形態となる。また、稜はややなだらかになるものの口縁端部には凹みをもつことなどからTK47～MT15型式併行と考えられる。

[土師器坏] 古墳時代後期を通して多様な形態があるが、ここでは主に5型式に分類を行った。【】内は各時期、遺構ごとに代表されるものを挙げている。

A類 須恵器坏蓋の模倣であり、外面体部と胴部の境目に稜を有して丸底になる。内面に稜を有する個体もある。【208・271・429・556・574】

B類 腰部に稜をもち、体部は開いて立ち上がる。底部は丸みを帯びるが明瞭な丸底にはならない。【122・141・210・276・335・430・511・555・580】

C類 丸底で内外面に明確な稜を有し口縁が強く外反する。【277・319・582】

D類 半球形になる。【78・146・221・318・584・748】

E類 平底になる。【107・220】

形態は多岐にわたっており上記に分類できないもの、中間の形態を呈するものも存在する。前・中葉にはA

類・B類が主体を占め、C類も散見される。A類坏574（64号住居）は整形が非常に丁寧であり、忠実に模倣している。同一遺構から須恵器坏蓋573が出土している点も注目される。後葉になるとA類・C類は減少し、主流であるB類に加えてD類が登場する。なお、241（26号住居）は須恵器坏身を模倣した形態となり底部外面には「-」印の篋書きをもつ。末葉はD類・B類が主流となるが、B類はこれまではっきりと確認できた内面の稜が147・148・152（20号住居）ではなぞる程度につけた浅い稜となり、形骸化が認められる。形態も腰部が張らずに半球形に近いものが目立ち、B類とD類の区別がつけ難くなる。また、少数ではあるが、新たに220（24号住居）のような平底の坏E類が登場する。

【土師器高坏】 坏部や脚部の形態により a～d 類の 4 タイプに分類できる。

a 類 屈折脚の高坏 【302】

c 類 須恵器高坏の模倣 【292】

b 類 三角透かし孔の高坏 【129・294・299・337】

d 類 杯部が坏B類になるもの 【291・432・591】

前葉では形態が多岐にわたっており、a 類（302） b 類（294・299） c 類（292） d 類（291・591）が認められる。中葉では b 類（129・337）と d 類（432）が引き続きみられる。後葉になると d 類が主体となるが腰が張らず、丸みをおびてくる。さらに末葉になると d 類が半球形となり、接合部が中実の個体が増加する。杯部の形態は坏の形態変化との共通性が認められる。

【土師器鉢】 坏に類似した個体があり区別が困難であるため、口径に対して器高が高くなるもの（概ね口径の $\frac{1}{2}$ 以上）もしくは口径が平均（11～14cm台）を大幅に超えるものを鉢とした（註）。前葉は287～290・587のように胴部が丸みをおびて球胴形になり、口縁が外反する形態が目立つ。中葉では213や口縁が内傾する127などが加わり、バラエティーに富み、後半になるとさらに多様化が進む。245・246は須恵器短頸壺の模倣と考えられる。なお、322は形態としてはD類の坏だが、口径が大きい点を鉢とした。

【土師器甕】 前葉では64号住居において胴部中位に最大径をもつ卵形の甕が認められる。599・600は非常に大形であり、表面を磨いて調整する。一方29号住居ではハケ調整で胴部の張りが弱い小形甕が多数確認され、64号住居とは対照的である。中葉になると長胴形のタイプ134と小形甕130が認められ、大小複数の寸法の存在がうかがえる。後半ではハケメ調整甕の長胴形が目立つが形態は多様化する。249・325は胴部上方が張り、下方のつなぎ目部分にくびれをもつ。561は胴部が円筒状になり下半には明瞭な屈曲が見られる。なお、325は有底で単孔の甕327と共にカマド内から出土しており、セットになる可能性がある。

【土師器壺】 前半の壺197・198・215は胴部中央に最大径を持った球胴形になり、ミガキ調整を行う。支柱穴内から出土した216はより球形に近い形態である。底部は欠損のため不明だが、丸底になる可能性もある。末葉では大形のものでは残存状態が悪く、全形が不明である（176・226）。中形の壺174・175は頸部から口縁が直立し、胴の張らない形態となる。

【土師器甗】 底部の形態により無底タイプと有底タイプに分類される。有底タイプは単孔型と複孔型が存在するが、当遺跡では単孔型のみ確認された。前葉は無底タイプ597、有底タイプの単孔型596が見られる。中葉になると大形の無底タイプ135・218が見られ、断面はS字形になる。共に把手を持たず、内面を黒色処理する。38号住居からは中形の無底タイプ435も出土している。後半になると大形の無底タイプは断面S字形の体部が、直線的に変化する。また、側面底部付近に穿孔する個体（188・526）や有底タイプの単孔型327も継続して認められる。

【土師器鍋】 187は牛角状の把手を有するが胴部が球形になる点で、188・189の甗とは形態が異なる。内外面を磨いており、火にかけた痕跡などは確認できないものの平らな底部をもった鍋と考えられる。

(イ) 土器集中区 (図47)

調査区の北東隅より土器が集中的に出土した。古墳時代後期中葉から後葉に位置付けられる遺物が主体を占める。768・769の土師器坏はそれぞれ須恵器坏蓋・坏身の模倣でありセットになると思われる。770～772は坏B類に分類されるが、770のみ黒色処理をしており平底気味になる。778は器高が口径の1/2以上であることから鉢に分類した。土師器蓋766・767は須恵器蓋の模倣であり、セットで製作されたと推察される。共に内面は黒色処理をするが、766は浅半球形であるのに対し767は口縁付近に稜をもつなど細部の形態は異なる。高坏は4点確認できる。この内774・776が円錐形の脚部をもち、脚部のみ残存の777は成形が粗雑であるが、屈折脚の要素をもつ。また774の坏部は坏770と類似する。壺類は4点確認された。直口壺779は全体を丁寧なヘラミガキで整える。780～782は球胴形になるものの、意図的に破壊したものか、いずれも口縁部を欠損しており全形はうかがえない。781は胴部下半に内から外へ穿孔するが、孔の上端部は欠損により形状が不明である。786提瓶は鉤状把手をもつ。体部全体には同心円状にカキメ調整を施し、把手部分周辺から側部はヘラケズリによって整える。

(ウ) 各期の様相

前葉では土師器坏・高坏の多くは須恵器模倣の形態であり、須恵器への指向性がうかがえる。64号住居出土の甕は胴部の張りが大きくなる最終段階であり、甕の形態から64号住居は29号住居より古相に位置付けられる。TK47～MT15型式併行の須恵器坏蓋が出土している点からも5世紀末から6世紀初頭を溯らないものと思われる。

中葉では16・22・33・38号住居が該期の遺物を伴う遺構として挙げられる。坏はA類のような須恵器模倣の形態が依然としてみられる一方で坏C類が減少する。高坏はb類・d類が主流となり、脚部の相違はあるものの坏部の形態は共通するようになる。甕は胴部の張らない長胴甕が16号住居において認められ、これ以降長胴化が進む。また複数の寸法が認められるようになる。22・38号住居が古相に、16・33号住居は新相に位置付けられる。

後葉では26・31・54・60号住居が該期の遺物を伴う遺構である。坏A類が減少し、B・D類が主体となる。甕はハケ調整の長胴甕が多数を占め、鉢と共に多様な形態が認められる。甗は体部が直線的になるものが増加し、側面底部付近に穿孔するものが出現する。形態から26・31号住居は古相、54・60号住居は新相に位置付けられる。

末葉では13・20・24号住居、39号土坑が該期の遺物を伴っている。土師器坏はB類・D類が増加するものの稜線の省略など粗雑化により、区別が困難である。平底の坏E類が認められるようになる。高坏はd類の坏部が半球形になり、接合部が中実の個体が増加する。甕は口縁に最大径をもち、胴部が膨らむ形態が定着する。形態から24号住居は古相、20号住居・39号土坑は新相に位置付けられる。

ウ 奈良時代

これまでの古墳時代から継続してきた器種組成からの転換期である。以下、食膳具と煮炊具、貯蔵具の形態変化に着目し、概要と特徴的な事象を述べる。新たな器種・器形の出現、展開を境に奈良時代を前半（古相）と後半（新相）に区分する。なお前半に関しては古墳時代最末期も含めて検討を行った。

該当遺構 前半【15号住居 (図20)、45・46号住居 (図35)、49号住居 (図36)、55号住居 (図38)、42号土坑 (図46)】

後半【9号住居 (図18)、36号住居 (図33)、47号住居 (図35)、66・68・73号住居 (図42)】

(ア) 奈良時代前半

【須恵器坏】106は受け部を持たず底部を篋切り後に静止ヘラケズリで整える。古墳時代からの系譜を引く須恵器とは異なる新しい系譜の須恵器の初現と言える。

【土師器坏】古墳時代からの流れを受けてD類・E類が目立つものの、成形・調整が粗雑なものが増加する。490・491は口縁付近にミガキ調整をするが底部付近はケズリの痕跡を残す。468は内面底部付近に篋状工具等を押しつけて稜線をつけるが、不整形な円となる。この時期を最後に古墳時代から継続してきた非ロクロ成形の坏はほとんど確認できなくなる。

【土師器高杯】古墳後期末葉からの流れを汲み、接合部は中実の形態となる。この時期を最後に認められなくなる。

【土師器甕】古墳後期末葉から変化なく長胴形のハケ甕・ナデ甕が認められるが、胴部のつなぎ目が顕著なものが目立つ（115・116）。49号住居からはナデ甕494と共に小形甕493が出土した。493は底部付近に指圧痕が一周する。また、甕494は甌495とセットになる可能性がある。

【土師器甌】495は牛角状把手を持つ無底タイプであり体部が直線的になる。底部のみの残存だが、119は有底タイプの単孔型で内面を黒色処理する。

【土師器壺】確認できた個体はわずかであった。529は明瞭な頸部を持たず口縁部の立ち上がりが短くなる。

(イ) 奈良時代後半

【須恵器坏・高台坏】須恵器坏の出土量は増加し、食膳具の主体を占めるようになる。底部調整は静止ケズリ（570・606）もしくは回転ケズリ（71）、篋切り後になでるもの（425・478）、糸切底（424・612）の4タイプが認められる。糸切底の坏は平安期の個体と比較すると寸法が大きめである。また、高台坏480・607が確認できるが、遺跡全体での出土量は少ない印象を受ける。

【須恵器蓋】つまみを持つ須恵器蓋が出現するが、折り返し部分の形態が異なる。605は明瞭な折り返しを持たない。569はやや外側に開いて外面に調整を加え、中央の凹むつまみを持つ。611・617は垂直もしくは内側へと折り返され、内外面に調整を加える。時期が下るにつれ、内側に折り返されるものが多くなり、加えられる調整が強くなる傾向にある。また、形態は扁平形が多いが617はドーム状になり、つまみの形態も擬宝珠形や凹みを持つものなど多様である。

【土師器甕】これまでのハケ甕77・621、ナデ甕608に加えて、砲弾形甕426・620、ロクロ成形の小形甕619が登場する。73号住居出土のハケ甕621は底部が欠損しているが、長胴化が進み烏帽子形になる。砲弾形の甕620は胴部下半をヘラケズリするが、口縁部を面取りしており出現期の様相を呈する。小形甕619は胴部下半から底部を丁寧なヘラケズリで整えており、底部糸切りの痕跡は見られない。

【土師器甌】63号住居出土の571は小形の無底タイプである。この時期を最後に土師器甌は認められなくなる。

(ウ) まとめ

前半では土師器坏の粗雑化が顕著になり、この時期を最後に消滅していく。後半になると食膳具は須恵器を中心とした組成に変化し、須恵器坏は受け部を持たない新たな器形が登場する。新相に位置付けられる36・68・73号住居では糸切底の須恵器坏も散見されるようになる。これ以外にも須恵器蓋・砲弾形の甕、ロクロ小甕など新たな器種が出現し、様相が大きく変化する。前半は古墳時代から継続してみられる器種・器形が多く過渡期的な要素をもち、後半は新たな器種・器形の登場による新しい組成の展開期と言える。

エ 平安時代

検出した住居址を中心に溝や土坑において該期の遺物を伴う遺構が目立つ。8世紀末葉以降を須恵器坏の有無によって前半と後半に区分し、器種組成や形態の変化に応じて古相と新相に細分した。

該当遺構 I期（古段階）【17号住居（図21）、59号住居（図38）】

Ⅱ期（中段階古相）【27号住居（図27）、32号住居（図30）、35号住居（図33）、40号住居（図34）、58号住居（図38）】

Ⅲ期（中段階新相）【2号溝（図43）】

Ⅳ期（新段階）【1・2・3・5・6号住居（図17）、10号住居（図19）、34号住居（図31・32）、17・33号土坑（図45）、41号土坑（図46）】

以下、食膳具と煮炊具、貯蔵具の形態変化に着目し、概要と特徴的な事象を述べる。

（ア）器種別の形態変化

【須恵器坏】全て糸切底になり、出現期のものと比較すると底径が縮小する。また、灰白色を呈し、胎土に緻密さを欠くような軟質の個体も出現する。59号住居では軟質（548～550）、硬質（546・547）の両方が認められる。また、549・550は底部外面に墨書で「三」と記されるが、詳細は「墨書・篋書き・篋記号」の項で取り上げる。Ⅱ期になるとさらに小形化が進み、軟質の個体が増加する。須恵器坏は使用の最終段階にあるものと思われる。Ⅲ期以降須恵器坏は認められなくなる。

【土師器坏・高台坏・皿・盤】Ⅱ期になると黒色処理をした土師器坏が増加傾向にある。540のような大形の個体が認められ、寸法に応じた器形の分化がうかがえる。また、高台坏（333・543）、高台付の皿420も散見され、食膳具の器形が多様化する。なお、皿は口径に対して皿部の器高が低くなる点で高台坏と区別した。27号住居では土師器坏4点が確認できる。このうち黒色処理が明確な坏は261のみであり、262～264は黒色処理をしない（ただし263は内面を磨いており黒色処理の可能性がある）。262は口径が13.5cmとなり、土師器坏の出現期の様相を呈する。

Ⅲ期は該当する遺構が少なく、不明な点が多い。2号溝では黒色処理をしない坏が多数を占める。坏の平均口径は11.3cmとなり、小形化する。

Ⅳ期では黒色処理の土師器坏は認められず、黒色処理をしない坏が主体をなす。土師器坏は口径の平均が概ね10cm台半ばとなる。6・34号住居では口径が12～13cm台の大形の個体が見られ、寸法の分化が認められる。710（15号土坑）・716（17号土坑）はさらに寸法の縮小化が進み、内面にカキメ状の調整痕を残す点で共通する。751（41号土坑）は口径が7cm台となるが、底径は大きめで安定感があり、より中世のカワラケに近い形態となる。皿406は高台がやや高めであるが、内面に稜をもち、形態は灰釉陶器の段皿に類似する。高台坏は深碗形で内面を黒色処理するものが目立ち、寸法に応じた分化が認められる。383は高台が欠損しているが体部が緩やかに立ち上がり、口縁が外反する点で灰釉陶器碗の模倣形態と考えられる。また、399のように高台内に糸切り痕を残すものも認められ粗雑化の傾向がうかがえる。盤は、坏部（皿部）に足高の高台がつくものであるが2タイプ存在する。669は皿に、407は大形の碗にそれぞれ足高の高台が付くが、形態・寸法が大きく異なり、用途を異にしたものと思われる。なお、後者は内面底部に黒ずんだ部分があり、火を焚く等の行為に使用したと推察される。

【灰釉陶器碗・皿】Ⅳ期に確認され、全て釉薬を漬け掛けする。6号住居の碗43は底部のみの残存である。内面が摩滅し光沢をもつが、墨などの痕跡は認められず、硯としての使用は考えがたい。34号住居では段皿が3点と皿が1点出土し、いずれも寸法が類似する。408・409は410のように明瞭な段を持たないが、内面底部付近に浅い稜線が入るため段皿とした。皿411は光沢を持つほどではないが内面が摩滅し、使用の痕跡がうかがえる。4点中3点が段皿であることから、皿が減少し段皿が増加する転換期にあるものと思われる。

【土師器甕・鍋】Ⅱ期では砲弾形の甕や底部に糸切痕をもつ小形甕が主体をなす。砲弾形の甕458・459はいずれも40号住居のカマド内から出土しており、459は内面に焦げ痕が見られる。423は体部外面のヘラケズリと内面

のカキメ調整など砲弾形の甕と調整技法が類似する。しかし口径に対して器高が低く、平底になるため鍋とした。Ⅳ期の34は外面をケズリではなく平行叩きで調整する。古墳時代からの系譜であるハケ甕は確認できず、全期を通して砲弾形の甕が主体を占める。

[須恵器四耳壺] 462がⅡ期に見られる。外面は平行叩きによって仕上げられ、内面には半円状の当て具痕が見られる。耳部の孔は貫通せず、凸帯の断面は三角形になる。また、須恵器甕421（35号住居）は底部のみの残存であるが高台が付かず、外面には叩き、内面には半円状の当て具の痕跡が見られる点で四耳壺の可能性が考えられる。

[灰釉陶器壺] 412と413は灰釉陶器の長頸壺もしくは広口壺であるが肉眼観察上では胎土が類似しており同一個体の可能性もある。

[緑釉陶器] 2点（672・791）が出土している。672は3号溝より出土した。水注の把手部分と考えられる。大部分は欠損しているが直径5mmほどの粘土紐3本を束ねて把手としている。把手と体部の貼付部分には線刻し装飾性を高めている。緑釉の表面には気泡が見られ、もろくはがれやすい状態であり、被熱した可能性がある。

791は検出面より出土した、碗の底部である。胎土は灰色を呈し、緑色の釉を全面に施釉する。内面には重ね焼きの目積痕が3ヶ所残る。

(イ) まとめ

Ⅰ期では須恵器坏の底部は全て糸切底になり軟質の個体が認められるようになる。該当する遺構が少ないためか、初現となる黒色処理の土師器坏は確認できない。Ⅱ期では須恵器坏の小形化が進み、軟質の個体が増加する。須恵器坏使用の最終段階と言える。40・58号住居では黒色処理の土師器坏が主体となり、さらに高台坏や皿など器種・器形の多様化が認められる。27号住居では黒色処理をしない土師器坏が確認され、初現と考えられる。煮炊具では砲弾形の甕と、糸切底の小形甕が主体となる。Ⅲ期では須恵器坏は認められなくなり、食膳具の主体が土師器へと変化する転換期に当たる。土師器坏には寸法の小形化が認められる。Ⅳ期では灰釉陶器碗・皿・段皿などが認められる。主体は土師器坏であるが小形化が著しい。15・17・41号土坑出土の坏はⅣ期でも新相に位置づけられる。一方で、大形の個体も存在し寸法に応じた器形の分化が生じる。

全期を通じて、器種組成は大きく変化する。須恵器中心の器種組成から土師器坏・高台坏を中心とした器種組成へと転換し、さらに灰釉陶器碗・皿の登場により新たな組成が成立する。

オ その他

(ア) 墨書

文字や記号などを墨書きしたものを墨書として取り上げる。破片も合わせて4点確認された。59号住居出土の549・550は共に底部外面に「三」と記し、寸法も類似する。これを含めて当遺構では須恵器坏を5点抽出しているが、墨書が認められたのは549・550の2点のみであった。817は須恵器坏体部の破片であるが、「キ」に類似した字が墨書されている。818は黒色処理をした土師器坏の底部の破片である。正確な字形は不明であるが、則天文字に影響を受けた記号と推察される。

(イ) 篋書き

焼成前に篋状の工具などを用いて、文字や記号を刻んだものを篋書きとして取り上げる。古墳時代の土師器坏で篋書きがあるものは7点確認できる。この内、底部外面に「×」を刻むものが6点、「-」を刻むものが1点（241）確認された。いずれも古墳時代後期後葉から末葉にかけての遺構から出土している。このうち140・154・155の3点は20号住居から出土しているが、形態に共通性は認められず、他の抽出個体と比較して特異な点など

は認められない。

605は須恵器蓋であるが、つまみの中央部に「×」が刻まれる。須恵器長頸壺816は胴部のみが残存しており、頸部と肩部の接合部分に鋸歯文が一周するように刻まれる。

文字を刻んだものは2点確認された。718は灰釉陶器瓶類の頸部に、「木」を篋書きする。819は土師器甕であるが、内面の口縁付近に「大」を刻んでいる。

(ウ) 灯明皿

煤や油脂滓などが著しく付着し、灯明皿としての使用がうかがえるものを取り上げた。当遺跡では5点（15・65・330・444・673）が確認できる。器種・器形は様々であるが、いずれも平安時代の所産である。特に15は口縁部を中心に油脂滓の付着が著しく、内外面にも及ぶ。また、盤407は前述のとおり、内面底部に黒色部分が見られることから、明かりとりなどの灯明具として使用された可能性を考えたい。

(2) その他の遺物

ア 土製品

残存状態が良好なものを取り上げて図化を行った。以下、詳細を述べる。

[ミニチュア土器] (820～834) 20点出土したが、残存状態により図示できたものは15点である。このうち14点は手づくね成形であり、823のみロクロ成形で糸切りの底部をもつ。26号住居では床面から3点（826～828）が出土している。大半が古墳時代後葉から末葉の遺構に伴うものである。

[紡錘車] (835～837) 8点が出土したが、破片が多く3点のみ図示した。835は大形であり表面はナデ整形する。836は円柱形の大形品で残存部分のみで188gに及ぶ。完形品ではさらに倍の重量になるものと思われる。検出面から出土の837は全体を丁寧に磨き黒色処理をする。

[支脚] (838) 2点確認されているが、838のみ図示が可能であった。23号住居より出土し、下半部のみが残存する。表面はナデ調整をする。

[羽口] (839) 1点が2号溝より出土している。大部分は欠損しており、全形は不明であるが、先端に向け孔が狭まる。胎土は浅黄色を呈するが、先端は被熱により暗灰色を呈する。

[円板] (840～846) 7点が出土した。いずれも古墳時代後期の遺構に伴うもので土師器の破片を用いて縁辺を研いで円形に加工する。840は床面からの出土であるが、片面が黒色処理され、厚みから黒色処理の坏を使用したと思われる。841～843はいずれも22号住居からの出土であり、内外面を磨いている。このうち842・843は肉眼観察上では胎土が類似しており、同じ土器を使用した可能性がある。844も内外面を磨いた土器を使用する。845は表面にケズリ調整の痕跡があり、裏面には粘土のつなぎ目が認められることから、甕類と推定される。846は非常に小さく、他の円板と用途が同様であったかは不明である。

[有孔土版] (847～851) 5点出土しているが全て欠損している。いずれも小判形を呈し、片端部に孔をあける。847と851では欠損部位に孔の痕跡が確認できることから、2つの孔が開いていたと推察される。使用痕などは認められず用途は不明である。

[丸玉・小玉・無孔土玉] (852～872) 852・853は大形であるが、854～869は直径が1cmに満たない個体が大半を占める。両者は寸法に大きな差があるため、ここでは直径が1.5cm以下のものを小玉とし、これよりも大形のを丸玉として扱う。また、孔の開かないものは無孔土玉として区別した。丸玉853は上端部と比較すると下端部は丸みを持たず、成形後に篋状工具で切ったような形態になる。丸玉・小玉の多くが、古墳時代後期の住居に伴うものである。26号住居では小玉が9点出土したが、ミニチュア土器が多く出土している点も注目される。

[管玉（土錘）]（873～883）877～883は幅や形態に差があるものの、長さが2.0cm台前半におさまる。873～876はこれよりも大形であり、土錘としての使用も考えられる。877～879・881・882は表面を黒色処理するが、880・883は表面を丁寧に磨いており石製管玉を思わせるような整った円柱形になる。

イ 石製品

[紡錘車]（884・885）884は53号住居の床面から出土している。断面は薄型の台形を呈する。石質は研磨により、自然面の確認が困難であるため判然としない。成形の痕跡がよく残り、上面は不整形な円形となるため、粗雑さを感じる。全体的に細かな線状の擦痕が認められる。885は断面台形を呈する。884とは対照的に丁寧に成形され、表面は非常に滑らかに研磨される。石質は蛇紋岩と推定される。

[勾玉]（886～888）3点の出土が認められる。886は硬質で黒褐色を呈するが石質は不明である。887は玉髓製である。888は非常に小形であり、いびつな形態になる。石質は碧玉である。

[管玉]（889～892）889のみ蛇紋岩製であり、これ以外は全て碧玉製である。890・891は寸法が類似する。892は非常に細く、緻密で色調も他の2点とは大きく異なる。

[白玉]（893～917）いずれも滑石製であり、25個体を確認したが、このうち土器集中からは15点が出土した。893～895の3点は直径が1.1cmと大きく整形が粗雑である。土器集中より出土した903～917は高さにややばらつきが見られるものの、径はほぼ同一である。

[砥石]（918～922写真のみの報告）918は結晶片岩を利用したもので触れると粉末が付着するほど劣化が著しい。板状で、表裏面の2面を使用し、表面には線状痕が数条残る。919は表裏面の2面を使用するが剥離が認められる。一端に穿孔し、紐などを通して使用したと思われるが、砥石としては非常に薄い。918同様、石質は結晶片岩である。920は欠損が著しく、表裏面の2面の使用が確認できる。921の石質は流紋岩であり両端部以外の4面を使用する。922は砂岩を利用したもので三角柱状の石の3面を利用している。各面にはU字状の線状痕が3～4条認められる。

[軽石製品]（923写真のみの報告）製品であることが明確な923（59号住居）以外に34・38号住居からも破片（欠損品）が出土している。923は小判形に加工され、上端に穿孔する。断面は下端部にむかって厚みが減ずる形態になる。浮子としての使用が考えられる。

[敲石]（924～926写真のみの報告）敲打痕などの使用痕が確認できるものを敲石とした。924（15号住居）は角柱状であり、片端部は欠損の可能性がある。表裏面に敲打痕が認められる。925（2号溝）は両端部に敲打痕をもつが、表面には摩耗痕があり、複数の使用形態があったと推察される。926（1号不明遺構）は石質が安山岩であり下端部に敲打痕をもつ。

[石皿（凹み石・磨り石）]（927～934写真のみの報告）上面に凹みを持ち、摩耗痕や敲打痕が認められる自然石を石皿とし、8点を確認した。石質は全て安山岩である。927（20号住居）は出土した石皿類の中では最も大形で一部欠損しているが凹みは深く、断面播り鉢状になる。931（8号溝）は片手に収まるほど小形であり、表面には敲打痕が残る。また、側部を一周するように擦痕が認められ、磨り石としての使用もうかがえる。933（15号溝）は表面の端に凹みをもつ。この凹みより左側はなだらかな凸面になっており摩耗が認められる。凸面と凹み部の両方を使用していた可能性がある。

[編み物石]（935～950写真のみの報告）15号住居の南西隅の床面から、16点全て面を揃えて並べた状態で出土した。石質は安山岩6点、石英安山岩6点、流紋岩4点の3種類が認められた。寸法・形態が類似しており、長さは12～14cm、幅が5～7cm、重さはばらつきがあるものの300～500g台となる。外形は一側面がやや窪ん

だ形態のものが多数を占め、断面形は三角形になるものが多いが、表面には目立った使用痕は認められない。

ウ 金属製品

[刀子] (951・952写真のみの報告) 形態から刀子であることが明確な個体を抽出した。腐食の著しい破片が多数あり、この他にも刀子となる個体が含まれるものと思われる。951 (32号住居)・952 (50号住居) は柄部が良好に残存している。

[紡錘車] (953写真のみの報告) 68号住居の床面から出土したものだが、腐食が著しい。

[金製品] (954写真のみの報告) 32号住居より、金の薄板が直径1 cm程に丸まった状態で出土した。

[銭] (955～957) 5点が出土しているが、比較的状态の良い3点の拓影を掲載する。5点の内2点955・956は北宋銭である。また皇朝十二銭の内、「富壽神寶」が1点認められた(出土地点不明)。955は「元豊通寶」、956は「天聖元寶」である。957は欠損しているが「□□元寶」と読める。

また、劣化が著しいが皇朝十二銭の一つである「富壽神寶」が出土した点は特筆される。長野市域では、屋地遺跡で1点出土が確認されたのみであったが、当遺跡において新たに認められたことにより、古代善光寺平周辺地域を位置付ける上での新たな要素になったと言える。

(註) (『第V章調査成果 第1節土器』『上信越自動車道埋蔵文化財調査報告書12-長野市内その10-榎田遺跡-』長野県教育委員会1999) の分類を参考に、当遺跡出土土師器杯の口径の平均値を割り出して基準を設定した。

(3) 10号住居出土の甑について (図15・16)

10号住居の床下より須恵器甑104 (図15-No.1) が出土した。形態はこれまでに認められた古墳時代の土師器甑とは様相を異にするものである。以下、長野県下で出土した奈良・平安時代の甑と比較検討を行いながら、出土甑104について若干の考察を行う。

ア 形態

一対の角形の把手を持ち、底部は筒抜けで体部下端には厚さ2.2cmほどのタガが一周する。口縁端部は凹みを持つ。外面はタテハケで整えたのち、ロクロナデによって一部ハケメをナデ消す。内面は横方向のミガキによって整えるが、タガの内面はヘラケズリのみである。このことから、タガ部と体部は別づくりのもので、製作した体部の下に円盤状の粘土を接合した後、底部をくり抜いたものと推察される。焼成は硬質であるが、酸化焰焼成によるもので土師質である。体部には黒斑が認められる。

イ 出土状況

出土層位は10号住居の床下であるが、10号住居には直接伴わないものと思われる。また、下層に位置する14号住居の覆土より上層に位置しており、14号住居に伴うとも考えがたい状況である。口縁の一部を欠損しているが残存状態は良好であり、ほぼ完形に近い形で出土した。同一層中からは糸切りの底部を持つ須恵器杯81や内面黒色処理の土師器杯85が共伴しており、これらより8世紀中葉から後葉の所産に位置付けられる。

ウ 分類

甑104を位置付ける上で、長野県下で確認できたものを中心に形態による分類を行った。

(ア) 底部形態

筒抜けと多孔の2タイプに分類できる。

[筒抜けタイプ] (No.1～18) 体部下方に棧を受ける孔（以下、受け孔）を持つものと持たないものがある。前者は孔を使って渡した棧の上に簧の子などをのせて使用したものと思われる。後者は、木製の円板状の簧の子や籠などの使用が想定される。また、受け孔は貫通するものと、貫通せずに内面で凹み状になるものが認められる。前者は孔に棧を通して、後者は凹みに棧を引っかけて使用したものと思われる。大形のものほど受け孔の数が増加する傾向にある。この他、底部が断面L字形に折れる形態のものも認められる (No.8～12)。

[多孔タイプ] (No.19～32) 多孔のものの中には様々な孔の形態が存在する。基本的には中央に一つ開けた円形の孔の周りを楕円形・円形・扇形などの孔が複数囲む形態である。

(イ) 底部周辺の形態

底部付近に何も持たない[a]・タガを持つ[b]・脚を持つ[c]の3つに分類できる。

何も持たない[a] (No. 8～10・19～25・30・31) 多孔タイプに多く認められる。筒抜けタイプでは8・9世紀台の個体には認められず、全形の不明な底部のみ残存の甌や10世紀の羽釜形甌に認められる。

タガを持つ[b] (No. 1～7・11・12・17・18・26) 筒抜けタイプに多く認められ、まれに多孔タイプでも確認できる。タガの厚さや幅は個体によって差があり、形状も、当遺跡出土の104は断面方形（平行四辺形）を呈するが、断面三角形のものなど多様である。多孔タイプ (No.26) のタガはあまり張り出さず、薄手である。

脚を持つ[c] (No.13～16・27～29・32) 筒抜けタイプに多く認められ、まれに多孔タイプでも確認される。筒抜けタイプには「くの字」に折れる脚部がつくものが多い。多孔タイプには、短くずっしりとした脚が直立気味につくものがある。

(ウ) 体部の形態

体部に把手を持つもの、鏝をめぐらせるものがある。基本的には、何も持たないか把手と鏝のどちらかを持つかであり、両方持つものも稀に認められる。把手は牛角形や角形のものやNo.13・27のようにコの字形を縦ないし横にして貼り付けるものがある。鏝をもつものは9世紀台の大形の個体に多く、調整後に胴部上半に貼り付ける。

エ 県内出土甌との比較

まず、長野市域において、甌104 (No. 1) と同時期と考えられる甌は知られているところで1点のみである。吉田町東遺跡AB区6号住居より出土した甌 (No. 3) は体部下半から底部の残存であるが、104同様に底部付近にタガが一周し筒抜けbタイプとなる。焼成は土師質で内面を磨き調整している点で104と共通する。内面には断面三角形の凹み状になる受け孔を3対以上もつ。甌の内面を磨くのは古墳時代の土師器甌においてしばし認められるが、該期の甌には珍しく、地域的・時期的な特色と思われる。同じ時期松本地域でも筒抜けbタイプが多く認められ、104やNo. 3と形態的に類似するものが見受けられる (No. 2・7・11)。佐久地域では比較的確認例が多く、多孔タイプの甌が目立つ。多孔タイプの甌は、関東地域で主体を占めるもので、その影響がうかがえる。8世紀台はいずれの地域でも出土例が少なく、出土頻度は古墳時代の土師器甌と比較して僅少といえる。

9世紀台になると甌の大形化が認められる。多くは筒抜けcタイプであり底部に「くの字」に外反する脚がつき、体部下方には受け孔をもつ。市内では松原遺跡 (No.13～15) や南宮遺跡 (No.16) (註) などで確認されている。松本地域においても同様の傾向がうかがえるが、佐久地域では未だ確認例を見ない。なお、松原遺跡出土の甌 (No.32) は体部下半のみの残存の多孔cタイプであるが、多孔の底部に「くの字」に折れる脚部を持ち、

大形甑への過渡期的な様相を示すものである。大形化した甑は県内だけでなく、特に群馬から埼玉地域において顕著に認められる。10世紀前葉になると群馬では住居一軒に一点の割合で出土し、その後減少するようである。

奈良・平安期の甑は北関東（群馬を中心とした地域）では多孔タイプから筒抜けタイプへと変化する傾向がある。一方、長野・松本地域の8世紀台は筒抜けタイプが主流であり、多孔タイプは僅かながら確認できるものの大形化によって姿を消すようである。佐久地域では大形化した甑の好例を知ることができないが、関東の影響を受けていることから多孔タイプから筒抜けタイプの大形甑へ変化した可能性を考えたい。この後、長野・松本地域では、大形の甑にかわり、羽釜形の甑が目立つようになる（No.33）。羽釜形の甑は、鏝を持ち底部が筒抜けとなる。脚やタガ、受け孔などは持たず鏝のみのシンプルな形態となる。

また、セットとなる土器は砲弾形の甕が考えられる。群馬地域では羽釜の出現後も大形甑が認められ共伴することから、羽釜ともセットとなるようだ。長野・松本地域では10世紀台になると砲弾形の甕に減少傾向が見られ、これに替わるように羽釜が登場する。大形の甑と羽釜が共伴する例は未確認である一方で、羽釜形の甑は砲弾形の甕・羽釜との共伴が認められている。羽釜形甑は砲弾形の甕が消滅する以前に出現し、羽釜が盛行する頃には主流となるようで、群馬地域とは異なる様相を呈す。

オ 考察

古墳時代からの土師器甑が7世紀末に大幅に減少する中で、8世紀台に異なる様相の甑が登場する。この時期は新たな器種が登場し、これまでの器種組成から大きく変化する時期である。甑もまたロクロ成形の土師器坏や砲弾形の甕などの登場と軌を一にするように新たな器種の一つとして登場したものと考えられる。その数量の少なさから、これまで各住居に普遍的に認められた土師器甑とは位置付けが異なるものであり、背景には木製の蒸し器の存在もあることを考慮しなければならない。更級郡衙との関連が指摘される、千曲市社宮司遺跡では7世紀末から9世紀台の遺構から曲物の木板が多数出土している。No.34は曲物の底板もしくは蓋板と思われるが、中央に孔が穿たれている。現状では直径が約24cmあり、孔のないものは18cm前後に集中するため、大形であると言える。この孔の開いた木板が甑であれば7世紀末に土師器甑が減少し、新たな甑が登場するという一連の流れの中に、甑の土製から木製への材質転換が大きく関係してくるだろう。またそれに伴って食生活の変化も少なからずあったと思われる。

奈良・平安期の甑では須恵質と土師質の個体が存在するが、その系譜は5世紀台の須恵器甑まで辿れるものである（文献1）。傾向として須恵質は8世紀台の古相のものに多く、9世紀以降の大形の個体は土師質で占められる。須恵器の系譜の元に登場した甑は、須恵器生産における質の低下やロクロ成形による土師器生産など土器生産体制の変化の中で変容を遂げたものと思われる。

甑104はこのような新たな甑が出現する流れの中で、作り出されたものである。しかし、セットとなる土器は検出されず、カマドなどの明確な施設に伴わないこと、その出土状況から、実用されたことを裏付けるのは難しい。10号住居が位置する調査区の北東隅には古墳時代後期の土器集中遺構も確認されていることから、集落内の特殊な空間であったことが想定される。甑104も儀器的な意味合いをもって据えられた可能性を指摘したい。

8世紀台の甑の長野市内での出土例は少なく、不明な点が多い。また、大形の甑は脚部が甕の口縁部などとされる場合も多いため、精査を重ねる必要がある。木製の甑と合わせて今後さらに事例が増えることに期待したい。

（註）文献17では甕とされているものを甑として扱った。図中No.16は報告書掲載図版の上下を反転し、鏡像としたものである。

〈掲載資料一覧〉〔 〕内数字は文献No.

1. 長野市 御所遺跡 SB10 [遺物実測図③ No.104]	18. 松本市 宮の上遺跡 7号住 [22]
2. 豊科町(現 安曇野市) 筑摩東山遺跡 上ノ山11A地区 灰層 [9]	19. 佐久市 舞台場遺跡 H23号住 [4]
3. 長野市 吉田町東遺跡(北長野通り線) AB区SB 6 [20]	20. 中野市 清水窯跡 SY02 [13]
4. 佐久市 東五里田遺跡 12号住 [8]	21. 松本市 出川南遺跡 158住 [23]
5. 佐久市 扇田遺跡 75号住 [7]	22. 佐久市 前田遺跡 H149号住 [5]
6. 佐久市 栗毛坂遺跡10号住 [12]	23. 中野市 沢田鍋土遺跡 SB02 [13]
7. 松本市 北栗遺跡 SB235 [10]	24. 佐久市 栗毛坂遺跡 6号住 [12]
8. 上田市 大日ノ木遺跡 32住 [15]	25. 松本市 島立条里的遺構 12号住 [21]
9. 松本市 島立条里的遺構 12号住 [21]	26. 佐久市 聖原遺跡 M34号溝 [6]
10. 松本市 島立条里的遺構 15号住 [21]	27. 佐久市 聖原遺跡 H768号住 [6]
11. 松本市 三の宮遺跡 SB115 [11]	28. 佐久市 長土呂遺跡群 畑跡上面 [14]
12. 松本市 三の宮遺跡 SB118 [11]	29. 佐久市 前田遺跡 15号井戸 [5]
13. 長野市 松原遺跡(上信越自動車道) SB1217 [16]	30. 佐久市 前田遺跡 H153号住 [5]
14. 長野市 松原遺跡(上信越自動車道) SB122 [16]	31. 佐久市 栗毛坂遺跡 150号住 [12]
15. 長野市 松原遺跡(上信越自動車道) SB1092 [16]	32. 長野市 松原遺跡(主要地方道中野更埴線) B区2次面SA17 [18]
16. 長野市 南宮遺跡(南長野運動公園地点) FSB59 [19]	33. 長野市 松原遺跡(上信越自動車道) SB336 [16]
17. 豊科町 筑摩東山遺跡 上ノ山11A地区 2号住 [9]	34. 千曲市 社宮司遺跡 SD 1 [17]

〈参考文献〉

1. 外山政子「甗について」『研究紀要4』群馬県埋蔵文化財調査事業団1987
2. 外山政子「群馬県地域の土師器甗について」『研究紀要6』群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
3. かみつけの里博物館『古代の蒸し器を使ったら…-土製・木製甗の使用実験-』2004
4. 佐久市教育委員会『舞台場』1983
5. 佐久市教育委員会『前田遺跡』1989
6. 佐久市教育委員会『聖原 第4分冊』2004
7. 佐久市教育委員会『開戸田遺跡・樋村遺跡Ⅲ・扇田遺跡』2006
8. 佐久市教育委員会『東五里田遺跡Ⅱ』2009
9. 豊科町教育委員会『筑摩東山 上ノ山・葛蒲平窯跡群発掘調査報告』1999
10. 長野県教育委員会『中央自動車道長野道埋蔵文化財発掘調査報告書8-松本市内その5-北栗遺跡』1990
11. 長野県教育委員会『中央自動車道長野道埋蔵文化財発掘調査報告書9-松本市内その6-三の宮遺跡』1990
12. 長野県教育委員会『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書2-佐久市内その2-』1991
13. 長野県教育委員会『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書13-小布施町内・中野市内その1・その2-』1997
14. 長野県教育委員会『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書17-佐久市内その3・小諸市内その1-』1999
15. 長野県教育委員会『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書21-上田市内・坂城町内-』1999
16. 長野県教育委員会『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書6-長野市内その4-松原遺跡』2000
17. 長野県教育委員会『一般国道18号(坂城更埴バイパス)埋蔵文化財発掘調査報告書1-千曲市内その1-社宮司遺跡ほか』2006
18. 長野市教育委員会『松原遺跡Ⅲ』1993
19. 長野市教育委員会『南宮遺跡Ⅱ』2001
20. 長野市教育委員会『吉田町東遺跡(2)』2006
21. 松本市教育委員会『島立条里的遺構Ⅲ』1989
22. 松本市教育委員会『宮の上遺跡Ⅱ・原畑遺跡』1994
23. 松本市教育委員会『出川南遺跡Ⅷ』2000

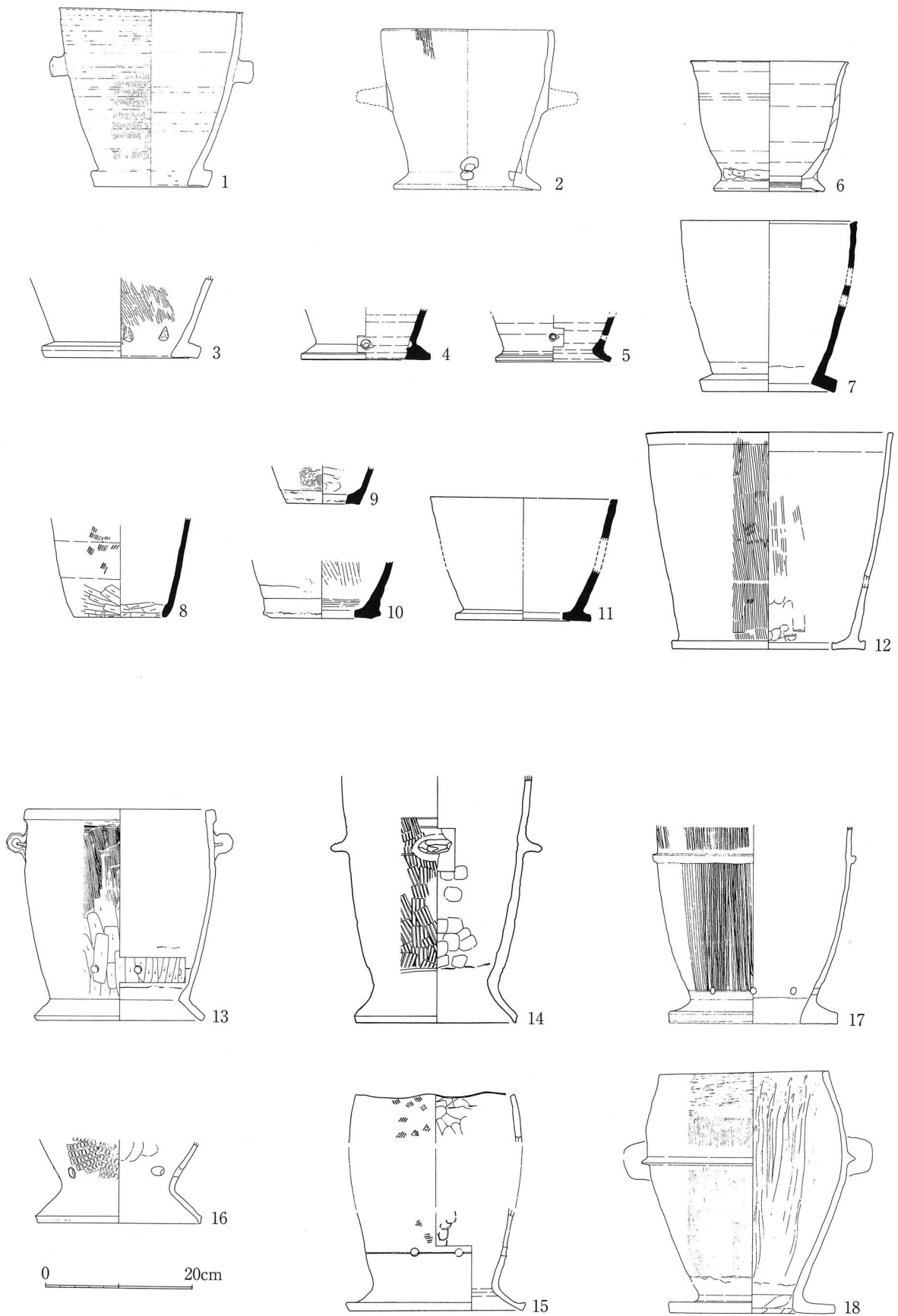


図15 長野県内出土の甑 集成図① (1:8)

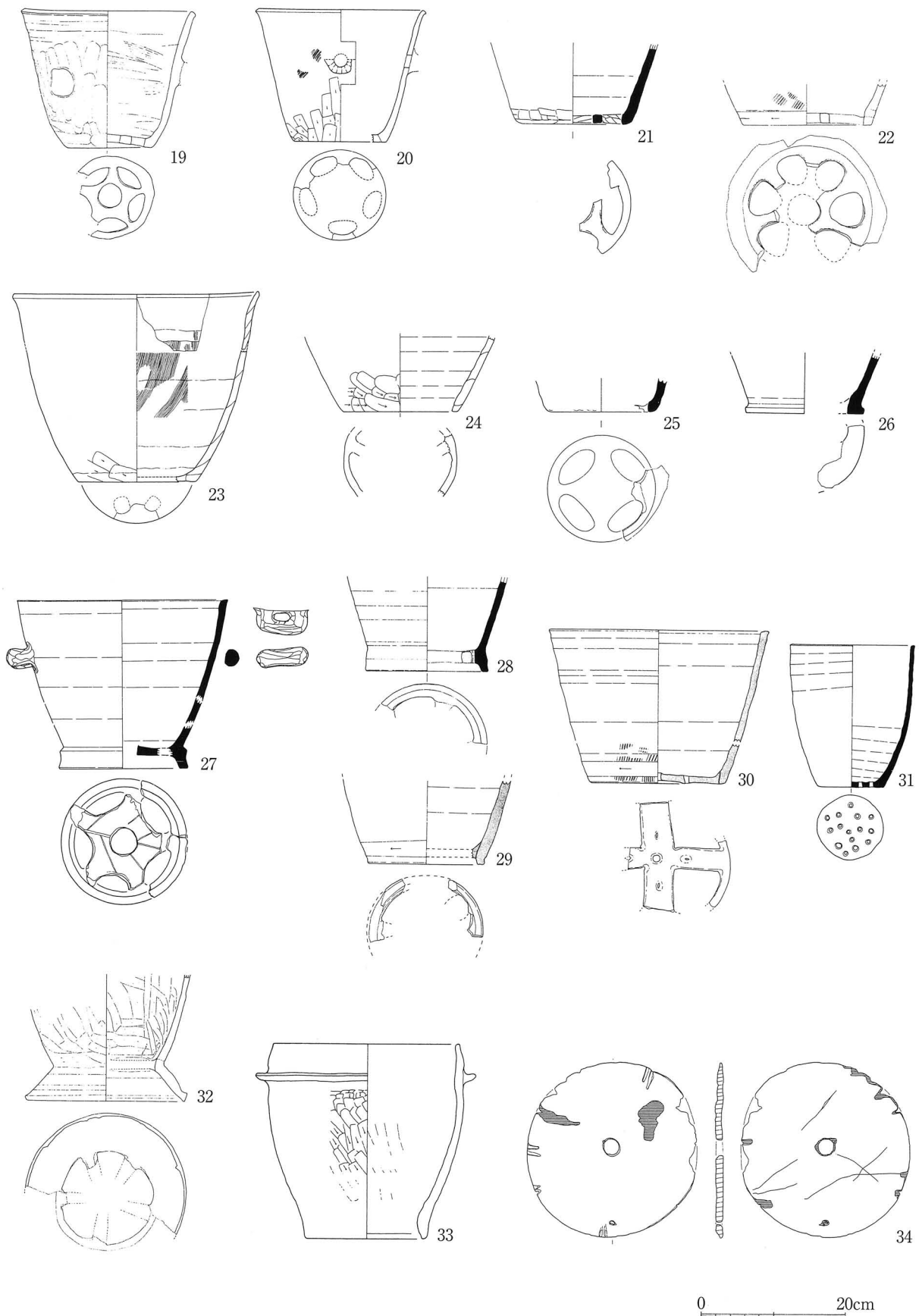


図16 長野県内出土の甑 集成図② (1:8)

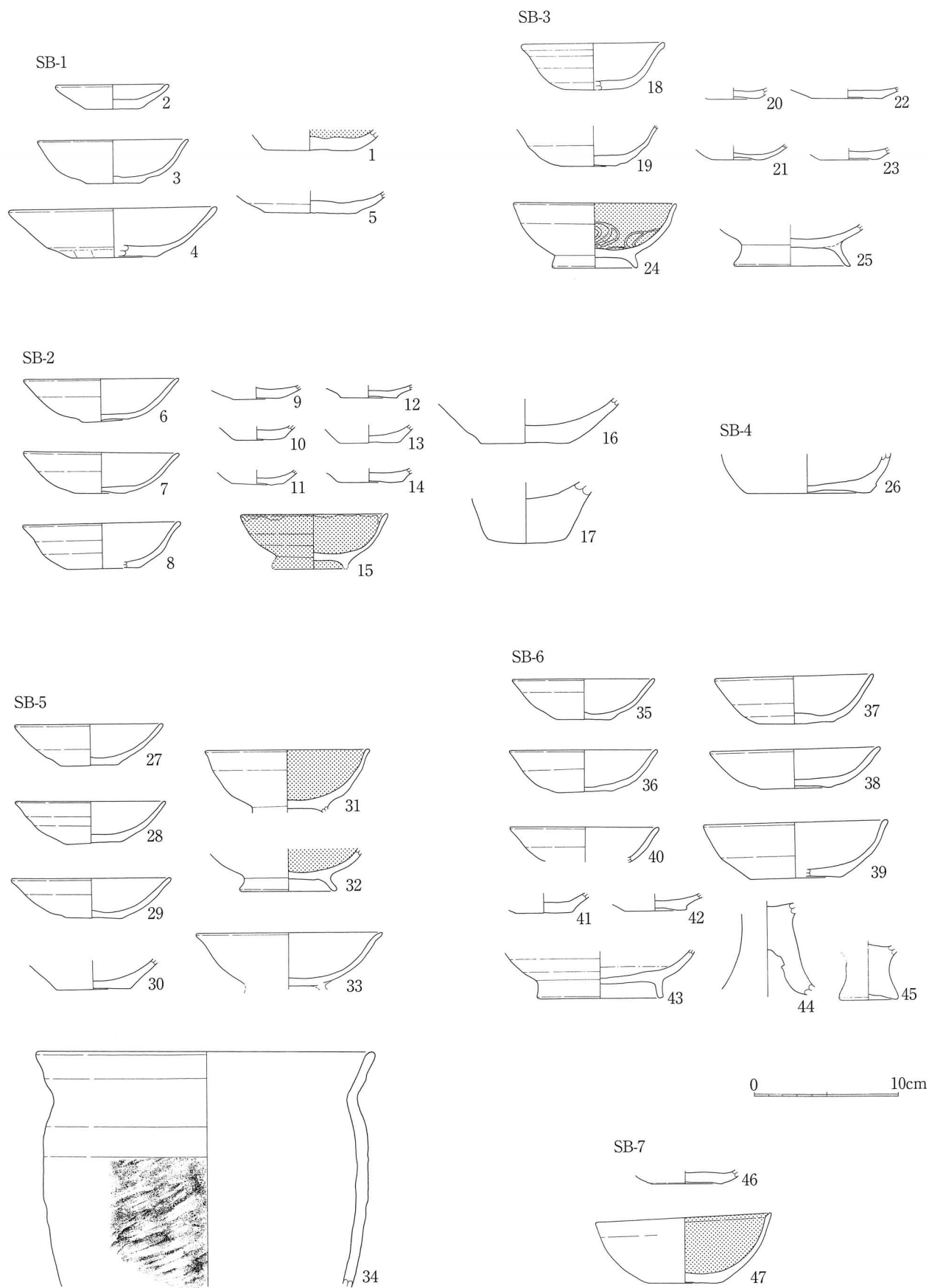
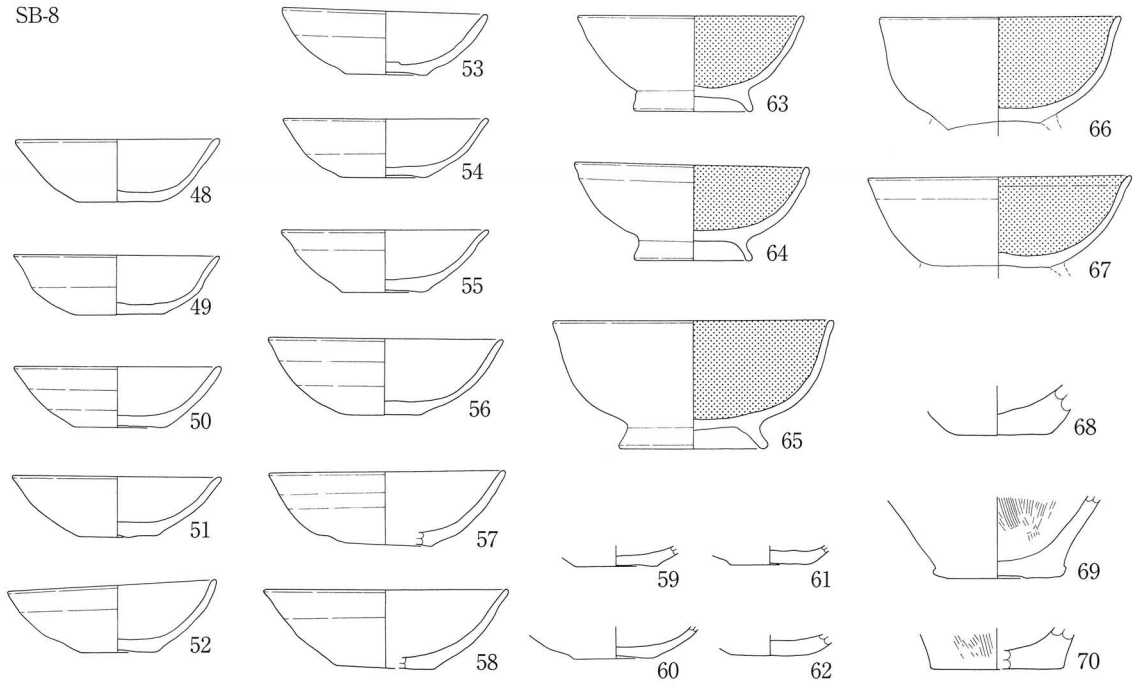
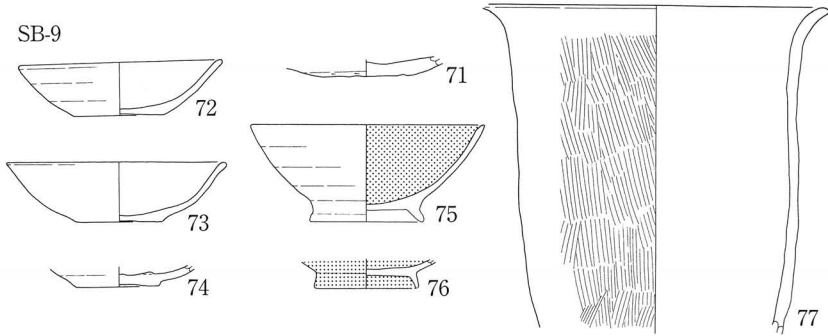


図17 平成6年度調査 遺物実測図① (1:4)

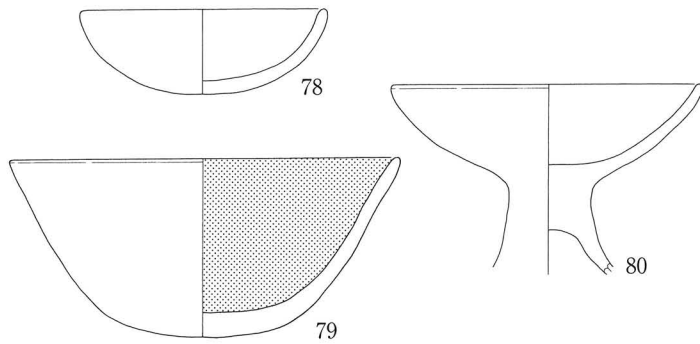
SB-8



SB-9



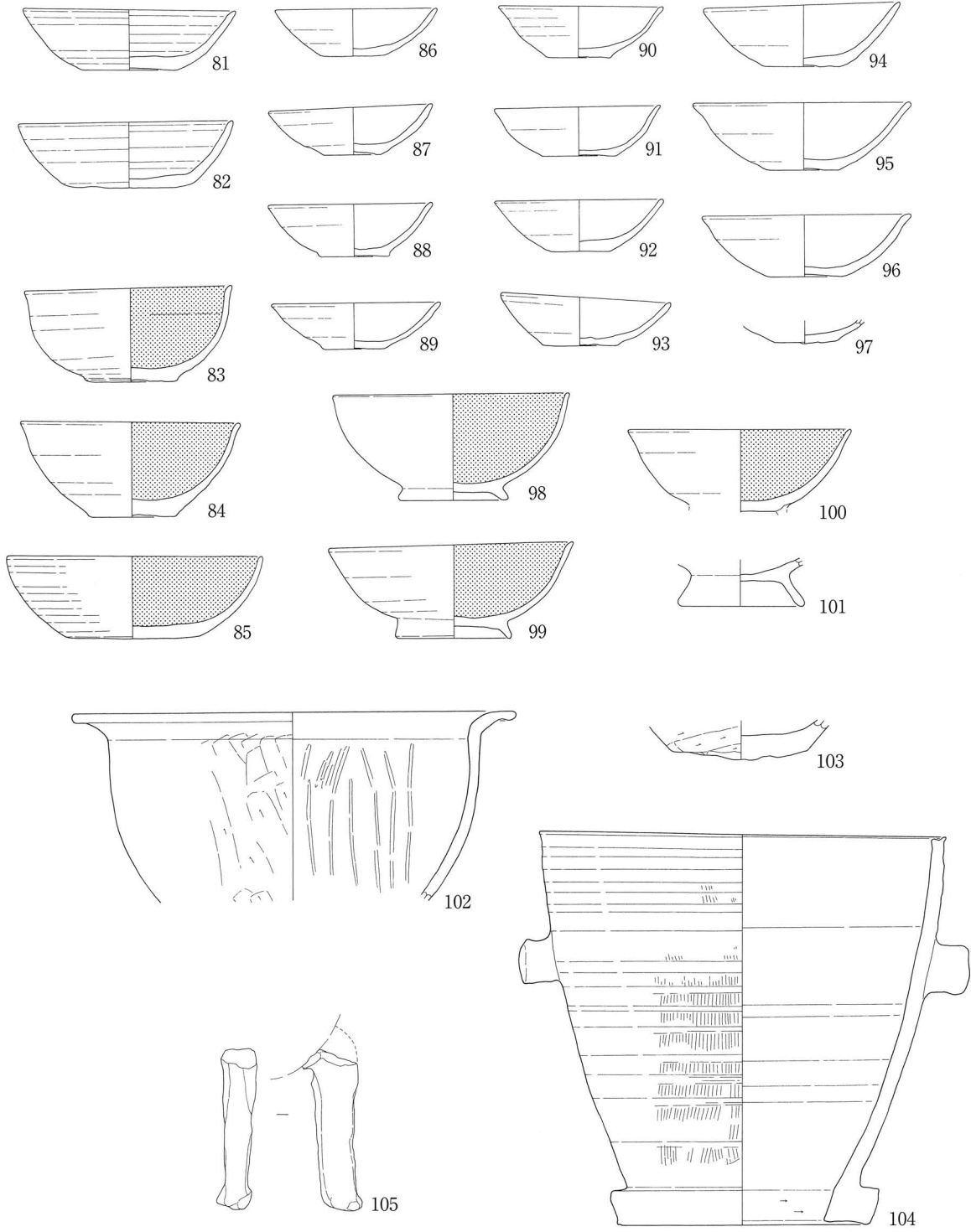
SB-13



0 10cm

図18 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

SB-10



0 10cm

图19 平成6年度調査 遺物実測図③ (1:4)

SB-15

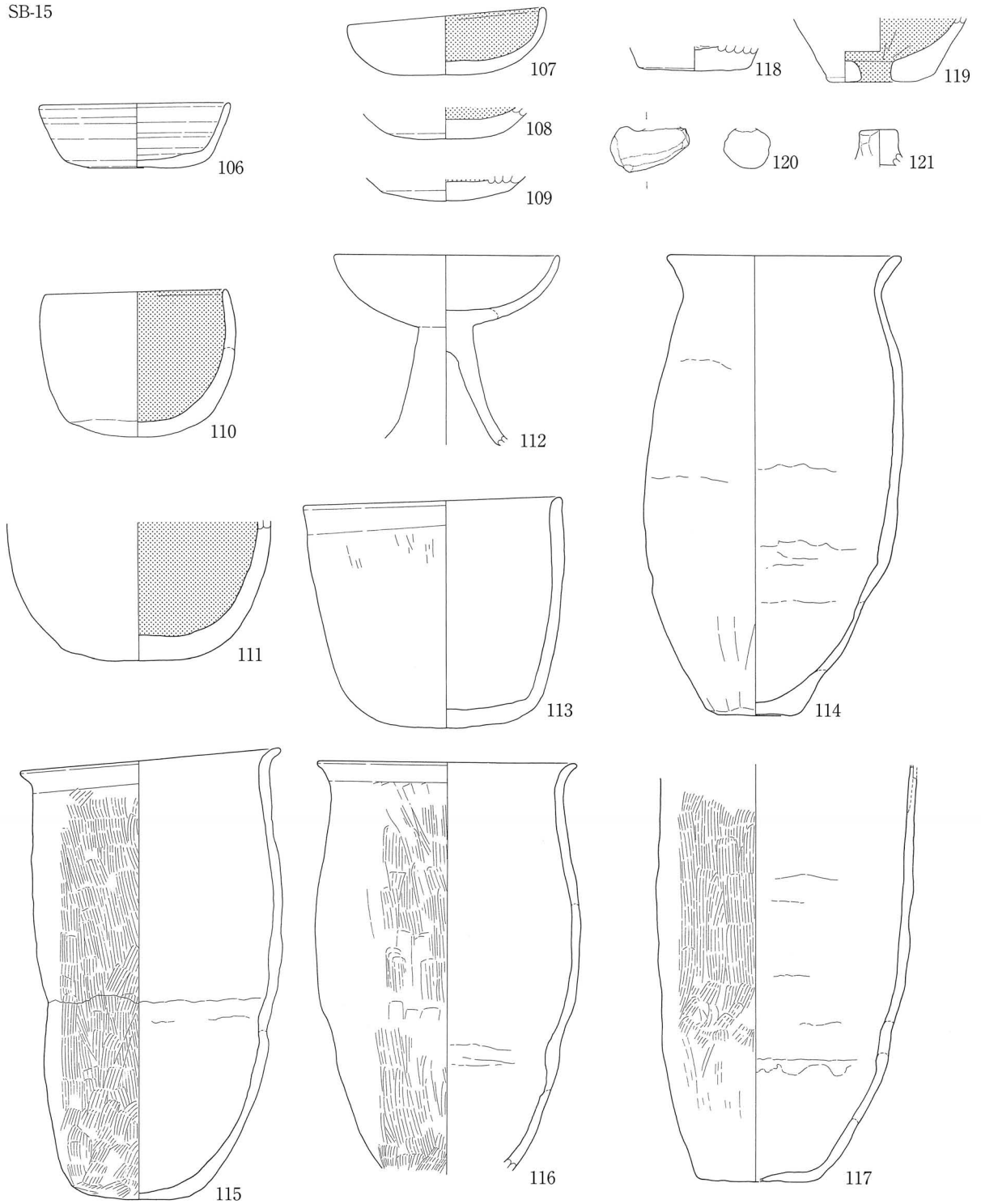
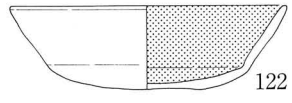
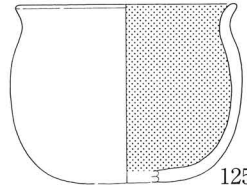


图20 平成6年度調査 遺物実測図④ (1:4)

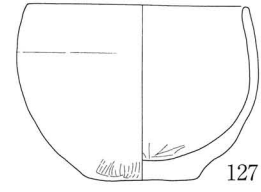
SB-16



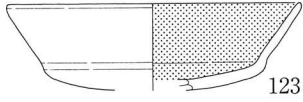
122



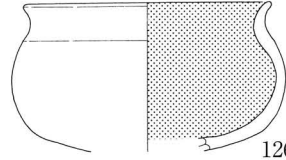
125



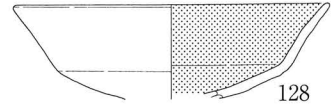
127



123



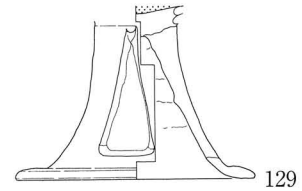
126



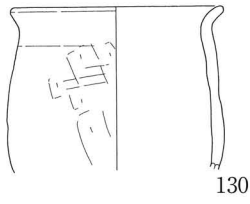
128



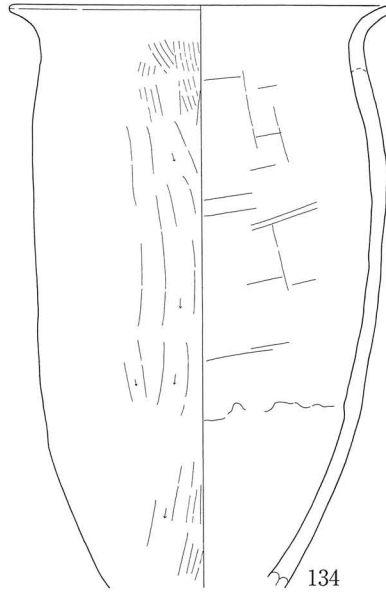
124



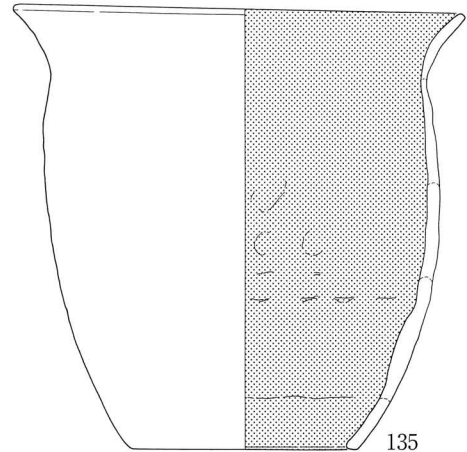
129



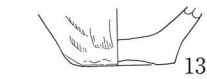
130



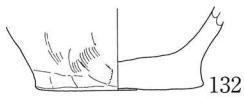
134



135



131

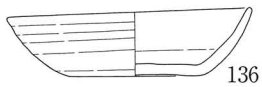


132



133

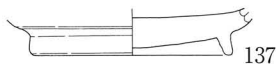
SB-17



136



138



137

SB-19



139

0 10cm

图21 平成6年度調査 遺物実測図⑤ (1:4)

SB-20 (1/2)

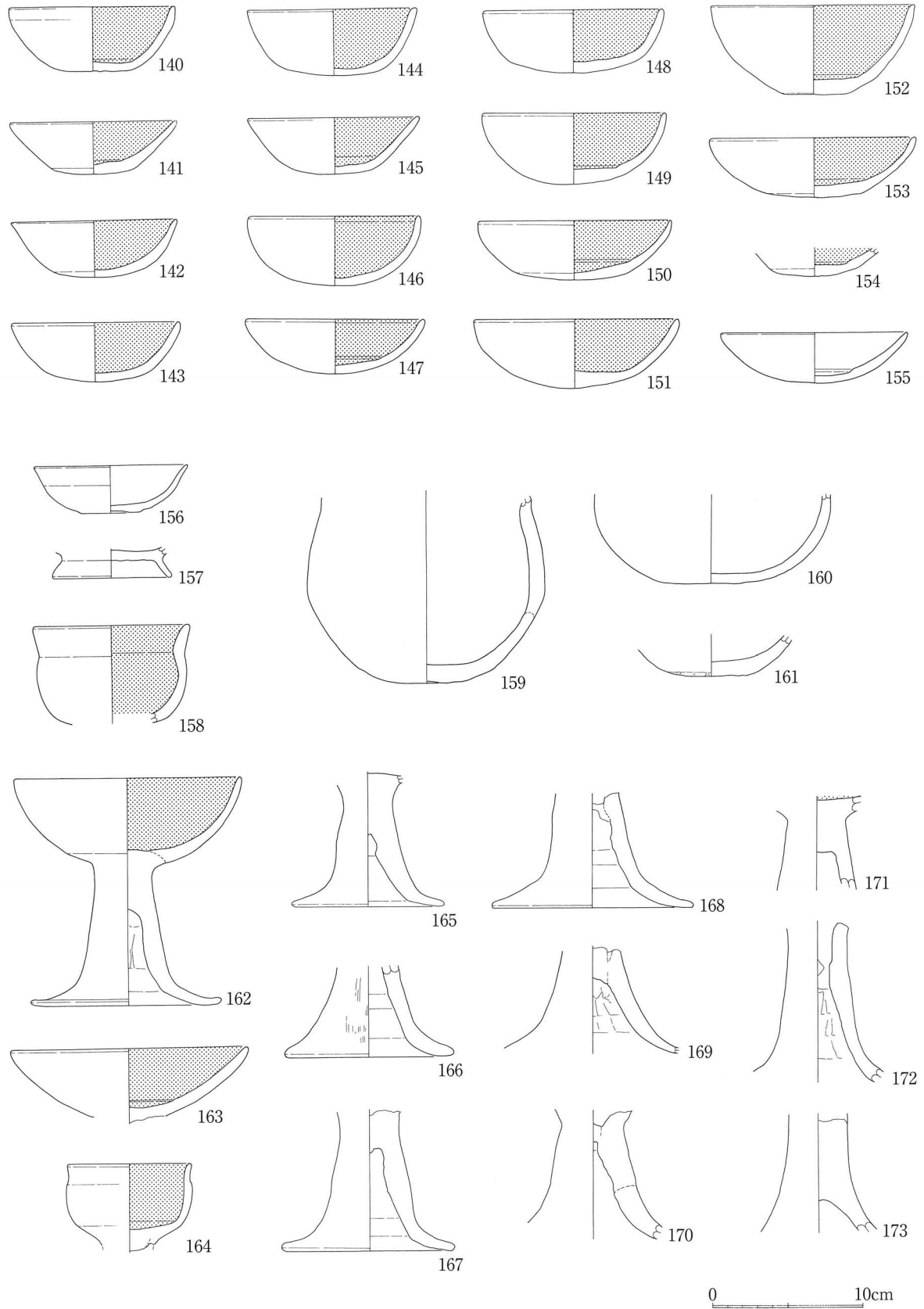


図22 平成6年度調査 遺物実測図⑥ (1:4)

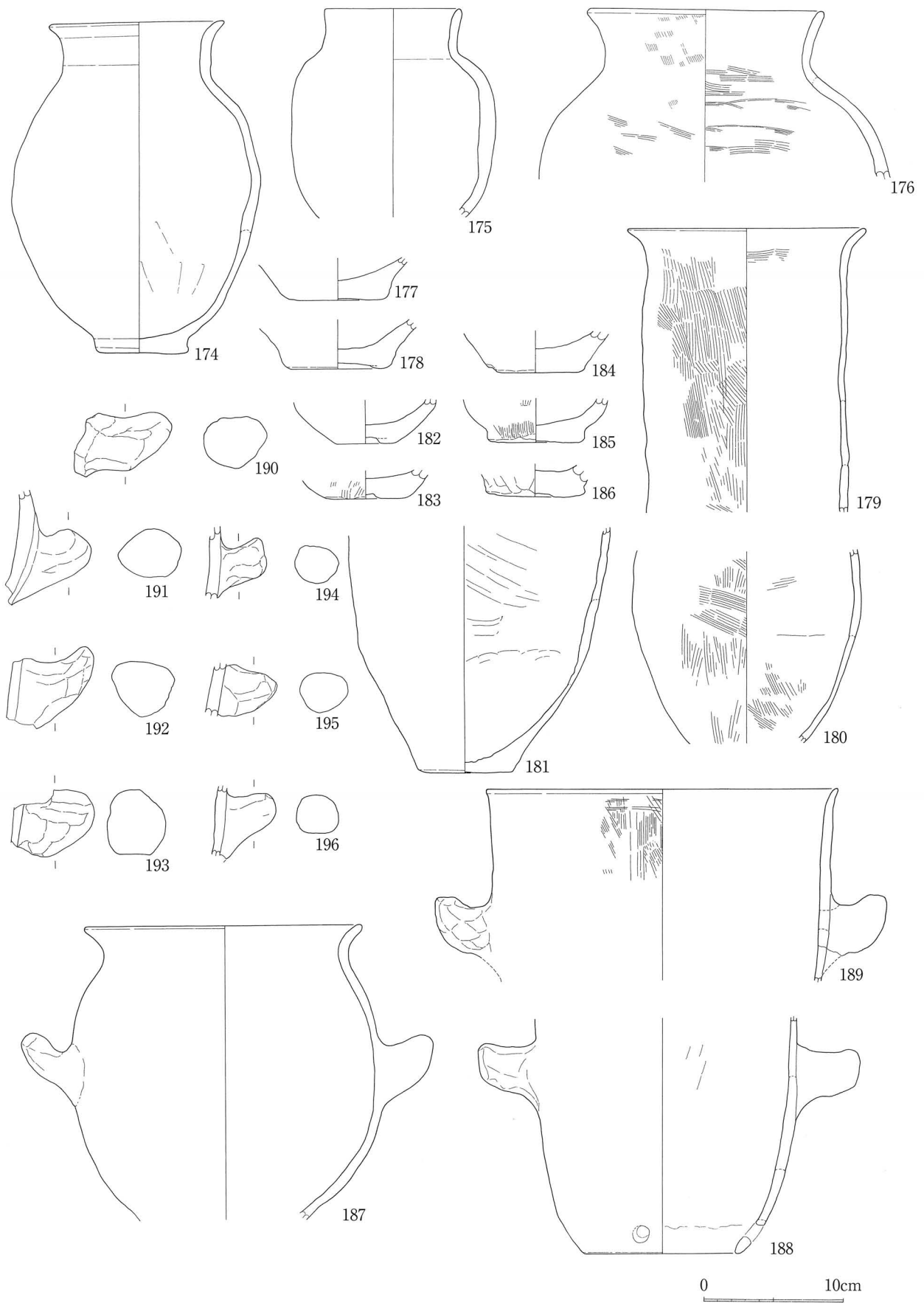
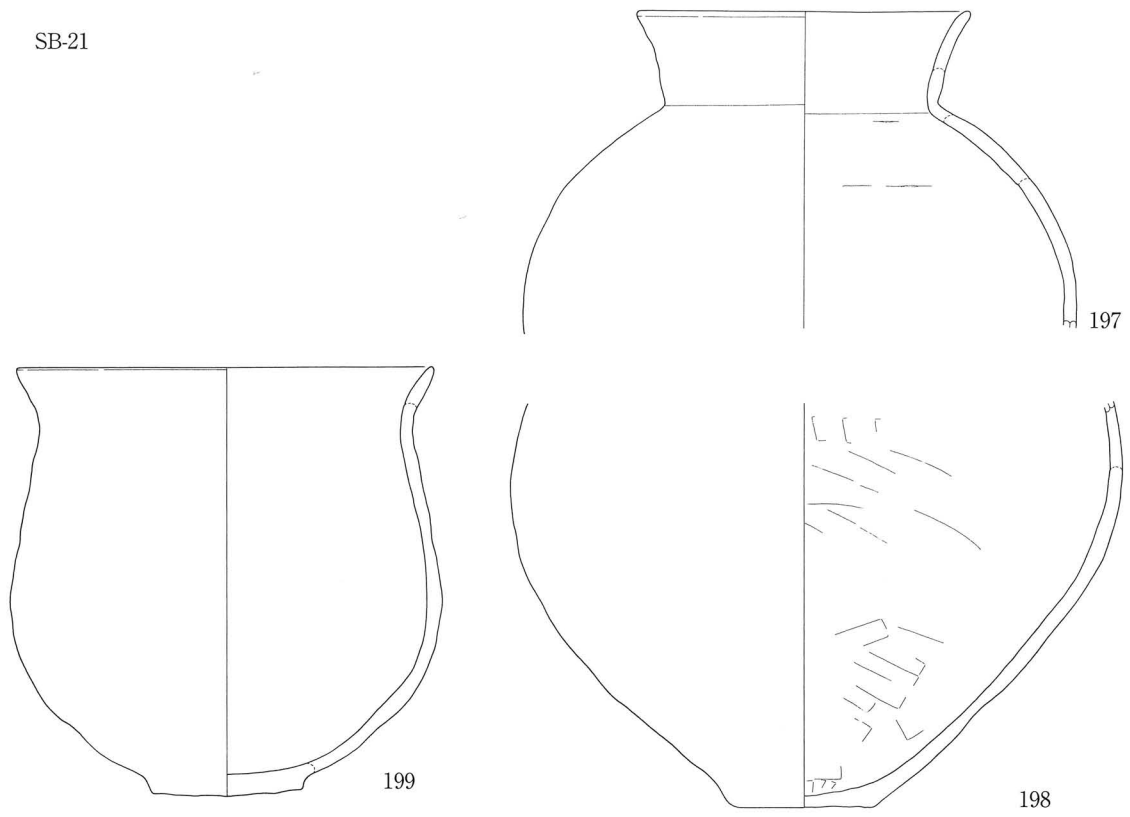
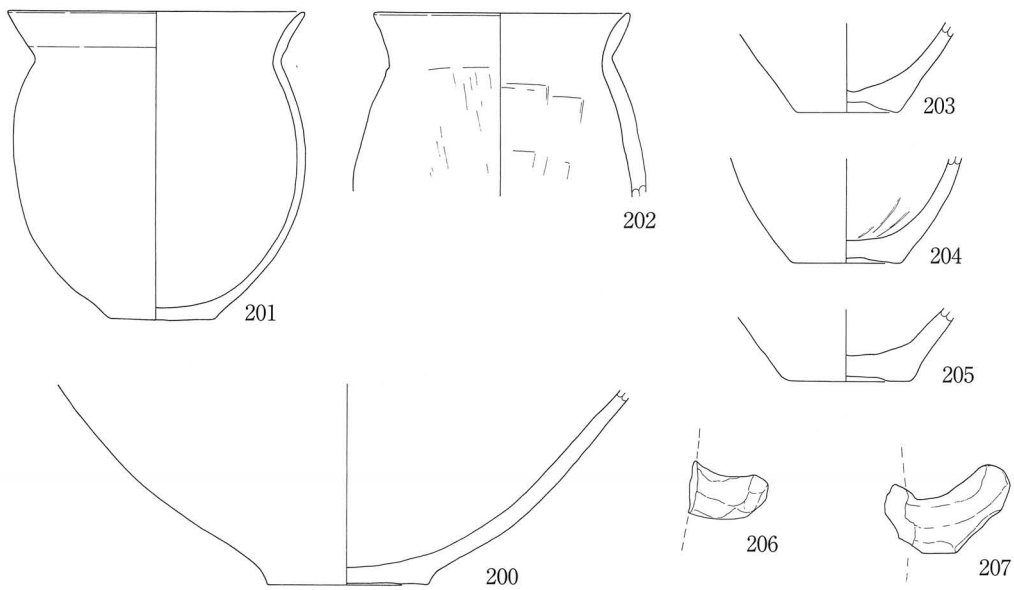


図23 平成6年度調査 遺物実測図⑦ (1:4)

SB-21



SB-23



0 10cm

图24 平成6年度調査 遺物実測図⑧ (1:4)

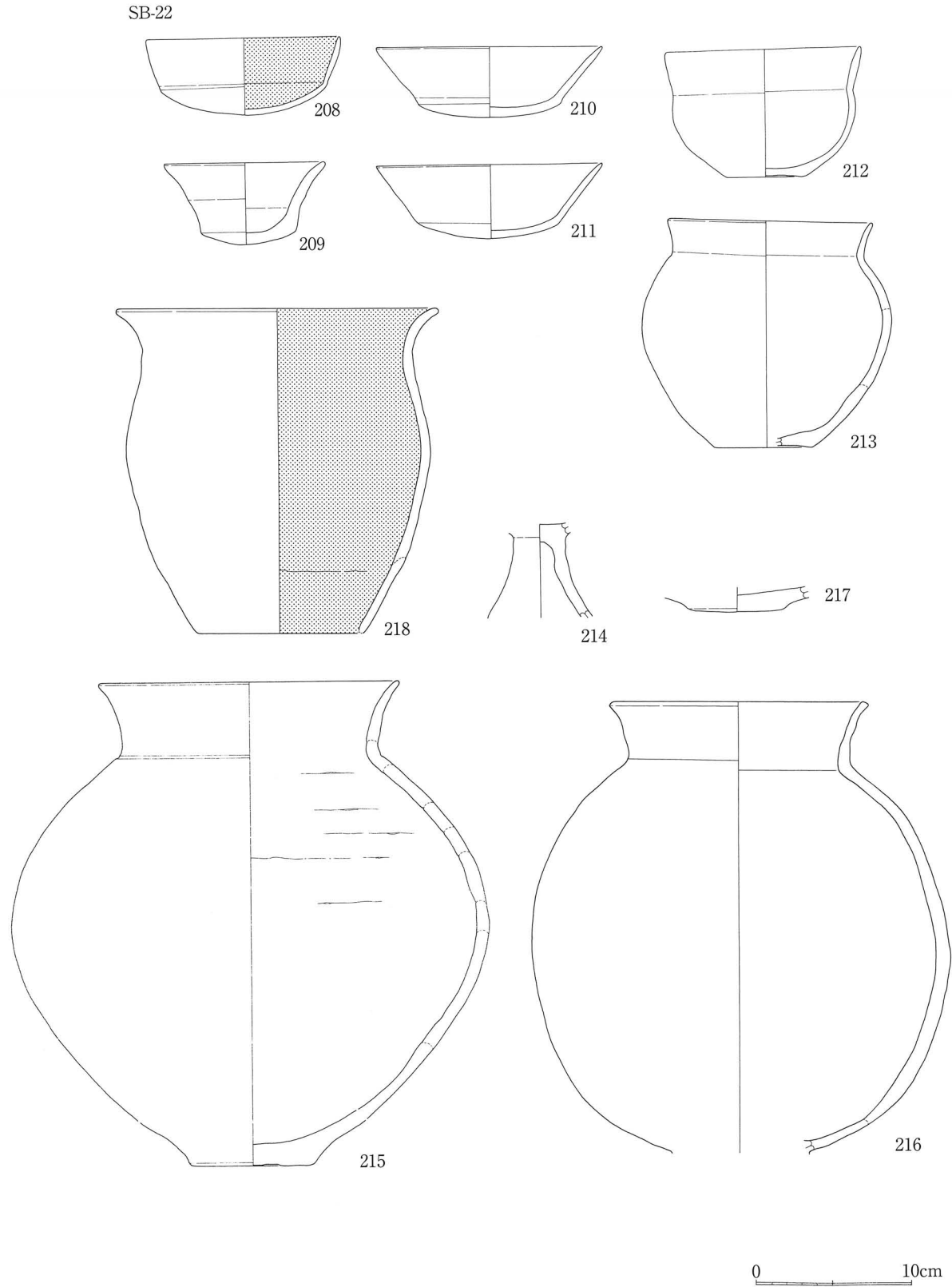
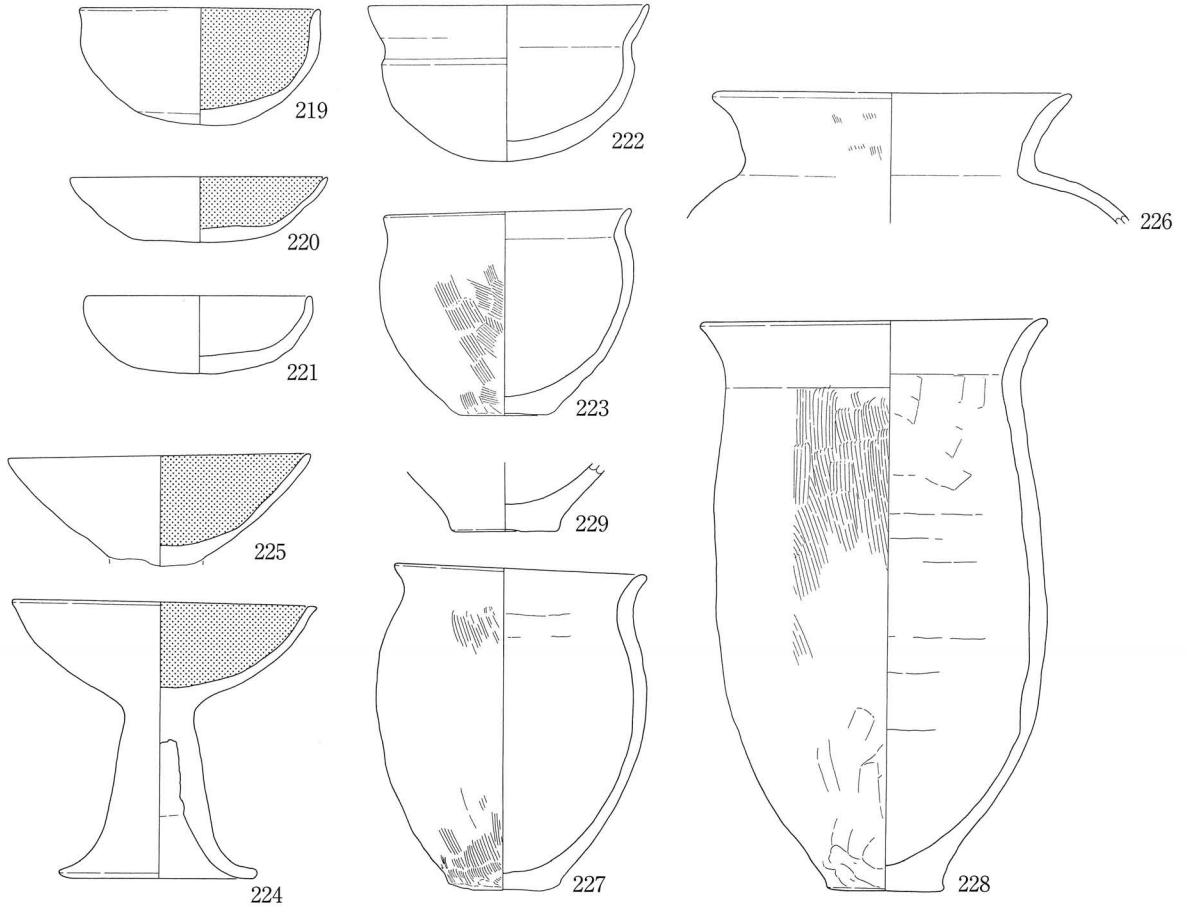
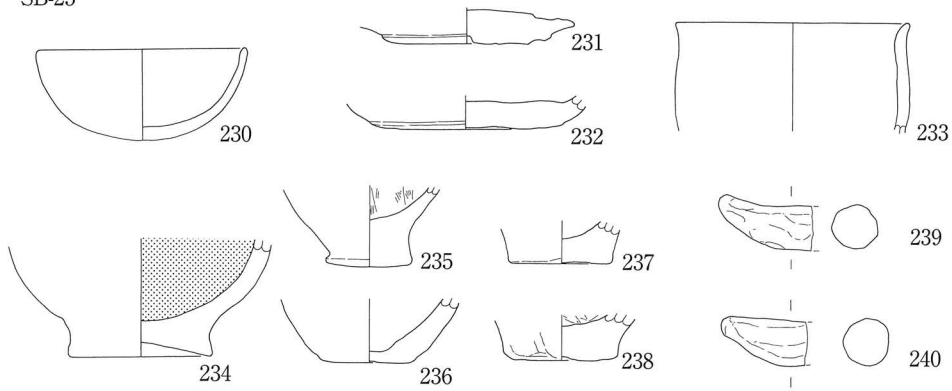


図25 平成6年度調査 遺物実測図⑨ (1:4)

SB-24



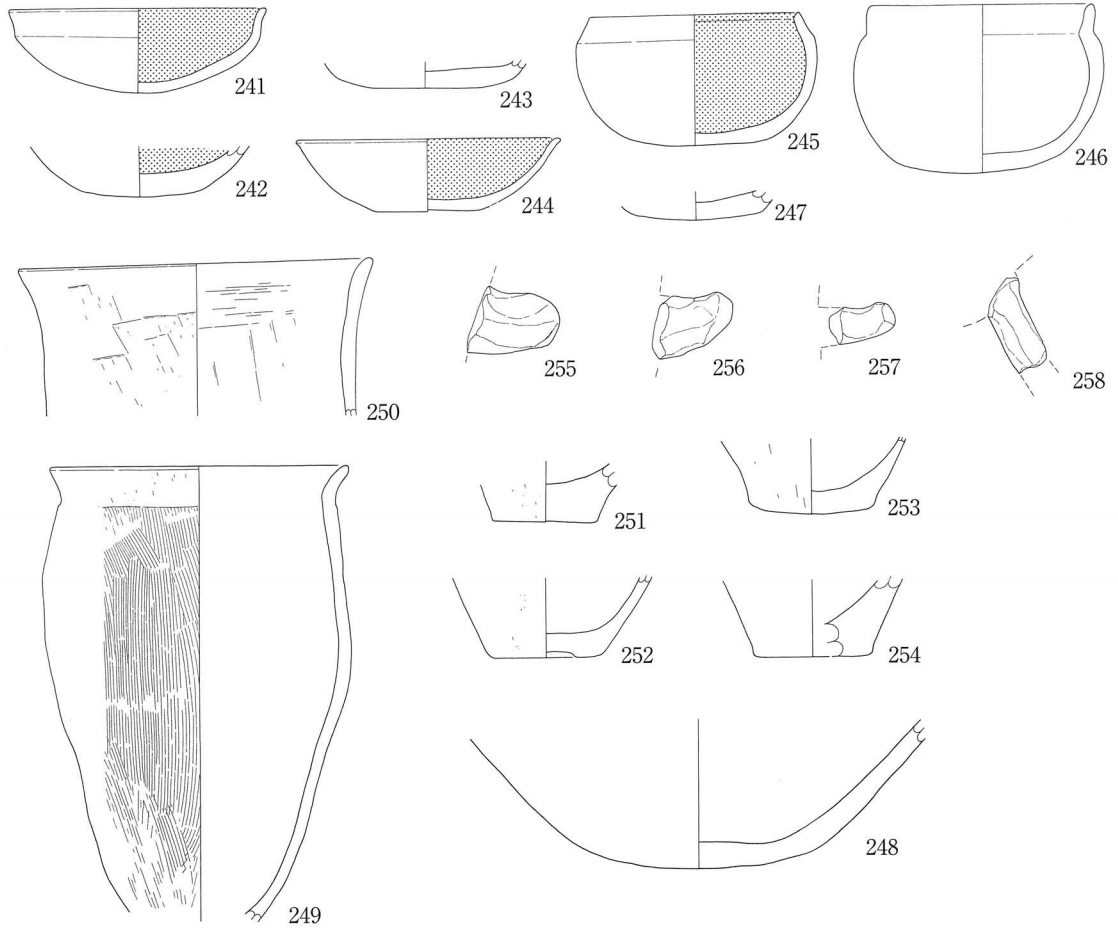
SB-25



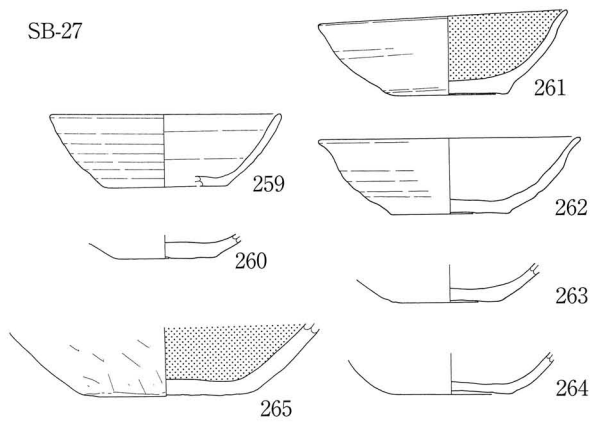
0 10cm

图26 平成6年度調査 遺物実測図⑩ (1:4)

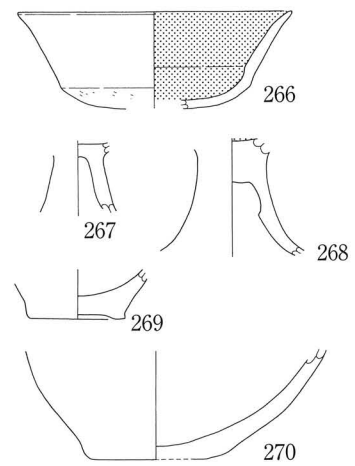
SB-26



SB-27



SB-28



0 10cm

図27 平成6年度調査 遺物実測図⑪ (1:4)

SB-29 (1/2)

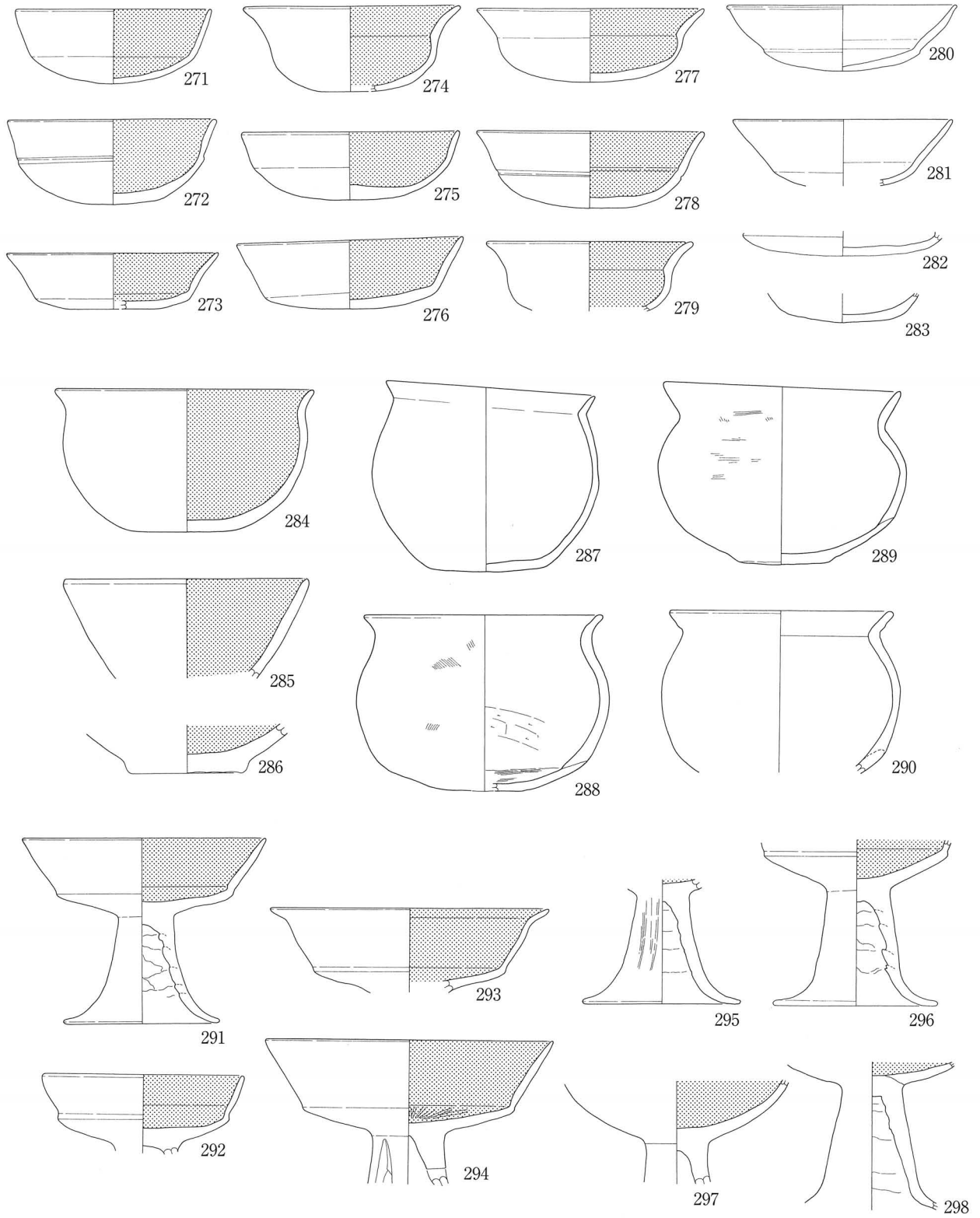


図28 平成6年度調査 遺物実測図⑫ (1:4)

SB-29 (2/2)

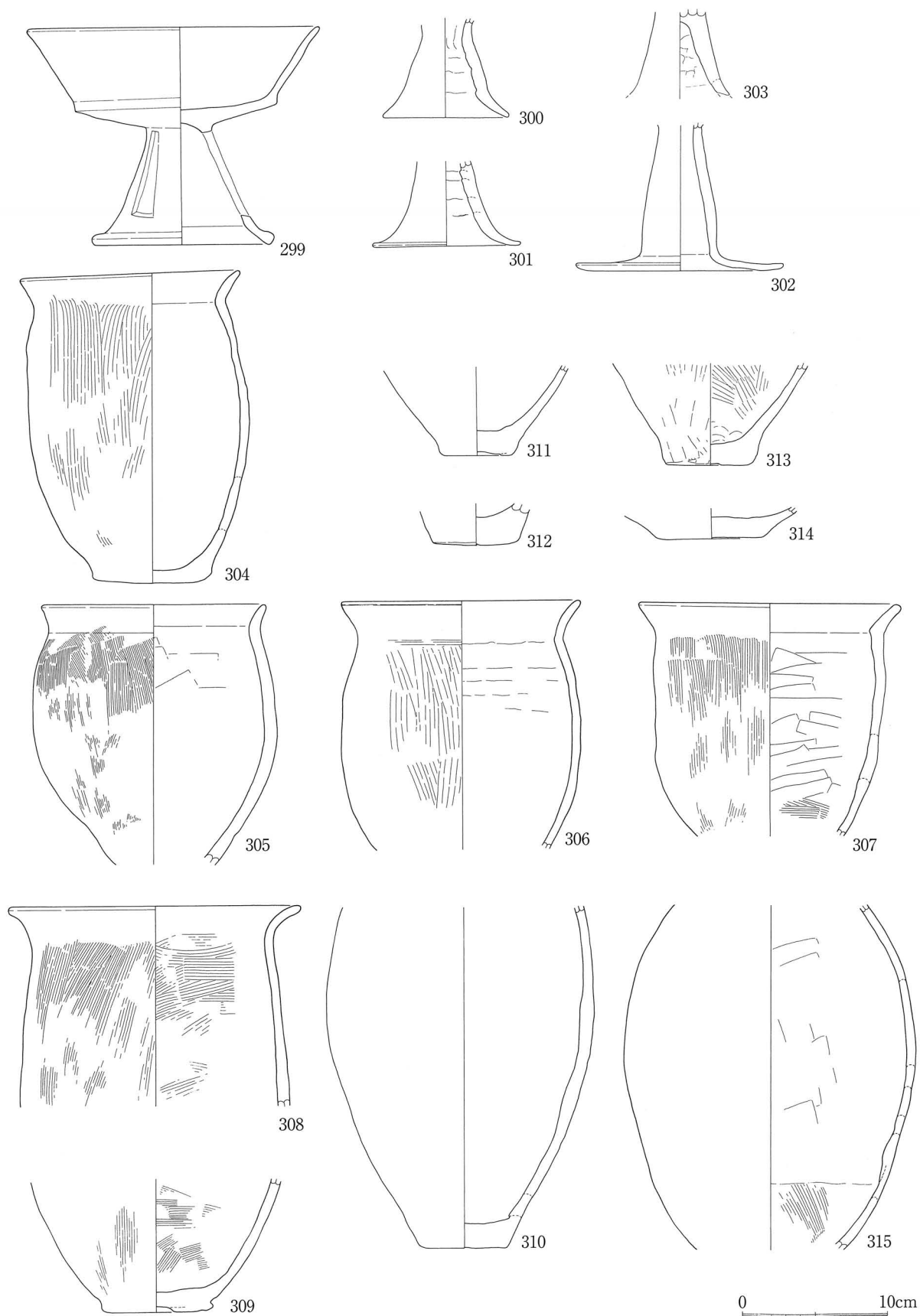
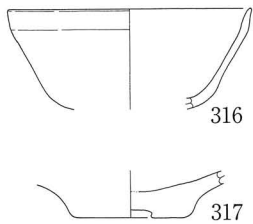
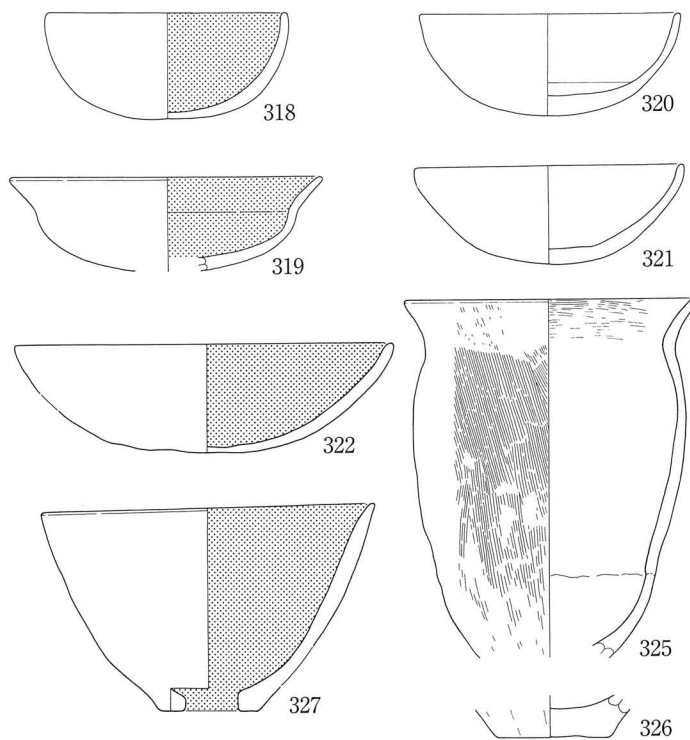


図29 平成6年度調査 遺物実測図⑬ (1:4)

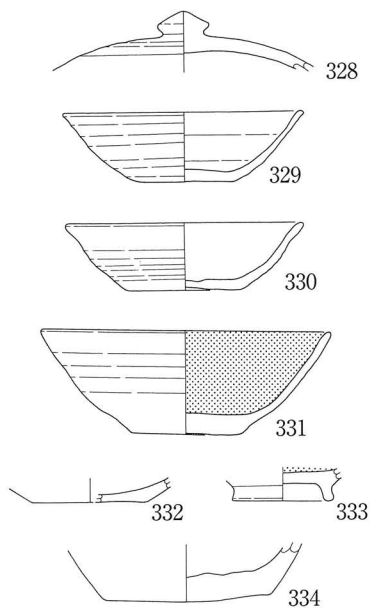
SB-30



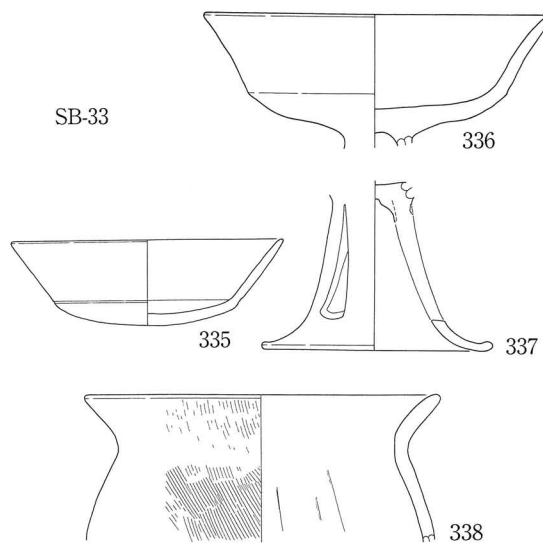
SB-31



SB-32



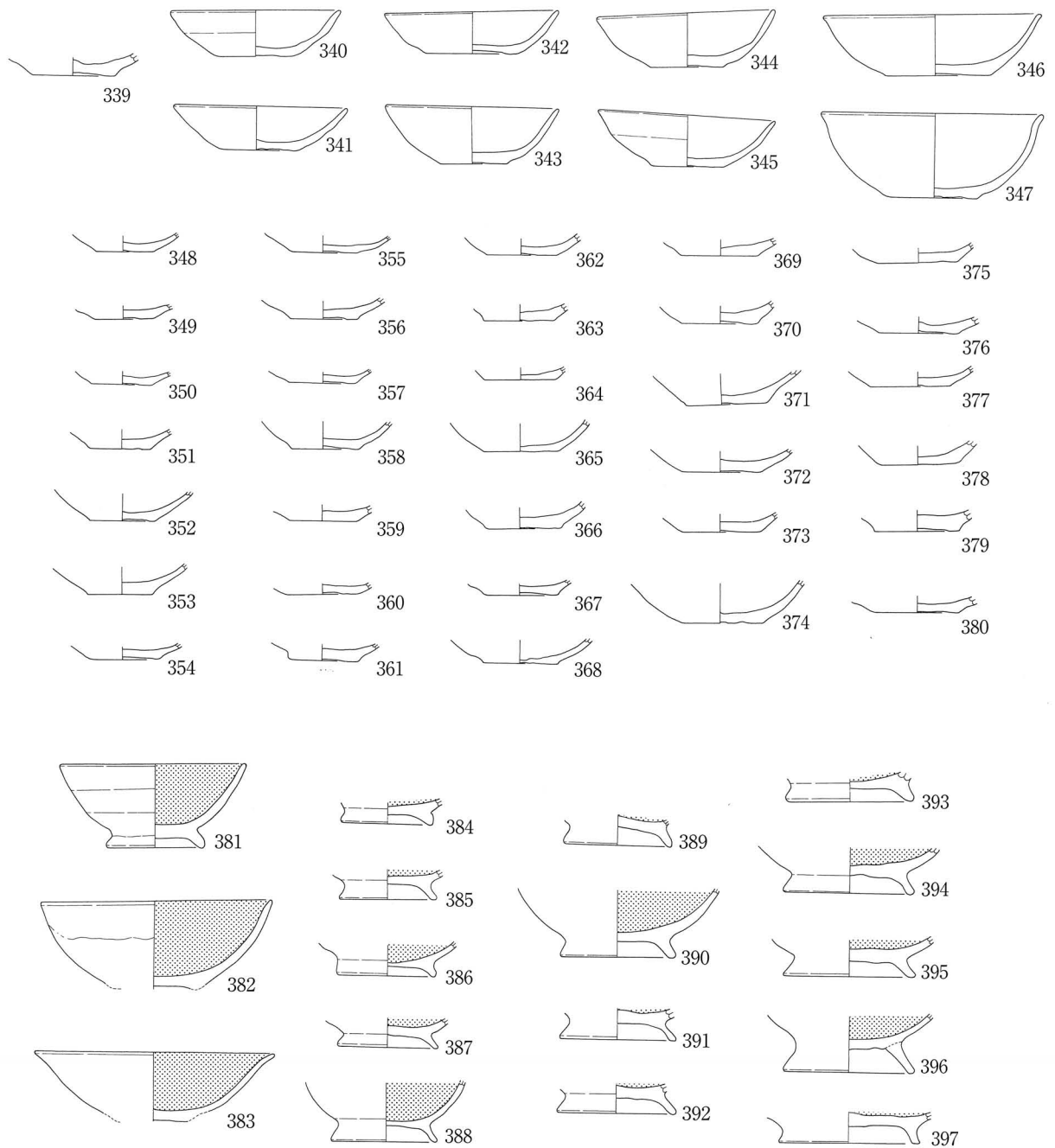
SB-33



0 10cm

図30 平成6年度調査 遺物実測図⑭ (1:4)

SB-34



0 10cm

图31 平成6年度調査 遺物実測図⑮ (1:4)

SB-34 (2/2)

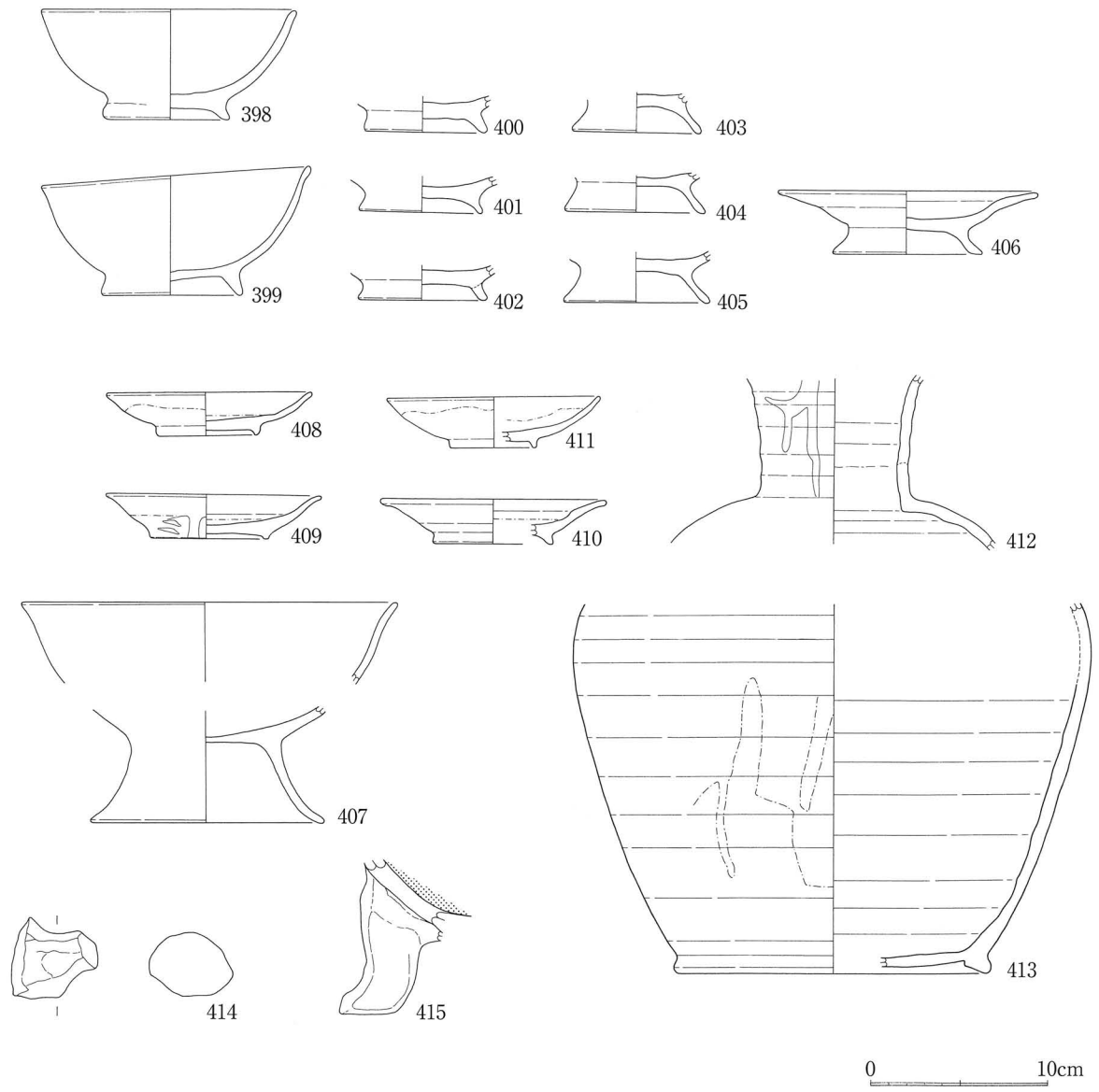


図32 平成6年度調査 遺物実測図⑯ (1:4)

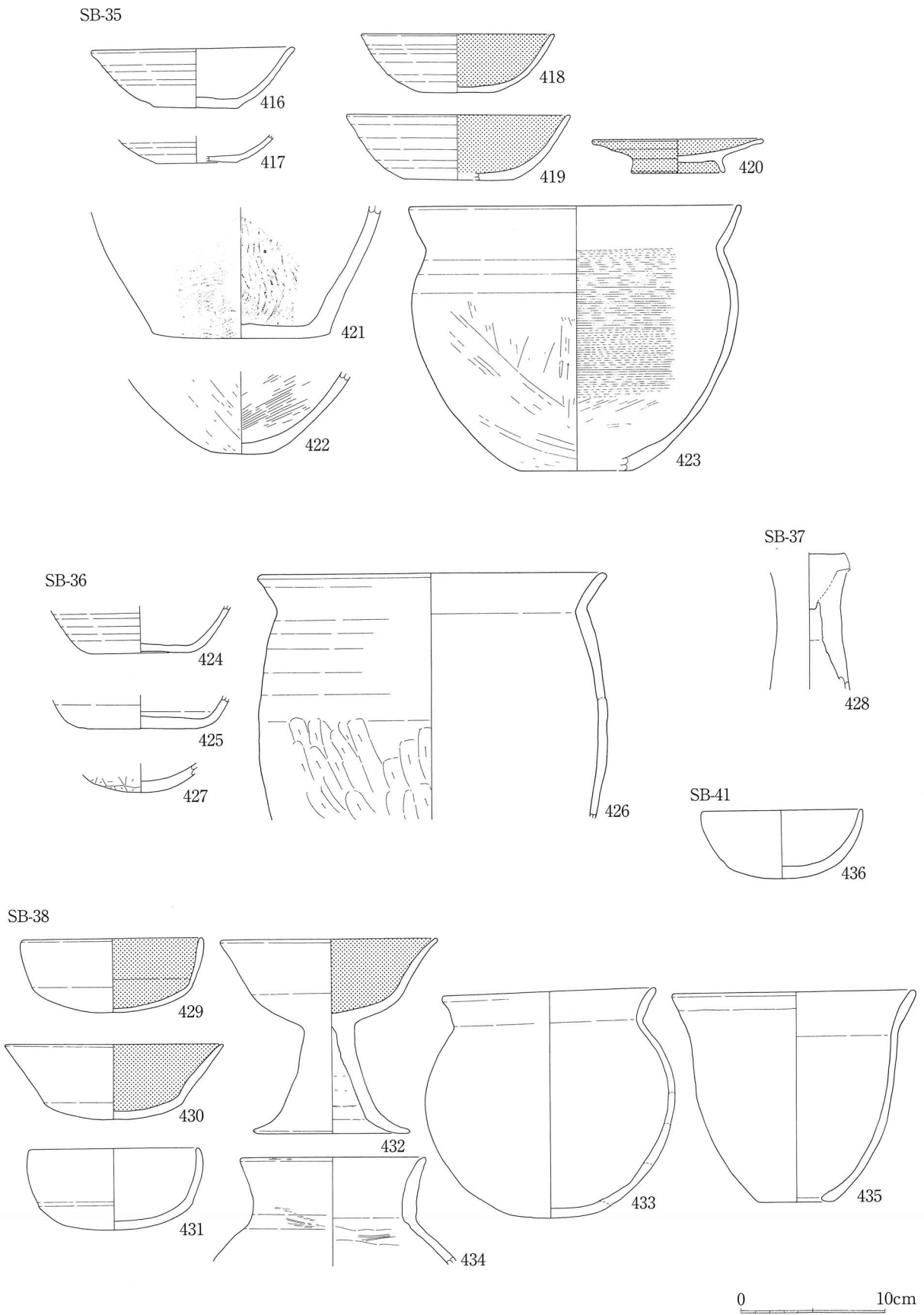


図33 平成6年度調査 遺物実測図⑰ (1:4)

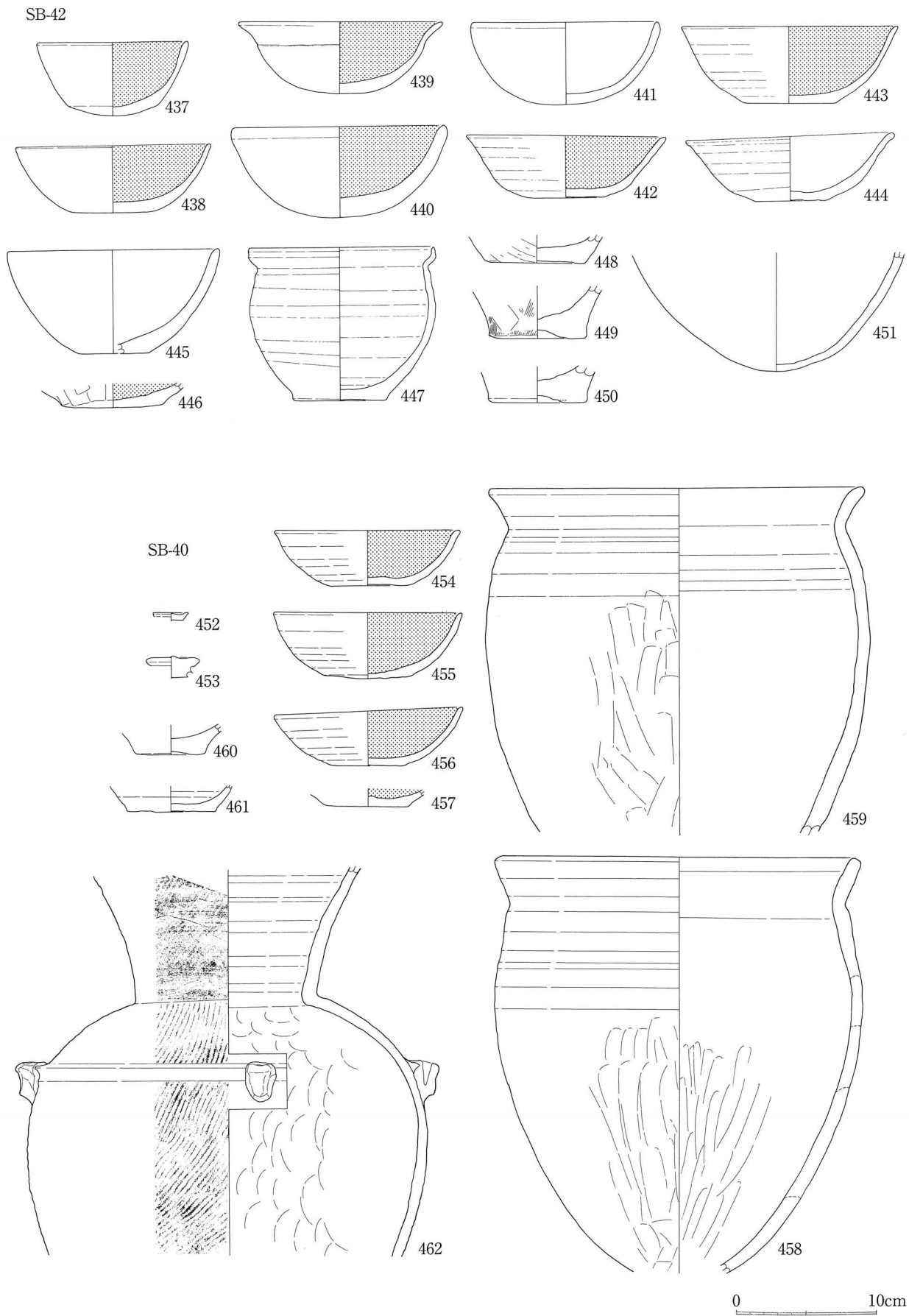


图34 平成6年度調査 遺物実測図[®] (1:4)

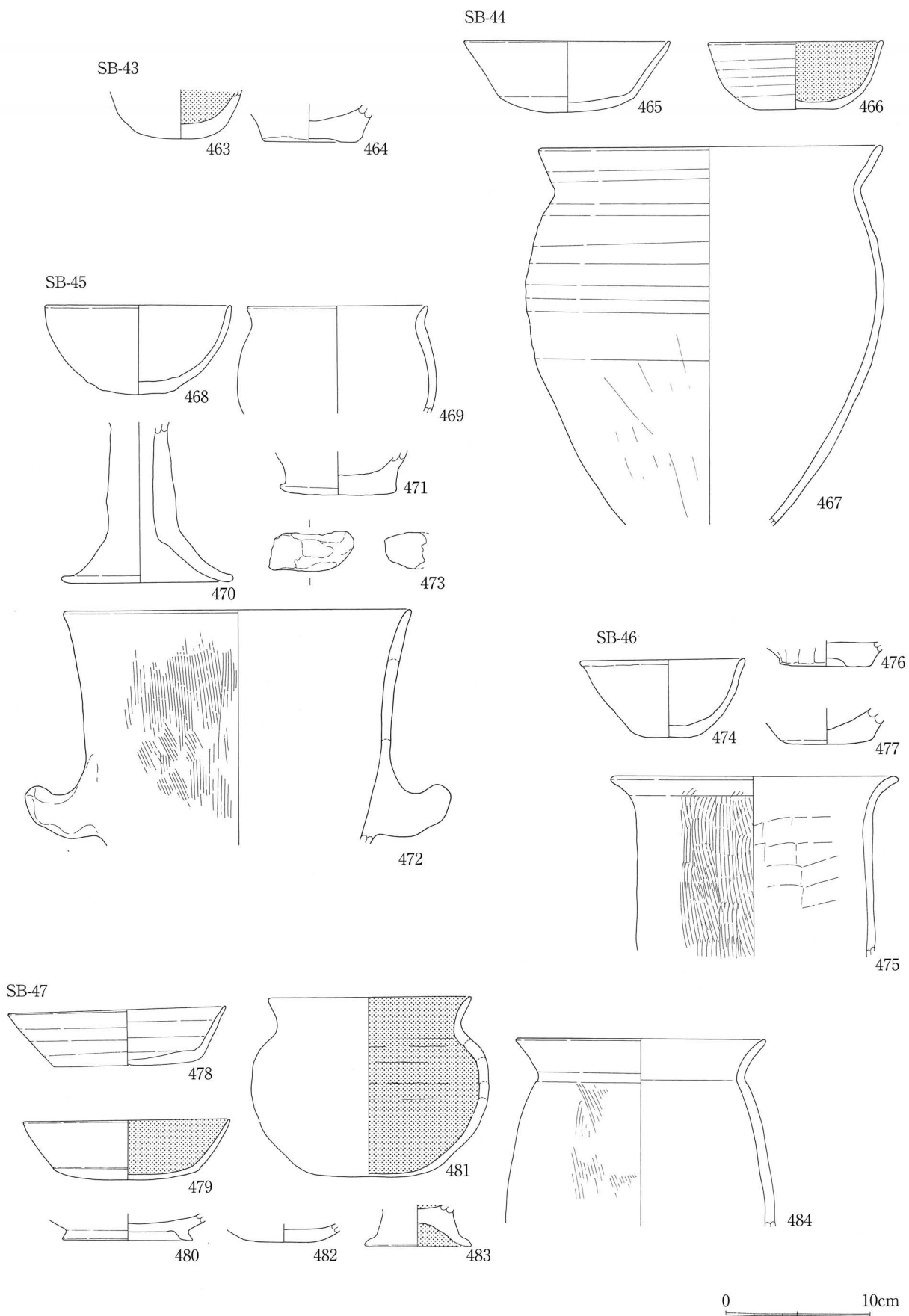
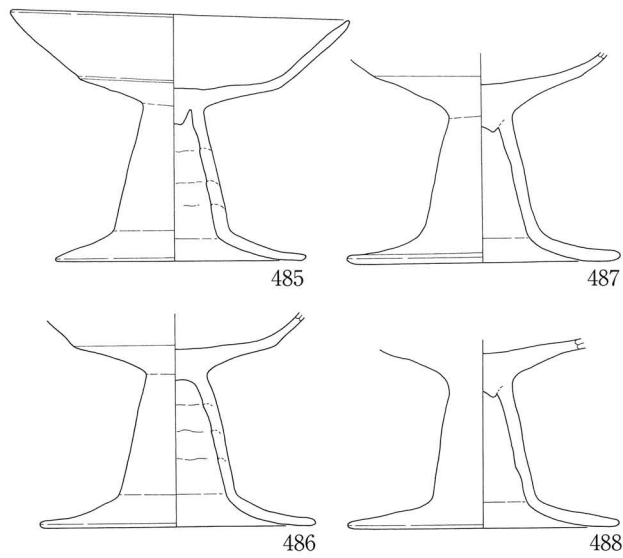
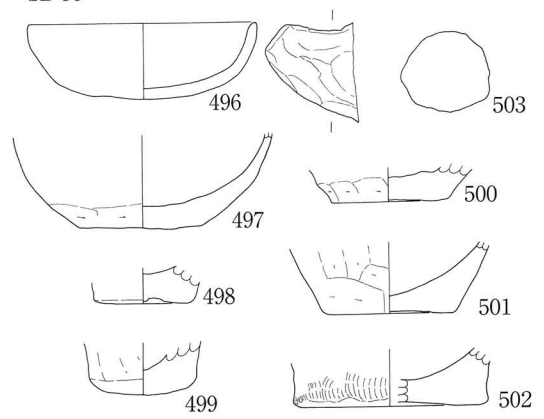


図35 平成6年度調査 遺物実測図⑱ (1:4)

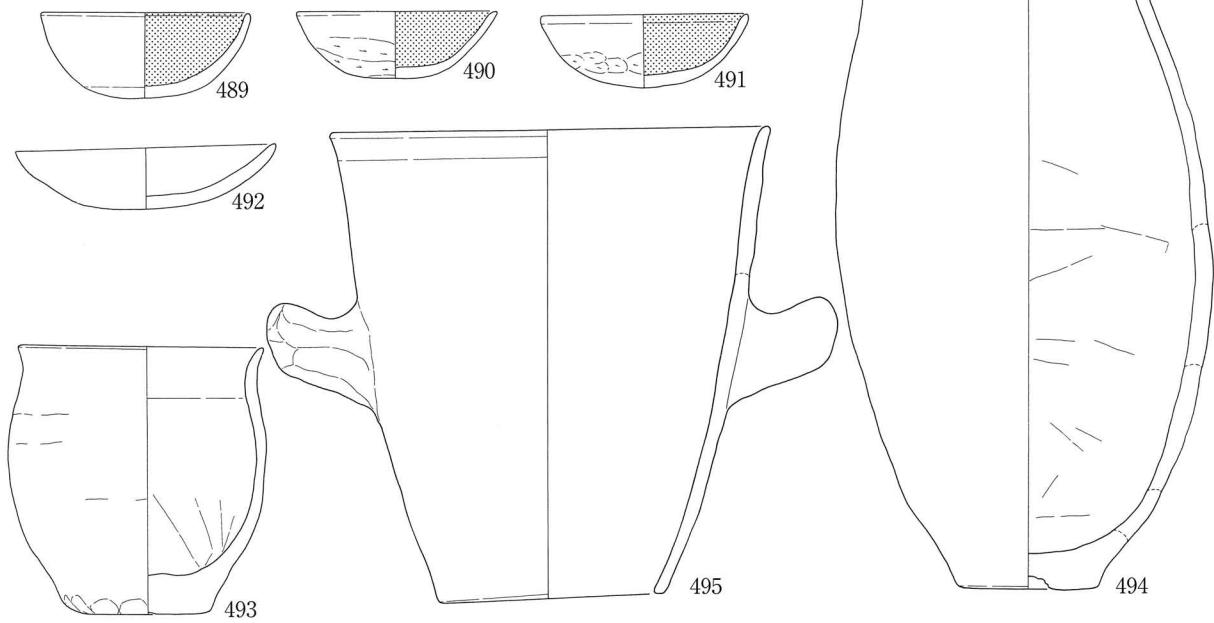
SB-48



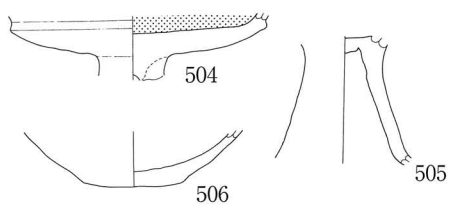
SB-50



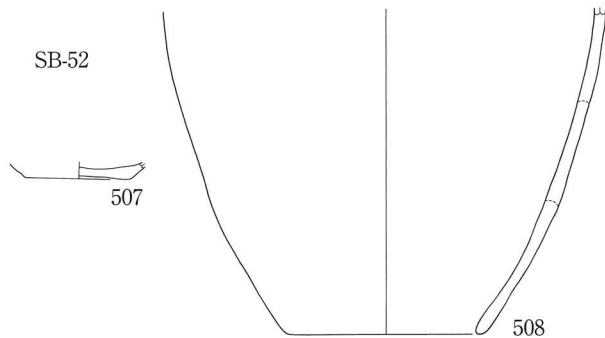
SB-49



SB-51



SB-52



0 10cm

图36 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

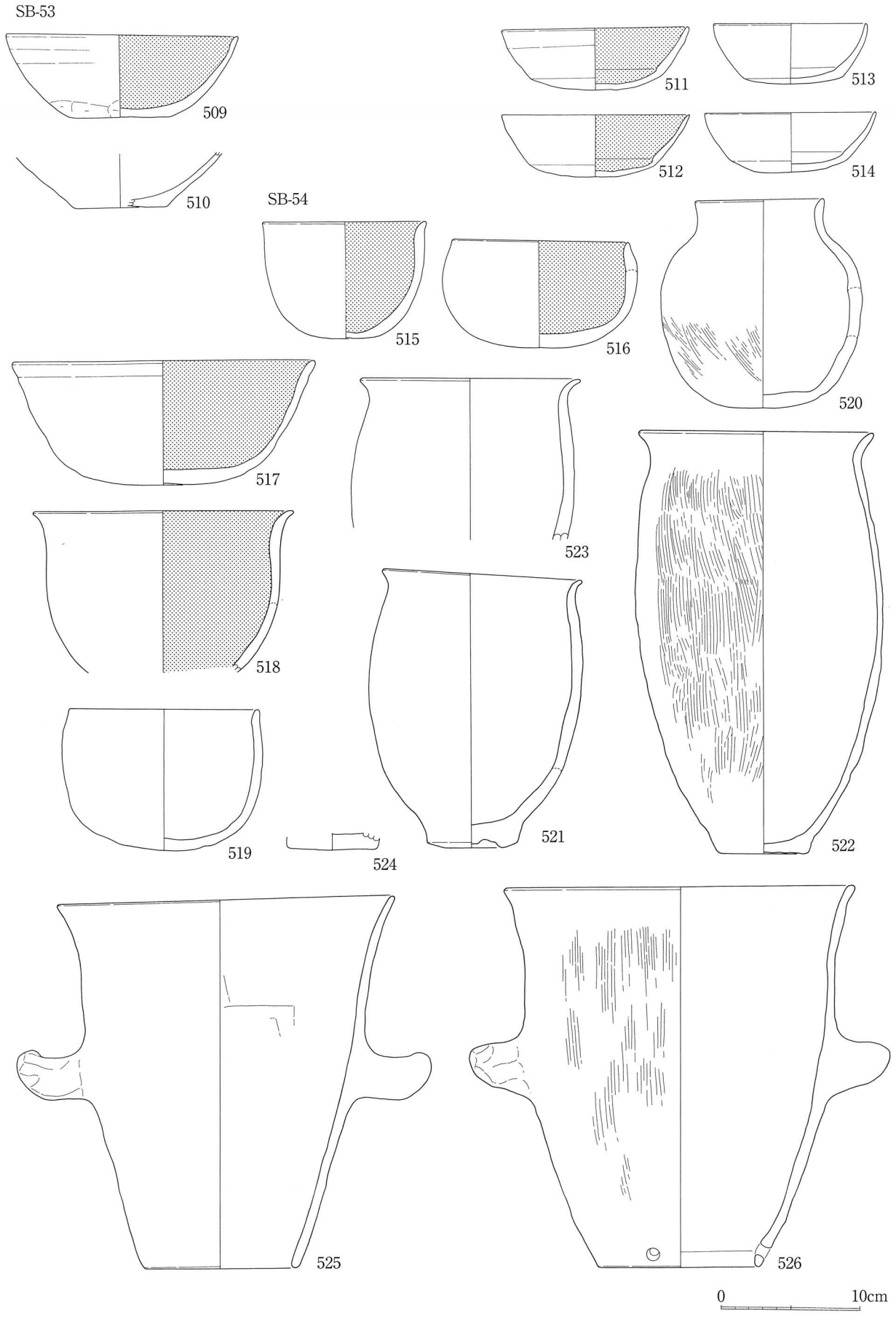
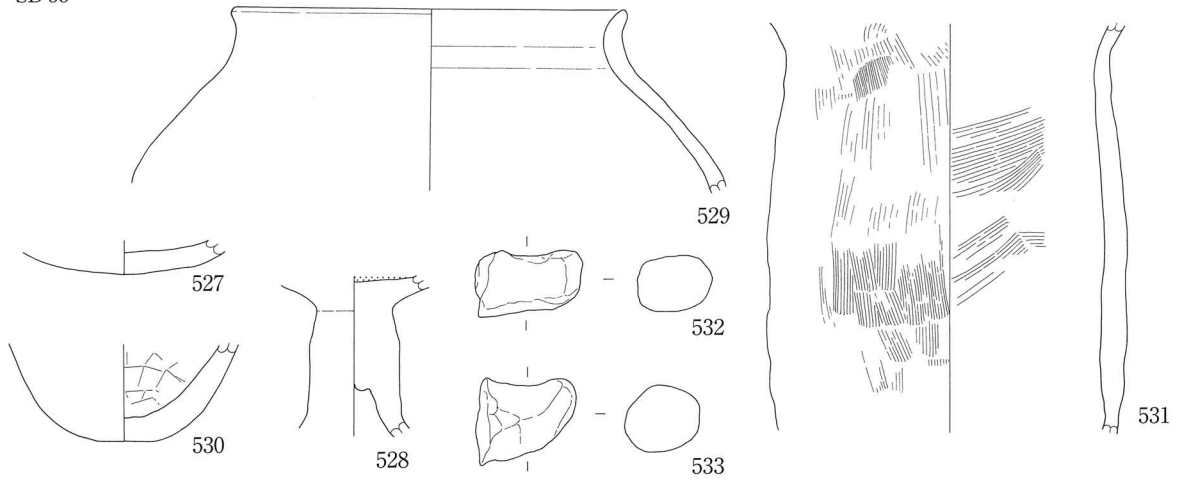
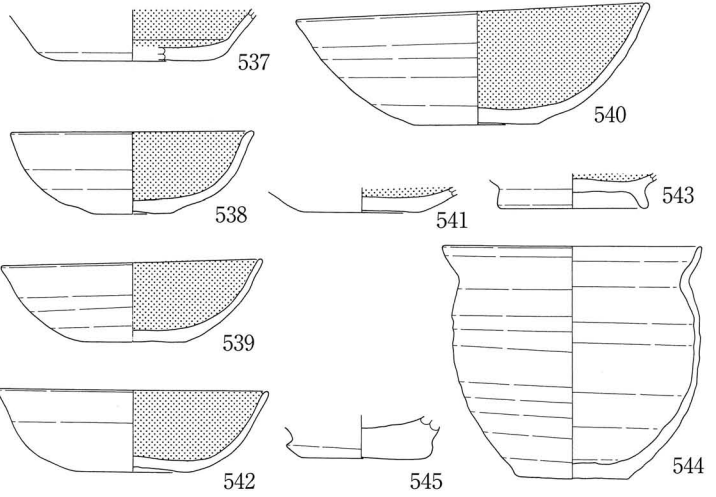


図37 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

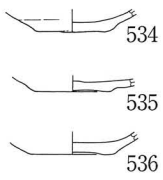
SB-55



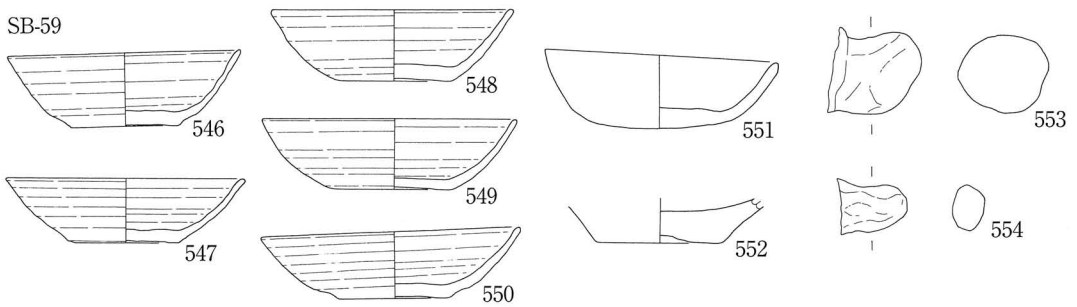
SB-58



SB-57



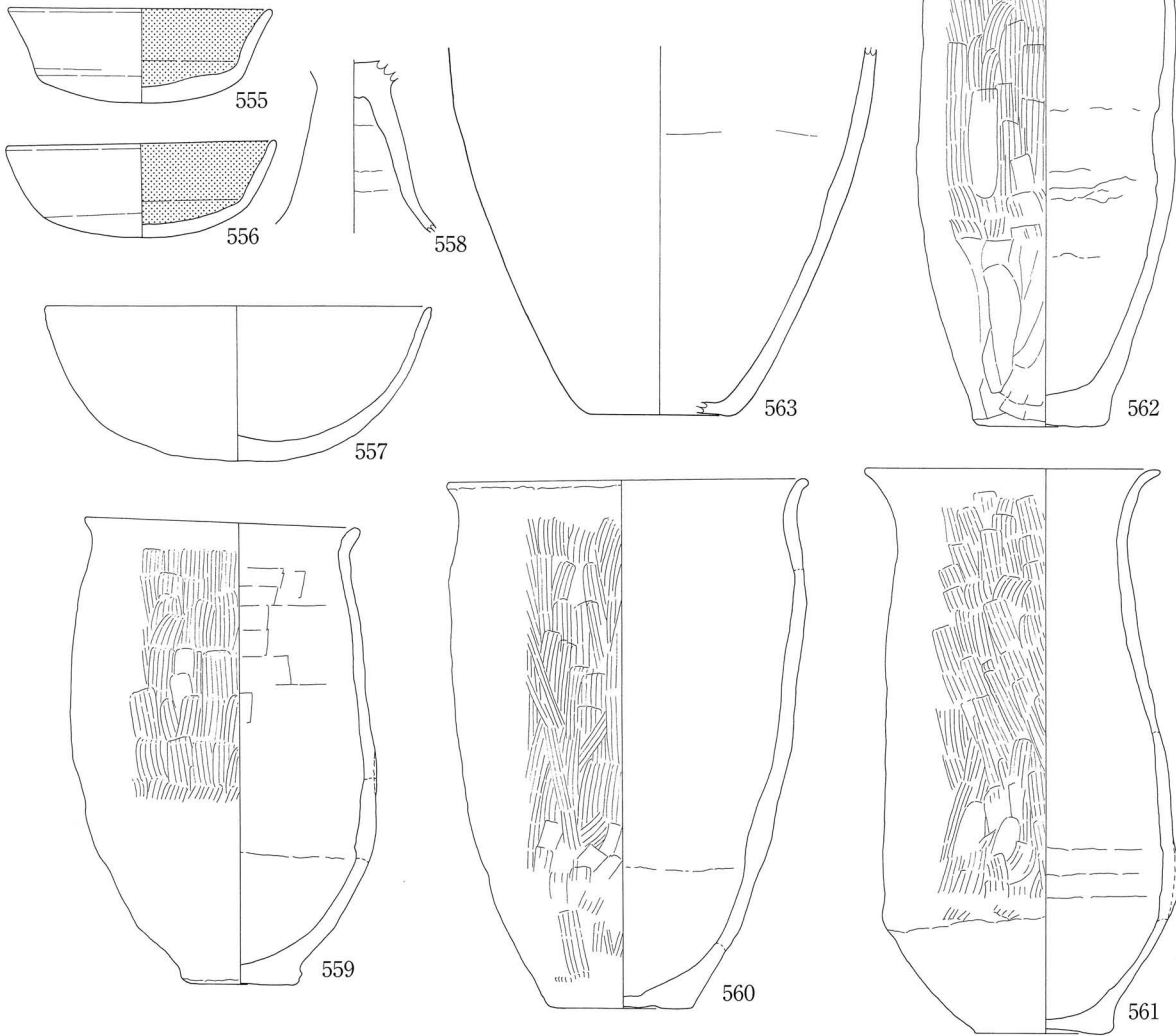
SB-59



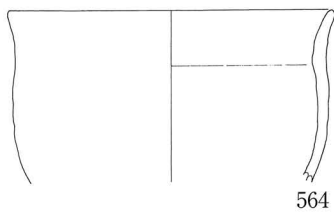
0 10cm

图38 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

SB-60

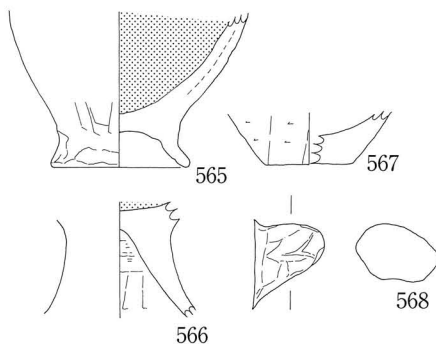


SB-61



0 10cm

SB-62



SB-63

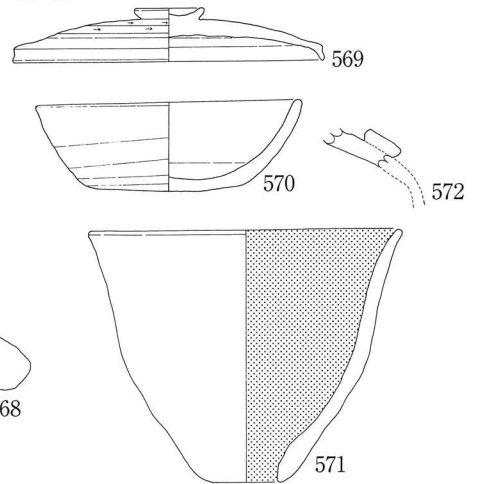


图39 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

SB-64 (1/2)

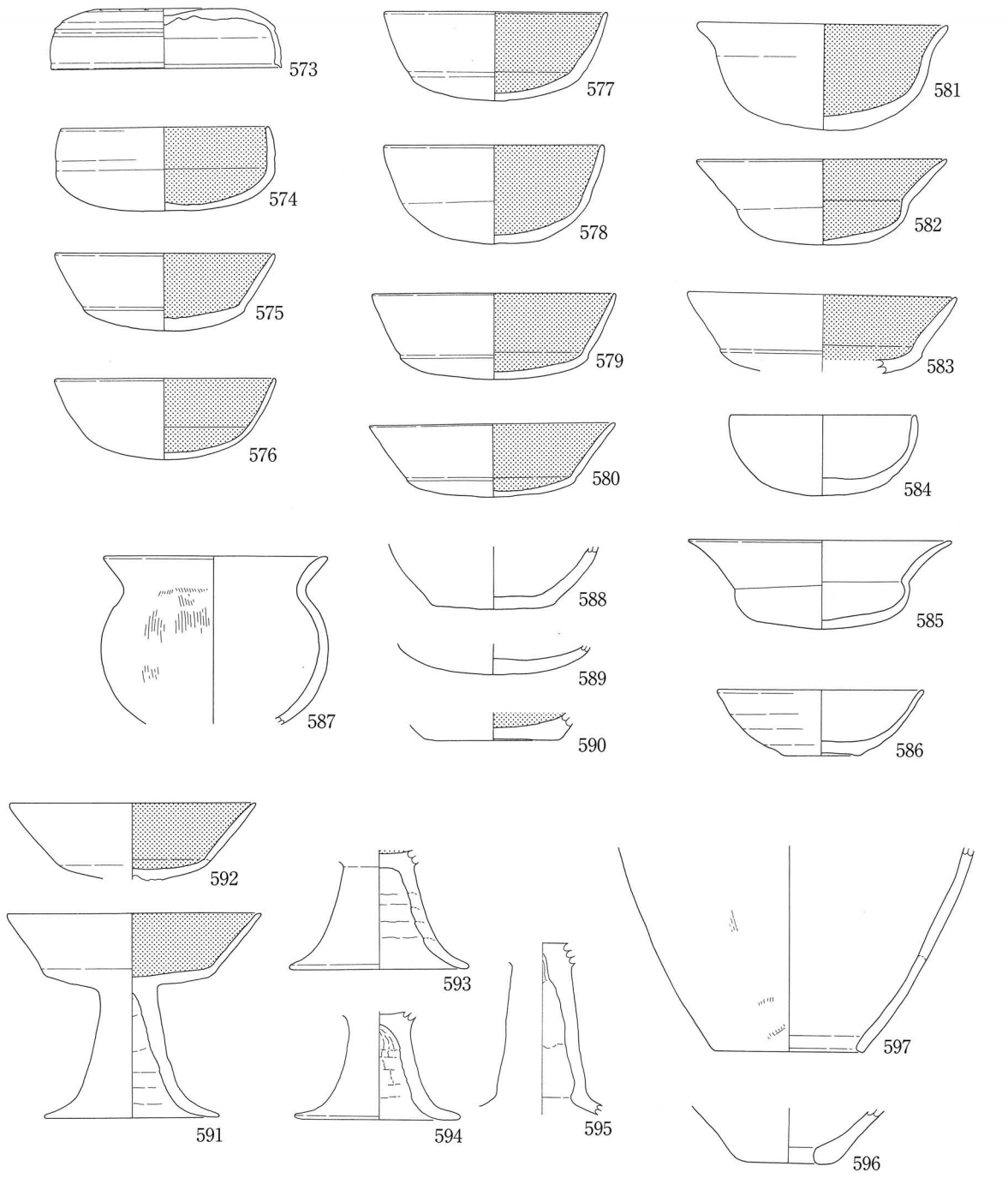
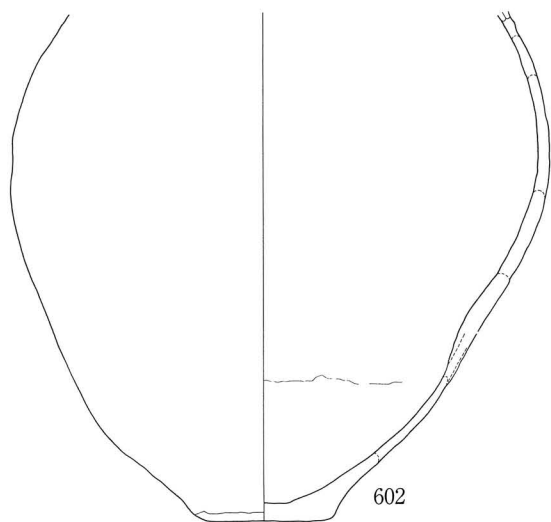
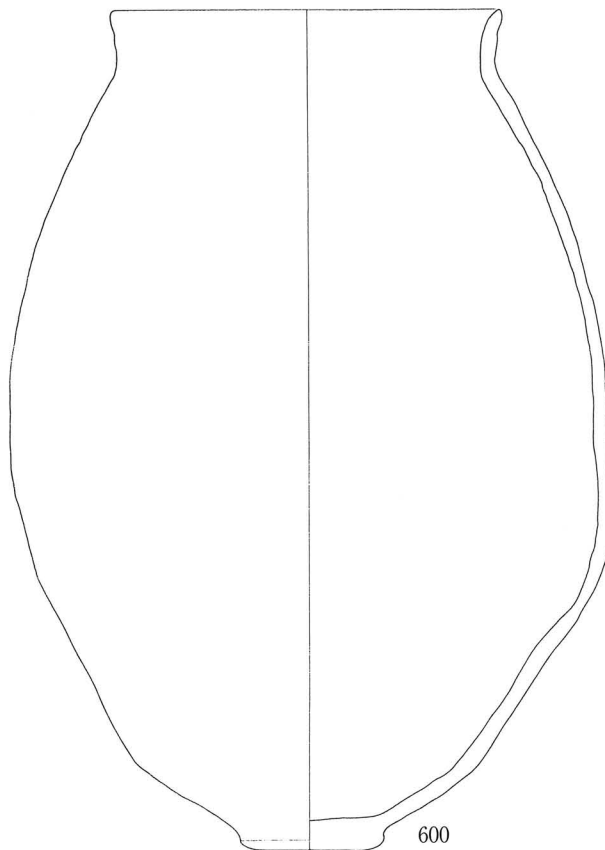
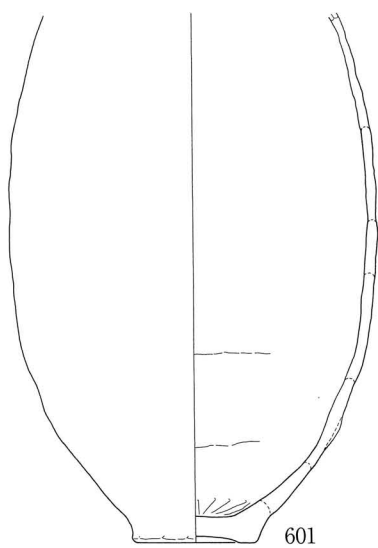
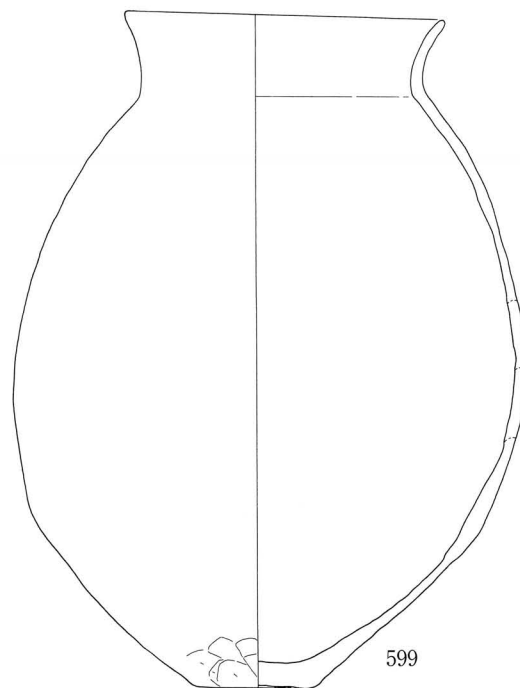
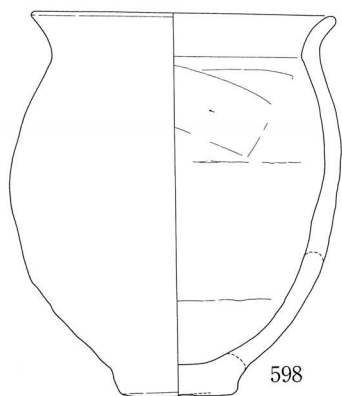


図40 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

SB-64 (2/2)



0 10cm

図41 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

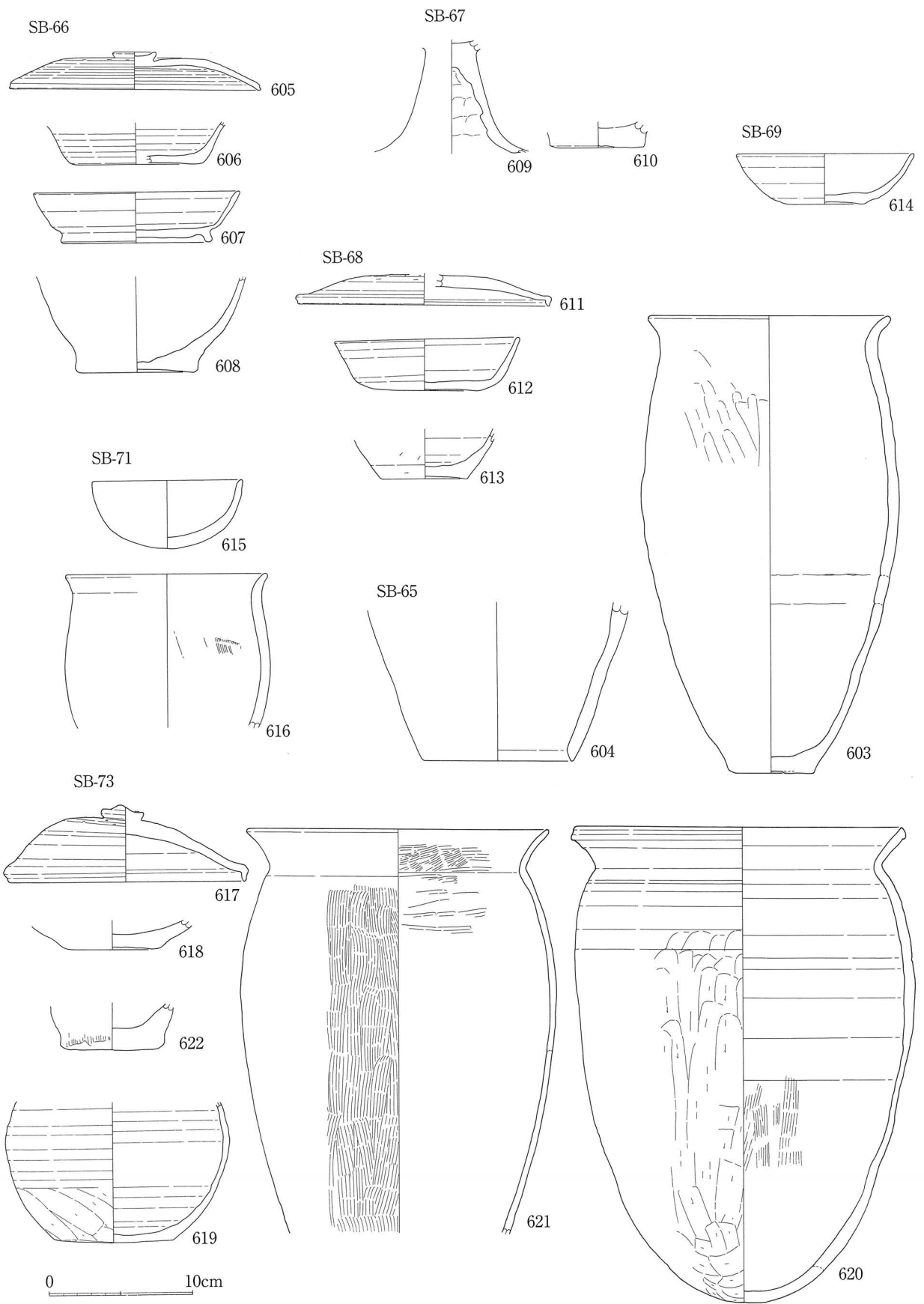
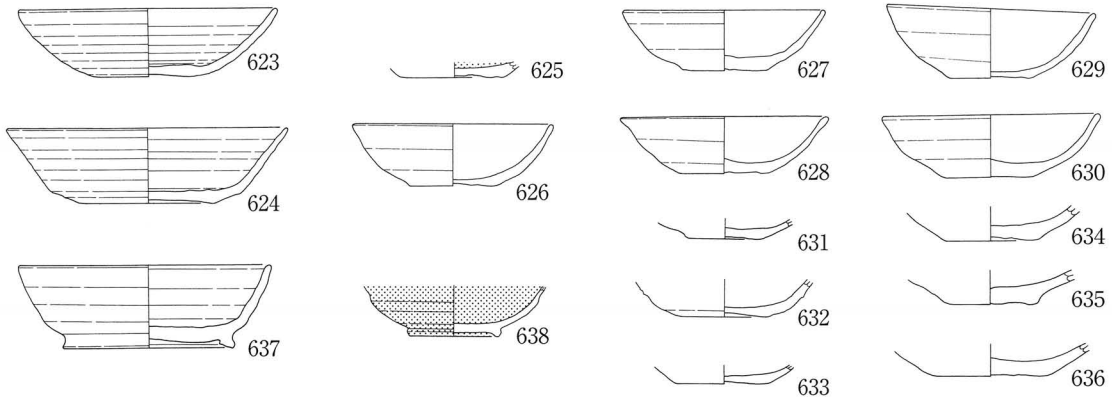


图42 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

SD-1



SD-2

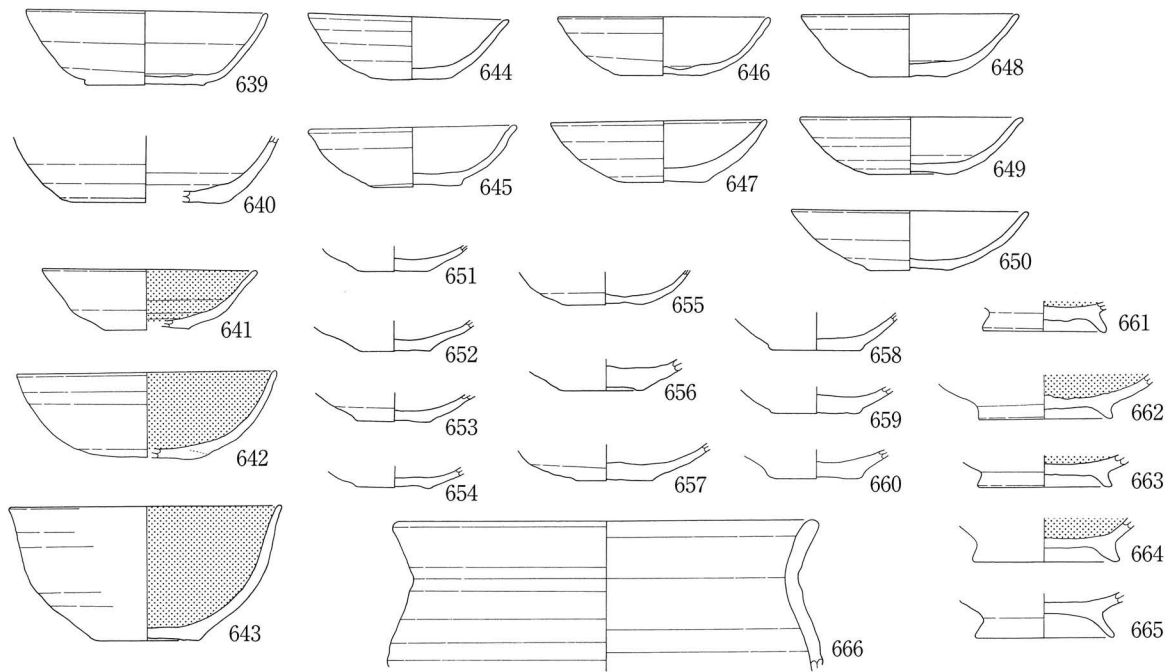


図43 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

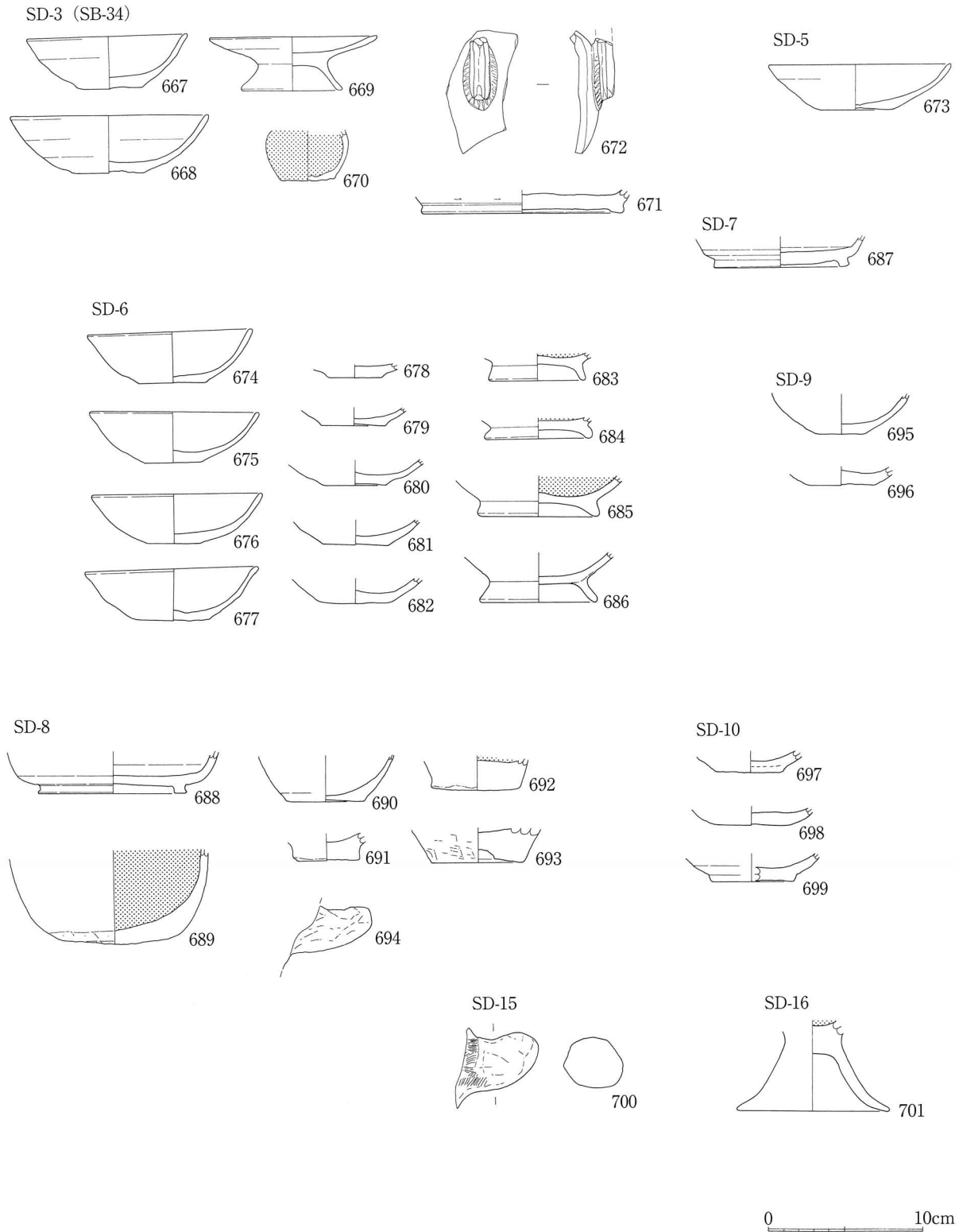


图44 平成6年度調査 遺物実測図⑳ (1:4)

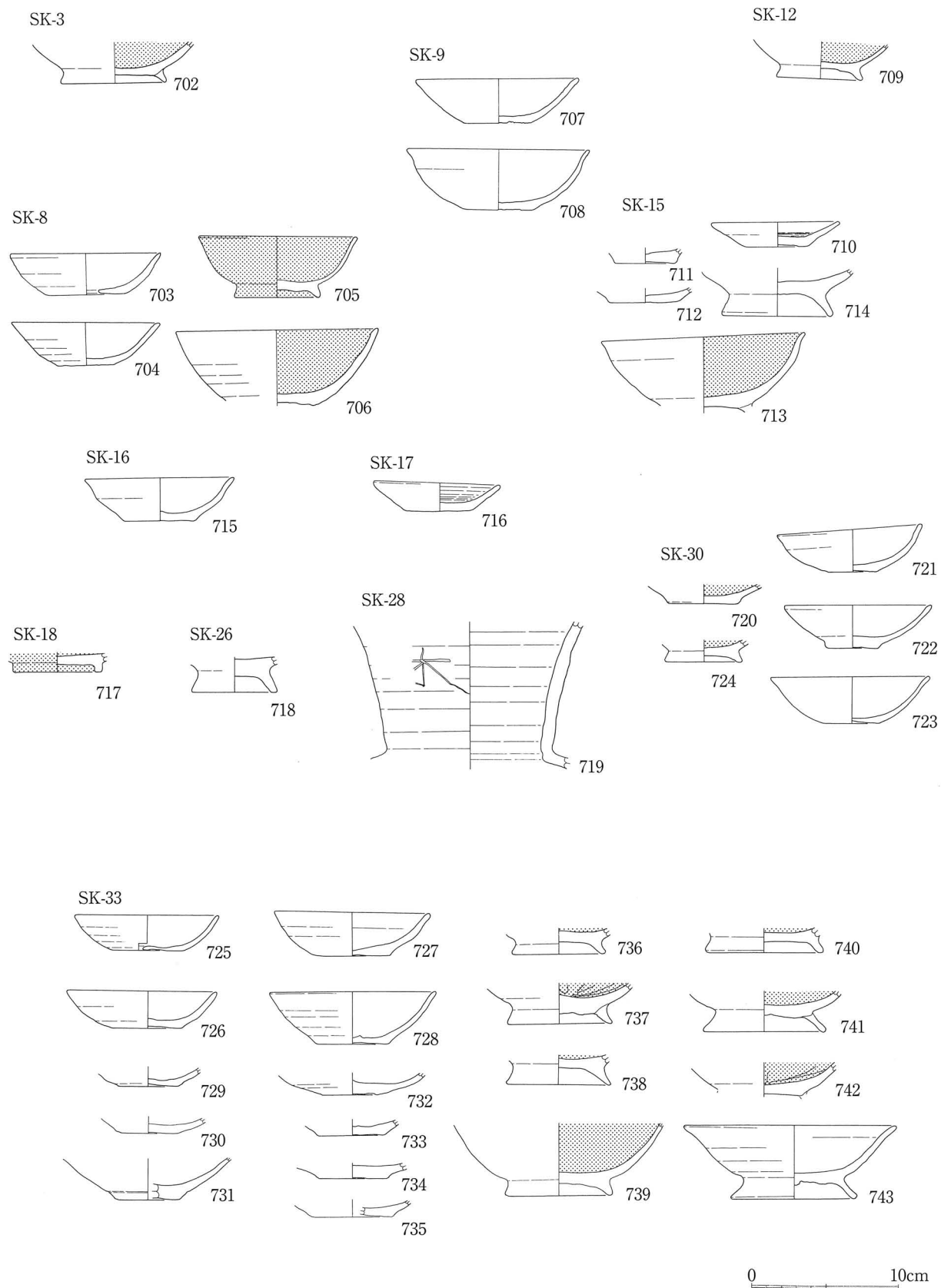


図45 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

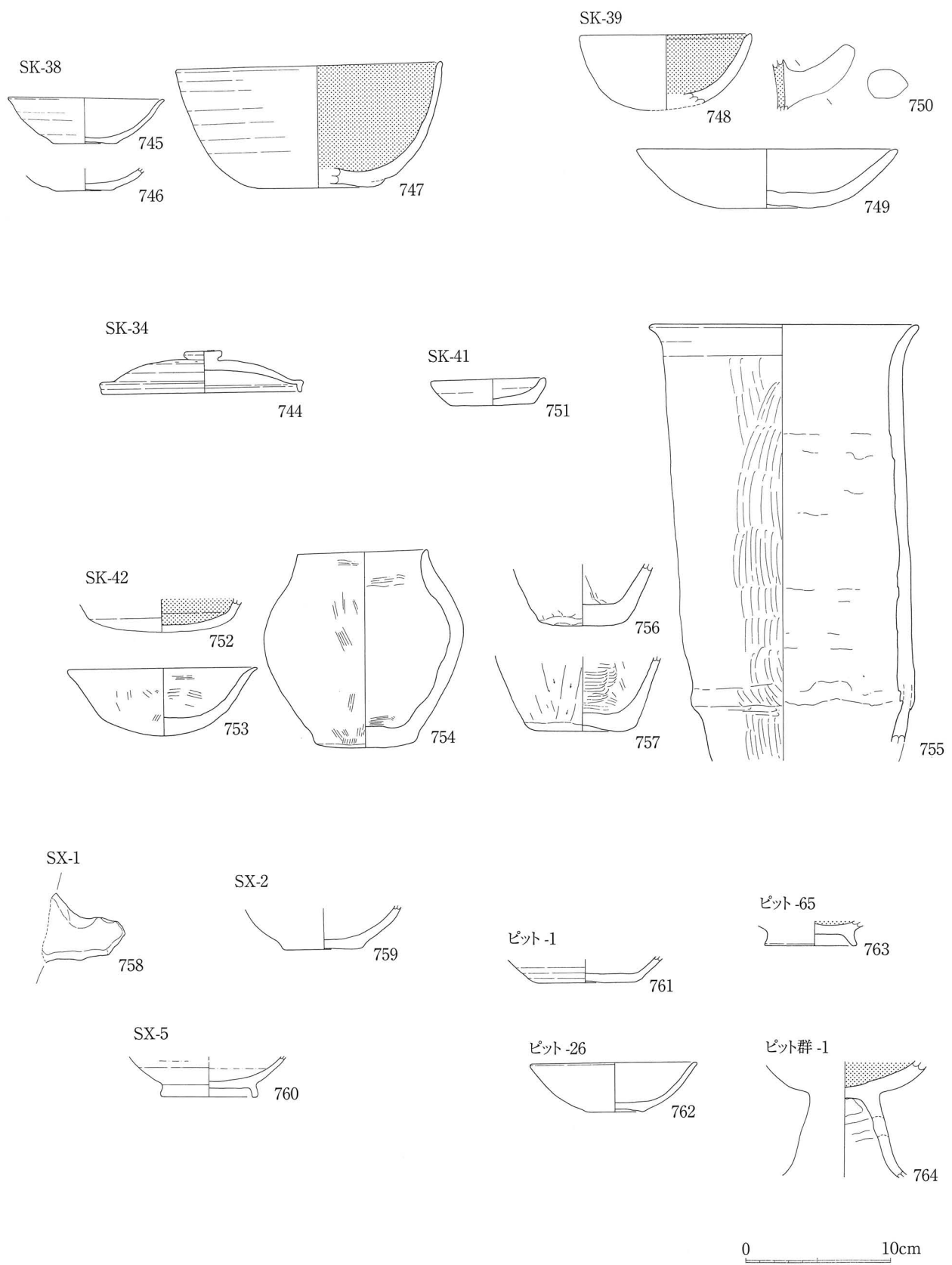


図46 平成6年度調査 遺物実測図③ (1:4)

遺物集中区

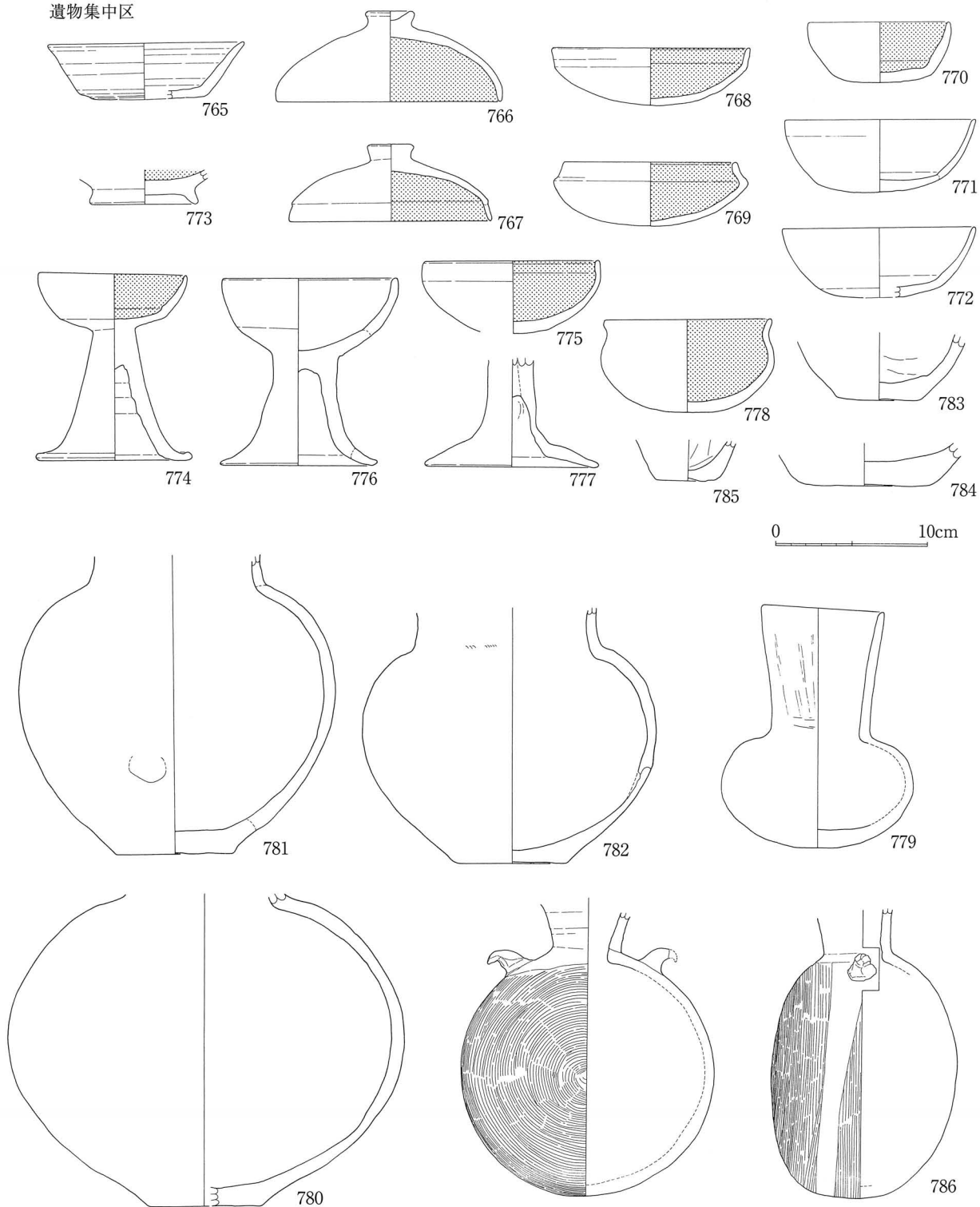


図47 平成6年度調査 遺物実測図③(1:4)

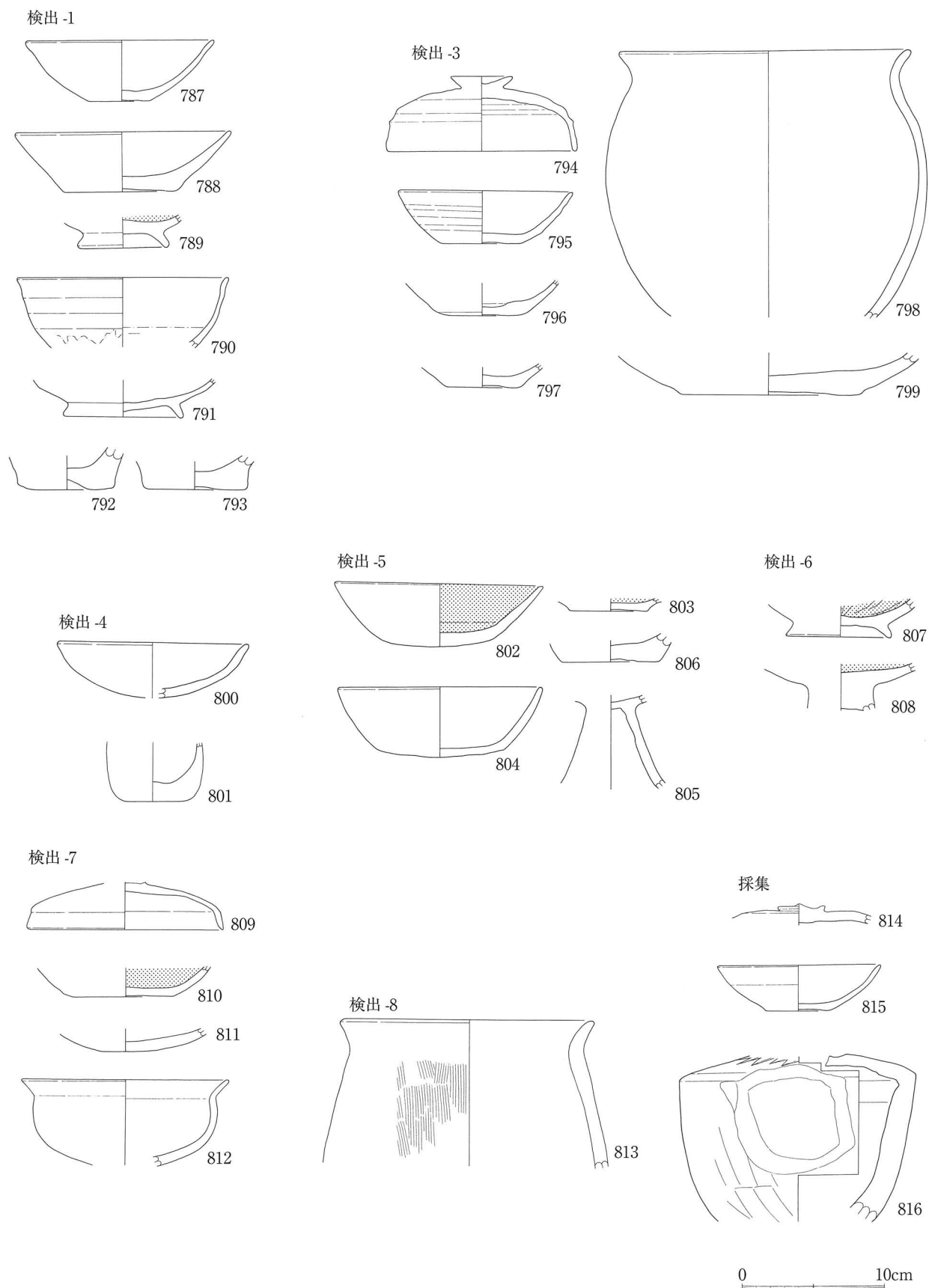
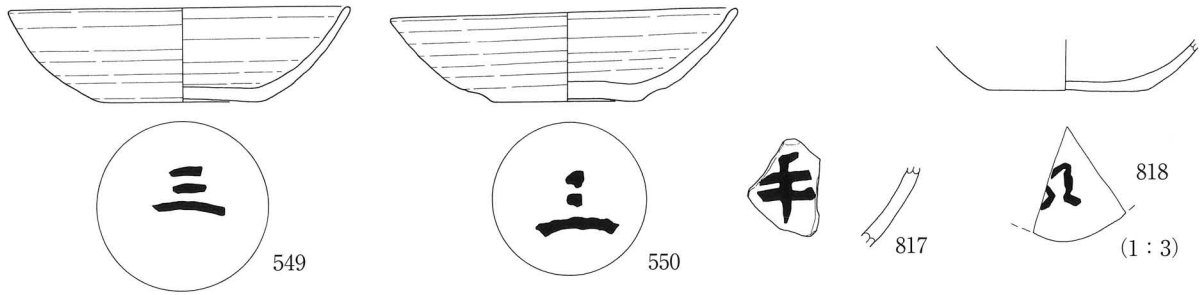
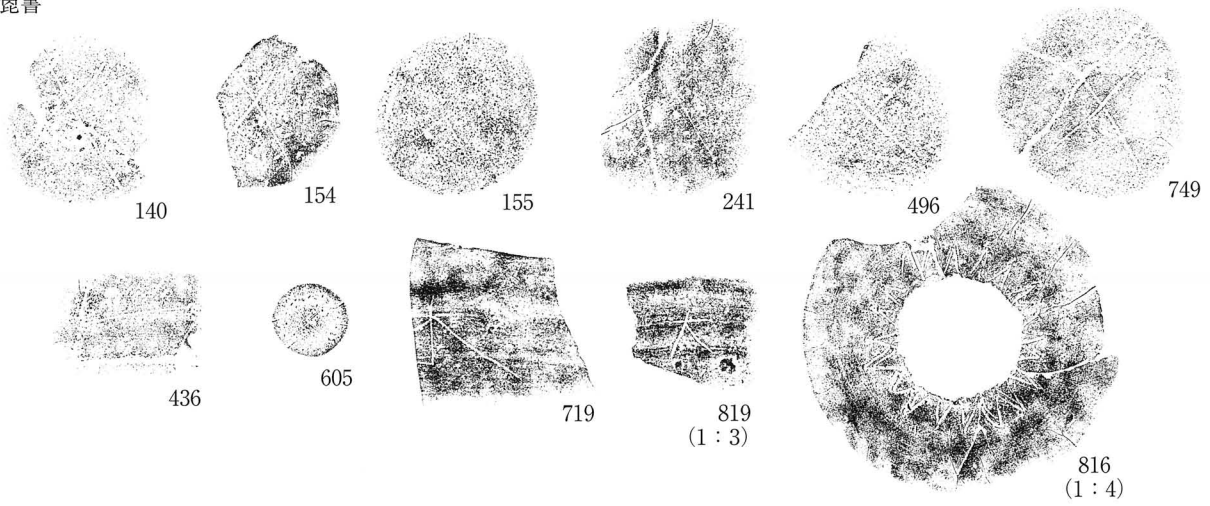


図48 平成6年度調査 遺物実測図② (1:4)

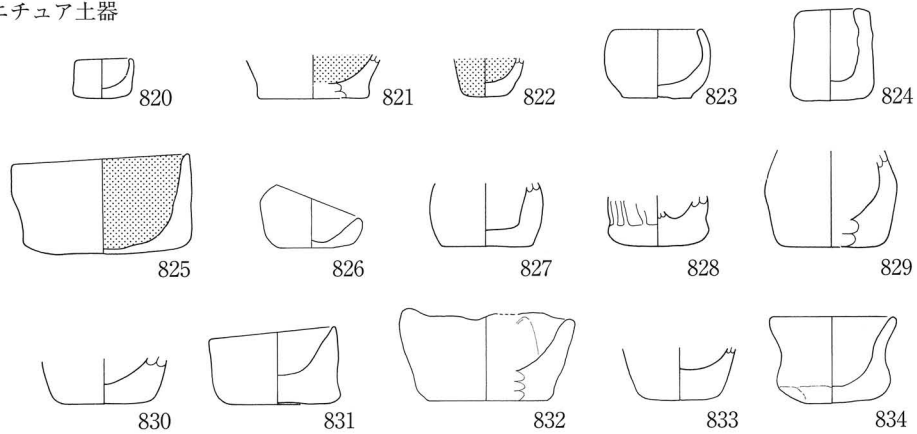
墨書



範書



ミニチュア土器



0 (1:3) 10cm

図49 平成6年度調査 遺物実測図③ (1:3、816のみ1:4)

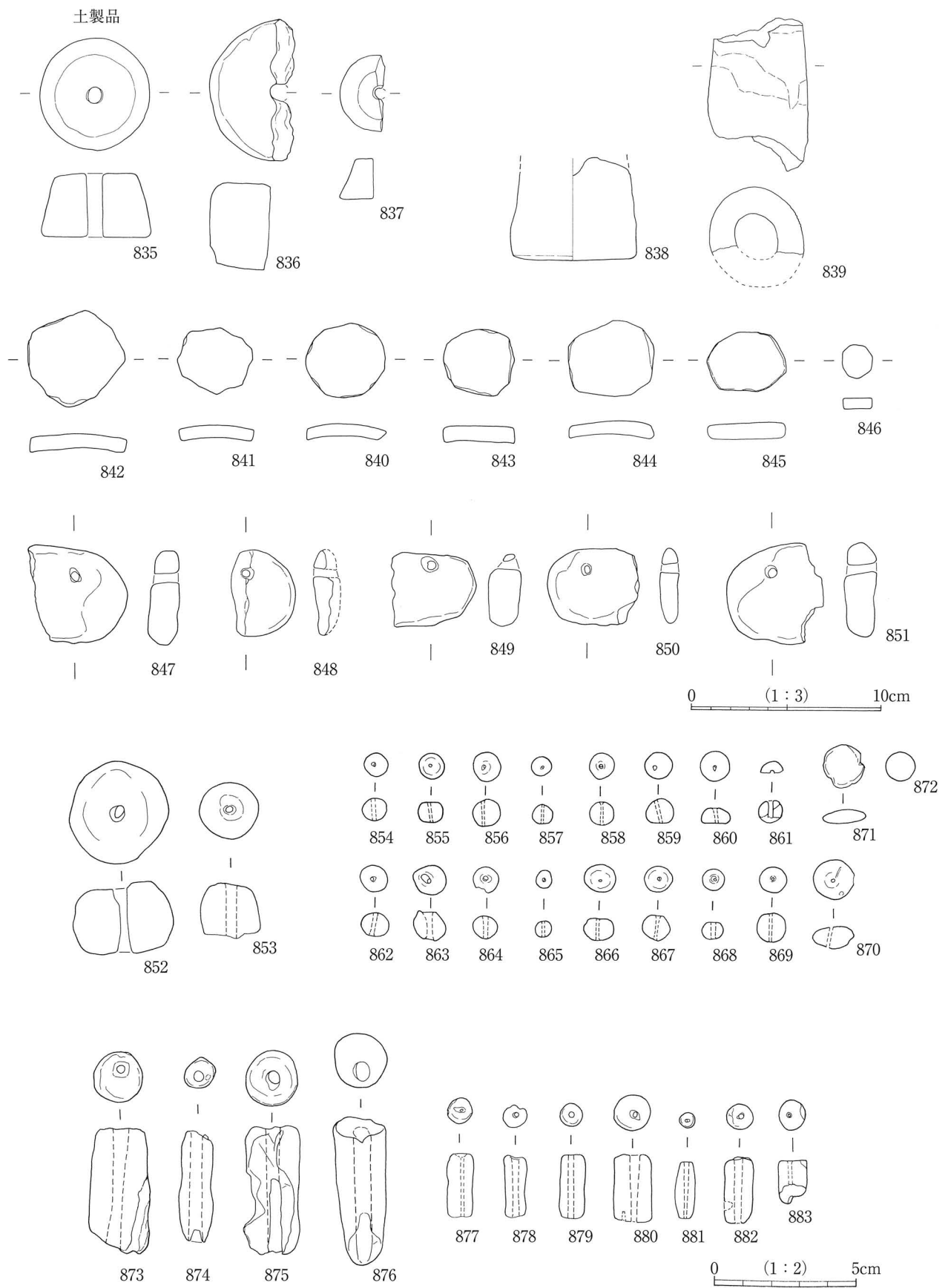


図50 平成6年度調査 遺物実測図③(上段1:3、下段1:2)

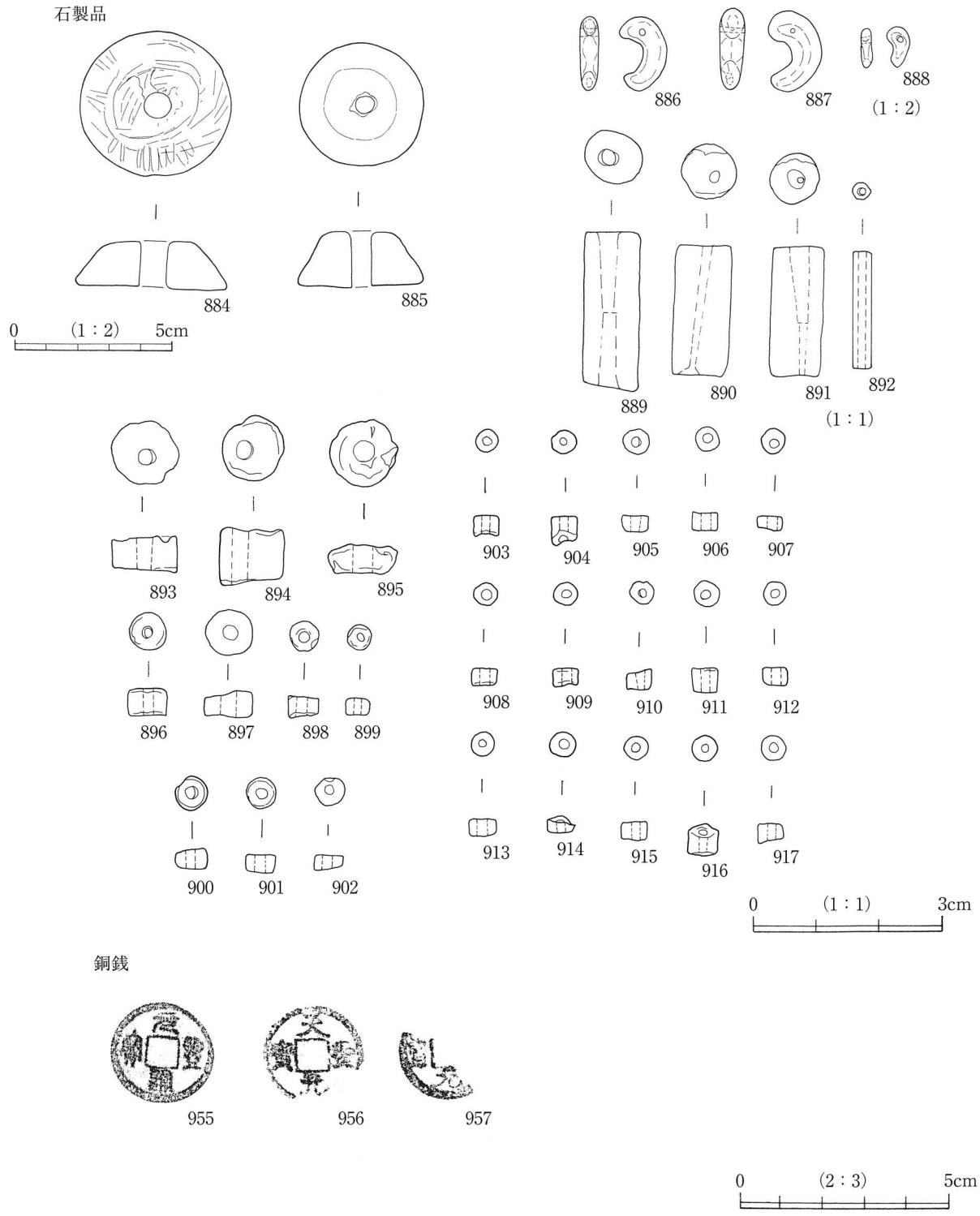
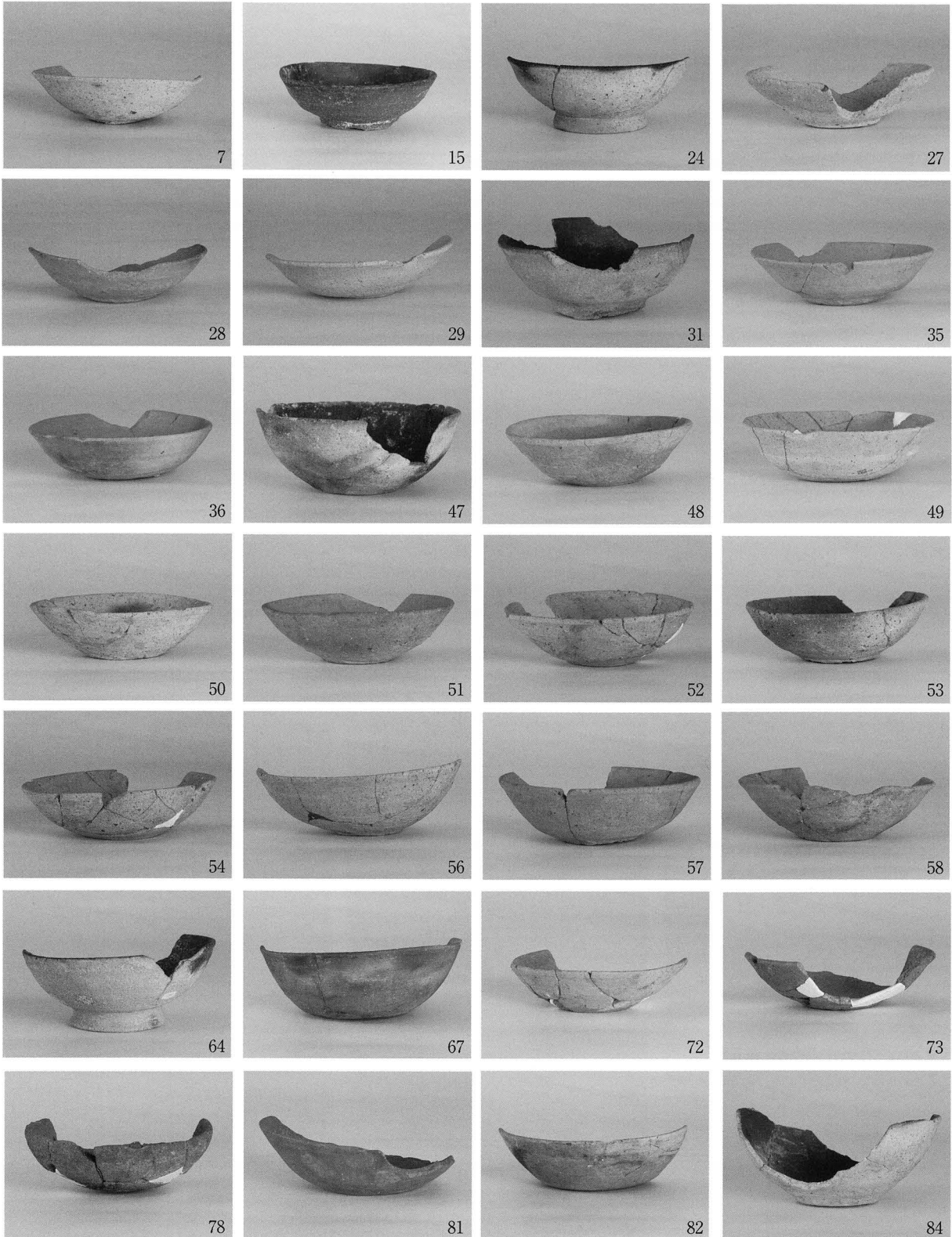
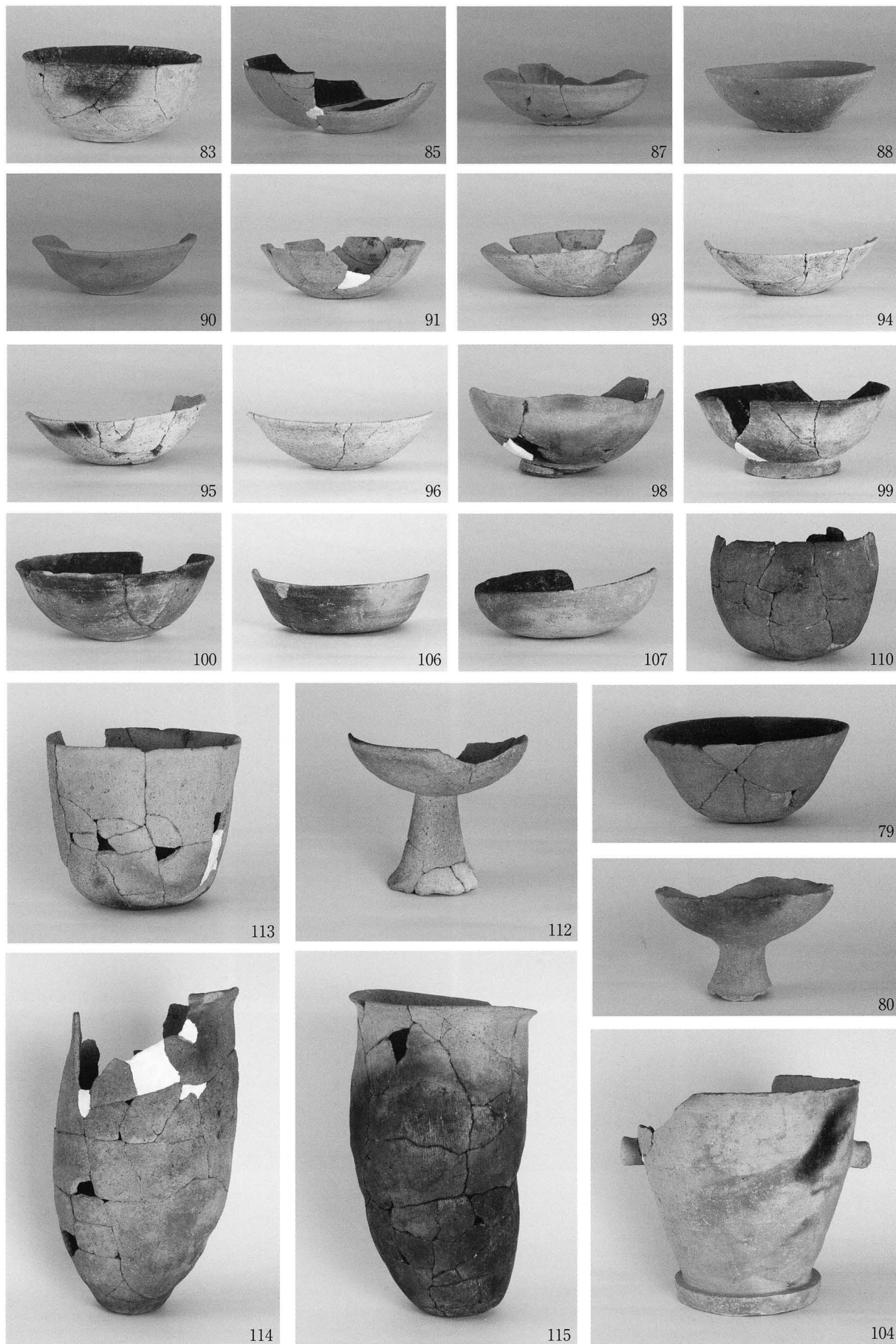
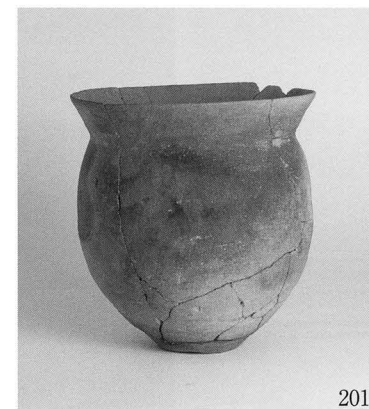
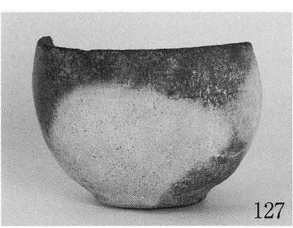
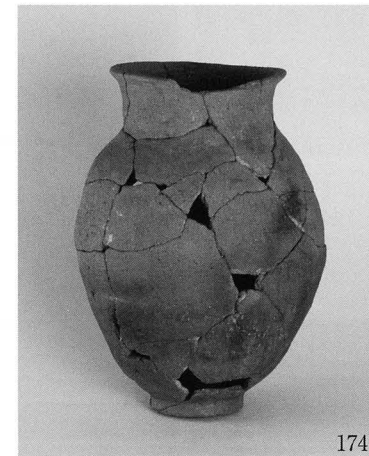
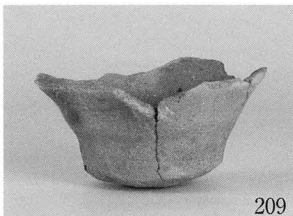
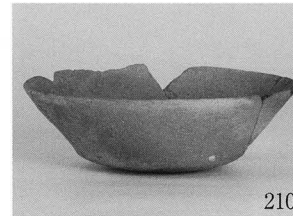
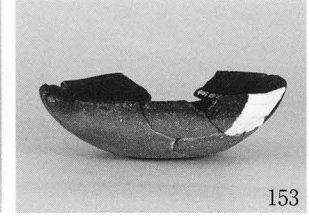
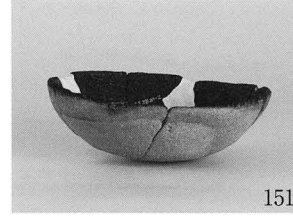
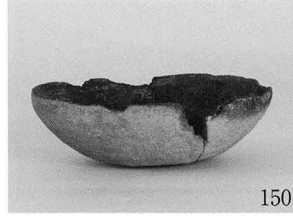
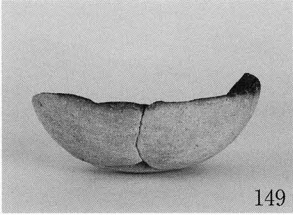
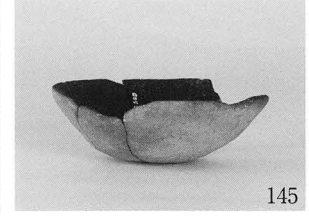
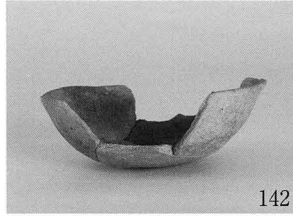
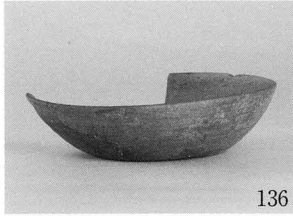


図51 平成6年度調査 遺物実測図③ (石製紡錘車・勾玉1:2 管玉・白玉1:1 銅銭2:3)

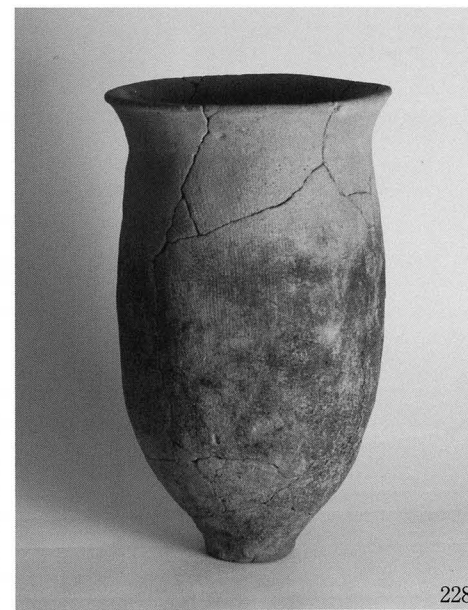
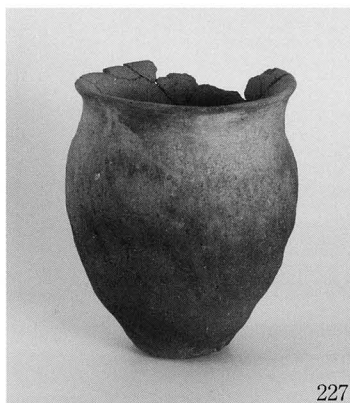
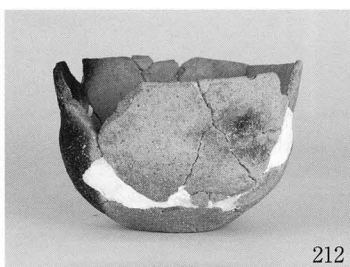
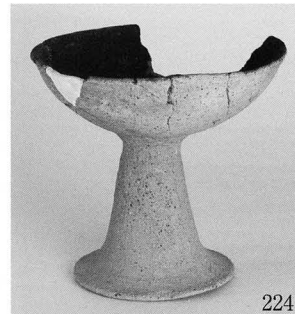
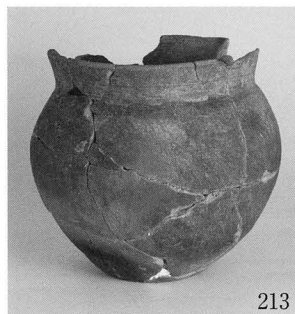
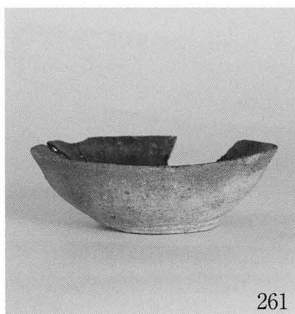
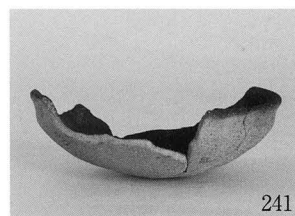


遺物写真②



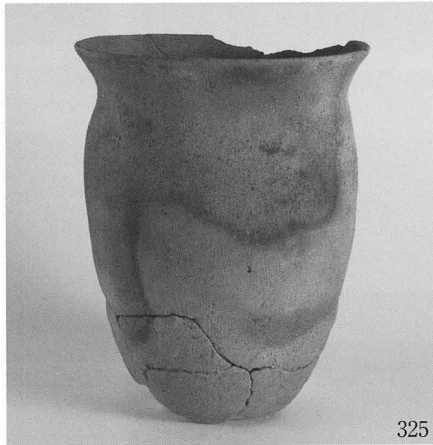
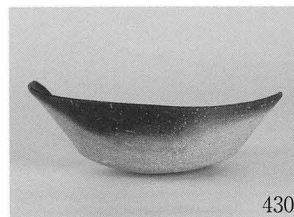
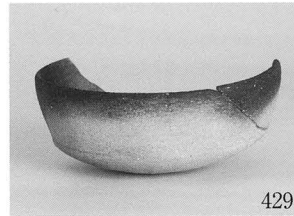
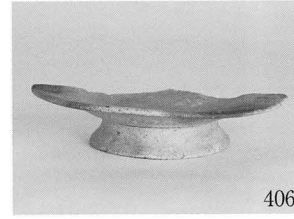
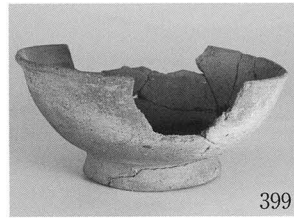
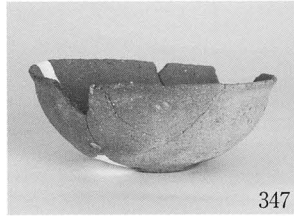
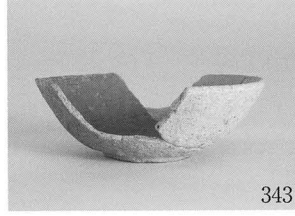
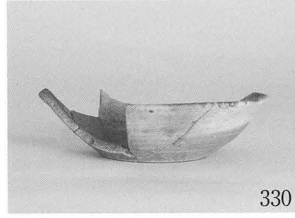


遺物写真④



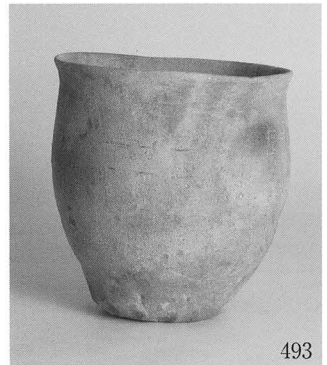
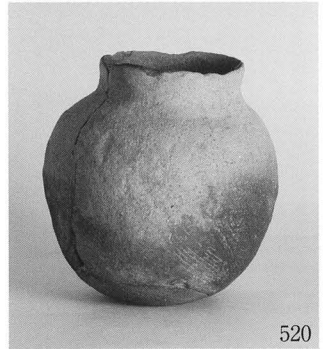
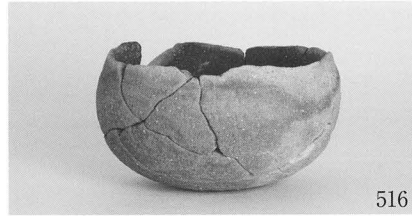
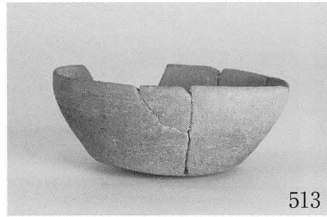
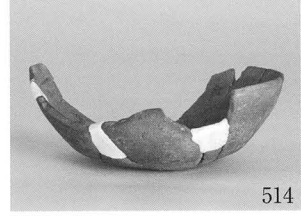
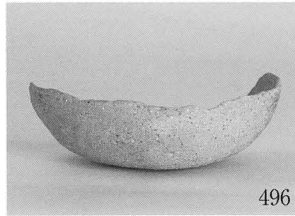
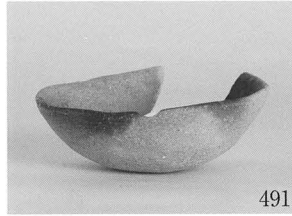
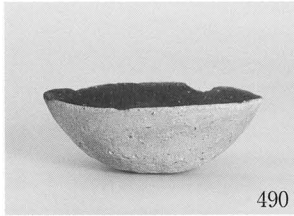


遺物写真⑥





遺物写真⑧

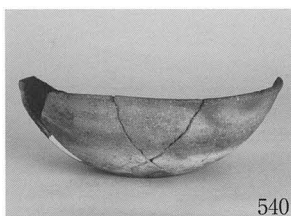




538



539



540



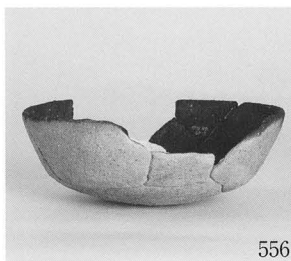
548



549



550



556



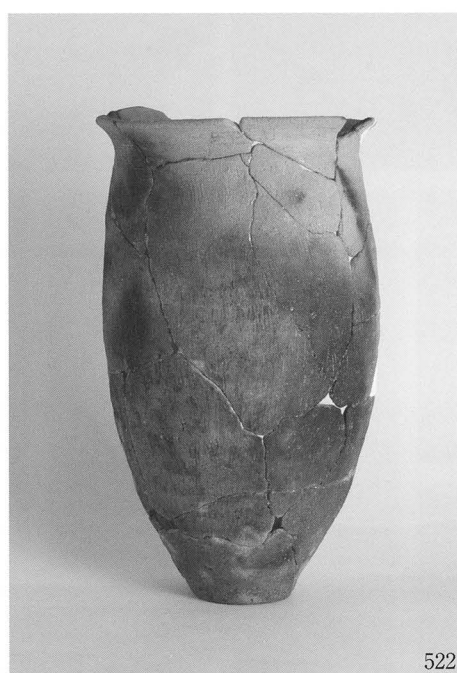
544



557



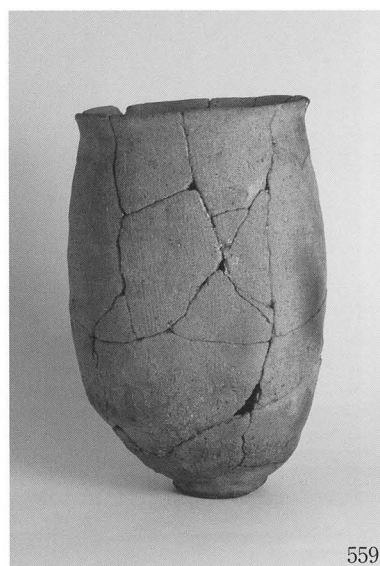
521



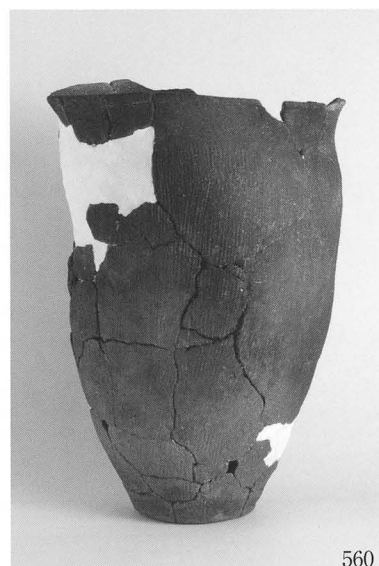
522



561



559

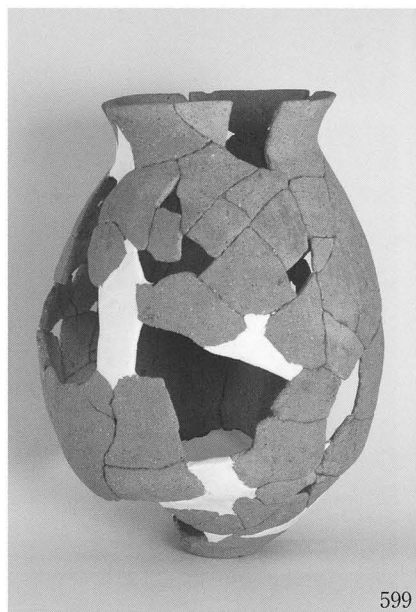
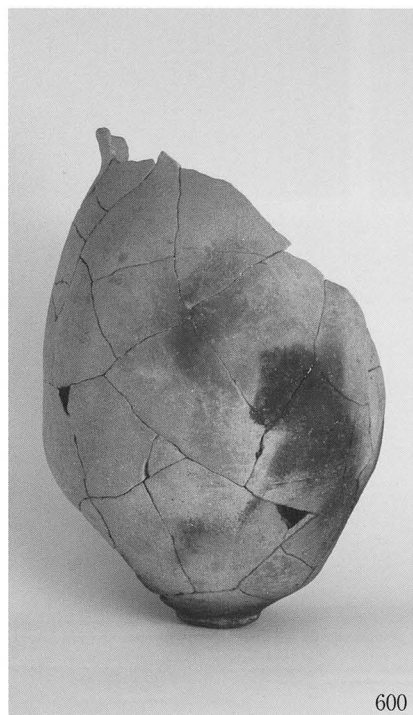
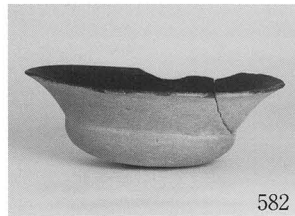
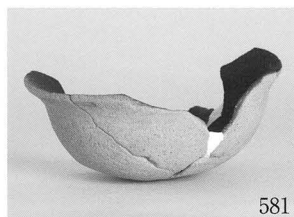
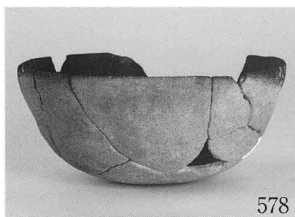


560



525

遺物写真⑩





遺物写真⑫



716



721



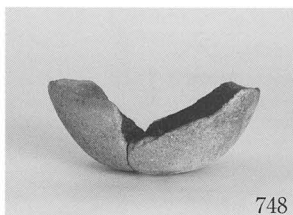
725



727



745



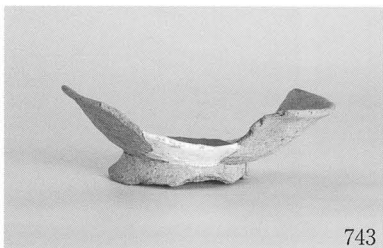
748



751



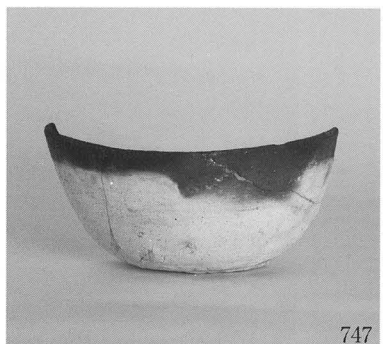
753



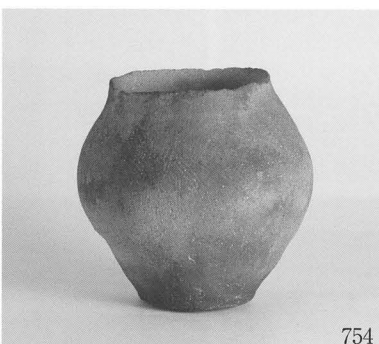
743



744



747



754



755



765



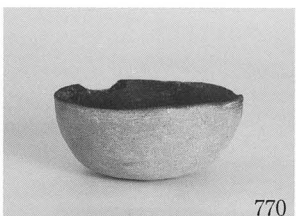
766



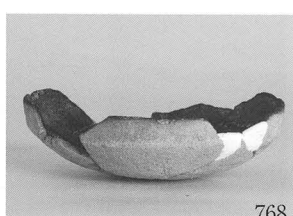
767



774



770



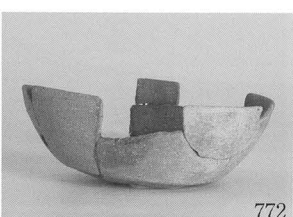
768



769



771



772



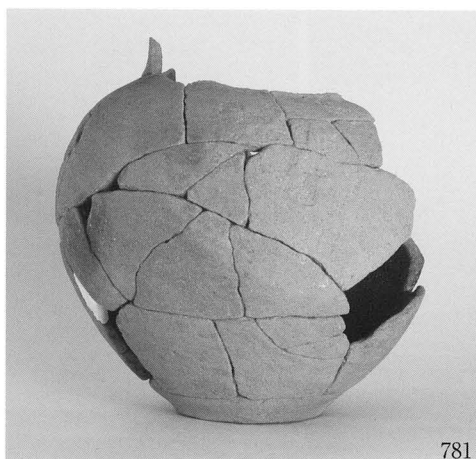
785



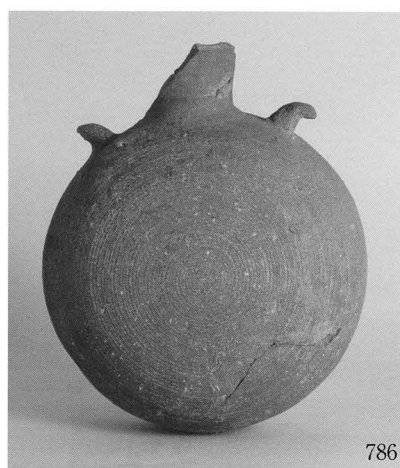
776



779



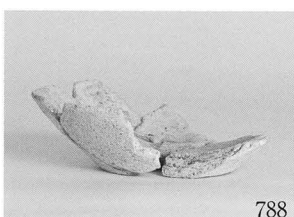
781



786



787



788



795



794



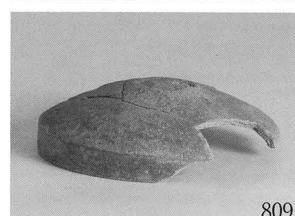
801



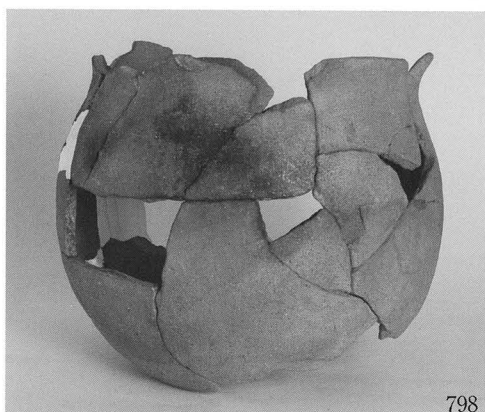
802



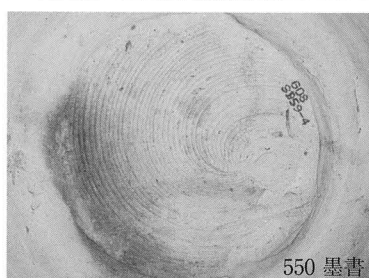
804



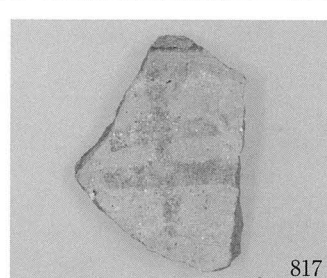
809



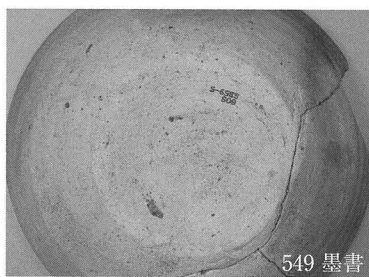
798



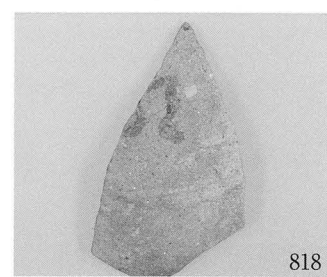
550 墨書



817



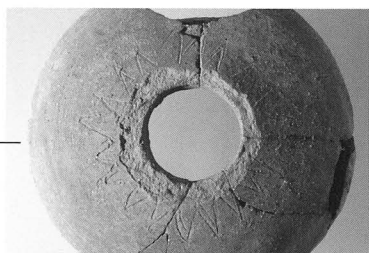
549 墨書



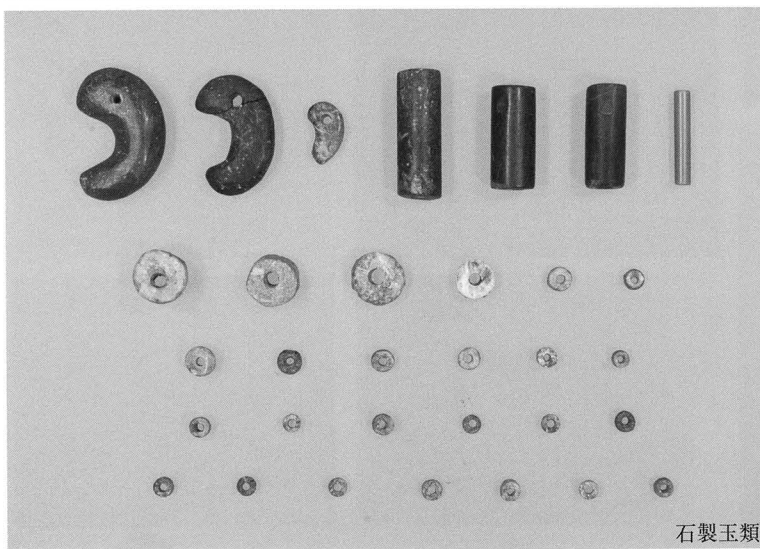
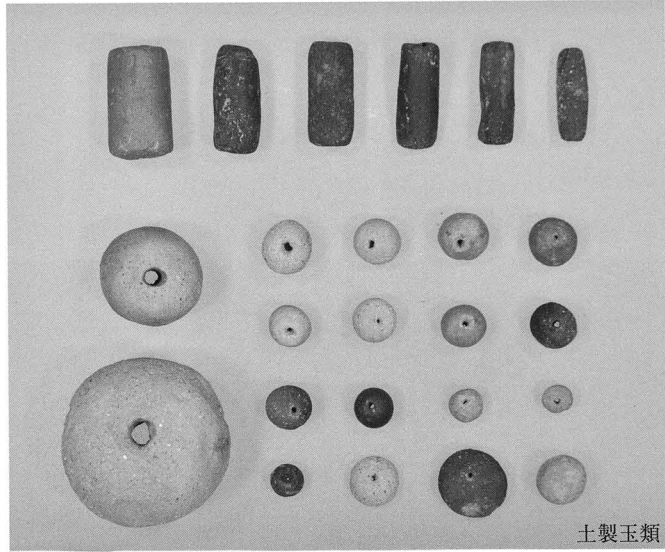
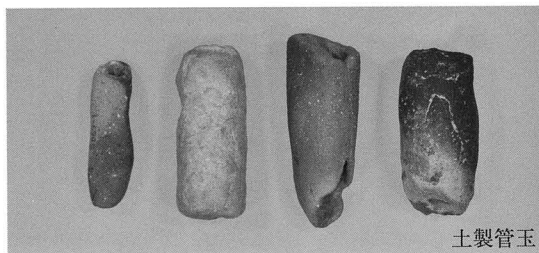
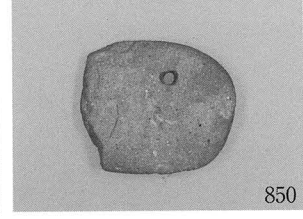
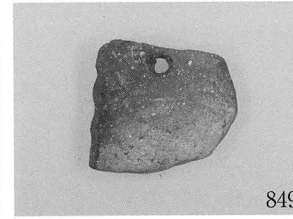
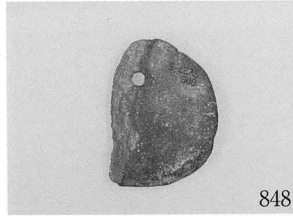
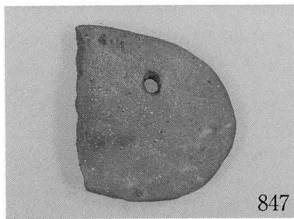
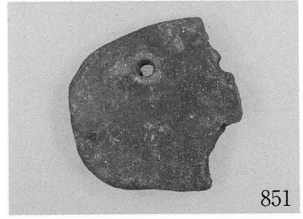
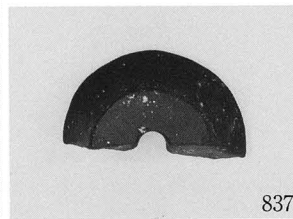
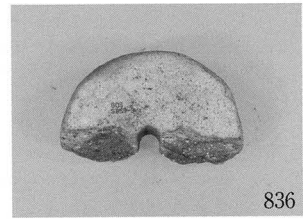
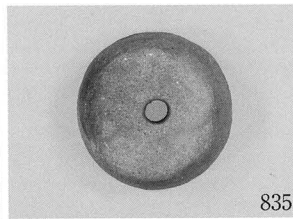
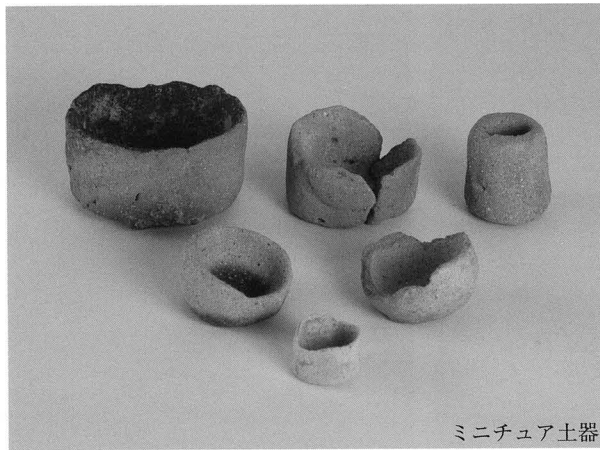
818

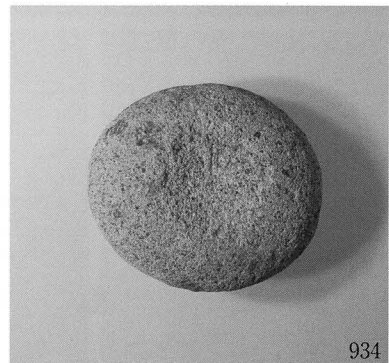
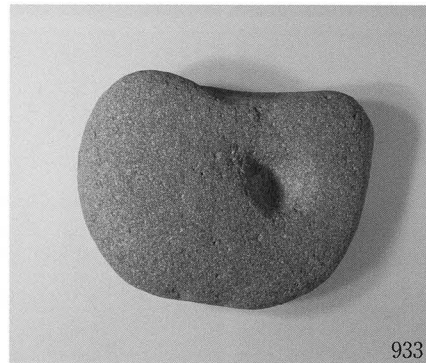
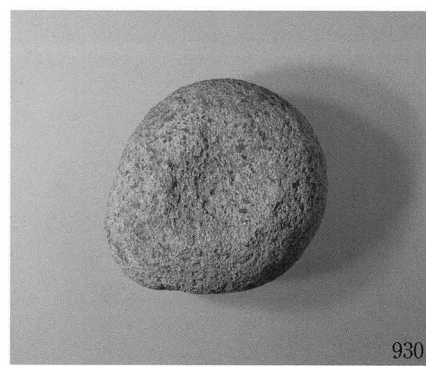
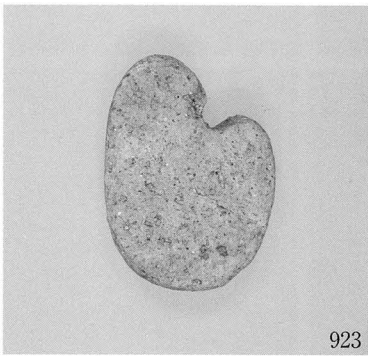
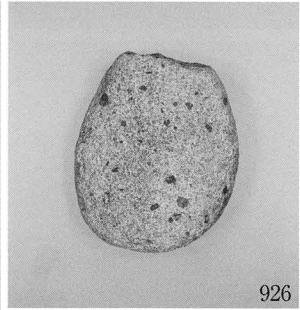
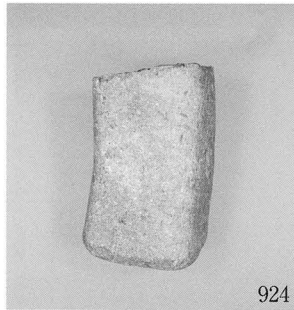
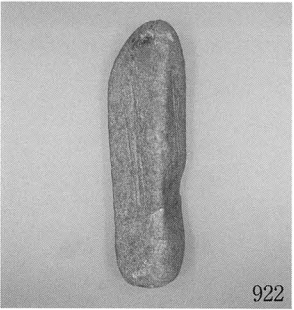
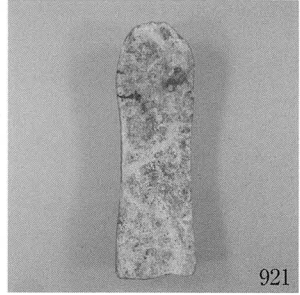
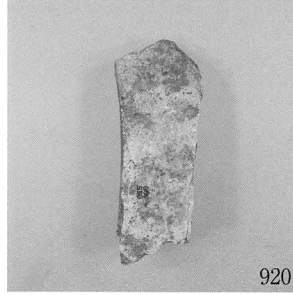
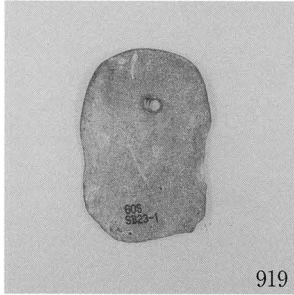
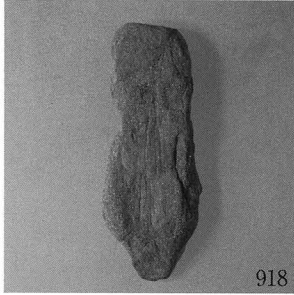


816



819





遺物写真⑬

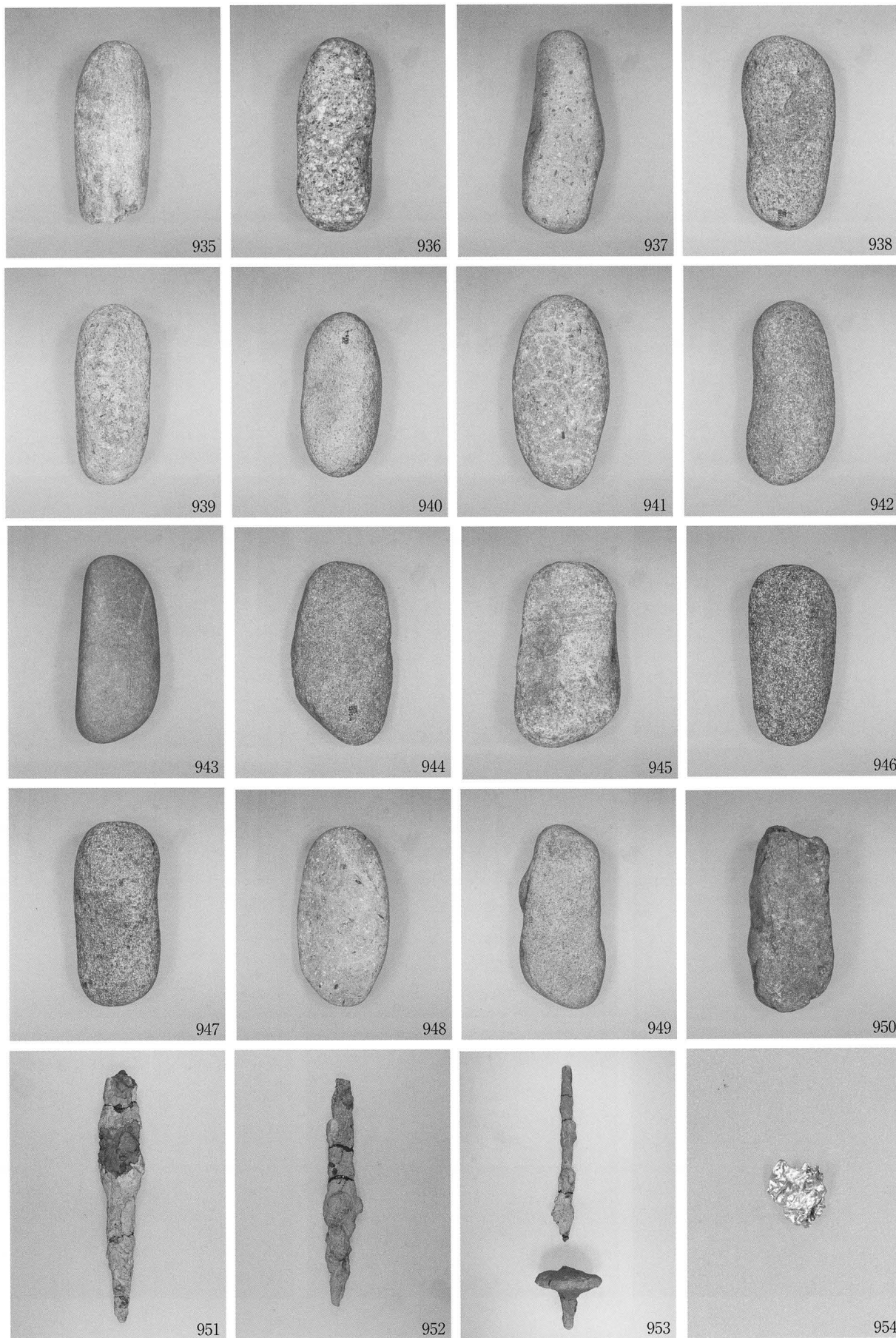


表3 平成6年度調査 遺物一覧表

遺構名	記号	検出面	時代 (期)	出土土器			土製品	石製品	金属製品	その他	遺物注記 (整理No)
				重量(g)	実測	特記					
1号住居	SB-1	上層	平安	3,040	5				鉄塊 鉄滓		SB1-1～4
2号住居	SB-2	上層	平安	6,050	12				鉄滓	骨片	SB2-1～3
3号住居	SB-3	上層	平安	2,860	9	匱書					SB3
4号住居	SB-4	上層	平安	900	1				鉄片		SB4
5号住居	SB-5	下層	平安	2,120	8						SB5-1・2
6号住居	SB-6	下層	平安	2,690	11						SB6
7号住居	SB-7	下層	平安	1,640	2						SB7-1・2
8号住居	SB-8	下層	平安	9,510	23						SB8-1～4
9号住居	SB-9	下層	奈良	8,930	7				鉄滓		SB9-1～5
10号住居	SB-10	下層	平安	11,440	25	甗・獸脚			鉄滓		SB10-1～5
11号住居	SB-11	下層	古墳 ?	540	0						SB11
12号住居	SB-12	下層	古墳 ?	690	0						SB12-1・2
13号住居	SB-13	下層	古墳	8,630	3		紡錘車 ミニチュア2	管玉	鉄滓		SB13-1～3
14号住居	SB-14	下層	平安 ?	2,630	0		紡錘車	白玉			SB14
15号住居	SB-15	下層	奈良	22,670	16		ミニチュア	敲石 編物石16		骨片 炭化物	SB15-1～7・No1～4
16号住居	SB-16	下層	古墳	20,660	14		土玉 ミニチュア	勾玉		骨片	SB16-1～4
17号住居	SB-17	下層	平安	3,780	3						SB17-1・2
18号住居	SB-18	下層	古墳 ?	0	0						
19号住居	SB-19	下層	古墳	1,480	1						SB19
20号住居	SB-20	下層	古墳	61,270	57		円板 土玉2 ミニチュア3	白玉2 管玉 石皿	鉄片	モモ核?	SB20-1～7・No1
21号住居	SB-21	下層	古墳	3,590	3						SB21-1～3
22号住居	SB-22	下層	古墳	7,220	11		円板3				SB22-1・2・No1～4
23号住居	SB-23	下層	古墳	14,000	8		支脚 土玉5	砥石2	鉄滓	骨片	SB23-1～6・No1
24号住居	SB-24	下層	古墳	10,770	11		ミニチュア 円板?				SB24-1～4・No1
25号住居	SB-25	下層	古墳	13,560	11		ミニチュア2 羽口?		鉄片		SB25-1～3
26号住居	SB-26	下層	古墳	36,520	18	獸脚?	土玉9 有孔土版 ミニチュア3	白玉		骨片	SB26-1～8
27号住居	SB-27	下層	平安	10,690	8	墨書	有孔土版	剥片	鉄片 鉄滓		SB27-1～5
28号住居	SB-28	下層	古墳	6,130	5		土玉				SB28
29号住居	SB-29	下層	古墳	29,900	45		有孔土版 ミニチュア	剥片		骨片	SB29-1～6
30号住居	SB-30	下層	古墳	5,210	2		円板 ミニチュア			骨片	SB30-1～5
31号住居	SB-31	下層	古墳	22,700	10		有孔土版 土玉?	白玉 管玉 剥片	鉄片		SB31-1～4・No1～5
32号住居	SB-32	下層	平安	7,830	7		紡錘車 土玉2	玉石	金薄板 刀子		SB32-1～4
33号住居	SB-33	下層	古墳	2,400	4						SB33-1～3・No1・2
34号住居	SB-34	下層	平安	22,890	77	鼎		砥石? 軽石	鉄盤 鉄滓	骨角片 炭化物	SB34-1～4・No1・2
35号住居	SB-35	下層	平安	11,980	9	墨書	土玉	勾玉 垂飾? 紡錘車 剥片	鉄片	骨片	SB35-1～4
36号住居	SB-36	下層	奈良	13,405	4			玉石	鉄滓		SB36-1～4
37号住居	SB-37	下層	古墳	4,250	1		ミニチュア		鉄片	骨片	SB37-1・2

遺構名	記号	検出面	時代 (期)	出土土器			土製品	石製品	金属製品	その他	遺物注記 (整理No.)
				重量(g)	実測	特記					
38号住居	SB-38	下層	古墳	3,470	7		円板	軽石			SB38-1・2・No1～7
39号住居	SB-39	下層	平安 ?	540	0						SB39
40号住居	SB-40	下層	平安	13,640	11	四耳壺				鉄滓	SB40-1～5・No1・2
41号住居	SB-41	下層	古墳	4,220	1			砥石		骨片	SB41-1～3
42号住居	SB-42	下層	古墳	14,100	15		支脚?		銭 鉄片	人歯 骨片	SB42-1～3
43号住居	SB-43	下層	古墳	6,980	2						SB43-1・2
44号住居	SB-44	下層	平安	3,600	3						SB44-1・2・No1・2
45号住居	SB-45	下層	奈良	5,230	6		ミニチュア			炭化物	SB45-1・3・No1・2
46号住居	SB-46	下層	奈良	12,750	4		土玉			骨片	SB46-1～6
47号住居	SB-47	下層	奈良	8,110	7						SB47-1～3・No1
48号住居	SB-48	下層	古墳 ?	1,570	4						SB48-No1
49号住居	SB-49	下層	奈良	5,260	7						SB49-1・ No1～3
50号住居	SB-50	下層	古墳	24,930	8			玉石 剥片	銭 刀子	炭化物	SB50-1～3
51号住居	SB-51	下層	古墳	3,080	3						SB51-1・2
52号住居	SB-52	下層	古墳	1,720	2		円板				SB52
53号住居	SB-53	下層	平安 ?	6,010	2			紡錘車		炭化物	SB53-1～3
54号住居	SB-54	下層	古墳	16,990	16			白玉3	鉄片	骨片	SB54-1～7・No1～8
55号住居	SB-55	下層	奈良	19,930	7		紡錘車2 土玉 ミニチュア	石皿			SB55-1～4・No1
56号住居	SB-56	下層	古墳 ?	2,550	0						SB56-1～3
57号住居	SB-57	下層	平安 ?	300	3						SB57
58号住居	SB-58	下層	平安	11,720	9		土玉				SB58-1～3・No1
59号住居	SB-59	下層	平安	14,830	9	墨書	紡錘車	白玉 管玉 軽石 剥片			SB59-1～5
60号住居	SB-60	下層	古墳	17,550	9					魚骨 骨片	SB60-1～7
61号住居	SB-61	下層	古墳	1,840	1					骨片	SB61-1・2
62号住居	SB-62	下層	古墳	11,090	4		有孔土板?			骨片	SB62-1～4
63号住居	SB-63	下層	奈良	2,950	4				鉄片		SB63-1～3
64号住居	SB-64	下層	古墳	31,770	30		紡錘車	砥石		骨片	SB64-1～4・No1～4
65号住居	SB-65	下層	古墳	3,060	2		有孔土板				SB65-1～3
66号住居	SB-66	下層	奈良	6,070	4			玉石			SB66-1～4
67号住居	SB-67	下層	古墳	6,430	2					骨片	SB67-1～4
68号住居	SB-68	下層	奈良	12,600	3			白玉	紡錘車 鉄片		SB68-1～5・No1
69号住居	SB-69	下層	平安	6,400	1		土玉				SB69-1～4
70号住居	SB-70	下層	奈良 ?	770	0		土玉				SB70
71号住居	SB-71	下層	古墳	4,210	2		土玉4			骨片	SB71-1・2
72号住居	SB-72	下層	古墳 ?	9,890	0			玉石		歯牙片 (イノシ シ?)	SB72-1～3
73号住居	SB-73	下層	奈良	9,700	6						SB73-1～3
74号住居	SB-74	下層	古墳 ?	0	0						
1号溝	SD-1	上層	平安	8,900	16			石皿 玉石		炭化物	SD1-1～3
2号溝	SD-2	上層	平安	12,690	28		羽口	石皿 敲石	銭	炭化物	SD2-1～5
(3号溝)	(SD-3)	上層	平安	8,230	6	緑釉片		砥石	鉄滓	炭化物	SD3

遺構名	記号	検出面	時代 (期)	出土土器			土製品	石製品	金属製品	その他	遺物注記 (整理No.)
				重量(g)	実測	特記					
4号溝	SD-4	上層		80	0						SD4
5号溝	SD-5	上層	平安	1,480	1			剥片			SD5
6号溝	SD-6	上層	平安	4,920	13					炭化物	SD6
7号溝	SD-7	上層	奈良～	1,550	1						SD7
8号溝	SD-8	上層	奈良～	16,760	7			砥石 石皿	鉄片		SD8
9号溝	SD-9	上層	平安	300	2						SD9
10号溝	SD-10	上層	平安	2,280	3				鉄片		SD10
11号溝	SD-11	上層	近世～	230	0						SD11
12号溝	SD-12	下層		570	0						SD12
13号溝	SD-13	下層		230	0						SD13
14号溝	SD-14	下層		2,730	0				鉄片		SD14
15号溝	SD-15	下層	古墳	1,060	1		ミニチュア	石皿2			SD15
16号溝	SD-16	下層	古墳	2,120	1						SD16
1号土坑	SK-1	上層		120	0						SK1
2号土坑	SK-2	上層		70	0						SK2
3号土坑	SK-3	上層	平安	480	1						SK3
4号土坑	SK-4	上層		160	0						SK4
5号土坑	SK-5	上層		150	0						SK5
6号土坑	SK-6	上層		1,740	0						SK6
7号土坑	SK-7	上層		200	0						SK7
8号土坑	SK-8	上層	平安	810	4						SK8
9号土坑	SK-9	上層	平安	300	2						SK9
10号土坑	SK-10	上層		400	0						SK10
11号土坑	SK-11	上層		130	0						SK11
12号土坑	SK-12	上層	平安	150	1						SK12
13号土坑	SK-13	上層		230	0						SK13
14号土坑	SK-14	上層		140	0						SK14
15号土坑	SK-15	上層	平安	4,420	5				鉄塊		SK15
16号土坑	SK-16	上層	平安	80	1						SK16
17号土坑	SK-17	上層	平安	120	1						SK17
18号土坑	SK-18	上層	平安	1,900	1					骨片	SK18
19号土坑	SK-19	上層		110	0						SK19
20号土坑	SK-20	上層		210	0						SK20
21号土坑	SK-21	上層		250	0				銭		SK21
22号土坑	SK-22	上層		70	0						SK22
23号土坑	SK-23	上層		240	0						SK23
24号土坑	SK-24	上層		110	0						SK24
25号土坑	SK-25	上層		1,470	0						SK25
26号土坑	SK-26	上層	平安	670	1						SK26
27号土坑	SK-27	上層		290	0				鉄片		SK27
28号土坑	SK-28	上層	平安	1,160	1						SK28
29号土坑	SK-29	上層		280	0						SK29
30号土坑	SK-30	上層	平安	1,020	5						SK30
31号土坑	SK-31	上層		110	0						SK31
32号土坑	SK-32	上層		170	0						SK32
33号土坑	SK-33	上層	平安	2,350	19						SK33
34号土坑	SK-34	上層	平安	260	1						SK34
35号土坑	SK-35	上層		0	0						
36号土坑	SK-36	上層		170	0	砥石					SK36
37号土坑	SK-37	下層		2,120	0						SK37
38号土坑	SK-38	下層	平安	920	3						SK38

遺構名	記号	検出面	時代(期)	出土土器			土製品	石製品	金属製品	その他	遺物注記(整理No.)
				重量(g)	実測	特記					
39号土坑	SK-39	下層	古墳	5,500	3						SK39
40号土坑	SK-40	下層		990	0						SK40
41号土坑	SK-41	下層	平安	1,100	1	青磁片?					SK41
42号土坑	SK-42	下層	奈良	5,090	6						SK42-1・No1・2
1号不明遺構	SX-1	上層	平安	1,550	1			石皿 敲石			SX1-1・2
2号不明遺構	SX-2	上層	平安	2,440	1						SX2-1・2
3号不明遺構	SX-3	上層		590	0				鉄滓		SX3
4号不明遺構	SX-4	上層		260	0						SX4
5号不明遺構	SX-5	下層	平安	2,660	1			砥石			SX5
上層小穴	ピット	上層	平安～中世	1,780	2				鉄滓	炭化物	Pi-1～51
下層小穴	ピット	下層	古墳～平安	4,540	2			砥石	鉄滓鉄片	骨製品?	Pi-52～106・Pi群-1～3
遺物集中区		下層	古墳	16,940	22	提瓶		白玉15			Po集・Po集-No1・2
上層検出面	検出面	上層	平安～	2,300	7	緑釉片					検出-1・2
下層検出面	検出面	下層	古墳～平安	80,010	20		紡錘車 土玉3ミニチュア	砥石 勾玉	鉄滓鉄片	モモ核?炭化物	検出-3～8
採集遺物		下層	古墳～平安	5,450	3				銭鉄滓		採集
合計				919,345	819						

表4 平成6年度調査 土器観察表

図版	番号	出土遺構		遺物注記(整理No.)	抽出No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図17	1	SB-1		SB1-1	2	平安～中世	土師器	坏	全形	1/2	7.7	4.0	1.8	糸切	
	2	SB-1	床面SK内	SB1-4	1	平安	土師器	坏	全形	1/4	10.4	3.8	3.0	糸切	
	3	SB-1		SB1-1	3	平安	土師器	坏	全形	1/2	14.4	5.8	3.5	糸切 腰部ケズリ	
	4	SB-1		SB1-1	1	平安	土師器	坏	底部	1/4		6.4		糸切 内黒	
	5	SB-1	カマド内	SB1-3	1	平安	土師器	坏	底部	1/1		6.6		糸切	
	6	SB-2	床下	SB2-3	3	平安	土師器	坏	全形	1/2	10.7	3.4	3.1	糸切	
	7	SB-2	床下	SB2-3	2	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.7	3.5	2.9	糸切	○
	8	SB-2	上層	SB2-1	6	平安	土師器	坏	底部	2/3	11.0	5.2	3.3	糸切	
	9	SB-2	上層	SB2-1	4	平安	土師器	坏	底部	2/3		3.6		糸切	
	10	SB-2	上層	SB2-1	5	平安	土師器	坏	底部	2/3		3.8		糸切	
	11	SB-2	床下	SB2-3	6	平安	土師器	坏	底部	1/2		3.8		糸切	
	12	SB-2	床下	SB2-2	1	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	13	SB-2	床下	SB2-3	5	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.4		糸切	
	14	SB-2	上層	SB2-1	3	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.7		糸切	
	15	SB-2	床下	SB2-3	1	平安	土師器	高台坏	全形	3/4	10.2			内外黒 暗文 灯明皿	○
	16	SB-2	上層	SB2-1	2	平安	土師器	小甕	底部	1/1		6.4		糸切	
	17	SB-2	上層	SB2-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.5			
	18	SB-3		SB3	4	平安	土師器	坏	全形	1/2	10.0	4.2	3.3	糸切	
	19	SB-3		SB3	5	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.6		糸切	
	20	SB-3		SB3	9	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.8		糸切	
	21	SB-3		SB3	7	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.8		糸切	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真	
		遺構	位置								口径	底径	器高			
図17	22	SB-3		SB3	6	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.9		糸切		
	23	SB-3		SB3	8	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.2		糸切		
	24	SB-3		SB3	2	平安	土師器	高台坏	全形	2/3	11.4	5.8	4.7	内黒 ミガキ	○	
	25	SB-3		SB3	3	平安	土師器	高台坏	底部	1/2		9.8		糸切痕		
	26	SB-4		SB4	1	平安	土師器	小甕	底部	1/1		8.8		糸切→ナデ		
	27	SB-5	カマド内	SB5-2	3	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.3	4.1	2.9	糸切	○	
	28	SB-5	カマド周辺	SB5-1	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.4	4.0	3.0	糸切	○	
	29	SB-5	カマド周辺	SB5-1	2	平安	土師器	坏	全形	1/2	11.0	4.0	2.9	糸切	○	
	30	SB-5	カマド内	SB5-2	6	平安	土師器	坏	底部	1/2		5.4		糸切		
	31	SB-5	カマド内	SB5-2	2	平安	土師器	高台坏	口縁部	2/3	11.6			内黒 ミガキ	○	
	32	SB-5	カマド周辺	SB5-1	3	平安	土師器	高台坏	底部	1/1		6.6		内黒 ミガキ		
	33	SB-5	カマド内	SB5-2	4	平安	土師器	高台坏	口縁部	1/2	13.2					
	34	SB-5	カマド内	SB5-2	1	平安	土師器	甕	口縁部	1/2	23.6			タタキ		
	35	SB-6		SB6	2	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.0	3.9	2.9	糸切	○	
	36	SB-6		SB6	1	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.4	4.3	3.0	糸切	○	
	37	SB-6		SB6	3	平安	土師器	坏	全形	1/3	11.0	5.2	3.4	糸切		
	38	SB-6		SB6	5	平安	土師器	坏	全形	1/2	11.8	5.0	2.8	糸切		
	39	SB-6		SB6	4	平安	土師器	坏	底部	1/3	12.6	6.4	4.0	糸切		
	40	SB-6		SB6	6	平安	土師器	坏	口縁部	2/3	10.5					
	41	SB-6		SB6	8	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.2		糸切		
	42	SB-6		SB6	7	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.5		糸切		
	43	SB-6		SB6	11	平安～ 中世	灰釉	椀	底部	1/1		8.5			漬け掛け	
	44	SB-6		SB6	12	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				内黒 ミガキ		
	45	SB-6		SB6	10	平安	土師器	高坏?	脚部	1/1		4.0				
	46	SB-7		SB7-1	2	平安	須恵器	坏	底部	1/2		5.5		糸切		
	47	SB-7		SB7-1	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	12.6	5.2	4.7	糸切 内黒 ミガキ 灯明皿?	○	
	図18	48	SB-8	一括出土	SB8-3	5	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.3	4.2	3.3	糸切	○
49		SB-8	一括出土	SB8-3	1	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.4	4.5	3.2	糸切	○	
50		SB-8	一括出土	SB8-3	4	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.4	4.7	3.2	糸切	○	
51		SB-8	一括出土	SB8-3	3	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.5	4.2	3.3	糸切	○	
52		SB-8		SB8-2	6	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.6	4.2	3.6	糸切	○	
53		SB-8	一括出土	SB8-3	2	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.6	4.4	3.4	糸切	○	
54		SB-8		SB8-2	7	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.6	4.5	3.1	糸切	○	
55		SB-8		SB8-2	5	平安	土師器	坏	全形	1/2	10.7	4.6	3.3	糸切		
56		SB-8	一括出土	SB8-3	6	平安	土師器	坏	全形	2/3	12.2	4.1	4.1	糸切	○	
57		SB-8		SB8-2	9	平安	土師器	坏	全形	2/3	12.2	5.0	3.9	糸切	○	
58		SB-8		SB8-2	8	平安	土師器	坏	全形	1/2	12.7	5.2	4.1	糸切	○	
59		SB-8		SB8-2	1	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.2		糸切		
60		SB-8		SB8-2	3	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.4		糸切		
61		SB-8		SB8-2	2	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.4		糸切		
62		SB-8		SB8-2	4	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.6		糸切→ナデ		
63		SB-8		SB8-2	10	平安	土師器	高台坏	全形	1/3	11.5	6.0	5.0	内黒		
64		SB-8	一括出土	SB8-3	7	平安	土師器	高台坏	全形	2/3	12.0	6.0	5.1	内黒 ミガキ 糸切痕	○	
65		SB-8	一括出土	SB8-3	8	平安	土師器	高台坏	全形	1/2	14.3	7.4	6.8	内黒 ミガキ 灯明皿		
66		SB-8		SB8-2	11	平安	土師器	高台坏	口縁部	1/2	12.3			内外黒 ミガキ		
67		SB-8	一括出土	SB8-3	9	平安	土師器	高台坏	口縁部	2/3	13.6			内黒 ミガキ 糸切痕	○	
68		SB-8	上層	SB8-1	2	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.5		内黒 ミガキ ナデ		
69		SB-8		SB8-2	12	平安	土師器	甕	底部	1/1		6.8		ハケメ		
70		SB-8	上層	SB8-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/2		7.0		ハケメ		

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図18	71	SB-9	床面	SB9-3	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	底部	1/2		6.8		回転ケズリ	
	72	SB-9		SB9-2	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.8	4.9	2.8	糸切	○
	73	SB-9		SB9-2	2	平安	土師器	坏	全形	1/2	11.6	4.6	3.2	糸切	○
	74	SB-9		SB9-2	5	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.4		糸切	
	75	SB-9		SB9-2	3	平安	土師器	高台坏	全形	1/3	12.2	5.9	5.1	内黒 ミガキ	
	76	SB-9		SB9-2	4	平安	土師器	高台坏	底部	1/1		5.4		内外黒 ミガキ	
	77	SB-9	カマド内	SB9-5	1	古墳～ 奈良	土師器	甕	口縁部	2/3	18.2			ハケメ	
	78	SB-13		SB13-2	1	古墳～ 奈良	土師器	坏	全形	2/3	12.6		4.5	ミガキ	○
	79	SB-13		SB13-1	1	古墳～ 奈良	土師器	鉢	全形	1/1	20.2		9.4	内黒 ミガキ	○
	80	SB-13		SB13-2	2	古墳～ 奈良	土師器	高坏	口縁部	2/3	16.0			ミガキ	○
図19	81	SB-10	床下	SB10-3	3	奈良～ 平安	須恵器	坏	全形	1/2	13.3	6.4	3.9	糸切	○
	82	SB-10	床下	SB10-4	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	全形	1/3	13.5	7.4	4.2	静止ヘラケズリ	○
	83	SB-10		SB10-1	13	平安	土師器	坏	全形	1/1	13.0	5.8	5.9	糸切 内黒 ミガキ	○
	84	SB-10		SB10-1	12	平安	土師器	坏	全形	1/2	13.8	5.5	6.0	糸切 内黒 ミガキ	○
	85	SB-10	床下	SB10-3	2	奈良～ 平安	土師器	坏	全形	1/2	16.0	8.4	5.2	静止ケズリ 内黒 ミ ガキ	○
	86	SB-10	西側ピット 内	SB10-2	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	10.0	4.0	3.0	糸切	
	87	SB-10		SB10-1	6	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.2	4.1	3.0	糸切	○
	88	SB-10		SB10-1	3	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.2	4.4	3.3	糸切	○
	89	SB-10	西側ピット 内	SB10-2	2	平安	土師器	坏	全形	1/3	10.4	3.9	2.9	糸切	
	90	SB-10		SB10-1	5	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.4	4.1	3.2	糸切	○
	91	SB-10		SB10-1	4	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.5	4.7	3.1	糸切	○
	92	SB-10		SB10-1	11	平安	土師器	坏	全形	1/4	10.6	3.9	3.2	糸切	
	93	SB-10		SB10-1	7	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.7	4.6	3.1	糸切	○
	94	SB-10		SB10-1	8	平安	土師器	坏	全形	1/2	12.2	5.0	3.9	糸切	○
	95	SB-10	床下ピット	SB10-5	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	13.0	4.5	3.9	糸切	○
	96	SB-10		SB10-1	9	平安	土師器	坏	全形	1/3	13.6	4.4	4.2	糸切	○
	97	SB-10		SB10-1	2	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.8		糸切	
	98	SB-10		SB10-1	16	平安	土師器	高台坏	全形	2/3	14.8	6.9	6.7	内黒 ミガキ 糸切痕	○
	99	SB-10		SB10-1	14	平安	土師器	高台坏	全形	1/1	15.3	7.2	5.9	内黒 ミガキ	○
	100	SB-10		SB10-1	15	平安	土師器	高台坏	口縁部	1/1	13.9			内黒 ミガキ	○
101	SB-10		SB10-1	10	平安	土師器	高台坏	底部	2/3		7.9				
102	SB-10	床下	SB10-4	2	奈良～ 平安	土師器	鍋	口縁部	1/3	27.8			ミガキ ケズリ		
103	SB-10		SB10-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/2		8.4		ケズリ		
104	SB-10	床下	SB10-3	1	奈良～ 平安	土師器	甗	全形	2/3	25.5	15.9	24.6	ハケメ→ロクロナデ ミガキ	○	
105	SB-10		SB10-1	他	平安	土師器	獣脚						ナデ		
図20	106	SB-15	No.3	SB15- No.3	1	奈良	須恵器	坏	全形	1/2	12.3	6.6	4.2	甕切り→静止ケズリ	○
	107	SB-15	No.1	SB15- No.1	1	古墳～ 奈良	土師器	坏	全形	2/3	12.8	6.1	3.8	内黒 ミガキ	○
	108	SB-15	上層	SB15-1	1	古墳～ 奈良	土師器	坏	底部	1/3		7.4		内黒 ミガキ	
	109	SB-15	下層	SB15-2	1	古墳～ 奈良	土師器	坏	底部	2/3		8.4		内黒 ミガキ	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図20	110	SB-15	No.4	SB15- No.4	1	古墳～ 奈良	土師器	鉢	全形	2/3	11.7	8.7	9.4	内黒 ミガキ	○
	111	SB-15	下層	SB15-2	4	古墳～ 奈良	土師器	鉢	底部	1/3				内黒 ミガキ	
	112	SB-15	カマド内	SB15-6	1	古墳～ 奈良	土師器	高坏	口縁部	1/1	14.4			ミガキ	○
	113	SB-15	No.2	SB15- No.2	1	古墳～ 奈良	土師器	小甕	全形	2/3	16.7	9.0	14.8	ハケメ→ミガキ	○
	114	SB-15	カマド内	SB15-6	4	古墳～ 奈良	土師器	甕	全形	2/3	15.0	7.0	30.0	ハケメ→ナデ	○
	115	SB-15	カマド内	SB15-6	2	古墳～ 奈良	土師器	甕	全形	1/1	16.8	6.8	28.7	ハケメ	○
	116	SB-15	カマド内	SB15-6	5	古墳～ 奈良	土師器	甕	口縁部	1/4	16.6			ハケメ	
	117	SB-15	カマド内	SB15-6	3	古墳～ 奈良	土師器	甕	底部	1/2		7.8		ハケメ→ナデ	
	118	SB-15	床面床直	SB15-3	2	古墳～ 奈良	土師器	甕	底部	2/3		7.2			
	119	SB-15	下層	SB15-2	3	古墳～ 奈良	土師器	甗	底部	1/1		7.0		内黒 ミガキ	
	120	SB-15	上層	SB15-1	2	古墳～ 奈良	土師器	(甗)	把手	1/1					
	121	SB-15	床面床直	SB15-3	1	古墳～ 奈良	土師器	蓋	つまみ	1/1					
図21	122	SB-16	上層	SB16-1	4	古墳	土師器	坏	全形	1/3	14.4		4.4	内黒 ミガキ	
	123	SB-16	上層	SB16-1	3	古墳	土師器	坏	口縁部	1/3	15.4			内黒 ミガキ	
	124	SB-16	上層	SB16-2	1	古墳	土師器	坏	底部	1/3		6.0		ミガキ	
	125	SB-16	床面床直	SB16-4	2	古墳	土師器	鉢	全形	1/4	11.4		9.5	内黒 ミガキ	
	126	SB-16	下層	SB16-3	3	古墳	土師器	鉢	口縁部	1/3	13.0			内黒 ミガキ	
	127	SB-16	下層	SB16-3	2	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	11.8	6.0	9.3	ミガキ ハケメ	○
	128	SB-16	上層	SB16-1	2	古墳	土師器	高坏	口縁部	2/3	16.7			内黒 ミガキ	
	129	SB-16	上層	SB16-1	7	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		12.6		内黒 ミガキ	
	130	SB-16	床面床直	SB16-4	1	古墳	土師器	小甕	口縁部	2/3	11.1			ハケメ→ケズリ ナデ	
	131	SB-16	上層	SB16-1	6	古墳	土師器	甕	底部	1/2		6.0		ハケメ	
	132	SB-16	上層	SB16-1	5	古墳	土師器	甕	底部	1/1		8.8		ハケメ	
	133	SB-16	下層	SB16-3	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.0		ハケメ→ミガキ	
	134	SB-16	下層	SB16-3	4	古墳	土師器	甕	口縁部	1/3	20.0			ハケメ→ケズリ	
	135	SB-16	上層	SB16-1	1	古墳	土師器	甗	全形	2/3	23.6	12.0	23.3	内黒 ミガキ	
	136	SB-17		SB17-1	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	全形	2/3	12.7	6.7	3.4	糸切	○
	137	SB-17		SB17-1	2	奈良～ 平安	須恵器	高台坏	底部	2/3		10.5			
	138	SB-17	住居内ピット	SB17-2	1	古墳?	土師器	(甗)	把手	2/3					
	139	SB-19	上層	SB19	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		7.8		ハケ→ナデ	
図22	140	SB-20	下層	SB20-4	3	古墳	土師器	坏	全形	1/3	11.1	5.6	4.4	内黒 ミガキ 籠書	
	141	SB-20	上層	SB20-1	5	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.2		3.5	内黒 ミガキ	
	142	SB-20	上層	SB20-1	8	古墳	土師器	坏	全形	1/2	11.2		3.8	内黒 ミガキ	○
	143	SB-20	上層	SB20-1	3	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.3		4.0	内黒 ミガキ	○
	144	SB-20	上層	SB20-1	6	古墳	土師器	坏	全形	1/2	11.3		4.5	内黒 ミガキ	
	145	SB-20	下層	SB20-4	2	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.4		3.8	内黒 ミガキ	○
	146	SB-20	上層	SB20-1	10	古墳	土師器	坏	全形	1/4	11.6		4.7	内黒 ミガキ	
	147	SB-20	上層	SB20-1	11	古墳	土師器	坏	全形	1/4	12.0		3.7	内黒 ミガキ	
	148	SB-20	上層	SB20-1	9	古墳	土師器	坏	全形	1/4	12.0		4.3	内黒 ミガキ	
	149	SB-20	上層	SB20-1	4	古墳	土師器	坏	全形	2/3	12.2		4.8	内黒 ミガキ	○

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真	
		遺構	位置								口径	底径	器高			
図22	150	SB-20	上層	SB20-1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	12.8		4.0	内黒 ミガキ	○	
	151	SB-20		SB20-2	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	13.7		4.9	内黒 ミガキ	○	
	152	SB-20	上層	SB20-1	7	古墳	土師器	坏	全形	1/2	13.8	4.8	6.0	内黒 ミガキ		
	153	SB-20	下層	SB20-4	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	13.9	6.5	4.1	内黒 ミガキ	○	
	154	SB-20	下層	SB20-4	13	古墳	土師器	坏	底部	1/2				内黒 ミガキ 篋書		
	155	SB-20	上層	SB20-1	2	古墳	土師器	坏	全形	1/1	12.6		3.4	ミガキ 篋書	○	
	156	SB-20	上層	SB20-1	12	平安	土師器	坏	全形	1/2	10.4	4.0	3.2	糸切		
	157	SB-20		SB20-2	3	平安	土師器	高台坏	底部	2/3		8.0		糸切痕		
	158	SB-20	上層	SB20-1	15	古墳	土師器	鉢	口縁部	1/4	10.6			内黒 ミガキ		
	159	SB-20	上層	SB20-1	16	古墳	土師器	鉢	底部	1/2				ミガキ ケズリ		
	160	SB-20	床面床直	SB20-5	2	古墳	土師器	鉢	底部	2/3				ミガキ		
	161	SB-20	下層	SB20-4	5	古墳	土師器	鉢	底部	2/3		6.0		ナデ ケズリ		
	162	SB-20		SB20- No.1	1	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	15.2	12.8	15.3	内黒 ミガキ	○	
	163	SB-20	上層	SB20-1	14	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/4	16.0			内黒 ミガキ		
	164	SB-20	下層	SB20-4	4	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/3	8.4			内黒 ミガキ		
	165	SB-20	床面床直	SB20-5	3	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		10.2		内黒 ミガキ		
	166	SB-20	下層	SB20-4	18	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		11.4		ミガキ		
	167	SB-20	下層	SB20-4	20	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		11.7		ミガキ		
	168	SB-20	下層	SB20-4	17	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		13.5		ミガキ		
	169	SB-20	下層	SB20-4	19	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				ミガキ		
	170	SB-20	下層	SB20-4	23	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				ミガキ		
171	SB-20	上層	SB20-1	13	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				内黒 ミガキ			
172	SB-20	下層	SB20-4	22	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				ミガキ			
173	SB-20	下層	SB20-4	21	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				ミガキ			
図23	174	SB-20	上層	SB20-1	18	古墳	土師器	壺	全形	2/3	12.2	6.5	23.9	ミガキ	○	
	175	SB-20	上層	SB20-1	20	古墳	土師器	壺	口縁部	2/3	9.7			ミガキ		
	176	SB-20	下層	SB20-4	7	古墳	土師器	壺	口縁部	2/3	16.8			ハケメ→ミガキ		
	177	SB-20	下層	SB20-4	14	古墳	土師器	壺	底部	2/3		7.3		ミガキ		
	178	SB-20	上層	SB20-1	22	古墳	土師器	壺	底部	2/3		7.3				
	179	SB-20	上層	SB20-1	17-①	古墳	土師器	甕	口縁部	1/2	17.0			ハケメ		
	180	SB-20	上層	SB20-1	17-②	古墳	土師器	甕	胴部	1/3				ハケメ		
	181	SB-20	下層	SB20-4	6	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.6		ケズリ→ナデ		
	182	SB-20	上層	SB20-1	23	古墳	土師器	甕	底部	1/2		4.5				
	183	SB-20	下層	SB20-4	15	古墳	土師器	甕	底部	2/3		6.0		ハケメ		
	184	SB-20	カマド周辺	SB20-6	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.8		ナデ		
	185	SB-20	下層	SB20-4	16	古墳	土師器	甕	底部	1/3		6.8		ハケメ		
	186	SB-20	床面床直	SB20-5	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.9		ナデ		
	187	SB-20	上層	SB20-1	19	古墳	土師器	鍋	口縁部	2/3	19.7			ミガキ	○	
	188	SB-20	床面床直	SB20-5	5	古墳	土師器	甌	底部	2/3		11.3		ハケメ→ナデ	○	
	189	SB-20	下層	SB20-4	8	古墳	土師器	甌	口縁部	1/2	25.0			ハケメ→ミガキ		
	190	SB-20	上層	SB20-1	21	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
	191	SB-20	下層	SB20-4	9	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
	192	SB-20	下層	SB20-4	10	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
	193	SB-20	床面床直	SB20-5	4	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
	194	SB-20	下層	SB20-4	12	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
	195	SB-20		SB20- No.1	2	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
	196	SB-20	下層	SB20-4	11	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
図24	197	SB-21	床面	SB21-2	2-①	古墳	土師器	壺	口縁部	1/2	17.3			ミガキ		
	198	SB-21	床面	SB21-2	2-②	古墳	土師器	壺	底部	1/1		7.6		ミガキ		

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図24	199	SB-21	床面	SB21-2	1	古墳	土師器	鍋	全形	1/2	21.8	7.8	22.6	ミガキ	
	200	SB-23	下層	SB23-2	1	古墳	土師器	壺	底部	1/3		8.5		ミガキ	
	201	SB-23	煙道内	SB23-4	1	古墳	土師器	小甕	全形	2/3	15.2	5.4	16.3	ケズリ→ミガキ	○
	202	SB-23		SB23- No.1	1	古墳	土師器	小甕	口縁部	2/3	13.1				
	203	SB-23	上層	SB23-1	2	古墳	土師器	甕	底部	1/3		5.4		ケズリ	
	204	SB-23	上層	SB23-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/2		5.6		ミガキ	
	205	SB-23	下層	SB23-2	2	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.9			
	206	SB-23	上層	SB23-1	3	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1				ケズリ→ナデ	
207	SB-23	カマド周辺	SB23-3	1	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
図25	208	SB-22		SB22- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	12.8		5.1	内黒 ミガキ 暗文	○
	209	SB-22		SB22-1	2	古墳	土師器	坏	全形	2/3	10.6		5.4	ミガキ	○
	210	SB-22		SB22- No.2	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	14.6		4.7	ミガキ	○
	211	SB-22		SB22-1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	14.7		4.9	ミガキ	○
	212	SB-22		SB22-1	3	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	13.0	5.2	8.4	ミガキ	○
	213	SB-22		SB22- No.3	1	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	13.6	6.5	14.9	ミガキ	○
	214	SB-22		SB22-1	5	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				内黒 ミガキ	
	215	SB-22		SB22- No.2	2	古墳	土師器	壺	全形	1/2	19.6	8.4	32.0	ミガキ	
	216	SB-22	支柱穴内	SB22-2	1	古墳	土師器	壺	口縁部	2/3	17.0			ミガキ	○
	217	SB-22		SB22-1	4	古墳	土師器	壺	底部	2/3		6.5		ミガキ	
218	SB-22		SB22- No.3	2	古墳	土師器	甌	全形	1/2	21.0	10.8	21.6	内黒 ミガキ	○	
図26	219	SB-24		SB24- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	12.6		6.2	内黒 ミガキ	○
	220	SB-24		SB24-1	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.4		3.4	内黒 ミガキ	
	221	SB-24	カマド内	SB24-4	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	11.8		4.1	ミガキ	○
	222	SB-24		SB24-1	2	古墳	土師器	鉢	全形	1/3	14.6		8.2	ミガキ	
	223	SB-24	カマド内	SB24-4	6	古墳	土師器	鉢	全形	1/1	12.8	4.6	10.7	ハケメ	○
	224	SB-24	カマド内	SB24-4	3	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	16.0	10.3	14.5	内黒 ミガキ	○
	225	SB-24	カマド内	SB24-4	2	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/1	15.8			内黒 ミガキ	
	226	SB-24	カマド内	SB24-4	7	古墳	土師器	壺	口縁部	1/1	18.8			ハケメ→ミガキ	
	227	SB-24	カマド内	SB24-4	5	古墳	土師器	小甕	全形	1/1	13.1	5.8	16.9	ハケメ→ナデ	○
	228	SB-24	カマド内	SB24-4	4	古墳	土師器	甕	全形	1/1	18.2	6.1	30.2	ハケメ	○
	229	SB-24		SB24-1	3	古墳	土師器	甕	底部	1/2		7.6			
	230	SB-25	カマド横 ビット	SB25-3	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.1		4.8	ミガキ	○
	231	SB-25		SB25-1	9	古墳	土師器	壺	底部	1/3		8.8			
	232	SB-25		SB25-1	4	古墳	土師器	壺	底部	1/3		10.0		ミガキ	
	233	SB-25	カマド周辺	SB25-2	1	古墳	土師器	小甕	口縁部	1/2	12.4				
	234	SB-25		SB25-1	5	古墳	土師器	甕	底部	1/2		7.6		内黒 ミガキ	
	235	SB-25		SB25-1	8	古墳	土師器	甕	底部	1/1		4.5			
	236	SB-25		SB25-1	2	古墳	土師器	甕	底部	1/3		4.8			
237	SB-25		SB25-1	3	古墳	土師器	甕	底部	1/3		5.4				
238	SB-25		SB25-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.9				
239	SB-25		SB25-1	6	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
240	SB-25		SB25-1	7	古墳	土師器	(甌)	把手	2/3						
図27	241	SB-26	カマド内	SB26-8	2	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.3		4.5	内黒 ミガキ 篋書	○
	242	SB-26	床面床直	SB26-5	3	古墳	土師器	坏	底部	1/3				内黒 ミガキ	
	243	SB-26		SB26-3	8	古墳	土師器	坏	底部	1/3				ミガキ	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図27	244	SB-26		SB26-3	9	平安	土師器	坏	全形	1/3	13.4	5.7	3.8	内黒	
	245	SB-26	カマド周辺	SB26-7	1	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	10.8	7.2	6.9	内黒 ミガキ	○
	246	SB-26		SB26-3	6	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	11.4		8.9	ミガキ	○
	247	SB-26		SB26-3	7	古墳	土師器	壺	底部	2/3		7.0		ミガキ	
	248	SB-26	下層	SB26-4	1	古墳	土師器	壺	底部	2/3				ミガキ	
	249	SB-26	カマド内	SB26-8	1	古墳	土師器	甕	口縁部	2/3	15.3			ハケメ	○
	250	SB-26	床面床直	SB26-5	2	古墳	土師器	甕	口縁部	1/3	18.2			ケズリ	
	251	SB-26	床面床直	SB26-5	1	古墳	土師器	甕	底部	2/3		5.6		ケズリ	
	252	SB-26		SB26-3	5	古墳	土師器	甕	底部	2/3		5.8		ケズリ→ナデ	
	253	SB-26		SB26-3	4	古墳	土師器	甕	底部	2/3		6.2		ケズリ→ナデ	
	254	SB-26	上中層	SB26-2	1	古墳	土師器	甕	底部	1/3		6.2			
	255	SB-26		SB26-3	1	古墳	土師器	(甕)	把手	1/1					
	256	SB-26		SB26-3	2	古墳	土師器	(甕)	把手	1/1					
	257	SB-26		SB26-3	3	古墳	土師器	(甕)	把手	2/3					
	258	SB-26	上層	SB26-1	1	古墳?	土師器	獣脚?							
	259	SB-27	下層	SB27-2	3	平安	須恵器	坏	全形	1/3	12.2	6.6	3.8	糸切	
	260	SB-27	上層	SB27-1	2	平安	須恵器	坏	底部	2/3		5.4		糸切	
	261	SB-27	下層	SB27-2	1	平安	土師器	坏	全形	1/1	13.0	6.2	4.2	糸切 内黒 ミガキ	○
	262	SB-27	カマド内	SB27-4	1	平安	土師器	坏	全形	1/6	13.6	6.2	4.0	糸切	
	263	SB-27	下層	SB27-2	2	平安	土師器	坏	底部	1/2		5.8		糸切 ミガキ	
	264	SB-27	上層	SB27-1	1	平安	土師器	坏	底部	1/2		6.2		糸切	
	265	SB-27	カマド内	SB27-4	2	平安	土師器	鉢	底部	1/3		9.4		内黒 ミガキ ケズリ	
	266	SB-28		SB28	3	古墳	土師器	坏	口縁部	1/3	14.2			内黒 ミガキ	
	267	SB-28		SB28	5	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				ミガキ	
	268	SB-28		SB28	4	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				内黒 ミガキ	
	269	SB-28		SB28	2	古墳	土師器	壺	底部	2/3		5.0		ミガキ	
	270	SB-28		SB28	1	古墳	土師器	壺	底部	1/3		7.0		ミガキ	
図28	271	SB-29	下層	SB29-2	12	古墳	土師器	坏	全形	1/3	13.2		5.1	内黒 ミガキ	
	272	SB-29	下層	SB29-2	8	古墳	土師器	坏	全形	2/3	14.0		5.8	内黒 ミガキ	○
	273	SB-29	上層	SB29-1	2	古墳	土師器	坏	全形	1/3	14.2		3.8	内黒 ミガキ	
	274	SB-29	下層	SB29-2	10	古墳	土師器	坏	全形	2/3	14.5		5.8	内黒 ミガキ	○
	275	SB-29	下層	SB29-2	11	古墳	土師器	坏	全形	1/3	14.6		4.6	内黒 ミガキ	
	276	SB-29	下層	SB29-2	9	古墳	土師器	坏	全形	2/3	15.2		4.6	内黒 ミガキ	○
	277	SB-29		SB29-3	4	古墳	土師器	坏	全形	1/2	15.4		5.0	内黒 ミガキ	
	278	SB-29	上層	SB29-1	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	15.4		5.2	内黒 ミガキ	○
	279	SB-29	下層	SB29-2	13	古墳	土師器	坏	口縁部	1/2	14.0			内黒 ミガキ	
	280	SB-29	下層	SB29-2	27	古墳	土師器	坏	全形	2/3	15.5		4.5	ミガキ	
	281	SB-29		SB29-3	3	古墳	土師器	坏	口縁部	2/3	14.8			ミガキ	○
	282	SB-29	下層	SB29-2	28	古墳	土師器	坏	底部	2/3				ミガキ	
	283	SB-29	床面	SB29-4	4	古墳	土師器	坏	底部	2/3		7.2		ハケメ→ナデ	
	284	SB-29		SB29-3	5	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	17.3		9.7	内黒 ミガキ	○
	285	SB-29	下層	SB29-2	5	古墳	土師器	鉢	口縁部	2/3	16.6			内黒 ミガキ	
	286	SB-29	下層	SB29-2	7	古墳	土師器	鉢	底部	1/2		8.0		内黒 ミガキ	
	287	SB-29	床面	SB29-4	8	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	14.1	8.0	12.5	ミガキ	○
	288	SB-29	カマド周辺	SB29-6	1	古墳	土師器	鉢	全形	1/3	16.0		11.9	ハケメ→ミガキ	
	289	SB-29	床面	SB29-4	7	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	16.0	6.2	12.1	ミガキ	○
	290	SB-29	下層	SB29-2	6	古墳	土師器	鉢	口縁部	1/2	15.0			ミガキ	
	291	SB-29	下層	SB29-2	17	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	16.5	10.6	12.6	内黒 ミガキ	○
	292	SB-29	下層	SB29-2	19	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/2	13.6			内黒 ミガキ	
	293	SB-29	下層	SB29-2	20	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/2	18.8			内黒 ミガキ	
	294	SB-29	下層	SB29-2	18	古墳	土師器	高坏	接合部	2/2	19.4			内黒 ミガキ	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図28	295	SB-29	カマド周辺	SB29-6	2	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		10.7		内黒 ミガキ	
	296	SB-29	下層	SB29-2	22	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2		11.0		内黒 ミガキ	
	297	SB-29	下層	SB29-2	21	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/2	13.6			内黒 ミガキ	
	298	SB-29	床面	SB29-4	6	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				内黒 ミガキ	
図29	299	SB-29	下層	SB29-2	25	古墳	土師器	高坏	全形	1/2	20.0	12.6	15.0	ミガキ	
	300	SB-29	床面	SB29-4	5	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		8.7		ミガキ	
	301	SB-29	下層	SB29-2	24	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		10.2		ミガキ	
	302	SB-29	下層	SB29-2	23	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		14.2		ミガキ	
	303	SB-29	カマド周辺	SB29-6	3	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				ミガキ	
	304	SB-29		SB29-3	1	古墳	土師器	甕	全形	2/3	15.1	8.2	21.3	ハケメ	○
	305	SB-29	下層	SB29-2	1	古墳	土師器	甕	口縁部	2/3	15.4			ハケメ	○
	306	SB-29	床面	SB29-4	1	古墳	土師器	甕	口縁部	1/1	16.4			ハケメ	
	307	SB-29	ピット内	SB29-5	1	古墳	土師器	甕	口縁部	1/1	17.9			ハケメ	○
	308	SB-29		SB29-3	2-①	古墳	土師器	甕	口縁部	2/3	20.1			ハケメ	
	309	SB-29		SB29-3	2-②	古墳	土師器	甕	底部	1/1		7.7		ハケメ	
	310	SB-29	下層	SB29-2	2	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.0		ミガキ	
	311	SB-29	下層	SB29-2	3	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.0			
	312	SB-29	床面	SB29-4	3	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.0		ミガキ	
	313	SB-29	床面	SB29-4	9	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.2		ハケメ	
	314	SB-29	床面	SB29-4	2	古墳	土師器	甕	底部	1/2		7.2			
	315	SB-29	下層	SB29-2	4	古墳	土師器	甕	胴部	1/2					
図30	316	SB-30	カマド周辺	SB30-4	1	古墳	土師器	坏	口縁部	1/3	12.4				
	317	SB-30	上層	SB30-1	1	古墳	土師器	壺	底部	1/2		6.2		ミガキ	
	318	SB-31	カマド	SB31- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	12.1		5.6	内黒 ミガキ	○
	319	SB-31	上層	SB31-1	2	古墳	土師器	坏	口縁部	1/4	15.9			内黒 ミガキ	
	320	SB-31		SB31- No.2	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	13.4		5.4	ミガキ	○
	321	SB-31		SB31- No.2	2	古墳	土師器	坏	全形	1/1	13.7		5.2	ミガキ	○
	322	SB-31		SB31- No.5	1	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	19.5		5.8	内黒 ミガキ	○
	323	SB-31	カマド	SB31- No.3	2	古墳	土師器	高坏	全形	1/1	15.1	10.2	13.6	内黒 ミガキ	○
	324	SB-31	カマド	SB31- No.1	2	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/1	15.4			内黒 ミガキ	
	325	SB-31	カマド	SB31- No.3	1	古墳	土師器	甕	口縁部	1/1	14.9			ハケメ	○
	326	SB-31	上層	SB31-1	1	古墳	土師器	甕	底部	2/3		5.9		ミガキ	
	327	SB-31	カマド	SB31- No.4	1	古墳	土師器	甕	全形	1/1	17.0	5.2	10.8	内黒 ミガキ	○
	328	SB-32	下層	SB32-2	4	平安	須恵器	蓋	つまみ	1/1				つまみ径2.7	
	329	SB-32	上層	SB32-1	1	平安	須恵器	坏	全形	2/3	12.2	5.0	3.7	糸切	○
	330	SB-32	下層	SB32-2	3	平安	須恵器	坏	全形	2/3	12.3	6.0	3.6	糸切 灯明皿?	○
	331	SB-32	上層	SB32-1	2	平安	土師器	坏	全形	1/2	14.8	5.8	5.6	糸切 内黒 ミガキ	
	332	SB-32	下層	SB32-2	1	平安	土師器	坏	底部	1/3		6.0		糸切	
333	SB-32	下層	SB32-2	2	平安	土師器	高台坏	底部	2/3		5.0		内黒 ミガキ		
334	SB-32	下層	SB32-2	5	平安	土師器	小甕	底部	1/4		8.8				
335	SB-33		SB33- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	14.4		5.4	ミガキ	○	
336	SB-33		SB33-1	1	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/2	17.8			ミガキ		
337	SB-33	カマド内	SB33-2	1	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		11.9		ミガキ		
338	SB-33		SB33- No.2	1	古墳	土師器	甕	口縁部	2/3	18.2			ハケメ		

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図31	339	SB-34	床面床直	SB34-2	3	平安	須恵器	坏	底部	1/1		5.1		糸切	
	340	SB-34		SB34-1	20	平安	土師器	坏	全形	1/3	10.2	4.4	2.8	糸切	
	341	SB-34	南西隅ピット周辺	SB34-4	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.4	4.5	2.7	糸切 ゆがみ	○
	342	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	1	平安	土師器	坏	全形	1/1	10.5	5.5	2.6	糸切	○
	343	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	2	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.5	4.0	3.6	糸切	○
	344	SB-34		SB34-1	3	平安	土師器	坏	全形	1/4	10.6	4.3	3.3	糸切	
	345	SB-34		SB34-1	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	10.6	4.3	3.7	糸切	○
	346	SB-34		SB34-1	2	平安	土師器	坏	全形	1/2	13.2	6.5	3.7	糸切	○
	347	SB-34	床面床直	SB34-2	6	平安	土師器	坏	全形	2/3	13.5	5.6	5.2	糸切	○
	348	SB-34	床面床直	SB34-2	17	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.5		糸切	
	349	SB-34		SB34-1	11	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.6		糸切	
	350	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	10	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.6		糸切	
	351	SB-34	床面床直	SB34-2	15	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.7		糸切	
	352	SB-34		SB34-1	21	平安	土師器	坏	底部	1/2		3.9		糸切	
	353	SB-34	床面床直	SB34-2	16	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.9		糸切	
	354	SB-34		SB34-1	15	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.9		糸切	
	355	SB-34		SB34-1	13	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	356	SB-34		SB34-1	22	平安	土師器	坏	底部	2/3		4.0		糸切	
	357	SB-34		SB34-1	14	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	358	SB-34		SB34-1	17	平安	土師器	坏	底部	2/3		4.0		糸切	
	359	SB-34	南西隅ピット周辺	SB34-4	2	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.0		糸切	
	360	SB-34		SB34-1	18	平安	土師器	坏	底部	2/3		4.1		糸切	
	361	SB-34		SB34-1	10	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.2		糸切	
	362	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	9	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.3		糸切→ナデ	
	363	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	13	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.3		糸切	
	364	SB-34		SB34-1	24	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.3		糸切	
	365	SB-34		SB34-1	19	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.5		糸切	
	366	SB-34		SB34-1	8	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.5		糸切	
	367	SB-34		SB34-1	12	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.5		糸切	
	368	SB-34	南西隅ピット周辺	SB34-4	4	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.6		糸切	
	369	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	12	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.6		糸切	
	370	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	14	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.6		糸切	
	371	SB-34		SB34-1	7	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.7		糸切	
	372	SB-34		SB34-1	9	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.7		糸切	
	373	SB-34	床面床直	SB34-2	18	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.7		糸切	
	374	SB-34		SB34-1	6	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切	
	375	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	8	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.9		糸切	
	376	SB-34	東南隅ピット周辺	SB34-3	11	平安	土師器	坏	底部	1/2		4.9		糸切	
377	SB-34		SB34-1	16	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.9		糸切		
378	SB-34		SB34-1	25	平安	土師器	坏	底部	1/2		5.0		糸切		
379	SB-34		SB34-1	23	平安	土師器	坏	底部	1/2		5.1		糸切		
380	SB-34	床面床直	SB34-2	14	平安	土師器	坏	底部	1/1		5.1		糸切		

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図31	381	SB-34	床面床直	SB34-2	4	平安	土師器	高台杯	全形	2/3	11.3	6.0	5.1	内黒 ミガキ	○
	382	SB-34	床面床直	SB34-2	5	平安	土師器	高台杯	口縁部	1/1	14.1			内黒 ミガキ	○
	383	SB-34		SB34-1	4	平安	土師器	高台杯	口縁部	1/1	14.5			内外黒	○
	384	SB-34		SB34-1	31	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		5.5		内外黒 ミガキ	
	385	SB-34	床面床直	SB34-2	11	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		5.8		内黒 ミガキ	
	386	SB-34	東南隅ピット 周辺	SB34-3	4	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		6.0		内黒 ミガキ	
	387	SB-34	床面床直	SB34-2	10	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		6.1		内黒	
	388	SB-34	東南隅ピット 周辺	SB34-3	3	平安	土師器	高台杯	底部	2/3		6.4		内黒 ミガキ	
	389	SB-34		SB34-1	30	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		6.5		内黒 ミガキ	
	390	SB-34	東南隅ピット 周辺	SB34-3	6	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		6.8		内黒 ミガキ	
	391	SB-34		SB34-1	29	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		6.9		内黒 ミガキ	
	392	SB-34	床面床直	SB34-2	8	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		7.1		内黒 ミガキ	
	393	SB-34	東南隅ピット 周辺	SB34-3	7	平安	土師器	高台杯	底部	1/2		7.8		内黒 ミガキ	
	394	SB-34	床面床直	SB34-2	9	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		7.9		内黒 ミガキ	
	395	SB-34		SB34-1	28	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		8.0		内黒 ミガキ	
396	SB-34	東南隅ピット 周辺	SB34-3	5	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		8.0		内黒		
397	SB-34		SB34-1	41	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		8.5		内黒 ミガキ		
図32	398	SB-34		SB34- No.1	1	平安	土師器	高台杯	全形	1/1	14.3	7.0	6.2	ミガキ	○
	399	SB-34		SB34- No.2	1	平安	土師器	高台杯	全形	1/1	15.1	7.9	6.7	糸切痕 ミガキ	○
	400	SB-34		SB34-1	27	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		6.8			
	401	SB-34		SB34-1	26	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		6.9			
	402	SB-34		SB34-1	34	平安	土師器	高台杯	底部	1/4		8.1			
	403	SB-34		SB34-1	35	平安	土師器	高台杯	底部	1/2		7.2			
	404	SB-34		SB34-1	32	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		7.8			
	405	SB-34		SB34-1	33	平安	土師器	高台杯	底部	1/1		8.1			
	406	SB-34		SB34-1	5	平安	土師器	皿	全形	1/2	14.7	8.4	3.6	ミガキ	○
	407	SB-34	床面床直	SB34-2	7	平安	土師器	盤	底部	1/4		13.0		糸切痕	
	408	SB-34	床面床直	SB34-2	1	平安	灰釉	段皿	全形	1/4	11.4	5.6	2.5	漬け掛け	○
	409	SB-34		SB34-1	42	平安	灰釉	段皿	全形	1/3	11.9	6.6	2.5	漬け掛け	
	410	SB-34	床面床直	SB34-2	2	平安	灰釉	段皿	口縁部	1/4	12.8	6.8	2.5	漬け掛け	
	411	SB-34		SB34-1	43	平安	灰釉	皿	全形	1/4	12.0	4.8	2.9	漬け掛け	
	412	SB-34		SB34-1	44	平安	灰釉	長頸壺	頸部	1/2					
413	SB-34		SB34-1	45	平安	灰釉	長頸壺	底部	1/4		17.2				
414	SB-34	南西隅ピット 周辺	SB34-4	9	古墳	土師器	(飯)	把手	1/2						
415	SB-34		SB34-1	46	平安	土師器	鼎形	脚部	1/1				内黒		
図33	416	SB-35	床面床直	SB35-3	1	平安	須恵器	坏	全形	2/3	13.4	5.8	4.2	糸切	○
	417	SB-35	床面床直	SB35-3	2	平安	須恵器	坏	底部	1/3		5.6		糸切	
	418	SB-35	上層	SB35-1	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	12.9	4.4	4.1	糸切 内黒	○
	419	SB-35	上層	SB35-1	2	平安	土師器	坏	全形	1/2	14.9	7.6	4.6	糸切 内黒	○
	420	SB-35	中層	SB35-2	1	平安	土師器	皿	全形	1/2	11.5	6.2	2.4	内外黒 ミガキ	○
	421	SB-35	上層	SB35-1	3	平安	須恵器	甕	底部	1/2		12.2		タタキ	
	422	SB-35	中層	SB35-2	2	平安	土師器	甕	底部	1/2		4.4		ケズリ ハケメ	
	423	SB-35	床面床直	SB35-3	3	平安	土師器	鍋	全形	1/3	22.4	8.0	18.3	カキメ ケズリ	
	424	SB-36	床面床直	SB36-2	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	底部	1/3		6.6		糸切	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図33	425	SB-36	カマド周辺	SB36-3	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	底部	1/2		8.0		篋切り→ナデ	
	426	SB-36	カマド内	SB36-4	1	奈良～ 平安	土師器	甕	口縁部	1/3	24.0			ケズリ	
	427	SB-36	カマド内	SB36-4	2	奈良～ 平安	土師器	甕	底部	1/1				ケズリ	
	428	SB-37	上層	SB37-1	1	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				ミガキ	
	429	SB-38		SB38- No.4	1	古墳	土師器	坏	全形	1/3	12.3		5.1	内黒 ミガキ	○
	430	SB-38	床面	SB38- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/2	15.0		5.2	内黒 ミガキ	○
	431	SB-38		SB38- No.3	1	古墳	土師器	坏	全形	1/1	11.6		5.6	ミガキ	○
	432	SB-38		SB38- No.5	1	古墳	土師器	高坏	全形	1/1	15.1	10.8	13.4	内黒 ミガキ	○
	433	SB-38		SB38- No.6	1	古墳	土師器	小壺	全形	1/1	14.6	6.7	15.6	ミガキ	○
	434	SB-38		SB38- No.7	1	古墳	土師器	壺	口縁部	1/1	12.8			ハケメ→ミガキ	
	435	SB-38		SB38- No.2	1	古墳	土師器	甗	全形	2/3	16.8	5.4	14.5		○
	436	SB-41	カマド横 ビット	SB41-3	1	古墳	土師器	坏	全形	1/2	11.1		4.8	ミガキ 篋書	○
	図34	437	SB-42	上層	SB42-1	6	古墳	土師器	坏	全形	1/3	10.8	6.4	5.3	内黒 ミガキ
438		SB-42	中層	SB42-2	1	古墳	土師器	坏	全形	1/2	13.8	5.9	4.8	内黒 ミガキ	○
439		SB-42	上層	SB42-1	4	古墳	土師器	坏	全形	1/3	14.6		5.1	内黒 ミガキ	
440		SB-42	上層	SB42-1	3	古墳	土師器	坏	全形	1/3	15.6		6.5	内黒 ミガキ	
441		SB-42	中層	SB42-2	2	古墳	土師器	坏	全形	1/2	13.4		5.9	ミガキ	○
442		SB-42	上層	SB42-1	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	14.0	5.4	4.4	糸切 内黒 ミガキ	○
443		SB-42	上層	SB42-1	2	平安	土師器	坏	全形	1/3	15.4	6.6	5.5	内黒 ミガキ 糸切→ ナデ	
444		SB-42	中層	SB42-2	4	平安	土師器	坏	全形	1/1	15.0	5.2	4.6	糸切 灯明皿 ミガキ	○
445		SB-42	上層	SB42-1	5	古墳	土師器	鉢	全形	1/3	15.0	5.0	7.4	ミガキ	
446		SB-42	上層	SB42-1	8	古墳	土師器	鉢	底部	1/2		7.2		内黒 ケズリ	
447		SB-42	中層	SB42-2	5	平安	土師器	小甕	全形	1/1	13.5	6.7	11.0	糸切	○
448		SB-42	上層	SB42-1	9	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.5		ケズリ	
449		SB-42	上層	SB42-1	7	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.8		ハケメ	
450		SB-42	中層	SB42-2	3	古墳	土師器	甕	底部	1/3		7.0			
451		SB-42	中層	SB42-2	6	平安	土師器	甕	底部	2/3				ケズリ	
452		SB-40	上層	SB40-1	2	平安	須恵器	蓋	つまみ	1/1				つまみ径2.4	
453		SB-40	床面床直	SB40-3	3	平安	須恵器	蓋	つまみ	1/1				つまみ径3.7	
454		SB-40	床面床直	SB40-3	1	平安	土師器	坏	全形	1/4	13.3	6.0	4.0	糸切 内黒 ミガキ	
455		SB-40	カマド内	SB40-5	2	平安	土師器	坏	全形	1/4	13.4	6.4	4.8	糸切 内黒 ミガキ	
456		SB-40		SB40- No.2	1	平安	土師器	坏	全形	1/1	13.5	5.5	3.9	糸切 内黒 ミガキ	○
457	SB-40	床面床直	SB40-3	2	平安	土師器	坏	底部	2/3		6.0		静止ケズリ 内黒 ミ ガキ		
458	SB-40	カマド内	SB40-5	1-①	平安	土師器	甕	口縁部	1/3	26.0			ケズリ		
459	SB-40	カマド内	SB40-5	1-②	平安	土師器	甕	口縁部	1/3	26.8			ケズリ		
460	SB-40	床面床直	SB40-3	4	古墳	土師器	壺	底部	2/3		4.9				
461	SB-40	上層	SB40-1	1	平安	土師器	小甕	底部	2/3		6.2		糸切		
462	SB-40		SB40- No.1	1	平安	須恵器	四耳壺	胴部	2/3				タタキ	○	
図35	463	SB-43	下層	SB43-2	2	古墳	土師器	坏	底部	1/1				内黒 ミガキ	
	464	SB-43	下層	SB43-2	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.6			

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図35	465	SB-44		SB44- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/3	14.2		5.1	ミガキ	
	466	SB-44		SB44- No.2	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	11.8	6.1	4.8	糸切 内黒 ミガキ	○
	467	SB-44	カマド内	SB44-2	1	平安	土師器	甕	口縁部	2/3	23.5			ケズリ	○
	468	SB-45		SB45- No.1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/3	13.0		6.3	ミガキ	
	469	SB-45	カマド内	SB45-3	1	古墳	土師器	鉢	口縁部	2/3	12.6			ミガキ	
	470	SB-45	カマド内	SB45-3	2	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		11.9		ミガキ	
	471	SB-45	中層	SB45-2	1	古墳	土師器	甕	底部	1/2		8.2			
	472	SB-45		SB45- No.2	1	古墳	土師器	甌	口縁部	1/3	24.4			ハケメ	
	473	SB-45	カマド内	SB45-3	3	古墳	土師器	(甌)	把手	2/3					
	474	SB-46	カマド周辺	SB46-4	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.6	3.0	5.5	ハケメ→ミガキ	○
	475	SB-46	床面床直	SB46-3	1	古墳	土師器	甕	口縁部	1/6	20.0			ハケメ	
	476	SB-46	上層	SB46-1	1	古墳	土師器	壺	底部	1/1		6.4		ハケメ	
	477	SB-46	床面床直	SB46-3	2	古墳	土師器	甕	底部	2/3		6.3			
	478	SB-47		SB47- No.1	1	奈良~ 平安	須恵器	坏	全形	1/1	15.2	10.2	3.9	篋切り→ナデ	○
	479	SB-47	カマド周辺	SB47-3	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	14.4		4.2	内黒 ミガキ	○
	480	SB-47	床面床直	SB47-2	2	奈良~ 平安	須恵器	高台坏	底部	1/2		9.0			
	481	SB-47	カマド周辺	SB47-3	2	古墳	土師器	鉢	全形	1/2	14.2		12.6	内黒 ミガキ	
	482	SB-47	床面床直	SB47-2	1	奈良~ 平安	土師器	鉢	底部	2/3				ミガキ	
	483	SB-47	上層	SB47-1	1	平安?	土師器	高坏	底部	2/3		7.3		内黒 ミガキ	
	484	SB-47	カマド周辺	SB47-3	3	古墳	土師器	甕	口縁部	1/2	17.5			ハケメ	
図36	485	SB-48		SB48- No.1	1	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	17.6	13.0	13.0	ミガキ	○
	486	SB-48		SB48- No.1	2	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		14.4		ミガキ	
	487	SB-48		SB48- No.1	3	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		14.4		ミガキ	
	488	SB-48		SB48- No.1	4	古墳	土師器	高坏	脚部	1/1		14.3		ミガキ	
	489	SB-49		SB49-1	4	古墳	土師器	坏	全形	1/1	11.0		4.5	内黒 ミガキ	○
	490	SB-49		SB49-1	2	古墳	土師器	坏	全形	1/1	10.6		3.5	内黒 ミガキ ケズリ	○
	491	SB-49		SB49-1	3	古墳	土師器	坏	全形	2/3	10.8		3.8	内黒 ミガキ ケズリ	○
	492	SB-49		SB49-1	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.6		3.2	ケズリ→ミガキ	○
	493	SB-49		SB49- No.3	1	古墳	土師器	小甕	全形	1/1	12.7	6.5	14.2		○
	494	SB-49		SB49- No.1	1	古墳	土師器	甕	全形	1/1	17.5	7.4	34.1		○
	495	SB-49		SB49- No.2	1	古墳	土師器	甌	全形	2/3	23.0	11.7	24.7	ミガキ	○
	496	SB-50		SB50-1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/2	12.0		4.0	ミガキ 篋書	○
	497	SB-50	床面床直	SB50-3	2	古墳	土師器	鉢	底部	2/3		6.5		ケズリ	
	498	SB-50		SB50-1	5	古墳	土師器	甕	底部	1/2		5.0			
	499	SB-50		SB50-1	4	古墳	土師器	甕	底部	1/2		5.6		ケズリ→ナデ	
	500	SB-50		SB50-1	3	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.0		ケズリ	
	501	SB-50		SB50-1	2	古墳	土師器	甕	底部	1/3		7.0		ケズリ	
502	SB-50	床面床直	SB50-3	1	古墳	土師器	甕	底部	1/3		10.2		ハケメ		
503	SB-50		SB50-1	6	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
504	SB-51		SB51-1	2	古墳	土師器	高坏	接合部	1/1				内黒		
505	SB-51	床面床直	SB51-2	1	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3						

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図36	506	SB-51		SB51-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.4			
	507	SB-52		SB52	1	平安	土師器	坏	底部	2/3		5.9		糸切	
	508	SB-52		SB52	2	古墳	土師器	甌	底部	1/4		10.4		ミガキ	
図37	509	SB-53	上層	SB53-1	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	16.8	7.2	6.0	糸切 内黒 ミガキ ケズリ	○
	510	SB-53	床面床直	SB53-3	1	古墳	土師器	壺	底部	1/2		7.0		ミガキ	
	511	SB-54	カマド周辺	SB54-6	2	古墳	土師器	坏	全形	1/1	13.4		4.5	内黒 ミガキ	○
	512	SB-54		SB54- No.6	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.4		4.5	内黒	○
	513	SB-54	カマド内	SB54-7	3	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.1		4.4	ミガキ	○
	514	SB-54	カマド内	SB54-7	2	古墳	土師器	坏	全形	1/2	12.3		4.4	ミガキ	○
	515	SB-54		SB54- No.1	1	古墳	土師器	鉢	全形	1/2	11.6		8.5	内黒 ミガキ	○
	516	SB-54		SB54- No.3	1	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	12.6		7.8	内黒	○
	517	SB-54		SB54- No.5	2	古墳	土師器	鉢	全形	1/2	21.8		9.0	内黒 ミガキ	
	518	SB-54		SB54- No.2	2	古墳	土師器	鉢	口縁部	1/4	18.8			内黒 ミガキ	
	519	SB-54		SB54- No.4	1	古墳	土師器	鉢	全形	2/3	13.7		10.3	ミガキ	○
	520	SB-54		SB54- No.7	1	古墳	土師器	壺	全形	2/3	9.3		15.2	ハケメ	○
	521	SB-54		SB54- No.2	1	古墳	土師器	甕	全形	2/3	14.4	6.5	19.8		○
	522	SB-54	カマド内	SB54-7	1	古墳	土師器	甕	全形	2/3	16.8	6.4	30.8	ハケメ	○
	523	SB-54		SB54- No.8	1	古墳	土師器	甕	口縁部	2/3	15.8				
	524	SB-54	下層	SB54-3	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.4			
	525	SB-54		SB54- No.5	1	古墳	土師器	甌	全形	2/3	24.3	11.3	26.6		○
526	SB-54	カマド周辺	SB54-6	1	古墳	土師器	甌	全形	1/2	25.4	11.8	27.5	ハケメ		
図38	527	SB-55		SB55-1	4	古墳～ 奈良	土師器	鉢	底部	1/2		7.4		ミガキ	
	528	SB-55		SB55-1	3	古墳～ 奈良	土師器	高坏	接合部	1/1				内黒 ミガキ	
	529	SB-55	床面床直	SB55-4	1	古墳～ 奈良	土師器	壺	口縁部	1/2	20.6			ミガキ	
	530	SB-55		SB55- No.1	1	古墳～ 奈良	土師器	甕	底部	1/3		4.6			
	531	SB-55	床面床直	SB55-4	2	古墳～ 奈良	土師器	甕	胴部	1/3				ハケメ	
	532	SB-55		SB55-1	1	古墳～ 奈良	土師器	(甌)	把手	1/1					
	533	SB-55		SB55-1	2	古墳～ 奈良	土師器	(甌)	把手	1/1					
	534	SB-57		SB57	3	平安	土師器	坏	底部	1/1		3.9		糸切	
	535	SB-57		SB57	2	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.1		糸切	
	536	SB-57		SB57	1	平安	土師器	坏	底部	1/1		4.5		糸切	
	537	SB-58		SB58-1	5	古墳	土師器	坏	底部	1/2		10.0		内黒 ミガキ	
	538	SB-58		SB58-1	2	平安	土師器	坏	全形	2/3	12.8	4.2	4.3	糸切 内黒 ミガキ	○
	539	SB-58	カマド内	SB58-3	1	平安	土師器	坏	全形	2/3	13.7	5.6	4.2	糸切 内黒 ミガキ	○
	540	SB-58		SB58-1	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	18.5	6.5	5.9	糸切→回転ケズリ 内 黒 ミガキ	○
	541	SB-58		SB58-1	4	平安	土師器	坏	底部	1/1		6.5		糸切→静止ケズリ 内 黒 ミガキ	
	542	SB-58	床面床直	SB58-2	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	14.2	6.0	4.3	糸切 内黒 ミガキ	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図38	543	SB-58		SB58-1	3	平安	土師器	高台坏	底部	1/1		8.0		内黒 ミガキ	
	544	SB-58		SB58- No.1	1	平安	土師器	小甕	全形	1/2	13.6	6.0	12.3	糸切	○
	545	SB-58	床面床直	SB58-2	2	古墳	土師器	甕	底部	1/1		7.5			
	546	SB-59	カマド内	SB59-4	3	平安	須恵器	坏	全形	1/4	12.4	5.8	3.9	糸切	
	547	SB-59	床面床直	SB59-3	1	平安	須恵器	坏	全形	1/3	12.6	5.8	3.4	糸切	
	548	SB-59	カマド内	SB59-4	2	平安	須恵器	坏	全形	1/1	12.6	6.0	3.7	糸切	○
	549	SB-59	カマド横 ピット	SB59-5	1	平安	須恵器	坏	全形	1/1	13.3	6.6	3.7	糸切 墨書「三」	○
	550	SB-59	カマド内	SB59-4	1	平安	須恵器	坏	全形	1/1	13.6	6.0	3.5	糸切 墨書「三」	○
	551	SB-59	床面床直	SB59-3	4	古墳	土師器	坏	全形	1/2	12.4		3.8	ミガキ	
	552	SB-59	中層	SB59-2	1	古墳	土師器	壺	底部	1/1		6.6		ミガキ	
	553	SB-59	床面床直	SB59-3	2	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1					
554	SB-59	床面床直	SB59-3	3	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1						
図39	555	SB-60	中層	SB60-2	2	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.9		5.0	内黒 ミガキ	
	556	SB-60	中層	SB60-2	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	14.2		5.0	内黒 ミガキ	○
	557	SB-60	床面床直	SB60-3	1	古墳	土師器	鉢	全形	1/2	20.0		8.2	ミガキ	○
	558	SB-60	中層	SB60-2	3	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				内黒 ミガキ	
	559	SB-60	右カマド内	SB60-6	1	古墳	土師器	甕	全形	1/1	14.3	6.2	24.5	ハケメ	○
	560	SB-60	右カマド内	SB60-6	3	古墳	土師器	甕	全形	2/3	18.8	7.6	28.0	ハケメ	○
	561	SB-60	右カマド内	SB60-6	2	古墳	土師器	甕	全形	1/1	15.5	7.2	29.9	ハケメ	○
	562	SB-60	右カマド左 袖芯	SB60-7	1	古墳	土師器	甕	底部	2/3		7.2		ハケメ ケズリ	
	563	SB-60	中層	SB60-2	4	古墳	土師器	甕	底部	1/2		7.4			
	564	SB-61	カマド内	SB61-2	1	古墳	土師器	鉢	口縁部	1/2		17.2		ハケメ	
	565	SB-62	中層	SB62-2	2	古墳	土師器	台付鉢	底部	1/1		7.4		内黒	
	566	SB-62	中層	SB62-2	1	古墳	土師器	高坏	脚部	1/3				内黒 ミガキ	
	567	SB-62	下層	SB62-3	1	古墳	土師器	甕	底部	1/3		4.6		ケズリ	
	568	SB-62	下層	SB62-3	2	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1					
	569	SB-63		SB63-1	2	奈良～ 平安	須恵器	蓋	全形	1/4	16.4		2.8	つまみ径3.7	
	570	SB-63	下層	SB63-3	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	全形	1/1	14.0	8.5	4.7	静止ケズリ	○
571	SB-63		SB63-1	1	古墳～ 奈良	土師器	甌	全形	1/3	16.6	3.4	13.3	内黒 ミガキ		
572	SB-63		SB63-1	3	古墳～ 奈良	須恵器	瓶	肩部					カキメ		
図40	573	SB-64		SB64- No.1	1	古墳	須恵器	蓋	全形	1/3	14.0		3.7		○
	574	SB-64	下層	SB64-3	5	古墳	土師器	坏	全形	1/3	12.8		5.2	内黒 ミガキ 須恵器 模倣	
	575	SB-64		SB64- No.3	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.4		4.8	内黒 ミガキ	○
	576	SB-64	床面床直	SB64-4	6	古墳	土師器	坏	全形	1/2	13.5		5.0	内黒 ミガキ	○
	577	SB-64	下層	SB64-3	4	古墳	土師器	坏	全形	1/1	13.7		5.5	内黒 ミガキ	○
	578	SB-64	床面床直	SB64-4	9	古墳	土師器	坏	全形	2/3	13.7		6.1	内黒 ミガキ	○
	579	SB-64	床面床直	SB64-4	7	古墳	土師器	坏	全形	1/4	15.0		5.3	内黒 ミガキ	○
	580	SB-64	床面床直	SB64-4	8	古墳	土師器	坏	全形	1/2	15.1		4.5	内黒 ミガキ	○
	581	SB-64	中層	SB64-2	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	15.4		6.5	内黒 ミガキ	○
	582	SB-64		SB64- No.4	1	古墳	土師器	坏	全形	2/3	16.1		5.5	内黒 ミガキ	○
	583	SB-64	上層	SB64-1	1	古墳	土師器	坏	口縁部	1/2	16.4			内黒 ミガキ	
	584	SB-64	下層	SB64-3	6	古墳	土師器	坏	全形	1/2	11.4		5.0	ミガキ	○
	585	SB-64	床面床直	SB64-4	5	古墳	土師器	坏	全形	2/3	15.4		5.3	ミガキ	○

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図40	586	SB-64	下層	SB64-3	7	平安	土師器	坏	全形	1/1	12.7	5.0	4.1	糸切	○
	587	SB-64	床面床直	SB64-4	2	古墳	土師器	鉢	口縁部	1/3	13.4			ハケメ	
	588	SB-64	中層	SB64-2	4	古墳	土師器	鉢	底部	2/3		7.6			
	589	SB-64	床面床直	SB64-4	3	古墳	土師器	鉢	底部	1/1				ミガキ	
	590	SB-64	床面床直	SB64-4	10	古墳	土師器	鉢	底部	1/1		8.3		内黒	
	591	SB-64	中層	SB64-2	3	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	15.6	14.8	12.6	内黒 ミガキ	○
	592	SB-64	中層	SB64-2	2	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/3	15.0			内黒 ミガキ	
	593	SB-64	床面床直	SB64-4	4	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2		11.0		内黒 ミガキ	
	594	SB-64	上層	SB64-1	3	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3		10.2		ミガキ	
	595	SB-64	上層	SB64-1	2	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				ミガキ	
	596	SB-64	下層	SB64-3	3	古墳	土師器	甌	底部	1/2		3.2			
597	SB-64	下層	SB64-3	2	古墳	土師器	甌	底部	2/3		9.2		ハケメ→ミガキ		
図41	598	SB-64		SB64- No.2	1	古墳	土師器	小甕	全形	2/3	15.8	6.0	20.2		○
	599	SB-64	中層	SB64-2	5	古墳	土師器	壺	全形	2/3	16.8	6.8	35.8	ミガキ ケズリ	○
	600	SB-64	床面床直	SB64-4	1	古墳	土師器	壺	全形	1/2	20.2	7.5	44.3	ミガキ	○
	601	SB-64	上層	SB64-1	4	古墳	土師器	甕	底部	1/3		6.3		ハケメ	
	602	SB-64	下層	SB64-3	1	古墳	土師器	壺	底部	1/2		7.3		ハケメ→ミガキ	
図42	603	SB-65	床面床直	SB65-2	1	古墳	土師器	甕	全形	2/3	17.0	6.0	32.4	ケズリ	○
	604	SB-65	中層	SB65-1	1	古墳	土師器	甌	底部	1/2	10.4			ミガキ	
	605	SB-66	カマド内	SB66-4	1	奈良	須恵器	蓋	全形	1/3	17.4		2.7	つまみ径3.0 籠書	
	606	SB-66	上層	SB66-1	2	奈良	須恵器	坏	底部	1/3		9.2		静止ケズリ	
	607	SB-66	上層	SB66-1	1	奈良	須恵器	高台坏	全形	1/2	14.2	10.4	3.6		
	608	SB-66	カマド内	SB66-4	2	奈良	土師器	甕	底部	1/2		8.4			
	609	SB-67	上層	SB67-1	1	古墳	土師器	高坏	脚部	2/3				内黒 ミガキ	
	610	SB-67	中層	SB67-2	1	古墳	土師器	壺	底部	2/3		6.5		ミガキ	
	611	SB-68	中層	SB68-2	2	奈良～ 平安	須恵器	蓋	口縁部	1/3	18.0				
	612	SB-68		SB68- No.1	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	全形	2/3	12.9	7.5	3.6	糸切	○
	613	SB-68	中層	SB68-2	1	奈良～ 平安	土師器	小甕	底部	1/1		6.0		糸切	
	614	SB-69	カマド内	SB69-4	1	平安	須恵器	坏	全形	1/3	12.6	5.9	3.5	糸切	○
	615	SB-71	床面床直	SB71-1	1	古墳	土師器	坏	全形	1/3	10.4		4.8	ミガキ	
	616	SB-71	床面床直	SB71-1	2	古墳	土師器	小甕	口縁部	1/7	14.0			ハケメ→ナデ	
	617	SB-73	カマド内	SB73-3	4	奈良～ 平安	須恵器	蓋	全形	1/1	16.6		5.4		○
	618	SB-73	上層	SB73-1	2	古墳	土師器	壺	底部	1/2		6.6		ミガキ	
	619	SB-73	カマド内	SB73-3	2	奈良～ 平安	土師器	小甕	底部	1/8		8.4		ケズリ	
620	SB-73	カマド内	SB73-3	1	奈良～ 平安	土師器	甕	全形	2/3	22.8		33.7	ケズリ ハケメ	○	
621	SB-73	カマド内	SB73-3	3	奈良～ 平安	土師器	甕	口縁部	1/3	21.0			ハケメ		
622	SB-73	上層	SB73-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		7.2		ハケ		
図43	623	SD-1	上層	SD1-1	14	平安	須恵器	坏	全形	1/2	13.4	5.5	3.6	糸切	
	624	SD-1	上層	SD1-1	15	平安	須恵器	坏	全形	1/2	14.6	7.2	4.0	糸切 火だすき	
	625	SD-1	上層	SD1-1	13	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		5.5		糸切 内黒	
	626	SD-1	上層	SD1-1	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.5	4.5	3.3	糸切→ナデ	○
	627	SD-1	上層	SD1-1	5	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/3	10.6	4.5	3.2	糸切→ナデ	

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図43	628	SD-1	上層	SD1-1	3	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	10.9	4.5	3.0	糸切	○
	629	SD-1	上層	SD1-1	4	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	10.9	4.3	3.7	糸切→ナデ	○
	630	SD-1	上層	SD1-1	2	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.4	4.7	3.3	糸切	○
	631	SD-1	上層	SD1-1	8	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	632	SD-1	上層	SD1-1	11	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/2		4.5		糸切	
	633	SD-1	上層	SD1-1	10	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切	
	634	SD-1	上層	SD1-1	7	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.9		糸切	
	635	SD-1	上層	SD1-1	9	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		5.0		糸切	
	636	SD-1	上層	SD1-1	6	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		6.2		糸切	
	637	SD-1	上層	SD1-1	16	平安	須恵器	高台坏	全形	1/2	13.1	8.8	4.4	糸切痕	○
	638	SD-1	上層	SD1-1	12	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/3		4.6		内外黒 ミガキ	
	639	SD-2		SD2-1	13	平安	須恵器	坏	全形	1/2	12.6	6.2	3.9	糸切 火だすき	○
	640	SD-2		SD2-1	1	奈良～ 平安	須恵器	坏	底部	1/3		9.0		篋切り→ナデ	
	641	SD-2	東	SD2-3	4	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.2	4.4	3.2	糸切 内黒	○
	642	SD-2	東	SD2-3	5	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	13.6	6.4	4.5	内黒 ミガキ	
	643	SD-2	西	SD2-5	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	14.2	5.6	7.1	糸切 内黒 ミガキ	○
	644	SD-2	中	SD2-4	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.7	4.2	3.3	糸切	○
	645	SD-2	中	SD2-4	3	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/4	11.0	5.0	3.1	糸切	
	646	SD-2		SD2-1	3	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.1	4.8	3.1	糸切	○
	647	SD-2	中	SD2-4	4	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.3	4.5	3.2	糸切	○
	648	SD-2		SD2-1	2	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.6	4.5	3.3	糸切	
	649	SD-2	東	SD2-3	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.8	4.7	3.0	糸切	
	650	SD-2	中	SD2-4	2	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	12.6	4.6	3.2	糸切	○
	651	SD-2	西	SD2-5	3	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		3.8		糸切	
	652	SD-2		SD2-1	5	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	653	SD-2		SD2-1	7	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	654	SD-2		SD2-1	4	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	655	SD-2		SD2-1	8	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.5		糸切	
	656	SD-2	西	SD2-5	2	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.5		糸切	
	657	SD-2		SD2-1	9	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切	
658	SD-2		SD2-1	6	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切→ナデ		

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図43	659	SD-2	東	SD2-3	2	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切	
	660	SD-2	東	SD2-3	3	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切	
	661	SD-2		SD2-1	12	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	2/3		6.4		内黒 ミガキ	
	662	SD-2		SD2-1	11	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		6.9		内黒 ミガキ 暗文 糸切痕	
	663	SD-2		SD2-1	10	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		6.9		内黒 ミガキ 糸切痕	
	664	SD-2	東	SD2-3	6	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		7.6		内黒 ミガキ	
	665	SD-2	中	SD2-4	5	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/2		7.2			
	666	SD-2		SD2-1	14	平安～ 中世	土師器	甕	口縁部	1/2	22.2				
図44	667	SD-3		SD3	2	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/3	10.5	4.3	3.5	糸切	
	668	SD-3		SD3	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/3	12.9	4.6	3.8	糸切	○
	669	SD-3		SD3	3	平安～ 中世	土師器	盤	全形	1/2	11.2	6.7	3.6		○
	670	SD-3		SD3	4	平安～ 中世	土師器	小瓶	底部	1/2		3.5		糸切 内外黒 ミガキ	
	671	SD-3		SD3	5	平安～ 中世	灰釉	瓶	底部	1/3		13.2			
	672	SD-3		SD3		平安～ 中世	緑釉	(四耳 壺)	把手						
	673	SD-5		SD5	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	11.8	5.0	3.1	糸切 灯明皿	
	674	SD-6		SD6	12	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.6	4.4	3.4	糸切	○
	675	SD-6		SD6	15	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.9	3.8	3.4	糸切	○
	676	SD-6		SD6	13	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	11.0	3.6	3.3	糸切	○
	677	SD-6		SD6	14	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	11.1	4.8	3.5	糸切	○
	678	SD-6		SD6	11	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		3.6		糸切	
	679	SD-6		SD6	10	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.2		糸切	
	680	SD-6		SD6	7	平安～ 中世	土師器	坏	底部	2/3		4.4		糸切	
	681	SD-6		SD6	8	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.4		糸切	
	682	SD-6		SD6	9	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8		糸切	
	683	SD-6		SD6	2	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	2/3		6.0		内黒 ミガキ	
	684	SD-6		SD6	3	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	2/3		6.7		内黒 ミガキ	
	685	SD-6		SD6	4	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	2/3		7.6		内黒 ミガキ 暗文 糸切痕	
	686	SD-6		SD6	6	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/3		7.4			
687	SD-7		SD7	1	奈良～ 平安	須恵器	高台坏	底部	2/3		8.9		糸切痕		
688	SD-8		SD8	1	奈良～ 平安	須恵器	高台坏	底部	2/3		9.6				

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真	
		遺構	位置								口径	底径	器高			
図44	689	SD-8		SD8	6	古墳	土師器	鉢	底部	2/3		6.6		内黒 ミガキ		
	690	SD-8		SD8	5	平安	土師器	小甕	底部	1/1		5.2		糸切		
	691	SD-8		SD8	3	古墳	土師器	甕?	底部	1/1		4.4		糸切		
	692	SD-8		SD8	2	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.9		内黒		
	693	SD-8		SD8	4	古墳	土師器	甕	底部	1/2		6.2		ケズリ		
	694	SD-8		SD8	7	古墳	土師器	(甑)	把手	1/1						
	695	SD-9		SD9	1	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		3.3		糸切		
	696	SD-9		SD9	2	平安～ 中世	土師器	坏	底部	2/3		4.4		糸切		
	697	SD-10		SD10	1	平安～ 中世	土師器	坏	底部	2/3		4.4		糸切		
	698	SD-10		SD10	3	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/2		5.4		糸切		
	699	SD-10		SD10	2	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/2		5.5		糸切		
700	SD-15		SD15	1	古墳	土師器	(甑)	把手	1/1							
701	SD-16		SD16	1	古墳	土師器	高台坏	脚部	2/3		10.0		内黒 ミガキ			
図45	702	SK-3		SK3	1	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/5		7.1		内黒 ミガキ		
	703	SK-8		SK8	4	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	10.2	5.6	2.8	底部穿孔		
	704	SK-8		SK8	3	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.1	3.9	2.9	糸切	○	
	705	SK-8		SK8	2	平安～ 中世	土師器	高台坏	全形	1/4	10.9	5.9	4.2	内外黒 ミガキ		
	706	SK-8		SK8	1	平安～ 中世	土師器	高台坏	口縁部	1/2	13.8			内黒 ミガキ	○	
	707	SK-9		SK9	1	平安	土師器	坏	全形	1/2	11.1	4.7	3.1	糸切		
	708	SK-9		SK9	2	平安	土師器	坏	全形	2/3	12.4	5.0	4.2	糸切		
	709	SK-12		SK12	1	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		5.8			内黒 ミガキ	
	710	SK-15		SK15	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	8.6	4.4	1.7	糸切 カキメ?	○	
	711	SK-15		SK15	2	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.3		糸切→ナデ		
	712	SK-15		SK15	5	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/2		5.0		糸切		
	713	SK-15		SK15	4	平安～ 中世	土師器	高台坏	口縁部	1/2	13.9			内外黒 ミガキ	○	
	714	SK-15		SK15	3	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		7.5				
	715	SK-16		SK16	1	中世	土師器	坏	全形	1/3	10.2	4.8	2.9	糸切	○	
	716	SK-17		SK17	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	8.6	4.6	2.0	糸切→ナデ カキメ?	○	
	717	SK-18		SK18	1	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/2		6.0		内外黒 ミガキ		
	718	SK-26		SK26	1	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/2		6.0				
	719	SK-28		SK28	1	平安	灰釉	瓶	頸部	1/3				銘書「木」		
	720	SK-30		SK30	2	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.8			糸切 内黒 ミガキ	
	721	SK-30		SK30	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	9.9	3.6	2.9	糸切	○	
	722	SK-30		SK30	3	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	10.0	3.9	3.0	糸切		
	723	SK-30		SK30	4	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.8	3.9	3.2	糸切		

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図45	724	SK-30		SK30	5	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	2/3		5.4		内黒 ミガキ	
	725	SK-33		SK33	3	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/2	9.8	4.8	2.4	糸切 底部穿孔	○
	726	SK-33		SK33	2	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	10.3	4.8	2.5	糸切	
	727	SK-33		SK33	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/1	10.5	5.2	3.0	糸切	○
	728	SK-33		SK33	5	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/3	11.3	4.8	3.6	糸切	
	729	SK-33		SK33	4	平安～ 中世	土師器	坏	底部	2/3		4.2		糸切	
	730	SK-33		SK33	7	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.2		糸切	
	731	SK-33		SK33	14	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/2		4.4		糸切	
	732	SK-33		SK33	8	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.6		糸切	
	733	SK-33		SK33	9	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/3		4.6		糸切	
	734	SK-33		SK33	6	平安～ 中世	土師器	坏	底部	2/3		4.8		糸切	
	735	SK-33		SK33	10	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/2		5.4		糸切	
	736	SK-33		SK33	16	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/3		6.4		内黒 ミガキ 暗文	
	737	SK-33		SK33	18	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/2		7.2		内黒 ミガキ 暗文 糸切痕	
	738	SK-33		SK33	17	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		7.2		内黒 ミガキ 暗文	
	739	SK-33		SK33	19	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/1		7.4		内黒 ミガキ	
	740	SK-33		SK33	13	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	2/3		8.0		内黒 ミガキ	
	741	SK-33		SK33	11	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/2		8.2		内黒 ミガキ	
	742	SK-33		SK33	15	平安～ 中世	土師器	高台坏	底部	1/4		8.0		内黒 ミガキ 暗文	
743	SK-33		SK33	12	平安～ 中世	土師器	高台坏	全形	1/2	14.5	8.5	5.0		○	
図46	744	SK-34		SK34	1	平安	須恵器	蓋	全形	1/2	14.7		2.9	つまみ径2.6	○
	745	SK-38		SK38	2	平安～ 中世	土師器	坏	全形	1/1	10.7	4.4	3.2	糸切	○
	746	SK-38		SK38	3	平安～ 中世	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	747	SK-38		SK38	1	平安～ 中世	土師器	鉢	全形	1/3	18.4	8.4	8.6	糸切 内黒	○
	748	SK-39		SK39	2	古墳～ 奈良	土師器	坏	口縁部	2/3	12.0			内黒 ミガキ	○
	749	SK-39		SK39	1	古墳～ 奈良	土師器	鉢?	全形	1/3	18.0	6.8	4.2	ミガキ 篋書	
	750	SK-39		SK39	3	古墳～ 奈良	土師器		把手	1/1				内黒	
	751	SK-41		SK41	1	中世	土師器	坏	全形	1/1	7.9	5.8	1.8	糸切→ナデ	○
	752	SK-42		SK42-1	4	古墳	土師器	坏	底部	1/3				内黒 ミガキ	
	753	SK-42		SK42-1	3	古墳～ 奈良	土師器	坏	全形	1/3	13.1		4.7	ハケメ→ナデ	○
	754	SK-42		SK42- No.2	1	古墳～ 奈良	土師器	小甕	全形	1/1	9.1	6.8	13.6	ハケメ	○

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図46	755	SK-42		SK42- No.1	1	古墳～ 奈良	土師器	甕	口縁部	1/1	18.6			ハケメ→ナデ	○
	756	SK-42		SK42-1	2	古墳	土師器	甕	底部	2/3		6.1		ハケメ→ナデ	
	757	SK-42		SK42-1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/2		7.6		ハケメ ケズリ	
	758	SX-1		SX1-1	2	古墳	土師器	(甌)	把手	1/1					
	759	SX-2		SX2-1	1	平安	土師器	坏	底部	1/1		5.5		z	
	760	SX-5		SX5	1	平安	灰釉	椀	底部	1/2		6.7		糸切痕	
	761	ピット		Pi-1	1	平安	須恵器	坏	底部	1/2		6.6		糸切	
	762	ピット		Pi-26	1	平安～ 中世	土師器	坏	全形	2/3	11.6	4.2	3.4	糸切	
	763	ピット		Pi-65	1	平安	土師器	高台坏	底部	1/2		6.4		内黒	
	764	ピット群		Pi群-1	1	古墳	土師器	高坏	接合部	1/3				内黒 ミガキ	
図47	765	遺物集 中区		Po集	13	奈良～ 平安	須恵器	坏	全形	1/2	13.0	8.0	3.7	篋切り→ナデ	○
	766	遺物集 中区		Po集	16	古墳	土師器	蓋	全形	2/3	14.7		6.0	内黒 ミガキ	○
	767	遺物集 中区		Po集	17	古墳	土師器	蓋	全形	1/3	13.2		5.1	内黒 ミガキ	○
	768	遺物集 中区		Po集	15	古墳	土師器	杯蓋	全形	2/3	12.8		3.8	内黒 ミガキ	○
	769	遺物集 中区		Po集	14	古墳	土師器	坏	全形	2/3	11.2		4.2	内黒 ミガキ	○
	770	遺物集 中区		Po集	8	古墳	土師器	坏	全形	1/1	9.4		4.0	内黒 ミガキ	○
	771	遺物集 中区		Po集	10	古墳～ 奈良	土師器	坏	全形	2/3	12.6		4.8	ミガキ	○
	772	遺物集 中区		Po集	11	古墳～ 奈良	土師器	坏	全形	2/3	12.7		4.6	ミガキ	○
	773	遺物集 中区		Po集	12	平安	土師器	高台坏	底部	2/3		7.2		内黒 ミガキ 糸切痕	
	774	遺物集 中区		Po集	5	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	9.8	10.2	12.3	内黒 ミガキ	○
	775	遺物集 中区		Po集	6	古墳	土師器	高坏	口縁部	1/4	11.4			内黒 ミガキ	
	776	遺物集 中区		Po集	4	古墳	土師器	高坏	全形	2/3	11.4	10.1	12.3	ミガキ	○
	777	遺物集 中区		Po集	7	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2		11.4		ミガキ	
	778	遺物集 中区		Po集	9	古墳	土師器	鉢	全形	1/4	10.8		6.1	内黒 ハケメ→ミガキ	
	779	遺物集 中区		Po集-No.2	1	古墳	土師器	直口壺	全形	1/1	8.1	2.7	15.8	ミガキ	○
	780	遺物集 中区		Po集	3	古墳	土師器	壺	底部	1/3		7.6		ミガキ	
	781	遺物集 中区		Po集	1	古墳	土師器	壺	底部	2/3		7.8		ミガキ 胴部穿孔	○
	782	遺物集 中区		Po集	2	古墳	土師器	壺	底部	1/2		7.4		ハケメ ミガキ	
783	遺物集 中区		Po集	19	古墳	土師器	甕	底部	1/1		5.8		ハケメ→ミガキ		
784	遺物集 中区		Po集	20	古墳	土師器	甕	底部	1/1		9.0		ハケメ→ナデ		
785	遺物集 中区		Po集	18	古墳	土師器	小甕	底部	1/1		4.1			○	
786	遺物集 中区		Po集-No.1	1	古墳	土師器	提瓶	胴部	1/1				同心円状カキメ	○	
図48	787	検出面		検出 1	5	平安	土師器	坏	全形	1/2	13.2	4.3	4.3	糸切	○
	788	検出面		検出 1	6	平安	土師器	坏	全形	1/2	15.2	7.9	4.2	糸切	○

図版	番号	出土遺構		遺物注記 (整理No.)	抽出 No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			成形・調整・その他	写真	
		遺構	位置								口径	底径	器高			
図48	789	検出面		検出1	4	平安	土師器	高台坏	底部	1/6		6.1		内黒		
	790	検出面		検出1	3	平安	灰釉	椀	口縁部	1/10	14.8					
	791	検出面		検出1		平安	緑釉	椀	底部							
	792	検出面		検出1	1	古墳	土師器	甕	底部	1/1		6.2				
	793	検出面		検出1	2	古墳	土師器	甕	底部	2/3		12.7		ハケメ		
	794	検出面		検出3	5	古墳	須恵器	蓋	全形	1/5	13.4		4.8	つまみ径4.3	○	
	795	検出面		検出3	4	平安	須恵器	坏	全形	2/3	12.3	5.6	3.7	糸切	○	
	796	検出面		検出3	3	平安	須恵器	坏?	底部	2/3		6.2		篋切り→ナデ		
	797	検出面		検出3	2	平安	土師器	坏	底部	1/1		5.3		糸切		
	798	検出面		検出3	6	古墳	土師器	壺	口縁部	1/2	20.4			ミガキ	○	
	799	検出面		検出3	1	古墳	土師器	壺	底部	1/2		12.7		ミガキ		
	800	検出面	SB11~13 検出		検出4	1	古墳	土師器	坏	口縁部	1/3	13.4				
	801	検出面			検出4	2	古墳	土師器	てづくね	底部	1/1		5.2			○
	802	検出面			検出5	3	古墳	土師器	坏	全形	1/1	14.7		4.4	内黒	○
	803	検出面			検出5	5	平安	土師器	坏	底部	1/1		5.4		糸切 内黒	
	804	検出面			検出5	4	古墳	土師器	坏	全形	1/2	14.4		5.0	ミガキ	○
	805	検出面			検出5	2	古墳	土師器	高坏	脚部	1/2				内黒 ミガキ	
	806	検出面			検出5	1	古墳	土師器	甕	底部	1/2		6.7			
	807	検出面	SB36~37 検出		検出6	2	平安	土師器	坏	底部	1/1		7.4		糸切 内黒 暗文	
	808	検出面			検出6	1	古墳	土師器	高坏	接合部	1/2				内黒 ミガキ	
	809	検出面			検出7	4	古墳	土師器	蓋	体部	1/2	13.8			ハケメ→ミガキ	○
	810	検出面			検出7	1	平安	土師器	坏	底部	1/1		7.0		内黒	
	811	検出面			検出7	2	古墳	土師器	坏	底部	1/1				ミガキ	
	812	検出面			検出7	3	古墳	土師器	坏	口縁部	1/5	14.6			内黒 ミガキ	
	813	検出面			検出8	1	古墳	土師器	甕	口縁部	2/3	17.8			ハケメ	
	814	採集遺物			採集	2	平安	須恵器	蓋	つまみ	1/1				つまみ径3.2	
815	採集遺物			採集	3	平安	土師器	坏	全形	1/3	11.4	4.3	3.2	糸切		
816	採集遺物			採集	1	平安	須恵器	長頸壺	底部	2/3				篋書	○	
817	SB-27	上層		SB27-1		平安	須恵器	坏	細片					墨書	○	
818	SB-35	床面床直		SB35-3		平安	土師器	坏	細片					墨書 内黒	○	
819	SB-3			SB3		平安	土師器	甕	口縁部					篋書	○	

表5 平成6年度調査 その他遺物観察表

図版	番号	時代	種別	名称	遺存	重量 (g)	形態等 (cm)	写真	出土遺構		遺物注記 (整理No.)
									遺構	位置	
図49	820	古墳~奈良	土製品	ミニチュア	完形	6.4	口径2.0 底径2.2 器高1.6	○	SB-13		SB13-2
	821	古墳~奈良	土製品	ミニチュア	破片	7.5	底径4.4 内黒		SB-15	下層	SB15-2
	822	古墳	土製品	ミニチュア	破片	6.2	底径1.6		SB-16	上層	SB16-2
	823	古墳	土製品	ミニチュア	略完形	20.3	口径3.3 底径2.6 器高2.7 糸切	○	SB-20	上層	SB20-1
	824	古墳	土製品	ミニチュア	完形	39.6	口径2.8 底径2.8 器高3.6	○	SB-20	下層	SB20-4
	825	古墳	土製品	ミニチュア	完形	90.5	口径6.6 底径6.5 器高3.8 内黒	○	SB-24	カマド周辺	SB24-3
	826	古墳	土製品	ミニチュア	完形	22.8	口径3.6 底径3.2 器高2.0	○	SB-26	床面床直	SB26-5
	827	古墳	土製品	ミニチュア	破片	20.8	底径3.6		SB-26	床面床直	SB26-5
	828	古墳	土製品	ミニチュア	破片	13.8	底径3.4		SB-26	床面床直	SB26-5
	829	古墳	土製品	ミニチュア	破片	17.3	底径4.2		SB-29	床面	SB29-4
	830	古墳	土製品	ミニチュア	破片	22.3	底径3.6		SB-30	下層	SB30-2
	831	古墳	土製品	ミニチュア	略完形	62.0	口径4.8 底径4.8 器高2.8	○	SB-45	中層	SB45-2
	832	古墳	土製品	ミニチュア	破片	28.7	底径5.2		SB-55	床面床直	SB55-4

図版	番号	時代	種別	名称	遺存	重量 (g)	形態等 (cm)	写真	出土遺構		遺物注記 (整理No.)
									遺構	位置	
図49	833	古墳	土製品	ミニチュア	破片	25.9	底径3.0		SD-15		SD15
	834	古墳	土製品	ミニチュア	略完形	43.8	口径5.0 底径2.8 器高3.4		検出面		検出-7
図50	835	古墳	土製品	紡錘車	完形	130.2	広径5.8 狭径4.2 高3.4	○	SB-64	中層	SB64-2
	836		土製品	紡錘車	破片	188.2	径7.8 高4.5	○	SB-59	床面床直	SB59-3
	837		土製品	紡錘車	破片	17.0	広径4.2 狭径2.6 高2.2	○	検出面		検出-5
	838	古墳	土製品	支脚	破片	261.5	底径6.6		SB-23	下層	SB23-2
	839	平安~中世	土製品	羽口	破片	76.5	外径5.2×4.9 内径2.5×2.2	○	SD-2	中	SD2-4
	840	古墳	土製品	円板	完形	13.7	径4.2 厚0.65		SB-20	床面床直	SB20-5
	841	古墳	土製品	円板	完形	11.1	径3.9 厚0.7		SB-22		SB22-1
	842	古墳	土製品	円板	完形	15.2	径3.7 厚0.8		SB-22		SB22-1
	843	古墳	土製品	円板	完形	23.2	径5.2 厚0.8		SB-22		SB22-1
	844	古墳	土製品	円板	完形	16.4	径4.7 厚0.8		SB-38	中層	SB38-2
	845	古墳	土製品	円板	完形	13.4	径4.2 厚0.9		SB-52		SB52
	846	古墳	土製品	円板	完形	2.0	径1.8 厚0.9		SB-30	下層	SB30-2
	847	古墳	土製品	有孔土板	破片	44.3	長5.2 厚1.6	○	SB-26	上層	SB26-1
	848	平安	土製品	有孔土板	破片	20.0	長(4.5) 厚(1.0)	○	SB-27	カマド周辺	SB27-5
	849	古墳	土製品	有孔土板	破片	34.4	長(3.9) 厚	○	SB-31	上層	SB31-1
	850	古墳	土製品	有孔土板	破片	26.1	長4.0 厚1.1	○	SB-65	中層	SB65-1
	851	古墳	土製品	有孔土板	破片	50.4	長5.4 厚1.7	○	SB-29	床面	SB29-4
	852	古墳	土製品	丸玉	完形	31.2	径3.6 高2.5	○	SB-20	下層	SB20-4
	853	古墳	土製品	丸玉	完形	8.7	径2.1 高2.0	○	SB-28		SB28
	854	古墳	土製品	小玉	完形	0.6	径0.9 高0.8 ミガキ	○	SB-16	上層	SB16-1
	855	古墳	土製品	小玉	完形	0.7	径0.9 高0.7	○	SB-20		SB20-2
	856	古墳	土製品	小玉	完形	1.0	径1.0 高1.0 ミガキ	○	SB-23	その他ピット内	SB23-6
	857	古墳	土製品	小玉	完形	0.3	径0.7 高0.7	○	SB-26		SB26-3
	858	古墳	土製品	小玉	完形	0.6	径0.9 高0.8 ミガキ	○	SB-26		SB26-3
	859	古墳	土製品	小玉	完形	0.9	径1.0 高0.9	○	SB-26	下層	SB26-4
	860	古墳	土製品	小玉	完形	0.6	径1.0 高0.6 丸玉半截形	○	SB-26	下層	SB26-4
	861	古墳	土製品	小玉	破片	0.3	径0.9 黒色処理 ミガキ		SB-26	上層	SB26-1
	862	古墳	土製品	小玉	完形	0.8	径1.0 高0.8	○	SB-26	床面床直	SB26-5
	863	古墳	土製品	小玉	完形	1.3	径1.2 高1.0	○	SB-26	床面床直	SB26-5
	864	古墳	土製品	小玉	完形	0.6	径1.0 高0.8	○	SB-26	床面床直	SB26-5
	865	古墳	土製品	小玉	完形	0.2	径0.6 高0.6	○	SB-26	床面床直	SB26-5
	866	平安	土製品	小玉	完形	0.9	径1.1 高0.8 ミガキ	○	SB-32	上層	SB32-1
	867	平安	土製品	小玉	完形	0.7	径1.0 高0.9	○	SB-32	下層	SB32-2
868	古墳	土製品	小玉	完形	0.3	径0.8 高0.6	○	SB-71		SB71-1	
869	古墳	土製品	小玉	完形	0.9	径1.0 高1.0	○	SB-71	床面床直	SB71-1	
870		土製品	小玉	完形	1.5	径1.4 高0.8 算盤玉形	○	検出面		検出-7	
871	古墳	土製品	無孔土玉	略完形	1.1	径1.6 高0.5 碁石形		SB-23		SB23-1	
872	古墳	土製品	無孔土玉	完形	1.0	径1.0 高1.0 丸玉形 ミガキ		SB-23		SB23-1	
873	平安	土製品	管玉	略完形	20.6	径1.8 長4.4	○	SB-58		SB58-1	
874	平安	土製品	管玉	略完形	4.7	径1.1 長3.9	○	SB-69	上層	SB69-1	
875	古墳	土製品	管玉	破片	15.3	径1.8 長4.5	○	SB-71	床面床直	SB71-1	
876		土製品	管玉	略完形	16.3	径1.9 長5.2	○	検出面		検出-5	
877	平安	土製品	管玉	完形	2.5	径0.9 長2.2 黒色処理	○	SB-35	床面床直	SB35-3	
878	古墳	土製品	管玉	完形	1.3	径0.9 長2.2 黒色処理	○	SB-46	上層	SB46-1	
879	古墳	土製品	管玉	完形	1.8	径0.8 長2.3 黒色処理	○	SB-55	中層	SB55-2	
880		土製品	管玉	完形	5.4	径1.3 長2.4	○	SB-70	上層	SB70	
881	古墳	土製品	管玉	完形	1.0	径0.6 長2.0 黒色処理	○	SB-71		SB71-1	
882	古墳	土製品	管玉	完形	2.6	径0.9 長2.3 側面に孔 黒色処理	○	検出面		検出-8	
883	古墳	土製品	管玉	破片	1.6	径1.0 ミガキ		SB-23	上層	SB23-1	
図51	884	古墳	石製品	紡錘車	完形	47.1	蛇紋岩 広径4.8 狭径2.7 高1.5	○	SB-53	床面床直	SB53-3

図版	番号	時代	種別	名称	遺存	重量 (g)	形態等 (cm)	写真	出土遺構		遺物注記 (整理No)
									遺構	位置	
図51	885	平安	石製品	紡錘車	完形	40.0	広径4.0 狭径2.4 高1.8	○	SB-35	中層	SB35-2
	886	平安	石製品	勾玉	完形	3.0	長2.4 幅1.5 厚0.6	○	SB-35	中層	SB35-2
図51	887		石製品	勾玉	完形	5.3	玉髓 長2.7 幅1.7 厚0.8	○	検出面		検出-5
	888	古墳	石製品	勾玉	完形	0.4	碧玉 長1.3 幅0.7 厚0.4	○	SB-16	下層	SB16-3
	889	古墳～奈良	石製品	管玉	完形	3.8	蛇紋岩 径0.9 長2.6	○	SB-13		SB13-2
	890	古墳	石製品	管玉	完形	2.6	碧玉 径0.9 長2.1	○	SB-20	上層	SB20-1
	891	古墳	石製品	管玉	完形	2.3	碧玉 径0.8 長2.1	○	SB-31	下層	SB31-2
	892	平安	石製品	管玉	完形	0.4	碧玉 径0.3 長1.9	○	SB-59		SB59-1
	893	古墳	石製品	白玉	略完形	1.0	滑石 径1.1 高0.6	○	SB-20		SB20-1
	894	古墳	石製品	白玉	略完形	1.7	滑石 径1.1 高0.9	○	SB-20		SB20-1
	895		石製品	白玉	略完形	0.8	滑石 径1.1 高0.5	○	SB-68	上層	SB68-1
	896	古墳	石製品	白玉	完形	0.2	滑石 径0.6 高0.5	○	SB-26	下層	SB26-4
	897	古墳	石製品	白玉	完形	0.4	滑石 径0.8 高0.5	○	SB-54	下層	SB54-3
	898	古墳	石製品	白玉	完形	0.1	滑石 径0.5 高0.3	○	SB-54	下層	SB54-3
	899	古墳	石製品	白玉	完形	0.08	滑石 径0.4 高0.3	○	SB-54	下層	SB54-3
	900	古墳	石製品	白玉	略完形	0.1	滑石 径0.5 高0.3	○	SB-14		SB14
	901	古墳	石製品	白玉	完形	0.1	滑石 径0.5 高0.3	○	SB-31	上層	SB31-1
	902	古墳	石製品	白玉	完形	0.1	滑石 径0.5 高0.2	○	SB-59	下層	SB59-2
	903	古墳	石製品	白玉	略完形	0.06	滑石 径0.4 高0.4	○	遺物集中区		Po集
	904	古墳	石製品	白玉	略完形	0.08	滑石 径0.4 高0.5	○	遺物集中区		Po集
	905	古墳	石製品	白玉	完形	0.09	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	906	古墳	石製品	白玉	完形	0.08	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	907	古墳	石製品	白玉	完形	0.05	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	908	古墳	石製品	白玉	完形	0.04	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	909	古墳	石製品	白玉	完形	0.06	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	910	古墳	石製品	白玉	略完形	0.06	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	911	古墳	石製品	白玉	完形	0.09	滑石 径0.4 高0.4	○	遺物集中区		Po集
	912	古墳	石製品	白玉	完形	0.06	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
	913	古墳	石製品	白玉	完形	0.07	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集
914	古墳	石製品	白玉	略完形	0.05	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集	
915	古墳	石製品	白玉	完形	0.07	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集	
916	古墳	石製品	白玉	略完形	0.1	滑石 径0.5 高0.4	○	遺物集中区		Po集	
917	古墳	石製品	白玉	略完形	0.06	滑石 径0.4 高0.3	○	遺物集中区		Po集	
写真のみ	918	平安	石製品	砥石	破片	18.9	結晶片岩 長5.4 幅3.6 厚0.6	◎	SB-34	東南隅ビット周辺	SB34-3
	919	古墳	石製品	砥石	略完形	109.2	結晶片岩 長12.9 幅5.1 厚1.4	◎	SB-23	上層	SB23-1
	920	古墳?	石製品	砥石	略完形	115.0	流紋岩 長9.5 幅3.6 厚2.6	◎	SD-8		SD8
	921		石製品	砥石	破片	127.9	流紋岩 長9.3 幅2.9	◎	SX-5		SX5
	922		石製品	砥石	完形	208.0	砂岩 長14.0 幅4.2	◎	検出面		検出-5
	923	平安?	石製品	軽石製品	破片	15.3	長6.3 幅4.5 厚1.9 孔径0.8	◎	SB-59	下層	SB59-2
	924	古墳～奈良	石製品	敲石	破片	354.0	流紋岩 長8.4 幅5.2	◎	SB-15	下層	SB15-2
	925		石製品	敲石	略完形	402.0	安山岩 長12.0 幅5.7 厚4.4	◎	SD-2		SD2-1
	926		石製品	敲石	略完形	310.3	安山岩 長9.0 幅7.3 厚3.0	◎	SX-1		SX1-1
	927	古墳	石製品	石皿	略完形	5860.0	安山岩 20.5×19.0 くほみ径12.0 厚11.3	◎	SB-20	上層	SB20-1
	928	古墳	石製品	石皿	完形	858.5	安山岩 11.2×11.0 くほみ径5.7 厚5.5	◎	SB-55	床面床直	SB55-4
	929		石製品	石皿	完形	1868.6	安山岩 14.0×13.1 くほみ径7.0 厚8.1	◎	SD-1	集石	SD1-3
	930		石製品	石皿	完形	1284.4	安山岩 12.2×10.9 くほみ径5.3 厚7.6	◎	SD-2	上層	SD2-2
	931	古墳	石製品	石皿	完形	273.1	安山岩 7.2×6.4 くほみ径3.5×1.7 厚4.0	◎	SD-8		SD8
	932		石製品	石皿	完形	2890.0	安山岩 17.2×13.7 くほみ径5.1×4.5 厚6.9	◎	SD-15		SD15
	933		石製品	石皿	完形	3440.0	安山岩 18.3×16.2 くほみ径12.0 厚9.6	◎	SD-15		SD15
	934		石製品	石皿	完形	505.7	安山岩 10.3×9.1 くほみ径4.5 厚4.9	◎	SX-1		SX1-1
	935	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	447.0	流紋岩 長13.5 幅5.8 厚4.4	◎	SB-15	床面	SB15-4

図版	番号	時代	種別	名称	遺存	重量 (g)	形態等 (cm)	写真	出土遺構		遺物注記 (整理No.)
									遺構	位置	
写真 のみ	936	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	406.3	石英安山岩 長12.7 幅5.1 厚4.0	◎	SB-15	床面	SB15-4
	937	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	469.0	流紋岩 長13.9 幅5.4 厚3.9	◎	SB-15	床面	SB15-4
	938	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	372.0	石英安山岩 長12.6 幅6.1 厚3.3	◎	SB-15	床面	SB15-4
	939	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	562.0	石英安山岩 長14.0 幅5.8 厚4.8	◎	SB-15	床面	SB15-4
	940	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	428.4	石英安山岩 長11.8 幅5.9 厚4.3	◎	SB-15	床面	SB15-4
	941	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	524.4	石英安山岩 長13.9 幅6.8 厚3.8	◎	SB-15	床面	SB15-4
	942	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	541.6	安山岩 長14.1 幅6.6 厚3.9	◎	SB-15	床面	SB15-4
	943	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	401.3	流紋岩 長12.3 幅5.3 厚3.9	◎	SB-15	床面	SB15-4
	944	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	313.5	安山岩 長12.1 幅6.8 厚2.7	◎	SB-15	床面	SB15-4
	945	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	442.6	流紋岩 長13.1 幅7.5 厚4.0	◎	SB-15	床面	SB15-4
	946	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	460.5	安山岩 長12.6 幅6.1 厚4.2	◎	SB-15	床面	SB15-4
	947	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	489.3	安山岩 長12.6 幅5.7 厚4.3	◎	SB-15	床面	SB15-4
	948	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	351.4	石英安山岩 長12.2 幅6.6 厚3.5	◎	SB-15	床面	SB15-4
	949	古墳～奈良	石製品	編物石	完形	548.3	安山岩 長14.3 幅6.5 厚3.7	◎	SB-15	床面	SB15-4
	950	古墳～奈良	石製品	編物石	略完形	577.8	安山岩 長12.6 幅5.1 厚5.2	◎	SB-15	床面	SB15-4
	951	平安	金属製品	刀子	略完形	33.7	長12.5 幅22.8 (現存・最大)	◎	SB-32	下層	SB32-2
	952	古墳?	金属製品	刀子	略完形	26.8	長11.5 幅1.9 (現存・最大)	◎	SB-50	上層	SB50-1
	953	平安	金属製品	紡錘車	略完形	67.9	軸部長13.7 円盤径4.8	◎	SB-68	床直	SB68-3
	954	平安	金属製品	金 薄板		0.5		◎	SB-32	上層	SB32-1
	図51	955		金属製品	銭	完形	2.7	拓影のみ		SB-42	上層
956			金属製品	銭	略完形	2.4	拓影のみ		SB-50	上層	SB50-1
957			金属製品	銭	破片	1.0	拓影のみ		SK-21		SK21

◎は写真のみの掲載

2 平成7年度・検出遺物

全遺構、遺構外より出土した遺物を整理し、種類ごとに抽出、図化を行い一連の番号を付した。図化したものに関してはその詳細を観察表に記す。以下、詳細を述べる。

(1) 土器

全遺構、遺構外から出土した土器のうち、実測対象として各部位いずれかの径が概ね2分の1以上遺存する個体を抽出し、20点を図化した。その上で器種ごとに、形態と遺存の程度、寸法に応じて分類を行い、詳細を土器観察表にまとめた。なお、表中では、図面上認められる遺存部位を「全形」「口縁部」「底部」のように表記し、これに対する遺存の程度を「1/1」「2/3」「1/2」などとした。

平安時代末期から中世にかけての遺物が認められる。以下、遺構ごとに詳細を述べる。

[1号溝] 土師器坏(1) 1点、内耳鍋3点(2~4)が出土している。土師器坏(1)は外面底部付近にヘラケズリの痕跡が認められる。また、内面見込み部分はハケ状工具でヨコナデする。ナデの強さは不均一で、凹凸が目立つ。内耳鍋(2~4)は5.2~5.3cmの差をもって大・中・小の3寸法が存在する。いずれも平底で口縁端部を面取りする。また、上部が「く」の字に折れて外反し、口縁部と体部が明確に分かれる形態が共通している。調整は基本的には内外面をヨコナデする。内耳鍋(2)は内面の口縁付近は回転ナデで調整する。外面は煤の付着が著しく、調整が不明である。内耳鍋(3)は内面の胴部にハケ状の工具でなでた痕跡が残る。底部は同心円状になでて、焦げが認められる。外面は胴部下端の底部との接断面をタテナデで調整している。耳部は認められないが、貼付部分の痕跡が認められ、一對の耳部があったと思われる。内耳鍋(4)は耳部を貼り付けた後になでている。内面胴部はナデの方向が一定ではなく、横・斜め方向のナデによって仕上げられる。外面の口縁付近にはヘラ状工具でなでた痕跡が明瞭に残る。2~4は15世紀以降の所産と推察される。

[3号溝] 山茶碗(5)は底部のみの残存であり、高台の端部には靨痕が認められる。断面三角形の高台を持ち、径は8.9cmと大きいことから12世紀台の所産と推察される。

[5号溝] 土師器高台坏(6)は摩耗が著しい。深碗形であり、口縁端部は外反する。平安時代の所産と考えられる。

[6号溝] 土師器坏(7)は胎土が浅黄橙色を呈し、糸切りの底部をもつ。

[1号土坑] 土師器坏7点(8~14)を抽出した。このうち8~13は寸法・形態が類似する。底部は糸切底であり、体部は外反しながらも口縁付近は丸みをもって立ち上がる。また8・9・12・13の4点は見込み部分にヘラ状工具を押し当てて凹みをつくり、周辺には押された胎土が環状に盛り上がる。成形過程でできた見込み中央部の盛り上がりにならすためになでたものであろうか。10は見込み周辺に胎土の盛り上がりが見られるが摩耗のため、ナデの痕跡は認められない。11は全体的な摩耗により確認できない。14は他の6点に比して大形であり、外面の口縁付近に稜をもつ。8~13と合わせて平安末期から中世にかけての所産と推察される。

[1号不明遺構] 土師器坏3点(15~17)、高台坏(18)が出土している。15は器高が1cm台と非常に低くなる。17は内面をロクロナデするが、調整は粗い。いずれも平安末期の様相を呈す。

[2号不明遺構] 土師器坏(19)は底部が厚く、ミガキの痕跡は認められないが、内黒の可能性はある。青磁碗(20)は見込みに文様を施した龍泉窯系の画花文碗である。縁辺は二次的な加工がされている可能性がある。

(2) その他の遺物

[硯] (21) 全体に欠損が著しく、剥離が目立つ。石質は粘板岩であり、片側部と下端（上端？）部のみの残存した硯と考えられる。側面には研磨痕が認められる。表面の端には断面V字状の溝が刻まれており下端部ではややカーブするようにも見受けられる。また、この溝に沿うように外側にも極めて細い線が刻まれる。これを硯の縁部とするならば、陸部などを成形する以前の未成品であると推察される。しかし中央部に当たる位置には穿孔が認められるため、硯であったかどうかは疑問の残るところである。

表6 平成7年度調査 遺物一覧表

遺構名	記号	検出面	時代(期)	出土土器			土製品	石製品	金属製品	その他	遺物注記(整理No.)	
				重量(g)	実測	特記						
1号溝	SD-1	上層	中世	4,070	4	内耳					SD1	
2号溝	SD-2	上層		1,980						クルミ核 木片	SD2-1～2	
3号溝	SD-3	上層	中世	3,240	1	山茶碗				骨片	SD3	
4号溝	SD-4	上層		795							SD4	
5号溝	SD-5	上層	平安	380	1				硯?		SD5	
6号溝	SD-6	上層	平安	140	1						SD6	
1号土坑	SK-1	上層	平安～中世	810	7						SK1	
2号土坑	SK-2	上層		260						鉄片	SK2	
3号土坑	SK-3	上層		10							SK3	
4号土坑	SK-4	上層		70						鉄片	SK4	
5号土坑	SK-5	上層		10							SK5	
6号土坑	SK-6	上層									SK6	
1号不明遺構	SX-1	上層	平安～中世	1,030	4					鉄片	鹿角片	SX1
2号不明遺構	SX-2	上層	平安～中世	610	2	青磁						SX2
3号不明遺構	SX-3	上層		450						鉄片		SX2
検出面		上層		1,360					剥片	鉄滓		検出
合計				15,215	20							

表7 平成7年度調査 土器観察表

図版	番号	出土遺構		遺物注記(整理No.)	抽出No.	時代	種別	器種	部位	遺存	寸法(cm)			成形・調整・その他	写真
		遺構	位置								口径	底径	器高		
図52	1	SD-1		SD1	4	平安～中世	土師器	坏?	底部	2/3		5.2		糸切 ケズリ・ナデ	
	2	SD-1		SD1	3	中世	土師器	内耳	口縁	1/2	21.7	15.4	12.4	双耳	
	3	SD-1		SD1	2	中世	土師器	内耳	全形	2/3	27.2	21.5	14.4	双耳	○
	4	SD-1		SD1	1	中世	土師器	内耳	口縁	2/3	32.4	25.7	18.4	双耳	○
	5	SD-3		SD3	1	中世	山茶碗	碗	底部	2/3		8.9		糸切痕	
	6	SD-5		SD5	1	平安～中世	土師器	高台坏	全形	2/3	14.4	9.0	6.9	糸切痕	
	7	SD-6		SD6	1	平安～中世	土師器	坏	底部	1/1		4.0		糸切	
	8	SK-1		SK1	5	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	9.0	5.0	2.6	糸切	○
	9	SK-1		SK1	6	平安～中世	土師器	坏	全形	1/2	9.2	5.0	2.5	糸切	○
	10	SK-1		SK1	2	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	9.2	5.2	2.4	糸切	○
	11	SK-1		SK1	4	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	9.2	5.3	2.4	糸切	○
	12	SK-1		SK1	3	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	9.3	5.2	2.3	糸切	○
	13	SK-1		SK1	1	平安～中世	土師器	坏	全形	1/1	9.3	5.2	2.5	糸切	○
	14	SK-1		SK1	7	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	14.6	5.9	3.7	糸切	○
	15	SX-1		SX1	4	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	9.0	4.1	1.7	糸切	
	16	SX-1		SX1	2	平安～中世	土師器	坏	底部	2/3		6.4		糸切	
	17	SX-1		SX1	3	平安～中世	土師器	坏	底部	2/3		6.3		糸切 ハケメ	
	18	SX-1		SX1	1	平安～中世	土師器	高台坏	底部	1/1		6.6		糸切痕	
	19	SX-2		SX2	1	平安～中世	土師器	坏	全形	2/3	14.3	6.9	4.4	糸切 内黒?	○
	20	SX-2		SX2	2	平安～中世	青磁	碗	底部	1/1		5.0		画花文	

表8 平成7年度調査 その他遺物観察表

図版	番号	時代	種別	名称	遺存	重量 (g)	形態等 (cm)	写真	出土遺構		遺物注記 (整理No.)
									遺構	位置	
図52	21	中世?	石製品	硯?	破片	118.7	長9.6 幅4.4 厚1.8 (現状・最大)		SD-5		SD5

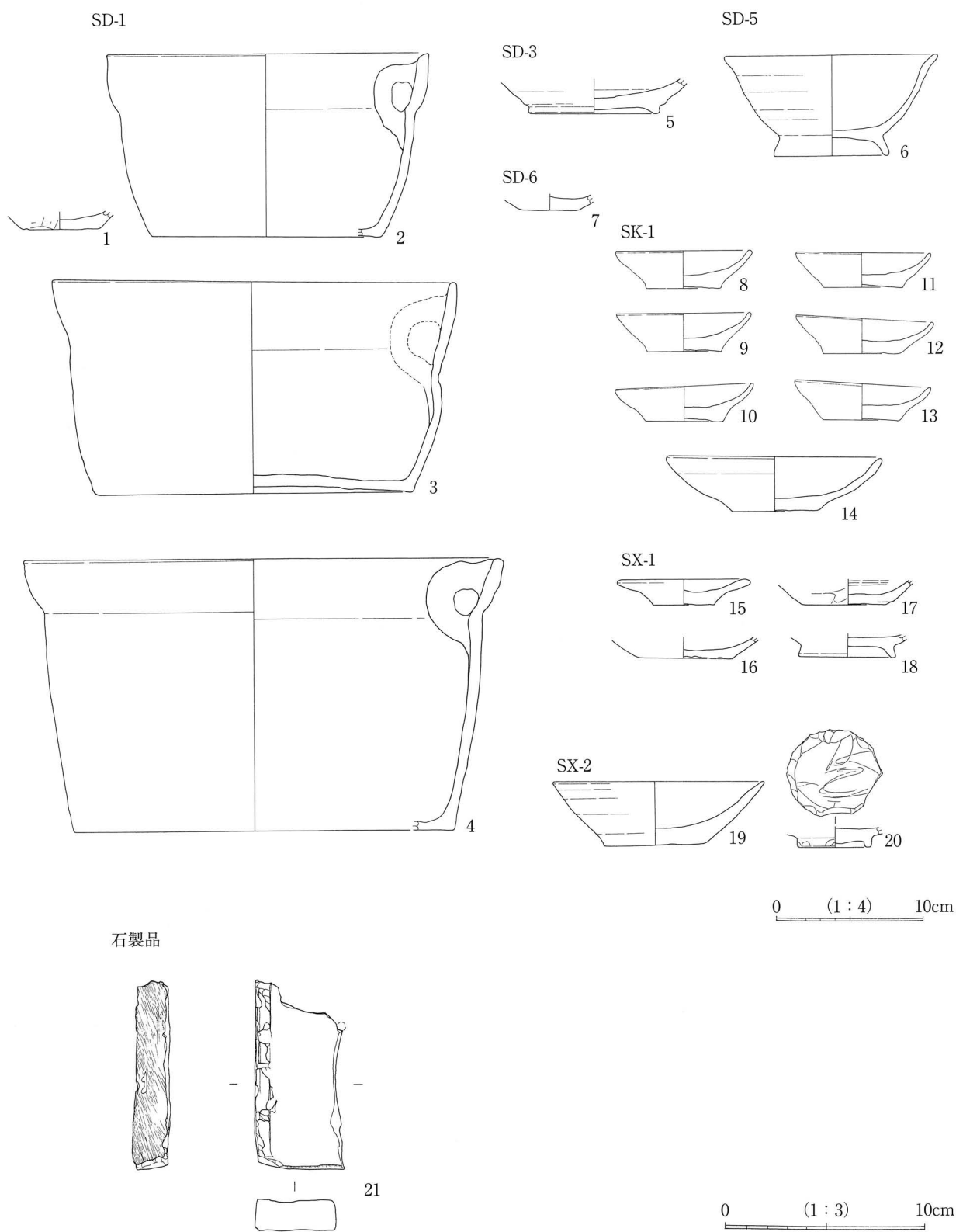
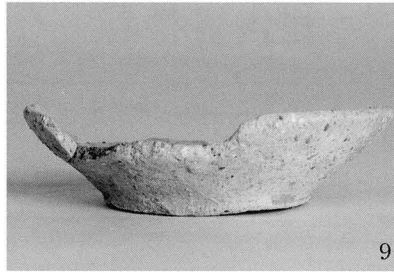


図52 平成7年度調査 遺物実測図 (1~20=1:4 21=1:3)



報告書抄録

ふりがな	すそばながわせんじょうちいせきぐん ごしょいせき							
書名	裾花川扇状地遺跡群 御所遺跡							
副書名	長野駅周辺第二土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書							
シリーズ名	長野市の埋蔵文化財							
シリーズ番号	第132集							
編著者名	青木和明 塚原由実							
編集機関	長野市教育委員会 文化財課 埋蔵文化財センター							
所在地	〒381-2212 長野県長野市小島田町1414番地 TEL 026-284-0004・FAX 026-284-0106							
発行年月日	2013（平成25）年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
すそばながわせんじょうち 裾花川扇状地 遺跡群 御所遺跡	ながの ながの 長野県長野市 大字栗田 字西番場 219番地ほか	20201	B-016	36° 38' 20"	138° 11' 18"	1994.7.18 } 1994.11.22 1995.6.5 } 1995.7.28	4,360㎡	土地区画整理 (長野駅周辺第 二土地区画整理 事業)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
裾花川扇状地 遺跡群 御所遺跡	集落	古墳時代	竪穴住居38軒		土器・陶磁器・土製品・ 石製品・金属製品			
		奈良時代	竪穴住居13軒					
		平安時代	竪穴住居23軒・溝・土坑					
		中世	溝・土坑・小穴群					
要約	<p>裾花川扇状地遺跡群御所遺跡は、長野市街地南域に立地し、扇状地内に形成された島状微高地の範囲に位置する。堆積活動が比較的活発であって遺構が深く埋没している状況にあり、また市街化も進行していることから、遺跡の存在と分布状況の把握は、最近の再開発等に伴う発掘調査の進捗によるところが大きい。当調査も長野駅東口の再開発計画に伴うものであり、上層には中世城館跡の外縁部に展開する柱穴等の中世遺構が、氾濫堆積層を挟んで、下層には古墳時代後期から平安時代にわたる竪穴住居等の古代遺構が、それぞれ濃密な分布を見せて埋没している状況が明らかとなった。ただし、下層の遺構まで2 m以上の土砂の堆積があることを考え合わせれば、さらに未知の遺構が埋没地形の中に存在している可能性は高い。</p>							

長野市の埋蔵文化財第132集

裾花川扇状地遺跡群
御 所 遺 跡

平成25年3月31日 発行

編 集 長 野 市 教 育 委 員 会
発 行 文化財課 埋蔵文化財センター
印 刷 三 和 印 刷 株 式 会 社

